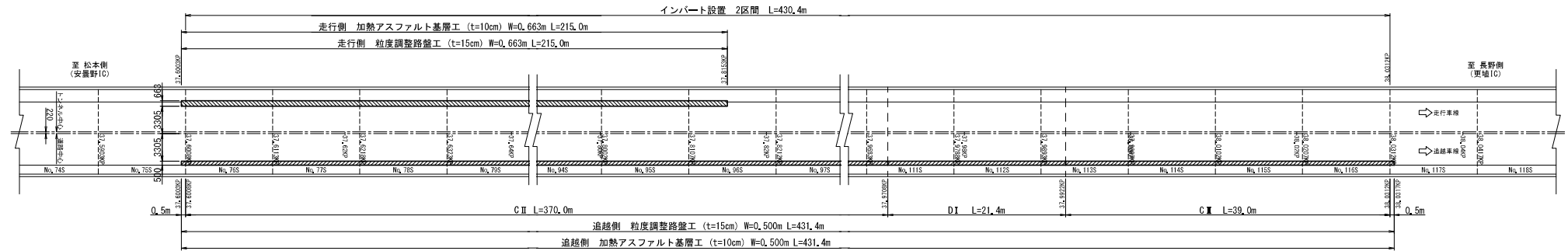


## 仮舗装工図(3)

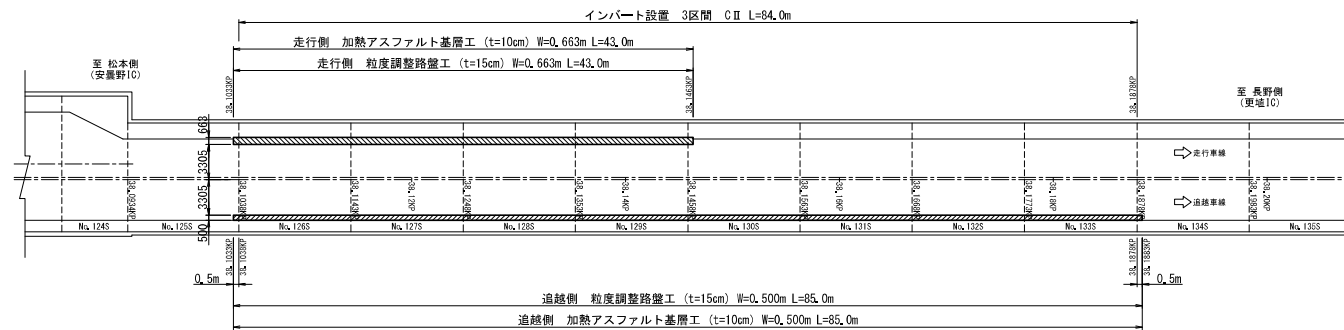
覆工受台施工後

平面図 S=1:500

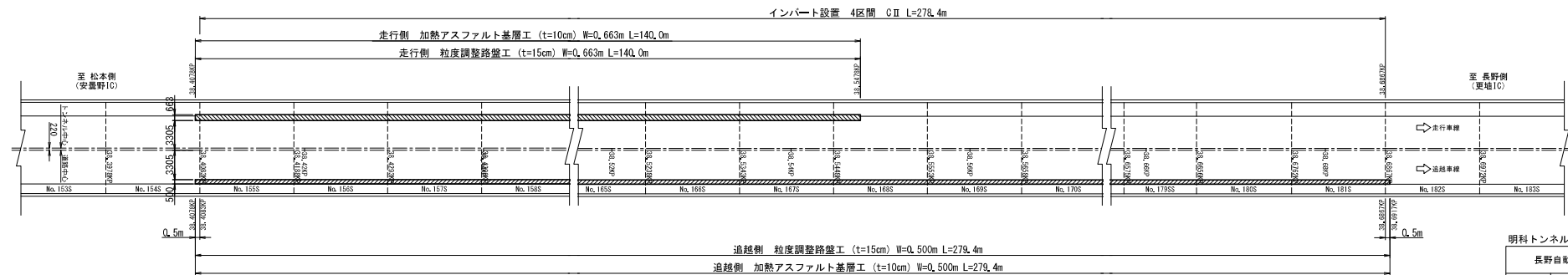
## 2区間



## 3区間



## 4区間



明科トンネル (下り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種別	仮舗装工図(3) 覆工受台施工後		
縮 尺	1:500	図面番号	59 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	仮鋪装工図(4) 覆工受台施工後		
縮 尺	1:100	図面番号	60 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

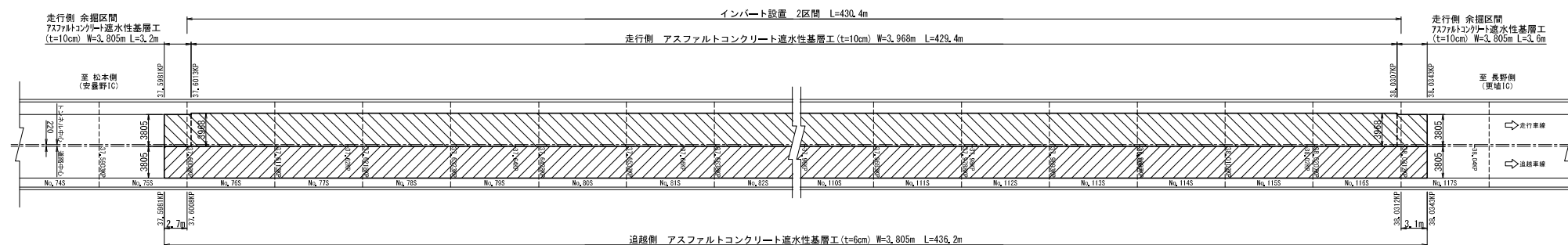


# アスファルト舗装改良工(1)

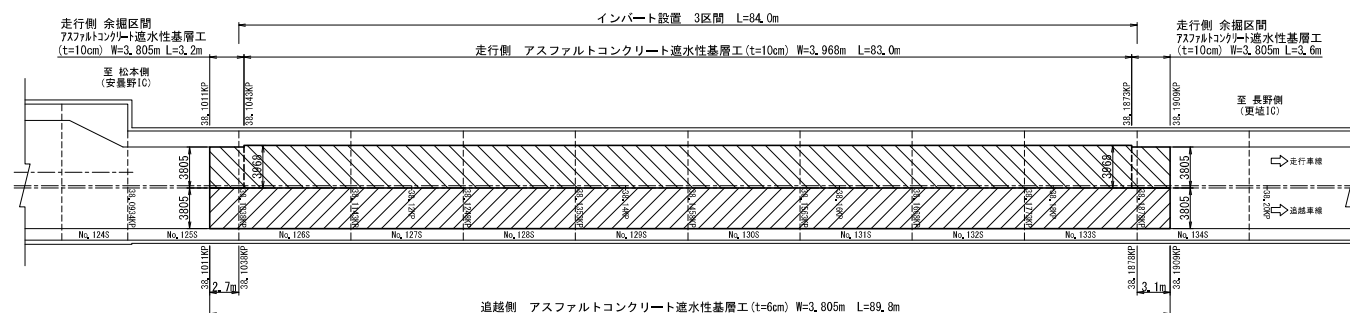
インバート施工後

平面図 S=1:500

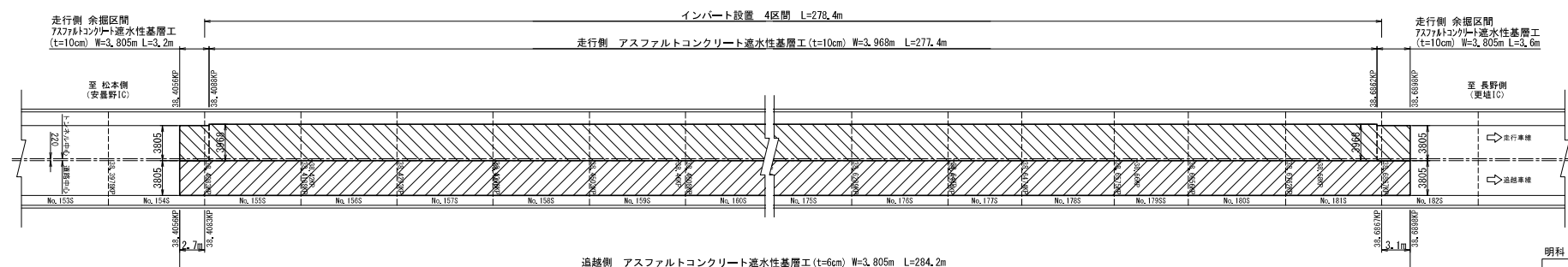
## 2区間



## 3区間



## 4区間



明科トンネル (下り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事

図面の種別	アスファルト舗装改良工(1) インバート施工後		
縮 尺	1:500	図面番号	61 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

注記)

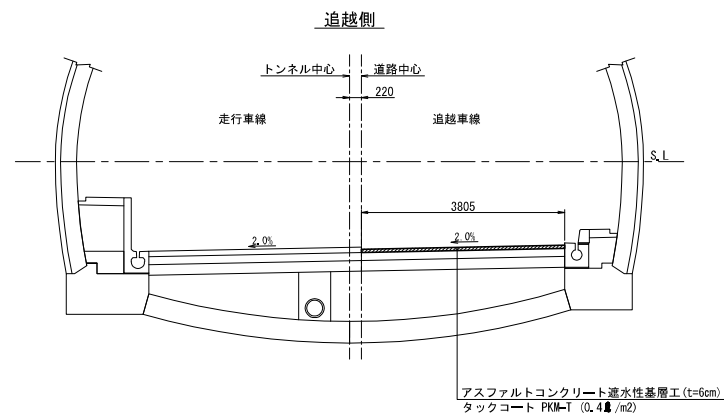
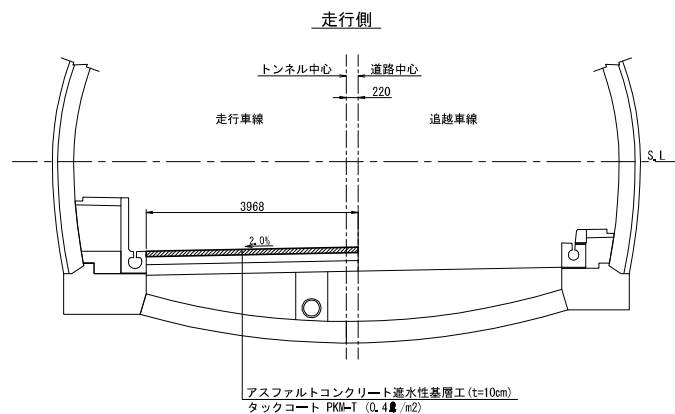
走行側：施工手順図 STEP33 の工程を示す

追越側：施工手順図 STEP34 の工程を示す

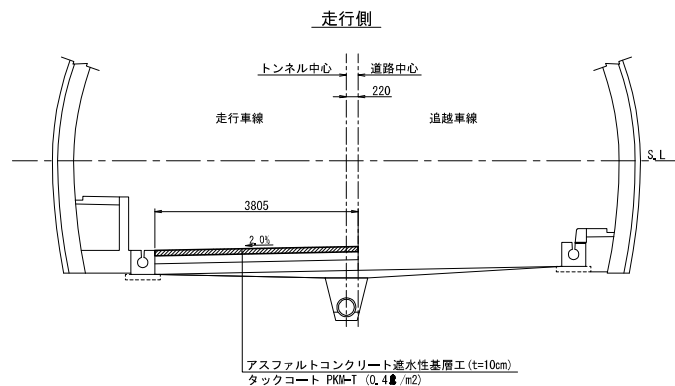
## アスファルト舗装改良工(2)

インバート施工後

断面図 S=1:100



余掘り間  
(上流側: 3.6m、下流側: 3.2m)



数量表 (インバート施工後)

区間	車線区分	延長(m)	アスファルトコンクリート遮水性基層工			摘要
			厚さ (cm)	幅員 (m)	数量 (m2)	
2区間	走行側	429.4	10	3.968	1,703.9	
	走行側 余掘り間	6.8	10	3.805	25.9	
	走行側 計	436.2			1,729.8	
	追越側 計	436.2	6	3.805	1,659.7	
3区間	走行側	83.0	10	3.968	329.3	
	走行側 余掘り間	6.8	10	3.805	25.9	
	走行側 計	89.8			355.2	
	追越側 計	89.8	6	3.805	341.7	
4区間	走行側	277.4	10	3.968	1,100.7	
	走行側 余掘り間	6.8	10	3.805	25.9	
	走行側 計	284.2			1,126.6	
	追越側 計	284.2	6	3.805	1,081.4	
合計	走行側	810.2	10		3,211.6	
	追越側	810.2	6		3,082.8	

明科トンネル (下り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類		アスファルト舗装改良工(2) インバート施工後		
縮尺	1:100	図面番号	62 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

注記)

走行側: 施工手順図 STEP33 の工程を示す

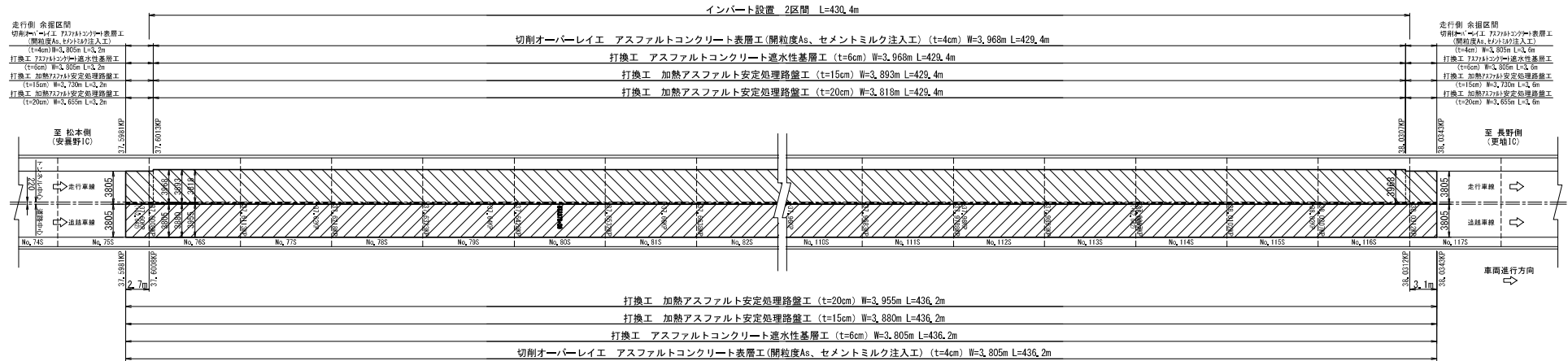
追越側: 施工手順図 STEP34 の工程を示す

# アスファルト舗装改良工(3)

完成時 舗装構成

平面図 S=1:500

2区間

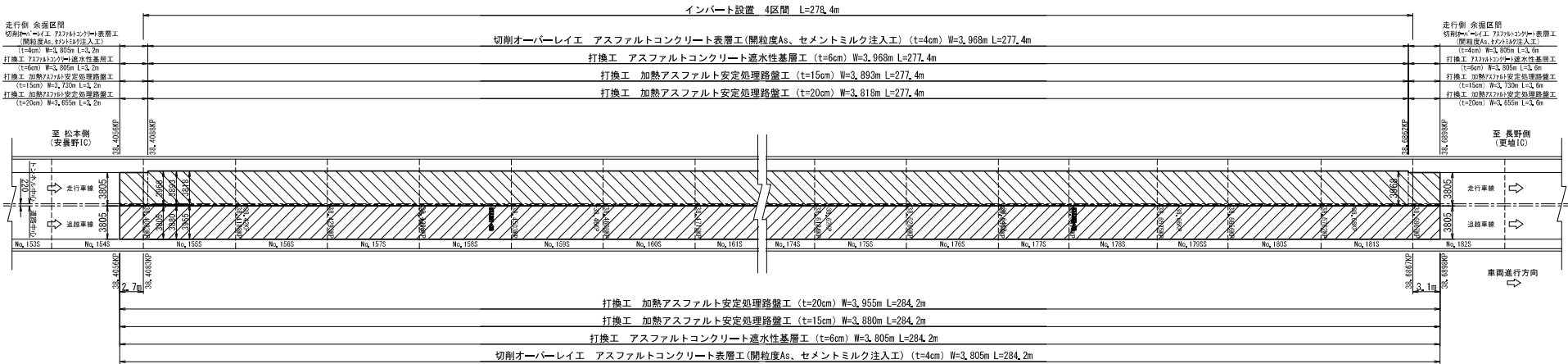


アスファルト舗装改良工(4)

完成時 舗装構成

平面図 S=1:500

4区間



明科トンネル(下り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種別		アスファルト舗装改良工(4)		
		完成時 舗装構成		
縮尺	1:500	図面番号	64 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

標準断面図 S=1:100

路面標示工数量表（下り線）

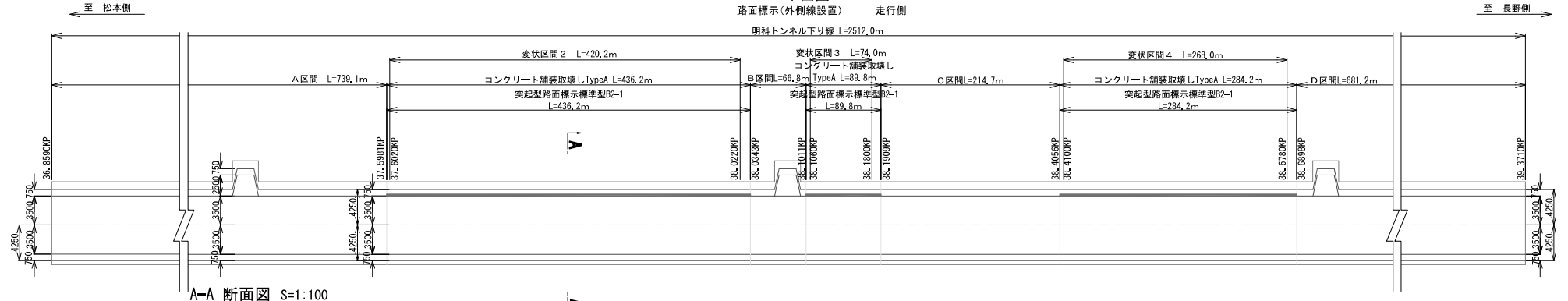
下り線路面標示工数量表

STEP	項 目	塗色	幅 (cm)	A 区間 (m)	変状区間 2 (m)	B 区間 (m)	変状区間 3 (m)	C 区間 (m)	変状区間 4 (m)	D 区間 (m)	摘 要
STEP3 走行側コンクリート舗装取壊し TypeA後の路面標示構成	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		436.2		89.8		284.2		走行側 1本、実線
STEP4 追越し側コンクリート 舗装取壊しTypeA 後の路面標示構成	路面標示標準型A1	白	15		174.5		35.9		113.7		中央 1本、破線
	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		436.2		89.8		284.2		追越側 1本、実線
STEP12-3 追越し側覆工受け台施工後の 路面標示構成	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		431.4		85.0		279.4		追越側 1本、実線
STEP13、14 対面通行前の 路面標示構成	路面標示消去工A1		20	1483.6	860.8	145.2	168.0	441.0	556.8	1368.6	走行、追越外側線B2-1消去 2本、実線
	突起型路面標示標準型B2-1	白	20	2967.2	1721.6	290.4	336.0	882.0	1113.6	2737.2	走行、追越側 4本、実線
	路面標示標準型D1	白	20	1483.6	860.8	145.2	168.0	441.2	556.8	1368.8	走行、追越側 4本、破線
STEP22 対面通行後の 路面標示構成	路面標示消去工A1		20	2967.2	1721.6	290.4	336.0	882.0	1113.6	2737.2	走行、追越路面標示B2-1 消去4本、実線
	路面標示消去工A2	黒	20		860.8		168.0		556.8		走行、追越路面標示D1 消去4本、破線
	路面標示消去工A3	灰	20	1483.6		145.2		441.2		1368.8	走行、追越路面標示D1 消去4本、破線
	突起型路面標示標準型B2-1	白	20	741.8	430.4	72.6	84.0	220.5	278.4	684.3	走行側 1本、実線
	突起型路面標示標準型B2-1	白	20	741.8	430.4	72.6	84.0	220.5	278.4	684.3	追越側 1本、実線
STEP23-3 走行側覆工受け台施工後の 路面標示構成	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		215.0		43.0		140.0		走行側 1本、実線
STEP33 走行、追越し側イン バート施工後の 路面標示構成	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		436.2		89.8		284.2		走行側 1本、実線
	路面標示標準型A1	白	15		174.5		35.9		113.7		中央 1本、破線
	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		436.2		89.8		284.2		追越側 1本、実線

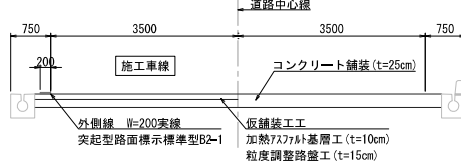
路面標示工（下り線）（1）  
V=1:500  
H=1:5000

## 走行側コンクリート舗装取壊しTypeA後の路面標示構成

## 平面図



A-A 断面図 S=1:100

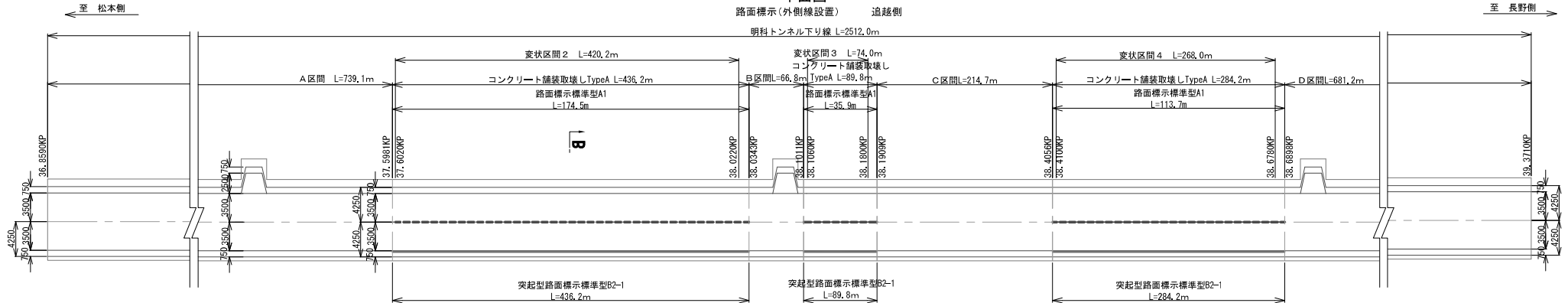
STEP3 路面標示（外側線設置） 走行側  
追越車線

## 路面標示工数量表

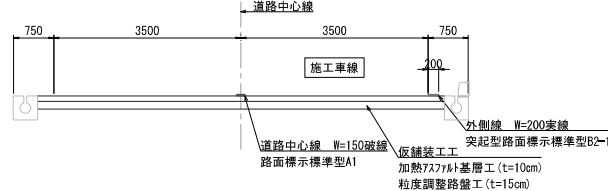
STEP3	項 目	塗色	幅 (cm)	A 区間	変状区間 2	B 区間	変状区間 3	C 区間	変状区間 4	D 区間	摘 要
走行側コンクリート舗装取壊しTypeA後の路面標示構成	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		436.2		89.8		284.2		走行側 1本、実線

## 追越し側コンクリート舗装取壊しTypeA後の路面標示構成

## 平面図



B-B 断面図 S=1:100

STEP4 路面標示（中心線、外側線設置） 追越側  
追越車線

## 路面標示工数量表

STEP4	項 目	塗色	幅 (cm)	A 区間	変状区間 2	B 区間	変状区間 3	C 区間	変状区間 4	D 区間	摘 要
追越し側コンクリート舗装取壊しTypeA後の路面標示構成	路面標示標準型A1	白	15		174.5		35.9		113.7		中央 1本、破線
	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		436.2		89.8		284.2		追越側 1本、実線

凡 例
路面標示標準型A1
突起型路面標示標準型B2-1

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	路面標示工（下り線）（1）		
縮 尺	図示	図面番号	67 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

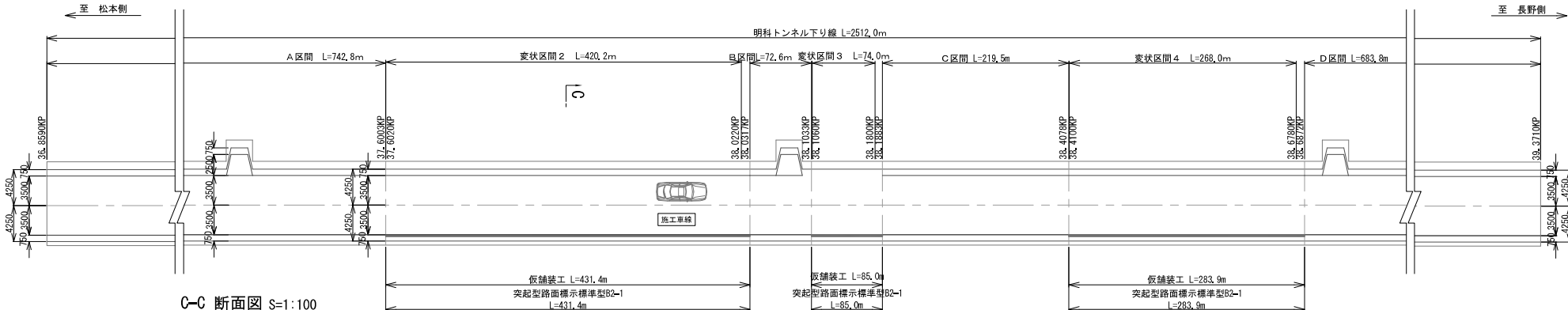
路面標示工（下り線）（2）

V=1:500  
H=1:5000

追越側覆工受け台施工後の路面標示構成

平面図

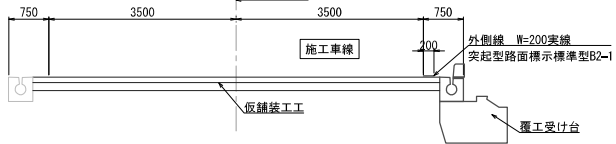
路面標示（外側線設置） 追越側



C-C 断面図 S=1:100

STEP12-3 路面標示（外側線設置） 追越側

走行車線 道路中心線 追越車線



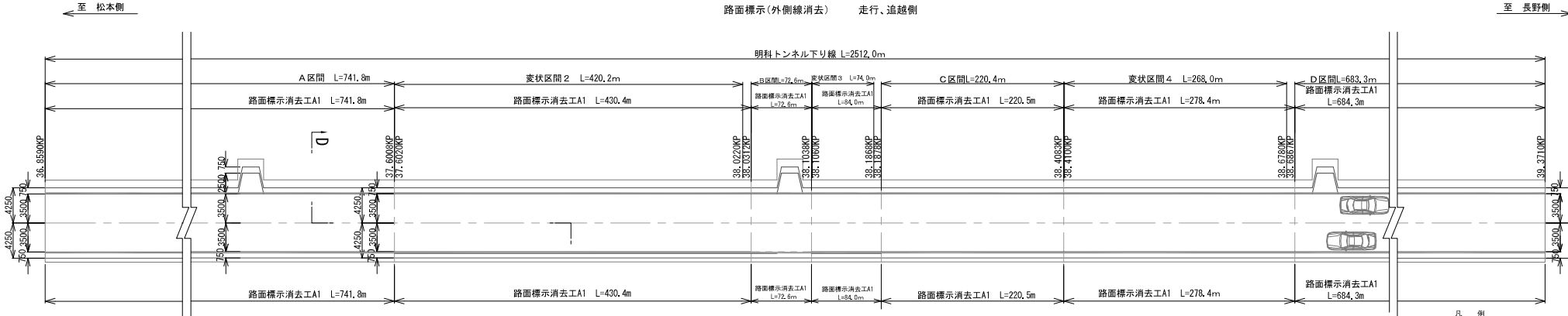
路面標示工数量表

STEP12-3	項目	塗色	幅 (cm)	A区間	変状区間2	B区間	変状区間3	C区間	変状区間4	D区間	摘要
追越し側覆工受け台 施工後の路面標示構成	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		431.4		85.0		283.9		追越側 1本、実線

対面通行前の路面標示構成

平面図

路面標示（外側線消去） 走行、追越側



D-D 断面図 S=1:100

STEP13, 14 路面標示（外側線消去） 走行、追越側

走行車線 道路中心線 追越車線



路面標示工数量表

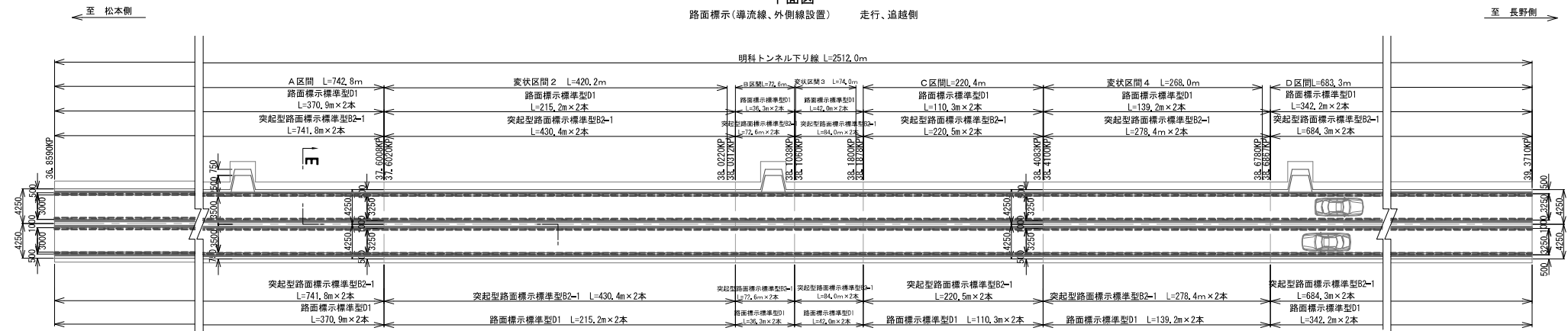
STEP13, 14	項目	塗色	幅 (cm)	A区間	変状区間2	B区間	変状区間3	C区間	変状区間4	D区間	摘要
対面通行前の 路面標示構成	路面標示消去工A1		20	1483.6	860.8	145.2	168.0	441.0	556.8	1368.6	走行、追越外側線B2-1消去 2本、実線

凡 例
突起型路面標示標準型B2-1
路面標示消去工A1

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類		路面標示工（下り線）（2）	
縮 尺	図示	図面番号	68 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

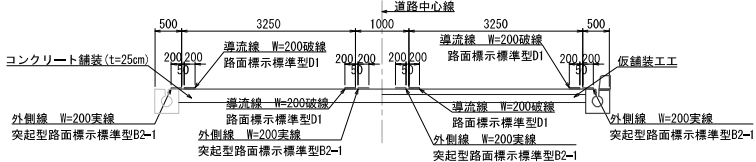


対面通行前の路面標示構成  
平面図  
路面標示(導流线、外側線設置) 走行、追越側



E-E 断面図 S=1:100

STEP13, 14 路面標示(導流线、外側線設置) 走行、追越側  
走行車線 道路中心線 追越車線



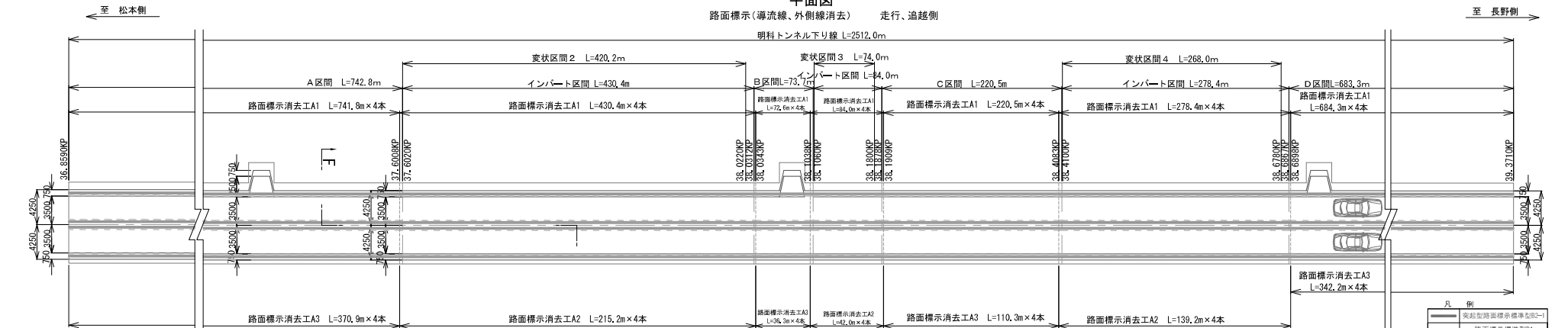
路面標示工数量表

STEP13, 14	項 目	塗色	幅 (cm)	A 区間	変状区間 2	B 区間	変状区間 3	C 区間	変状区間 4	D 区間	摘 要
対面通行前の 路面標示構成	突起型路面標示標準型B2-1	白	20	2967.2	1721.6	290.4	336.0	882.0	1113.6	2737.2	走行、追越側 4本、実線
	路面標示標準型D1	白	20	1483.6	860.8	145.2	168.0	441.2	556.8	1368.8	走行、追越側 4本、破線

対面通行後の路面標示構成

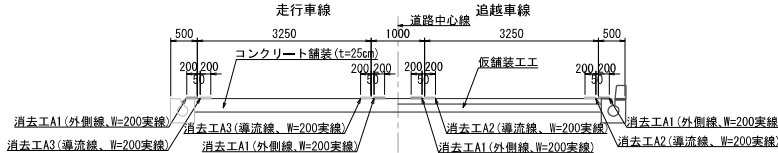
平面図

路面標示(導流线、外側線消去) 走行、追越側



F-F 断面図 S=1:100

R09 STEP22 路面標示(導流线、外側線消去) 走行、追越側  
走行車線 道路中心線 追越車線



路面標示工数量表

STEP22	項 目	塗色	幅 (cm)	A 区間	変状区間 2	B 区間	変状区間 3	C 区間	変状区間 4	D 区間	摘 要
対面通行後の 路面標示構成	路面標示消去工A1		20	2967.2	1721.6	290.4	336.0	882.0	1113.6	2737.2	走行、追越路面標示B2-1 消去4本、実線
	路面標示消去工A2	黒	20		860.8		168.0		556.8		走行、追越路面標示D1 消去4本、破線
	路面標示消去工A3	灰	20	1483.6		145.2		441.2		1368.8	走行、追越路面標示D1 消去4本、破線

凡 例
突起型路面標示標準型B2-1
路面標示標準型D1
路面標示消去工A1
路面標示消去工A2
路面標示消去工A3

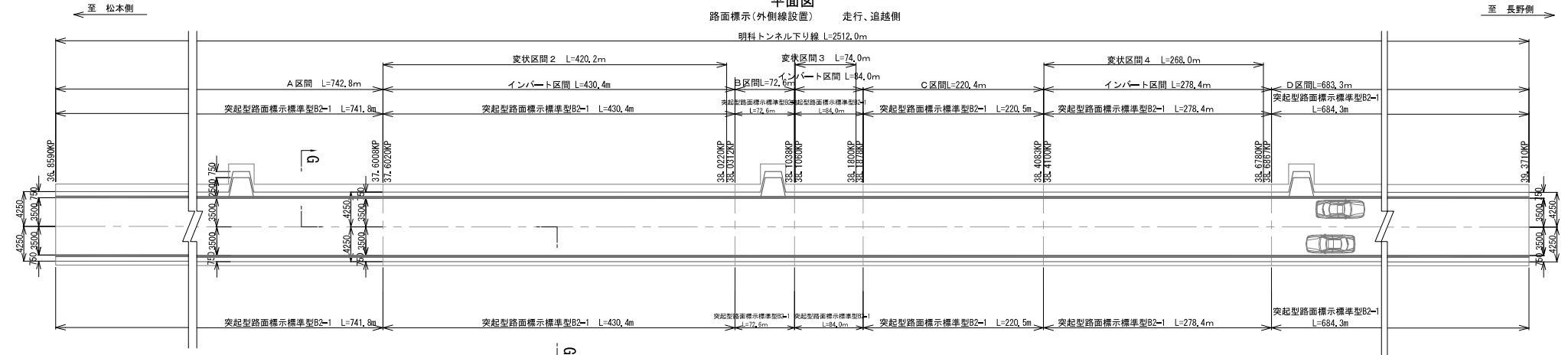
長野自動車道 明科トンネル補強工事	
図面の種別	路面標示工(下り線) (3)
縮 尺	図示 図面番号 69 / 204
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

## 対面通行後の路面標示構成

## 平面図

路面標示(外側線設置) 走行、追越側

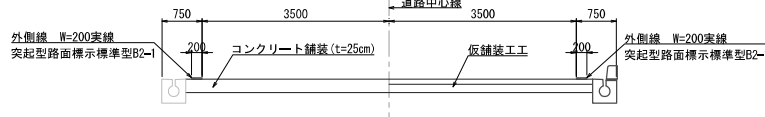
明料トンネル下り線 L=2512.0m



## G-G 断面図 S=1:100

STEP22 路面標示(外側線設置) 走行、追越側

走行車線 道路中心線 追越車線



## 路面標示工数量表

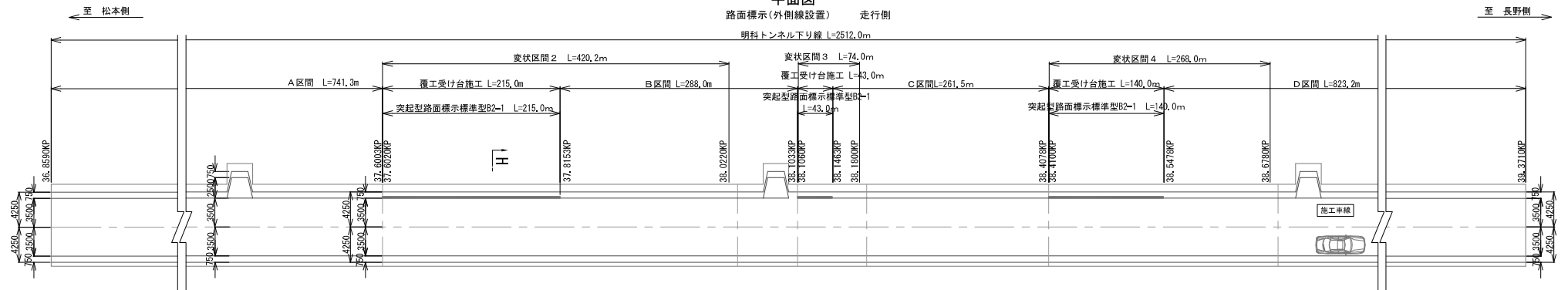
STEP22	項目	塗色	幅 (cm)	A区間	変状区間2	B区間	変状区間3	C区間	変状区間4	D区間	摘要
対面通行後の 路面標示構成	突起型路面標示標準型B2-1	白	20	741.8	430.4	72.6	84.0	220.5	278.4	684.3	走行側 1本、実線
	突起型路面標示標準型B2-1	白	20	741.8	430.4	72.6	84.0	220.5	278.4	684.3	追越側 1本、実線

## 走行側覆工受け台施工後の路面標示構成

## 平面図

路面標示(外側線設置) 走行側

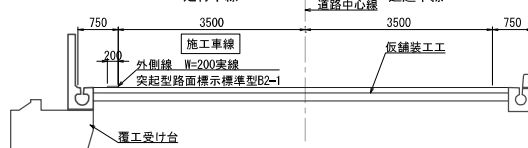
明料トンネル下り線 L=2512.0m



## H-H 断面図 S=1:100

STEP23-3 路面標示(外側線設置) 走行側

走行車線 道路中心線 追越車線



## 路面標示工数量表

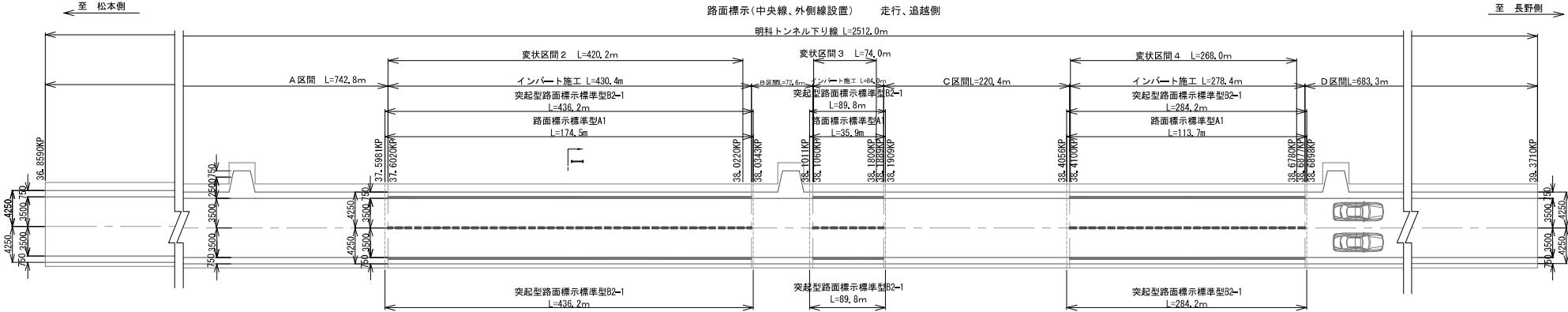
STEP23-3	項目	塗色	幅 (cm)	A区間	変状区間2	B区間	変状区間3	C区間	変状区間4	D区間	摘要
走行側覆工受け台施工 後の路面標示構成	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		215.0		43.0		140.0		走行側 1本、実線
	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		215.0		43.0		140.0		走行側 1本、実線

凡 例  
突起型路面標示標準型B2-1

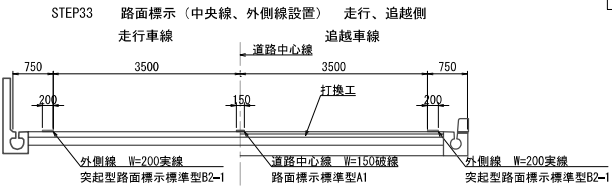
長野自動車道 明料トンネル補強工事			
図面の種別	路面標示工(下り線) (4)		
縮 尺	図示	図面番号	70 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

走行、追越し側インバート施工後の路面標示構成

平面図



I-I 断面図 S=1:100



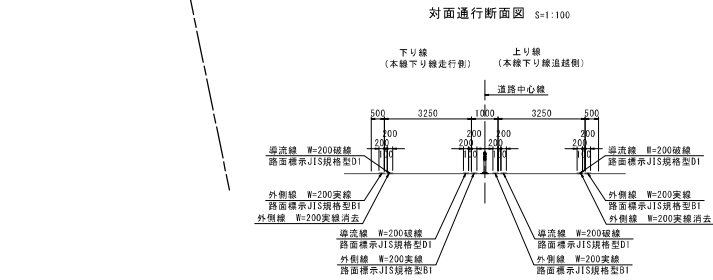
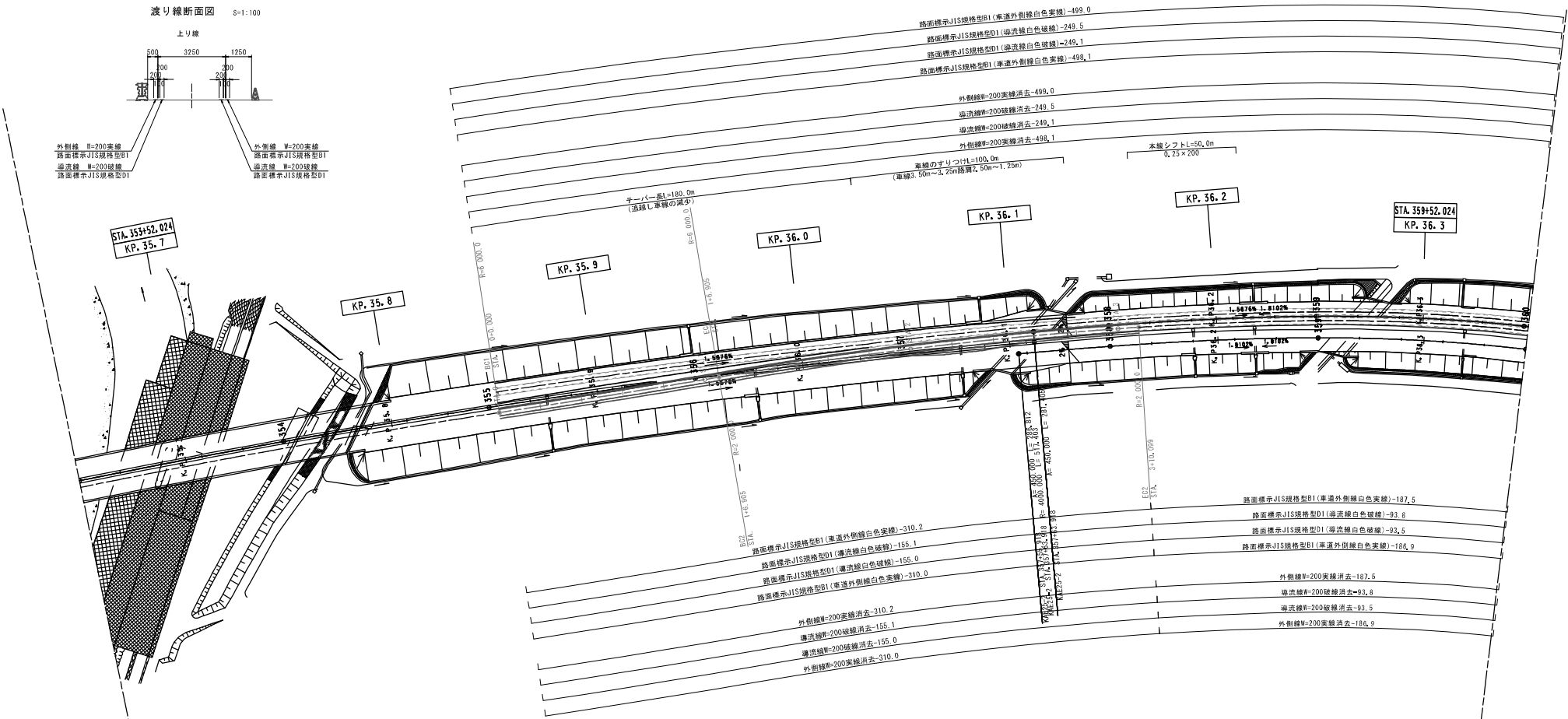
路面標示工数量表

STEP33	項 目	塗色	幅 (cm)	A区間	変状区間2	B区間	変状区間3	C区間	変状区間4	D区間	摘 要
走行、追越し側インバート施工後の路面標示構成	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		436.2		89.8		284.2		走行側 1本、実線
	路面標示標準型A1	白	15		174.5		35.9		113.7		中央 1本、破線
	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		436.2		89.8		284.2		追越側 1本、実線

凡 例	
	路面標示標準型A1
	突起型路面標示標準型B2-1

長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種別		路面標示工（下り線）（5）		
縮 尺	図示	図面番号	71 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所			

路面標示工平面図(1) S=1:1000  
(上り線施工時安曇野側)

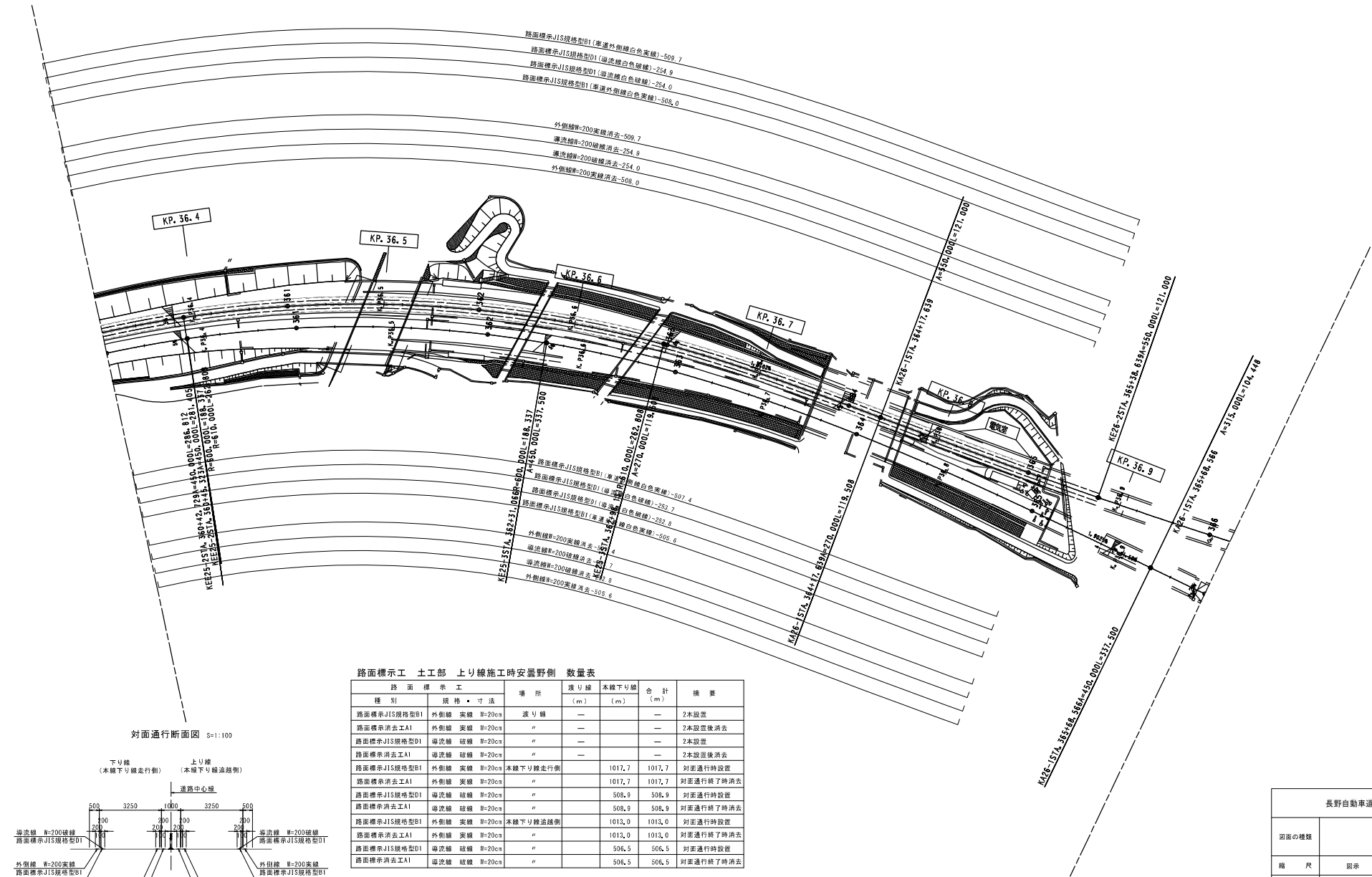


路面標示工 土工部 上り線施工時安曇野側 数量表

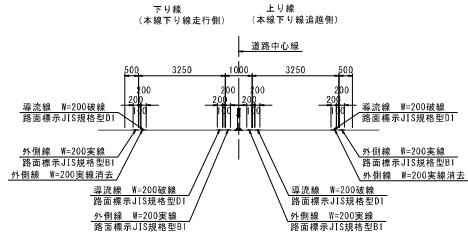
路面標示工	規格・寸法	場所	渡り線 (m)	本線下り線 (m)	合計 (m)	備考
路面標示JIS規格型B1 外側線 実線 W=20cm		渡り線	620.2		620.2	2本設置
路面標示消去工A1 外側線 実線 W=20cm		"	620.2		620.2	2本設置後消去
路面標示JIS規格型D1 導流線 破線 W=20cm		"	310.1		310.1	2本設置
路面標示消去工A1 導流線 破線 W=20cm		"	310.1		310.1	2本設置後消去
路面標示JIS規格型B1 外側線 実線 W=20cm		本線下り線走行側		997.1	997.1	対面通行時設置
路面標示消去工A1 外側線 実線 W=20cm		"		997.1	997.1	対面通行終了時消去
路面標示JIS規格型D1 導流線 破線 W=20cm		"		498.6	498.6	対面通行時設置
路面標示消去工A1 導流線 破線 W=20cm		"		498.6	498.6	対面通行終了時消去
路面標示JIS規格型B1 外側線 実線 W=20cm		本線下り線追越側		374.4	374.4	対面通行時設置
路面標示消去工A1 外側線 実線 W=20cm		"		374.4	374.4	対面通行終了時消去
路面標示JIS規格型D1 導流線 破線 W=20cm		"		187.3	187.3	対面通行時設置
路面標示消去工A1 導流線 破線 W=20cm		"		187.3	187.3	対面通行終了時消去

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	路面標示工平面図(1) (上り線施工時安曇野側)		
縮 尺	図示	図面番号	72 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

路面標示工平面図(2) S=1:1000  
(上り線施工時安曇野側)



対面通行断面図 S=1:100



路面標示工 土工部 上り線施工時安曇野側 数量表

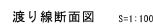
路面標示工	規格・寸法	場所	上り線 (m)	本線下り線 (m)	合計 (m)	補注
路面標示JIS規格型B1	外側線 実線 W=20cm	渡り線	—	—	—	2本設置
路面標示消去工A1	外側線 実線 W=20cm	〃	—	—	—	2本設置後消去
路面標示JIS規格型D1	導流線 破線 W=20cm	〃	—	—	—	2本設置
路面標示消去工A1	導流線 破線 W=20cm	〃	—	—	—	2本設置後消去
路面標示JIS規格型B1	外側線 実線 W=20cm	本線下り線走行側	1017.7	1017.7	2035.4	対面通行時設置
路面標示消去工A1	外側線 実線 W=20cm	〃	1017.7	1017.7	2035.4	対面通行終了時消去
路面標示JIS規格型D1	導流線 破線 W=20cm	〃	508.9	508.9	1017.8	対面通行時設置
路面標示消去工A1	導流線 破線 W=20cm	〃	508.9	508.9	1017.8	対面通行終了時消去
路面標示JIS規格型B1	外側線 実線 W=20cm	本線下り線遮断側	1013.0	1013.0	2026.0	対面通行時設置
路面標示消去工A1	外側線 実線 W=20cm	〃	1013.0	1013.0	2026.0	対面通行終了時消去
路面標示JIS規格型D1	導流線 破線 W=20cm	〃	506.5	506.5	1013.0	対面通行時設置
路面標示消去工A1	導流線 破線 W=20cm	〃	506.5	506.5	1013.0	対面通行終了時消去

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	路面標示工平面図(2) (上り線施工時安曇野側)		
縮 尺	図示	図面番号	73 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

## 路面標示工平面図

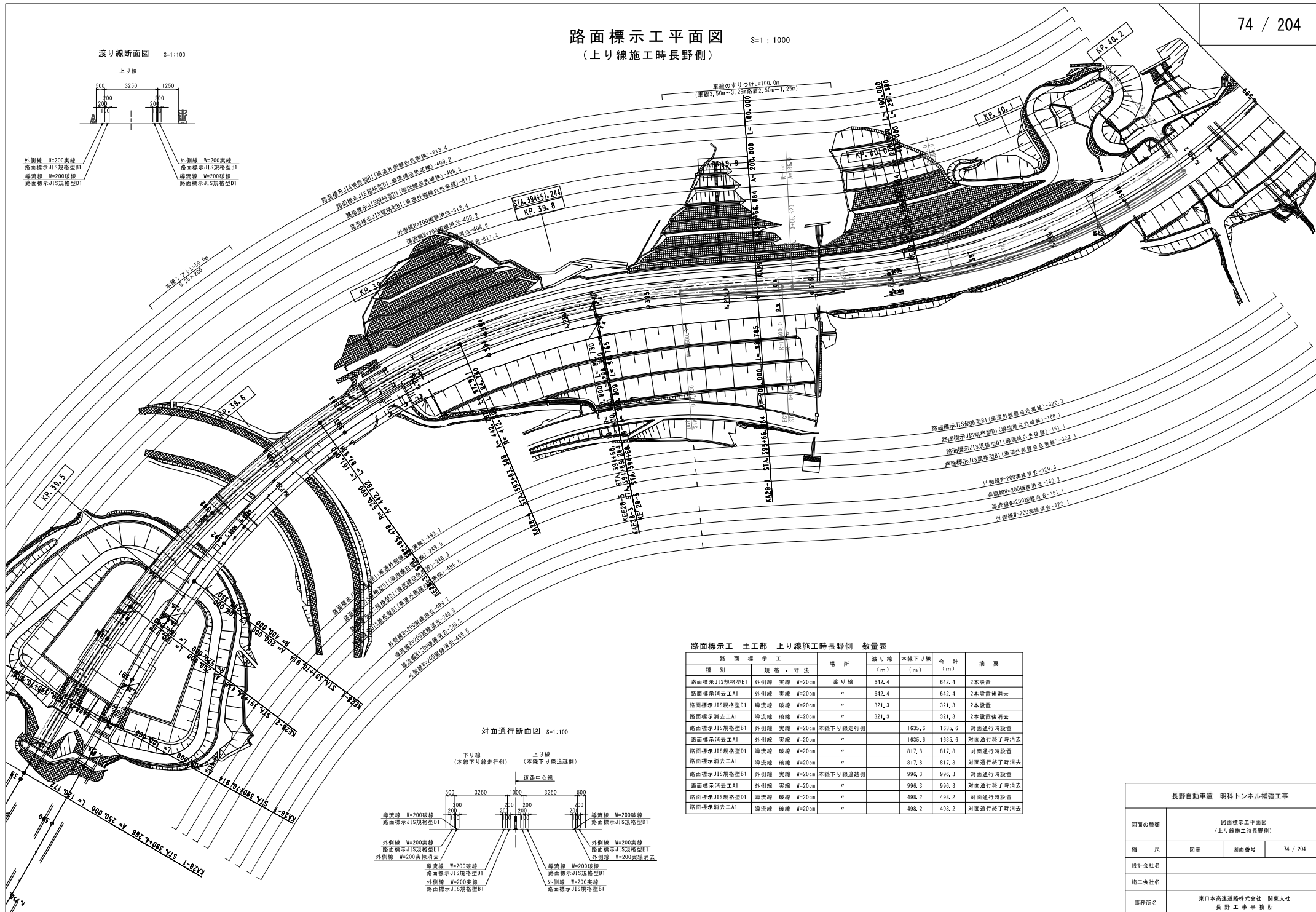
S=1 : 1000

(上り線施工時長野側)



外側線 W=200實線 路面標示JIS規格型B1	外側線 W=200實線 路面標示JIS規格型B1
導流線 W=200緩線 路面標示JIS規格型D1	導流線 W=200緩線 路面標示JIS規格型D1

外側線 W=200實線  
路面標示JIS規格型B  
導流線 W=200破線  
路面標示JIS規格型D

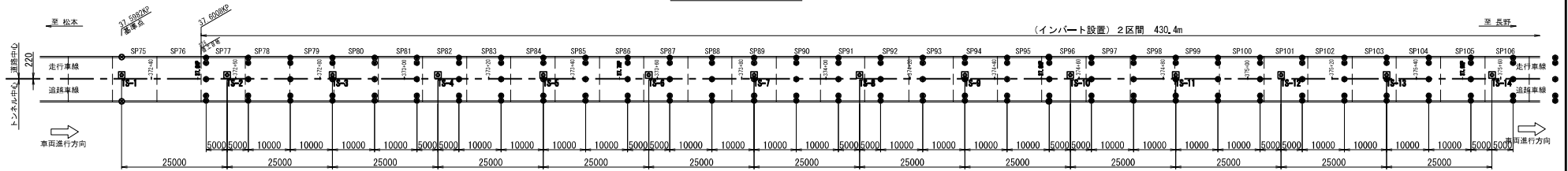


## 計測工図（１）（下り線）

75 / 204

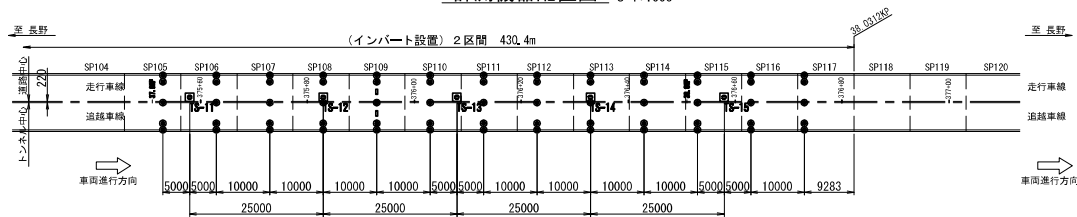
## &lt;変状区間 2&gt;

## 計測機器配置図 S=1:1000



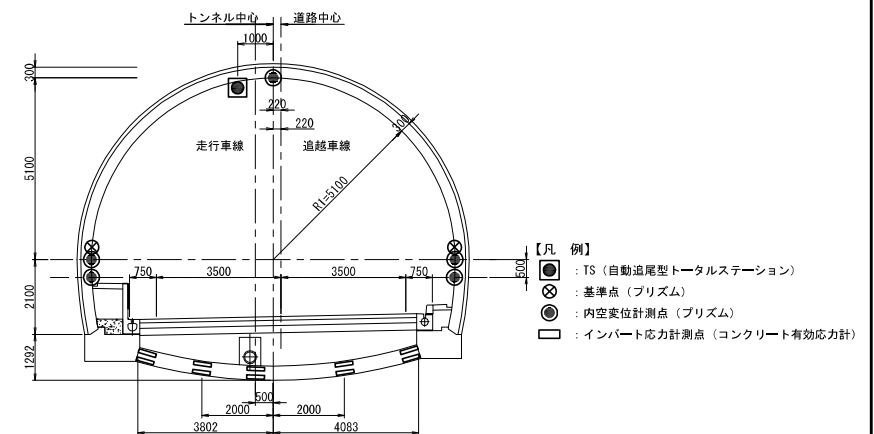
項 目	
インバートコンクリート 応力測定	
内空変位測定	37.6020MP 37.6120MP 37.6220MP 37.6320MP 37.6420MP 37.6520MP 37.6620MP 37.6720MP 37.6820MP 37.6920MP 37.7020MP 37.7120MP 37.7220MP 37.7320MP 37.7420MP 37.7520MP 37.7620MP 37.7720MP 37.7820MP 37.7920MP 37.8020MP 37.8120MP 37.8220MP 37.8320MP 37.8420MP 37.8520MP 37.8620MP 37.8720MP 37.8820MP 37.8920MP 37.9020MP 37.9120MP
オンラインシステム測定	
基準点	37.59820MP
TS設置位置	37.59820MP 37.6070MP 37.6320MP 37.6570MP 37.6820MP 37.7070MP 37.7320MP 37.7570MP 37.7820MP 37.8070MP 37.8320MP 37.8570MP 37.8820MP 37.9070MP

## 計測機器配置図 S=1:1000



項 目	
インバートコンクリート 応力測定	37.9420MP 37.9420MP
内空変位測定	37.9120MP 37.9220MP 37.9320MP 37.9420MP 37.9520MP 37.9620MP 37.9720MP 37.9820MP 38.0020MP 38.0120MP 38.0220MP
オンラインシステム測定	
基準点	
TS設置位置	37.9070MP 37.9320MP 37.9570MP 37.9820MP 38.0070MP

## 計測機器配置断面図 S=1:150



## 数量表（変状区間 2）

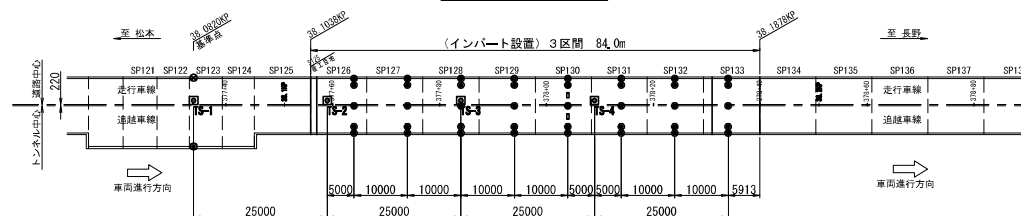
項 目	単位	数量	備考
インバートコンクリート応力測定(設置)	箇所	10	10箇所×1測線
インバートコンクリート応力測定(供用)	箇所・月	50	10箇所×5月
内空変位測定(設置・撤去)	箇所	215	5箇所×43測線
内空変位測定(供用)	箇所・月	5590	215箇所×26月
オンライン計測システム(設置・撤去)	式	1	
オンライン計測システム(供用)	月	26	

長野自動車道 明科トンネル 補強工事				
図面の種類	計測工図（１）（下り線） ＜変状区間２＞			
縮 尺	図示	図面番号	75 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社			

## 計測工図（２）（下り線）

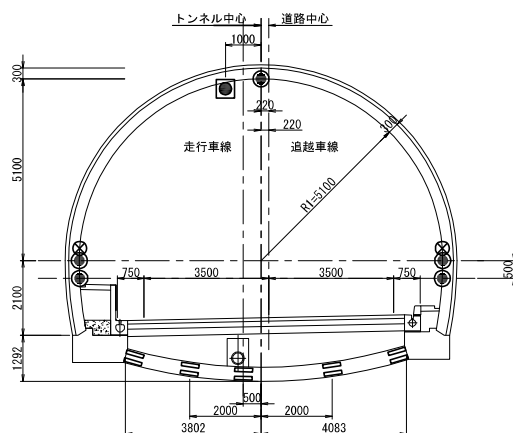
&lt;変状区間３&gt;

計測機器配置図 S=1:1000



項 目	
インバートコンクリート 応力測定	
内空変位測定	38.1120NP 38.1220NP 38.1320NP 38.1420NP 38.1520NP 38.1520NP 38.1620NP 38.1720NP 38.1820NP
オンラインシステム測定	
基準点	38.0830NP 38.0830NP
TS設置位置	38.0830NP 38.1070NP 38.1320NP 38.1570NP

計測機器配置断面図 S=1:150



## 【凡 例】

- : TS（自動追尾型トータルステーション）
- ⊗ : 基準点（プリズム）
- ⊙ : 内空変位計測点（プリズム）
- : インバート応力計測点（コンクリート有効応力計）

数量表（変状区間３）

項 目	単位	数量	備考
インバートコンクリート応力測定(設置)	箇所	10	10個×1測線
インバートコンクリート応力測定(供用)	箇所・月	50	10箇所×5月
内空変位測定(設置・撤去)	箇所	40	5個×8測線
内空変位測定(供用)	箇所・月	1040	40箇所×26月
オンライン計測システム(設置・撤去)	式	1	
オンライン計測システム(供用)	月	26	

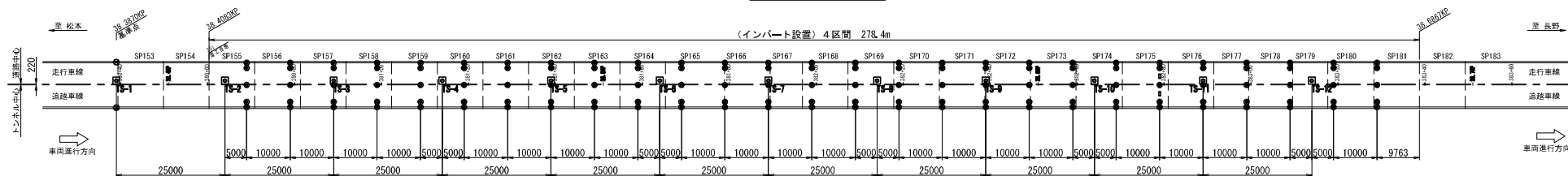
長野自動車道 明科トンネル 補強工事			
図面の種類	計測工図（２）（下り線） <変状区間３>		
縮 尺	図示	図面番号	76 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



## 計測工図（3）（下り線）

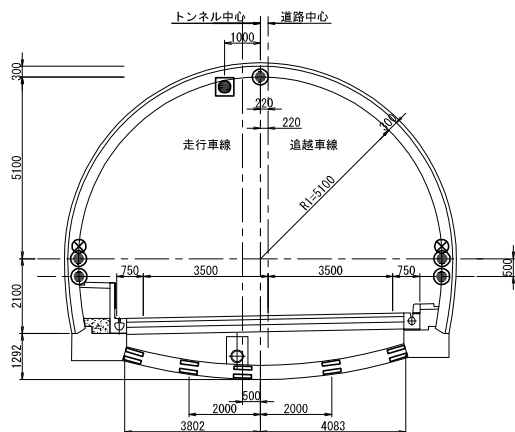
&lt;変状区間4&gt;

計測機器配置図 S=1:1000



項 目	
インバートコンクリート 応力測定	
内空変位測定	38. 417OMP 38. 427OMP 38. 437OMP 38. 447OMP 38. 457OMP 38. 467OMP 38. 477OMP 38. 487OMP 38. 497OMP 38. 507OMP 38. 517OMP 38. 527OMP 38. 537OMP 38. 547OMP 38. 557OMP 38. 567OMP 38. 577OMP 38. 587OMP 38. 597OMP 38. 607OMP 38. 617OMP 38. 627OMP 38. 637OMP 38. 647OMP 38. 657OMP 38. 667OMP 38. 677OMP
オンラインシステム測定	
基準点	38. 387OMP 38. 397OMP
TS設置位置	38. 387OMP 38. 412OMP 38. 437OMP 38. 462OMP 38. 487OMP 38. 512OMP 38. 537OMP 38. 562OMP 38. 587OMP 38. 612OMP 38. 637OMP 38. 662OMP

計測機器配置断面図 S=1:150



## 【凡 例】

- : TS (自動追尾型トータルステーション)
- ⊗ : 基準点 (プリズム)
- ⊙ : 内空変位計測点 (プリズム)
- : インバート応力計測点 (コンクリート有効応力計)

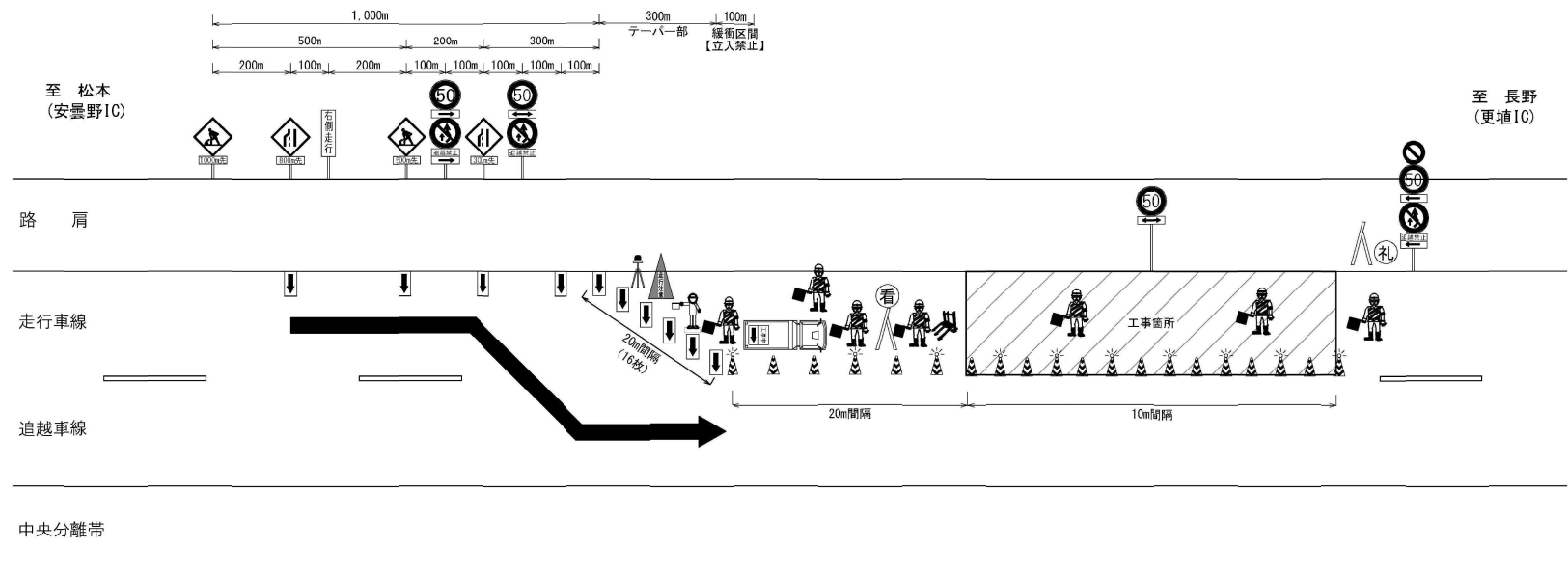
数量表 (変状区間4)

項 目	単位	数量	備考
インバートコンクリート応力測定(設置)	箇所	10	10箇所×1測線
インバートコンクリート応力測定(供用)	箇所・月	50	10箇所×5月
内空変位測定(設置・撤去)	箇所	135	5箇所×27測線
内空変位測定(供用)	箇所・月	3510	135箇所×26月
オンライン計測システム(設置・撤去)	式	1	
オンライン計測システム(供用)	月	26	

長野自動車道 明科トンネル 補強工事			
図面の種類	計測工図 (3) (下り線) <変状区間4>		
縮 尺	図示	図面番号	77 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

# 交通規制工図（１） 車線規制3km

78 / 204

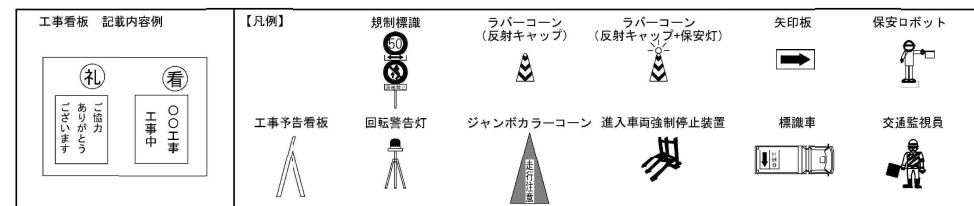


交通規制工 数量表

(1回当たり)

項 目	数量	単位	備 考
規制標識	9	枚	受注者用意
ラバーコーン	221	本	受注者用意
矢印板	19	枚	テーパー部に16枚 300m先看板、500m先看板、800m先看板付近にそれぞれ1枚
保安ロボット	1	台	受注者用意
標識等安全施設（標示板）	1	枚	受注者用意
標識等安全施設（保安灯）	44	本	受注者用意
標識等安全施設（回転警告灯）	1	台	受注者用意
標識等安全施設（ジャンボカラーコーン）	1	本	受注者用意
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	2	台	受注者用意
標識車	1	台	受注者用意
発炎筒（設置時・撤去時）	6	本	規制設置・撤去時 各3本ずつ（長野管マニュアルより）
交通監視員（テーパー部）	1	人・日	
交通監視員（工事車両出入口）	2	人・日	
交通監視員（施工箇所）	2	人・日	
交通監視員（規制保守）	2	人・日	

- ・テーパー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。
- ・工事（作業箇所）より手前の100m区間はラバーコーンを10m間隔で設置する。
- ・工事（作業箇所）手前に進入車両強制停止装置を設置する。
- ・発炎筒は交通規制工に含む。

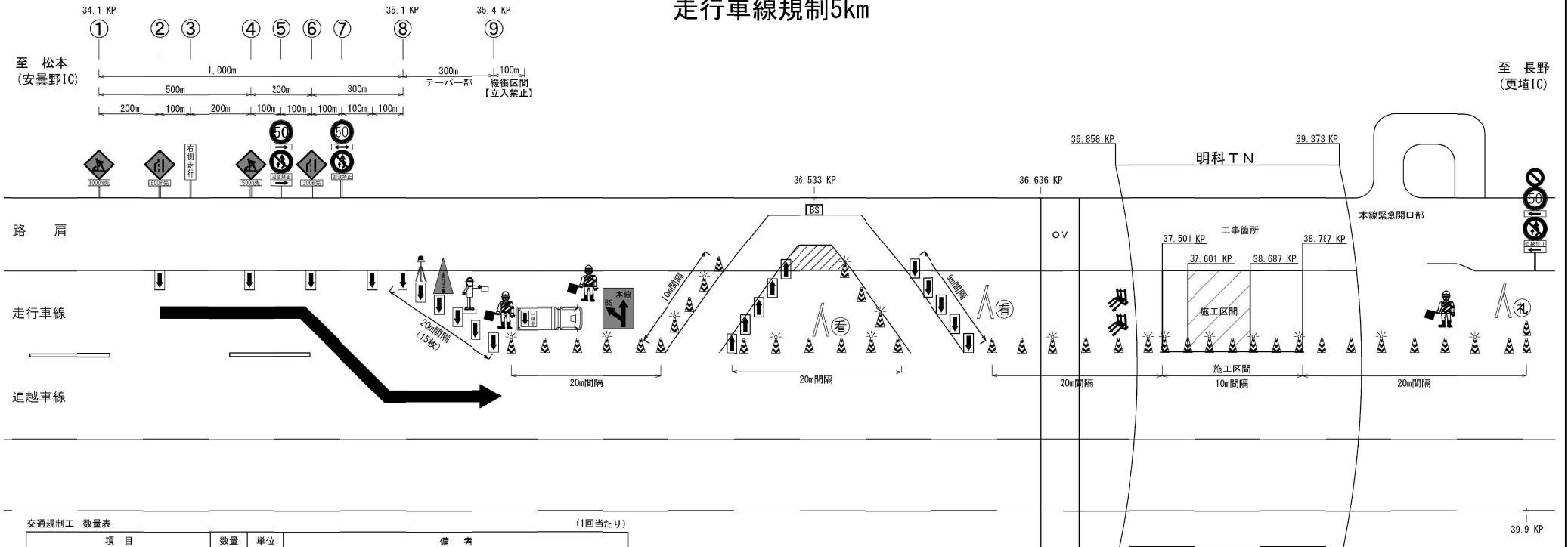


明科トンネル(下り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	交通規制図（１） 車線規制 3km		
縮 尺	—	図面番号	78 / 204
設計者社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

交通規制工図（2）  
走行車線規制5km

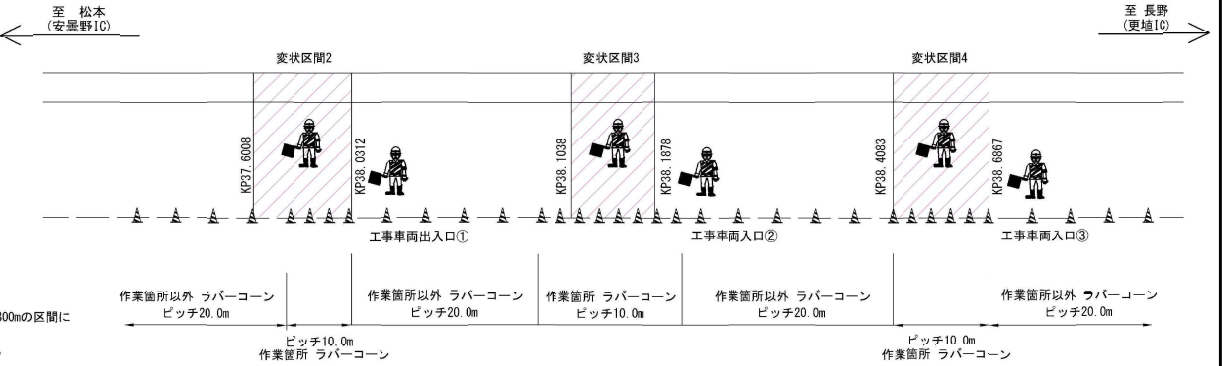
79 / 204



交通規制工 数量表 (1回当たり)

項目	数量	単位	備 考
規制標識	9	枚	受注者用意
ラバーコーン	300	本	受注者用意
矢印板	29	枚	テーパー部に16枚、BS減速車線、加速車線にそれぞれ5枚 300m先看板、500m先看板、800m先看板付近にそれぞれ1枚
保安ロケット	1	台	受注者用意
標識等安全施設（標示板）	1	枚	受注者用意
標識等安全施設（保安灯）	68	本	受注者用意
標識等安全施設（回転警告灯）	1	台	受注者用意
標識等安全施設（ジャンボカラーコーン）	1	本	受注者用意
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	2	台	2台1セットで使用するものとする。
標識車	1	台	受注者用意
発炎筒（設置時・撤去時）	6	本	規制設置・撤去時 各3本ずつ（長野管マニュアルより）
交通監視員（テーパー部）	1	人・日	
交通監視員（工事車両出入口）	3	人・日	
交通監視員（施工箇所）	3	人・日	
交通監視員（規制保守）	2	人・日	

- ・テーパー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。
- ・工事（作業箇所）より手前の100m区間はラバーコーンを10m間隔で設置する。
- ・工事（作業箇所）手前に進入車両強制停止装置を設置する。
- ・発炎筒は交通規制工に含む。
- ・保安灯に関して、TN入口から300m及び作業箇所から長野側に300mの区間に関してはラバーコーン2本につき1個配置し、上記以外の区間に関してはラバーコーン5本につき1個とする。



工事看板 記載内容例

【凡例】

規制標識

ラバーコーン（反射キャップ）

ラバーコーン（反射キャップ+保安灯）

矢印板

保安ロケット

工事予告看板

回転警告灯

ジャンボカラーコーン

進入車両強制停止装置

標識車

交通監視員

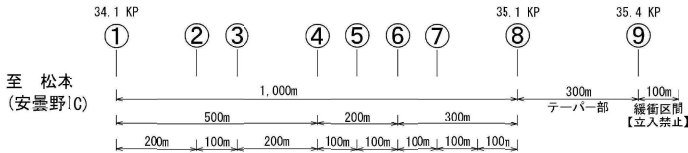
【3班施工の場合】

- ☆工事車両の誘導：交通監視員（施工箇所）
- ☆工事出入口：交通監視員（工事車両出入口）
- ☆規制保守：交通監視員

注)) 交通監視員：供用中の高速道路の路面上における工事等において一般通行車両及び工事関係者の安全を確保するための交通の監視、交通の誘導、機械等の誘導、規制機材の設置撤去、規制機材設置状況の監視・巡回及びこれらの施工に必要な車両の運転等に従事するもの。

明科トンネル(下り線)	
長野自動車道 明科トンネル補強工事	
図面の種類	交通規制図(2) 走行車線規制 5km
縮 尺	図面番号 79 / 204
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

交通規制工図（3）  
追越車線規制5km



至 松本  
(安曇野IC)

至 長野  
(更埴IC)

路 肩

走行車線

追越車線

中央分離帯

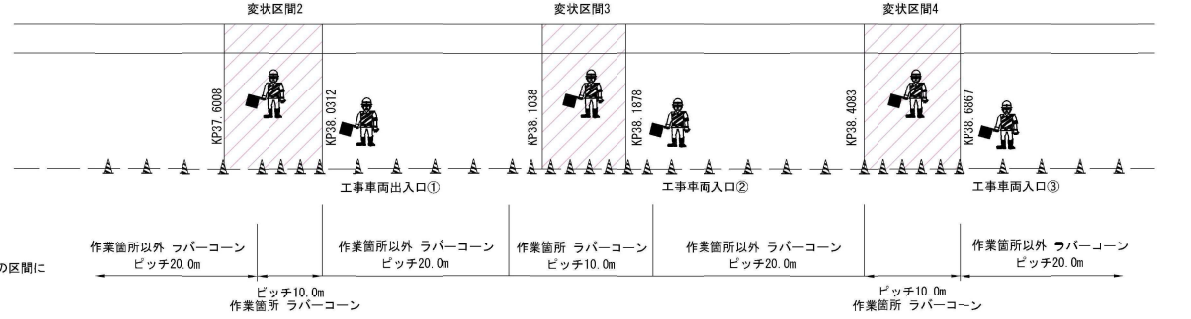
交通規制工 数量表

項 目	数量	単位	備 考	(1回当たり)
規制標識	9	枚		受注者用意
ラバーコーン	289	本		受注者用意
矢印板	19	枚	テーパー部に16枚 300m先看板、500m先看板、800m先看板付近にそれぞれ1枚	受注者用意
保安ロボット	1	台		受注者用意
標識等安全施設（標示板）	1	枚		受注者用意
標識等安全施設（保安灯）	69	本		受注者用意
標識等安全施設（回転警告灯）	1	台		受注者用意
標識等安全施設（ジャンボカラーコーン）	1	本		受注者用意
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	2	台	2台1セットで使用するものとする。	受注者用意
標識車	1	台		受注者用意
発炎筒（設置時・撤去時）	6	本	規制設置・撤去時 各3本ずつ（長野管マニュアルより）	受注者用意
交通監視員（テーパー部）	1	人・日		
交通監視員（工事車両出入口）	3	人・日		
交通監視員（施工箇所）	3	人・日		
交通監視員（規制保守）	2	人・日		

- ・テーパー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。
- ・工事（作業箇所）より手前の100m区間はラバーコーンを10m間隔で設置する。
- ・工事（作業箇所）手前に進入車両強制停止装置を設置する。
- ・発炎筒は交通規制工に含む。
- ・保安灯に関して、TN入口から300m及び作業箇所から長野側に300mの区間に関してはラバーコーン2本につき1個配置し、上記以外の区間に関してはラバーコーン5本につき1個とする。

至 松本  
(安曇野IC)

至 長野  
(更埴IC)



【3班施工の場合】

- ☆工事車両の誘導：交通監視員（施工箇所）
- ☆工事出入口：交通監視員（工事車両出入口）
- ☆規制保守：交通監視員

注) 交通監視員：供用中の高速道路の路面上における工事等において一般通行車両及び工事関係者の安全を確保するための交通の監視・交通の誘導、機械等の誘導、規制機材の設置撤去、規制機材設置状況の監視・巡回及びこれらの施工に必要な車両の運転等に従事するもの。

明科トンネル(下り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事	
図面の種類	交通規制図（3） 追越車線規制 5km
縮 尺	開示 図面番号 80 / 204
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

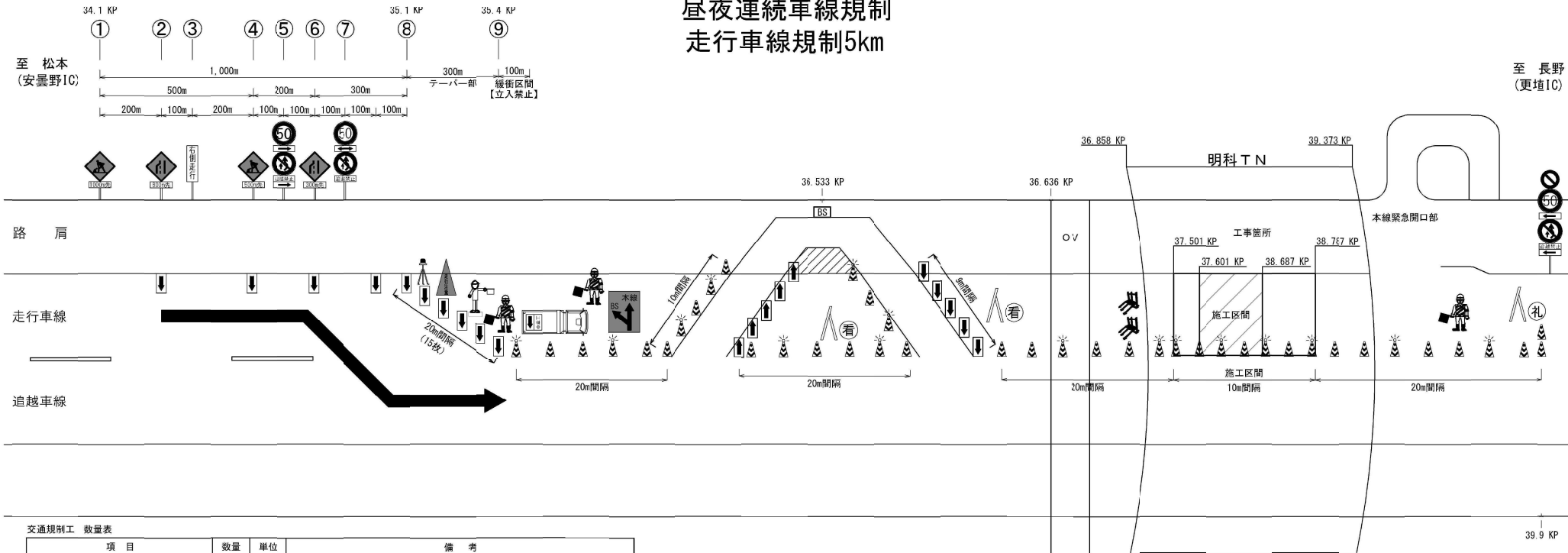
工事看板 記載内容例



【凡例】



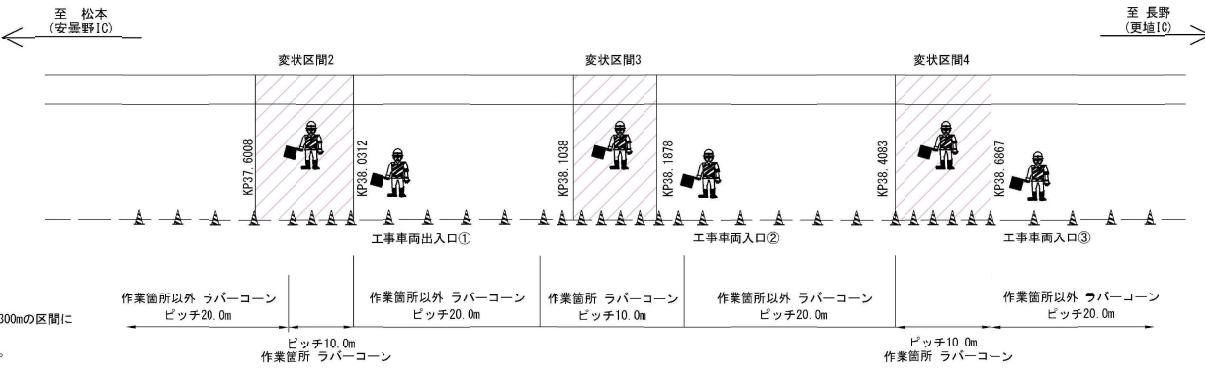
交通規制工図（４）  
昼夜連続車線規制  
走行車線規制5km



交通規制工 数量表

項目	数量	単位	備 考
規制標識	9	枚	
ラバーコーン	300	本	
矢印板	29	枚	テーパー部に16枚、BS減速車線、加速車線にそれぞれ5枚 300m先看板、500m先看板、800m先看板付近にそれぞれ1枚
保安ロケット	1	台	
標識等安全施設（標示板）	1	枚	
標識等安全施設（保安灯）	68	本	
標識等安全施設（回転警告灯）	1	台	
標識等安全施設（ジャンボカラーコーン）	1	本	
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	2	台	2台1セットで使用するものとする。
標識車	1	台	
発炎筒（設置時・撤去時）	6	本	規制設置・撤去時 各3本ずつ（長野管マニュアルより）
交通監視員（テーパー部）	1	人・日	
交通監視員（工事車両出入口）	3	人・日	
交通監視員（施工箇所）	3	人・日	
交通監視員（規制保守）	2	人・日	

- ・テーパー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。
- ・工事（作業箇所）より手前の100m区間はラバーコーンを10m間隔で設置する。
- ・工事（作業箇所）手前に進入車両強制停止装置を設置する。
- ・発炎筒は交通規制工に含む。
- ・保安灯に関して、TN入口から300m及び作業箇所から長野側に300mの区間に関してはラバーコーン2本につき1個配置し、上記以外の区間に関してはラバーコーン5本につき1個とする。



工事看板 記載内容例

【凡例】

規制標識

ラバーコーン（反射キャップ）

ラバーコーン（反射キャップ+保安灯）

矢印板

保安ロケット

工事予告看板

回転警告灯

ジャンボカラーコーン

進入車両強制停止装置

標識車

交通監視員

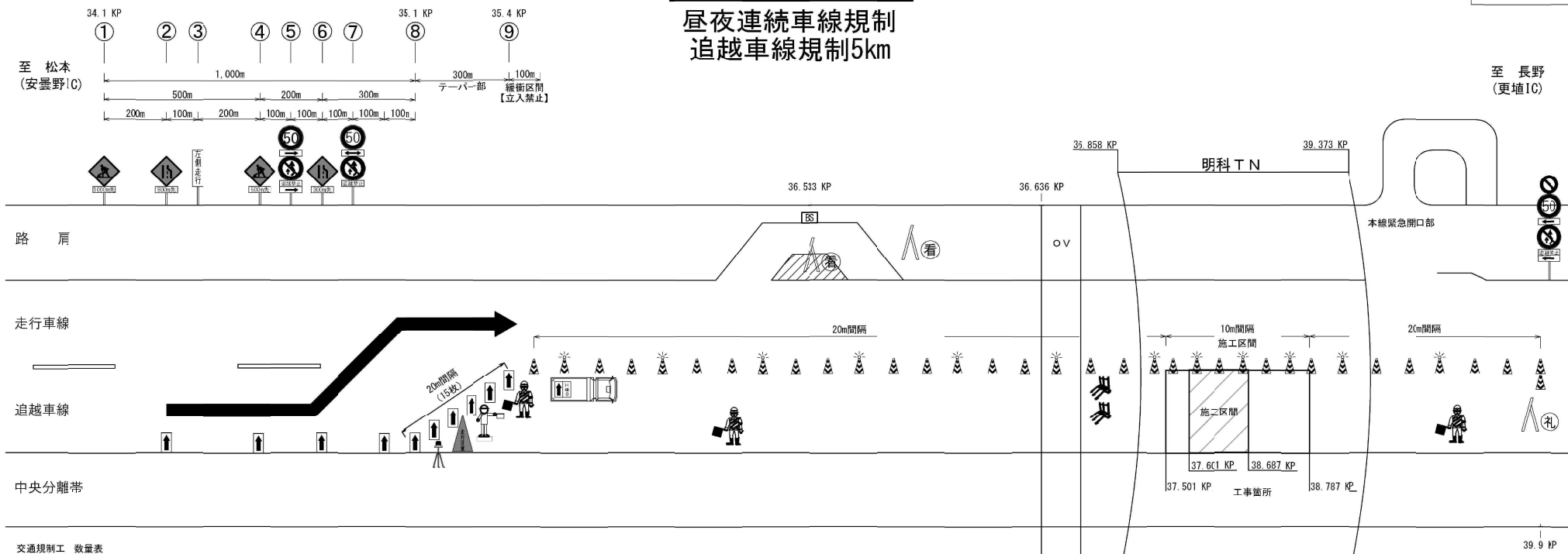
【3班施工の場合】

- ☆工事車両の誘導：交通監視員（施工箇所）
- ☆工事出入口：交通監視員（工事車両出入口）
- ☆規制保守：交通監視員

注) 交通監視員：供用中の高速道路の路面上における工事等において一般通行車両及び工事関係者の安全を確保するための交通の監視、交通の誘導、機械等の誘導、規制機材の設置撤去、規制機材設置状況の監視・巡回及びこれらの施工に必要な車両の運転等に従事するもの。

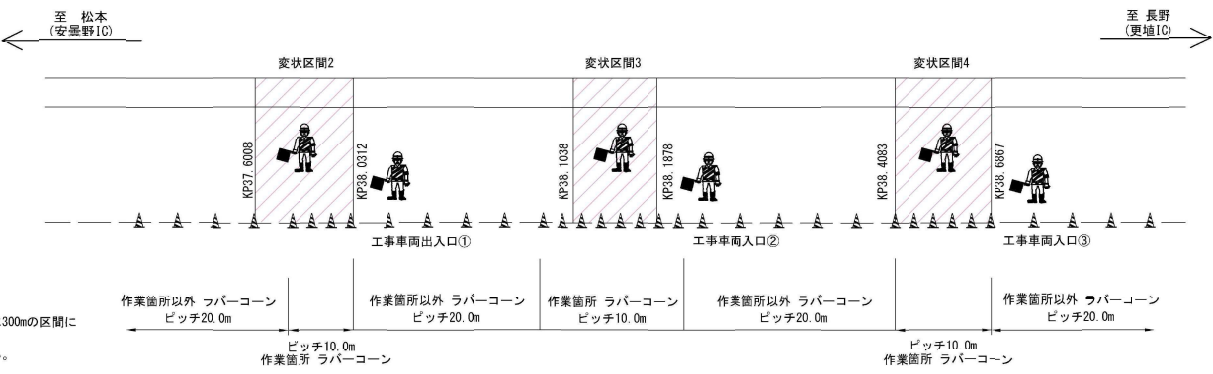
明科トンネル(下り線)			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	交通規制図(4)	図面番号	81 / 204
縮 尺	表示	図面番号	81 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 長野支社 長野工事事務所		

交通規制工図（5）  
昼夜連続車線規制  
追越車線規制5km



交通規制工 数量表			
項目	数量	単位	備 考
規制標識	9	枚	受注者用意
ラバーコーン	289	本	受注者用意
矢印板	19	枚	テーパー部に16枚 300m先看板、500m先看板、800m先看板付近にそれぞれ1枚
保安ロボット	1	台	受注者用意
標識等安全施設（標示板）	1	枚	受注者用意
標識等安全施設（保安灯）	69	本	受注者用意
標識等安全施設（回転警告灯）	1	台	受注者用意
標識等安全施設（ジャンボカラーコーン）	1	本	受注者用意
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	2	台	2台1セットで使用するものとする。
標識車	1	台	受注者用意
発炎筒（設置時・撤去時）	6	本	規制設置・撤去時 各3本ずつ（長野マニュアルより）
交通監視員（テーパー部）	1	人・日	
交通監視員（工事車両出入口）	3	人・日	
交通監視員（施工箇所）	3	人・日	
交通監視員（規制保守）	2	人・日	

- ・テーパー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。
- ・工事（作業箇所）より手前の100m区間はフバーコーンを10m間隔で設置する。
- ・工事（作業箇所）手前に進入車両強制停止装置を設置する。
- ・発炎筒は交通規制工に含む。
- ・保安灯に関して、TN入口から300m及び作業箇所から長野側に300mの区間に関してはラバーコーン2本につき1個配置し、上記以外の区間に関してはラバーコーン5本につき1個とする。



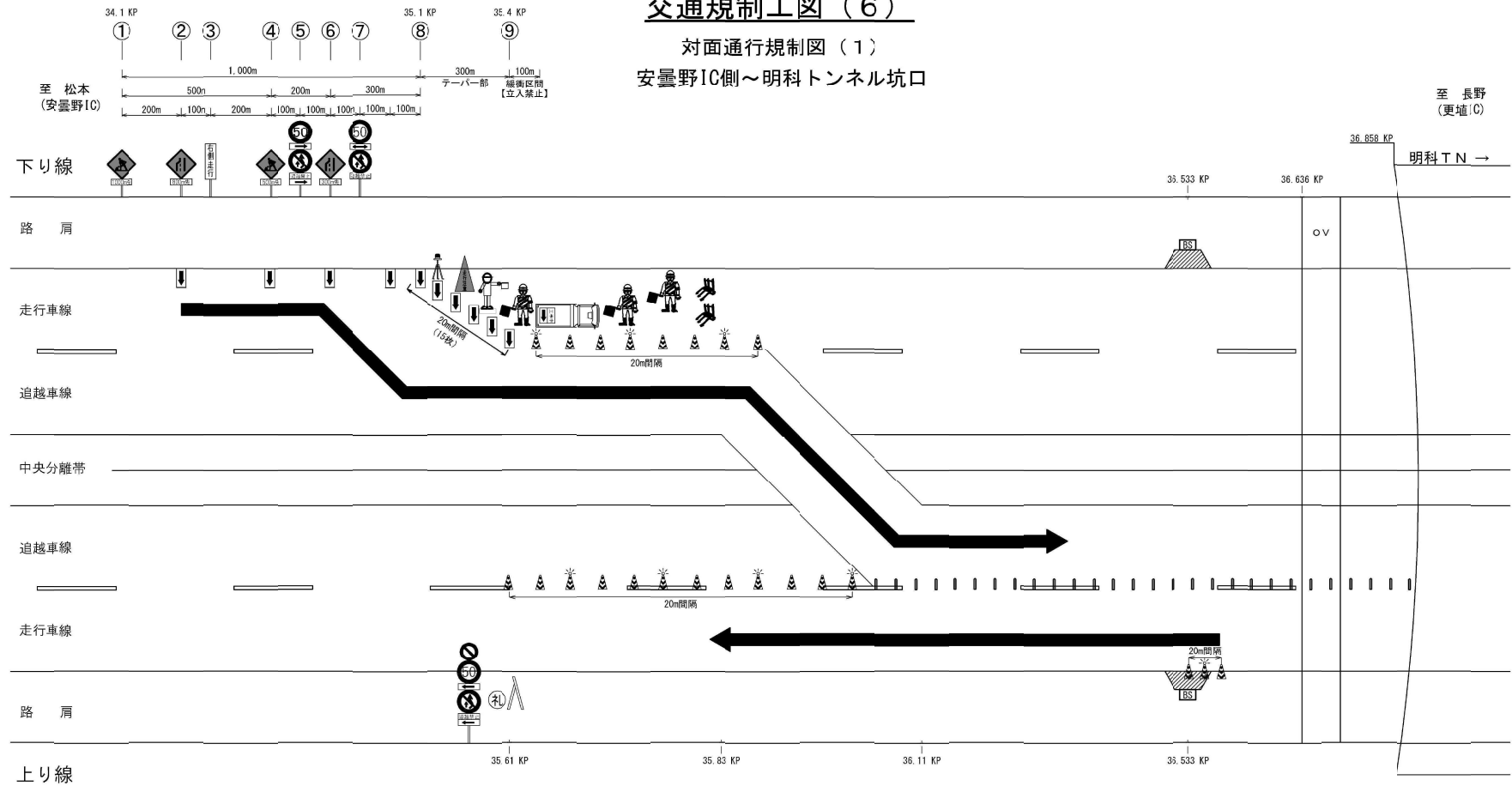
工事看板 記載内容例

【凡例】

規制標識	ラバーコーン (反射キャップ)	ラバーコーン (反射キャップ+保安灯)	矢印板	保安ロボット
工事予告看板	回転警告灯	ジャンボカラーコーン	進入車両強制停止装置	標識車
交通監視員				

明科トンネル(下り線)	
長野自動車道 明科トンネル補強工事	
図面の種類	交通規制図(5) 昼夜連続車線規制 追越車線規制 5km
縮 尺	開示 図面番号 82 / 204
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 長野支社 長野工事事務所

## 交通規制工図（6）

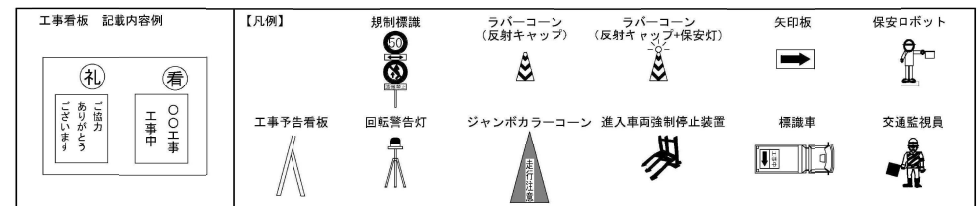
対面通行規制図（1）  
安曇野IC側～明科トンネル坑口

交通規制工 数量表

項目	数量	単位	備考	
規制標識	18	枚		受注者用意
ラバーコーン	63	本		受注者用意
矢印板	38	枚	テーバー部に16枚 300m先看板、500m先看板、800m先看板付近にそれぞれ1枚	受注者用意
保安ロボット	2	台		受注者用意
標識等安全施設（標示板）	2	枚		受注者用意
標識等安全施設（保安灯）	10	本		受注者用意
標識等安全施設（回転警告灯）	2	台		受注者用意
標識等安全施設（ジャンボカラーコーン）	2	本		受注者用意
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	4	台	2台1セットで使用するものとする。	受注者用意
標識車	2	台		受注者用意
発炎筒（設置時・撤去時）	12	本	規制設置・撤去時 各3本ずつ（長野管マニュアルより）	受注者用意
交通監視員（テーバー部）	2	人・日		
交通監視員（工事車両出入口）	2	人・日		
交通監視員（施工箇所）	3	人・日		
交通監視員（規制保守）	2	人・日		

- ・テーバー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。
- ・工事（作業箇所）より手前の100m区間はラバーコーンを10m間隔で設置する。
- ・工事（作業箇所）手前に進入車両強制停止装置を設置する。
- ・発炎筒は交通規制工に含む。

- ・ラバーコーンに関して、  
安曇野側：上り線12個、下り線22個（設置区間 35.4KP～35.83KP）  
長野側：上り線、下り線各12個（設置区間 40.17KP～40.39KP）  
明科BS入口に5個
- ・交通規制工（7）の数量を含む。



明科トンネル（下り線）

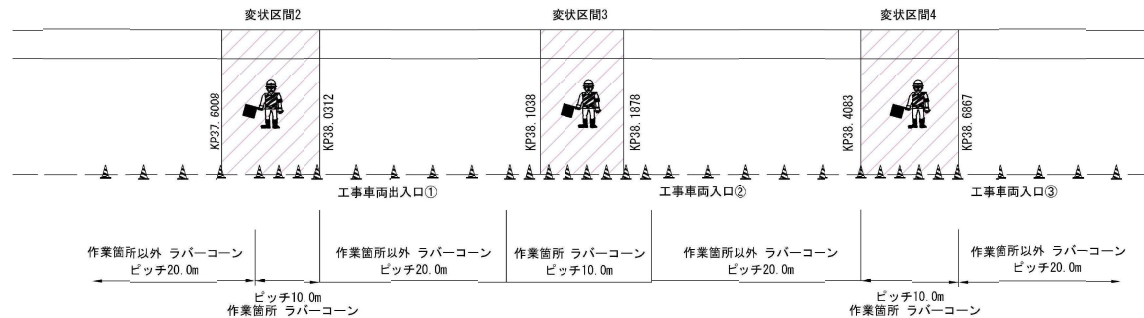
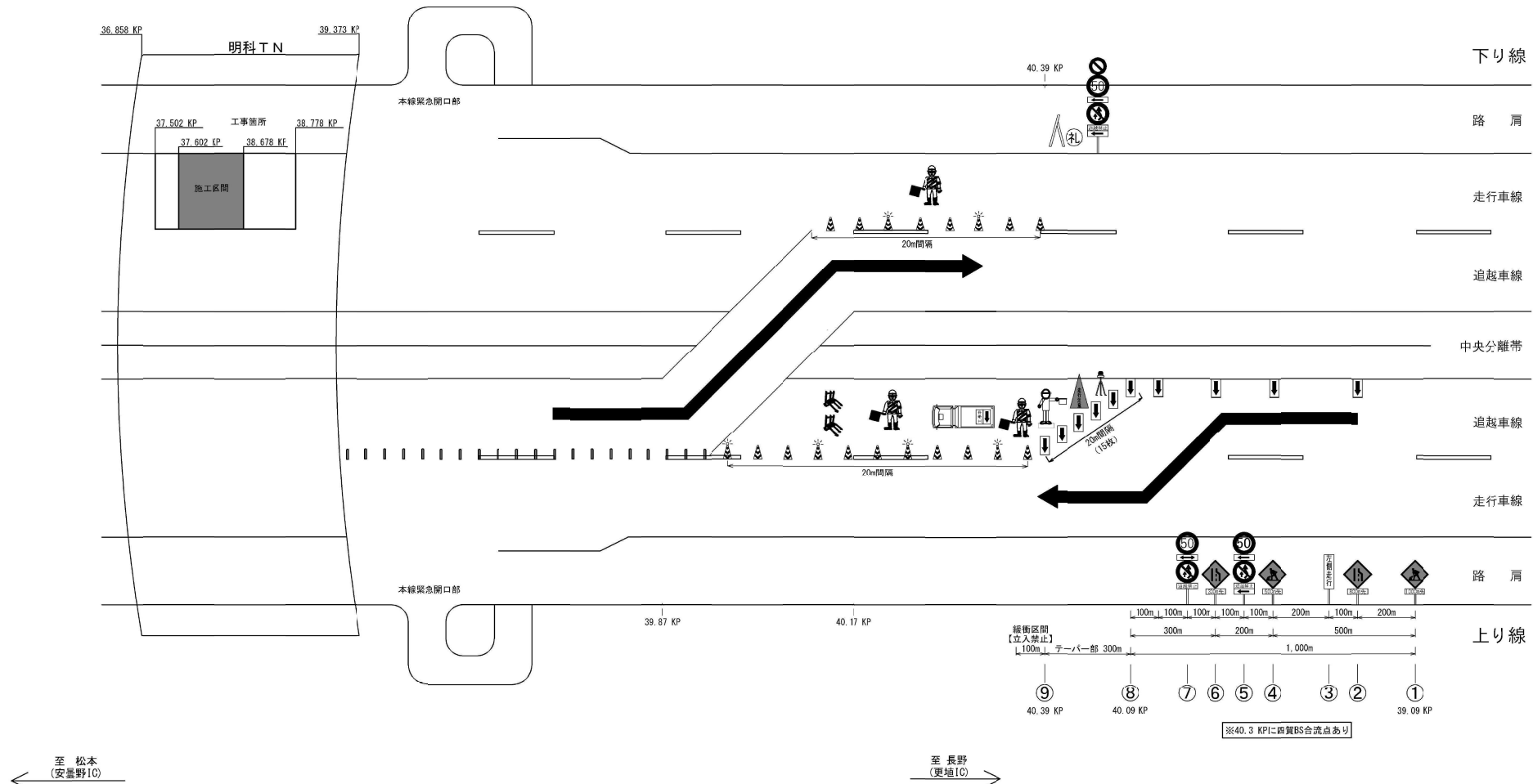
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	交通規制図（6） 対面通行規制図（1） 安曇野IC側～明科トンネル坑口		
縮尺	図示	図面番号	83 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



# 交通規制工図（7）

84 / 204

## 対面通行規制図（2） 明科トンネル坑口～長野IC側



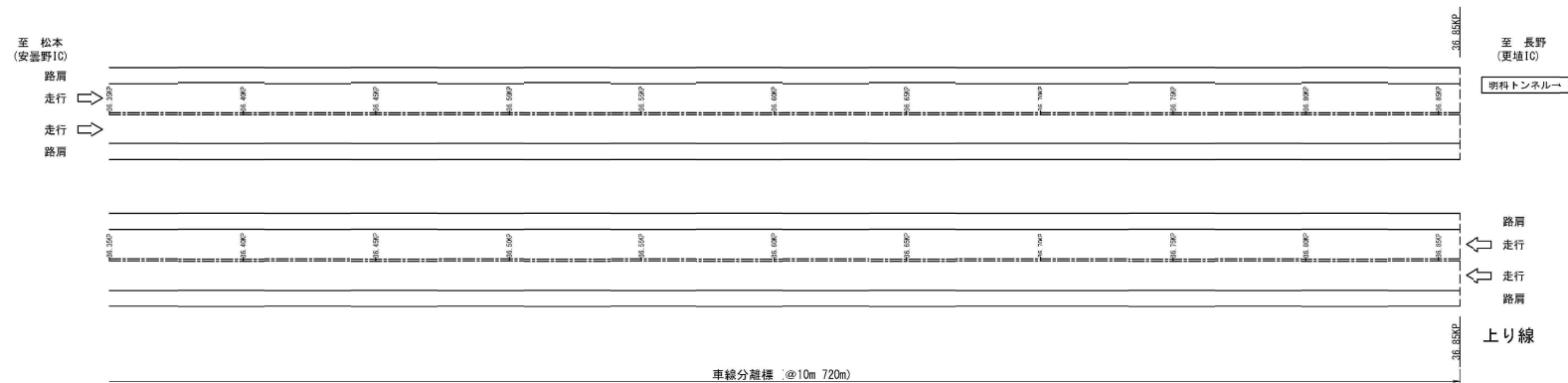
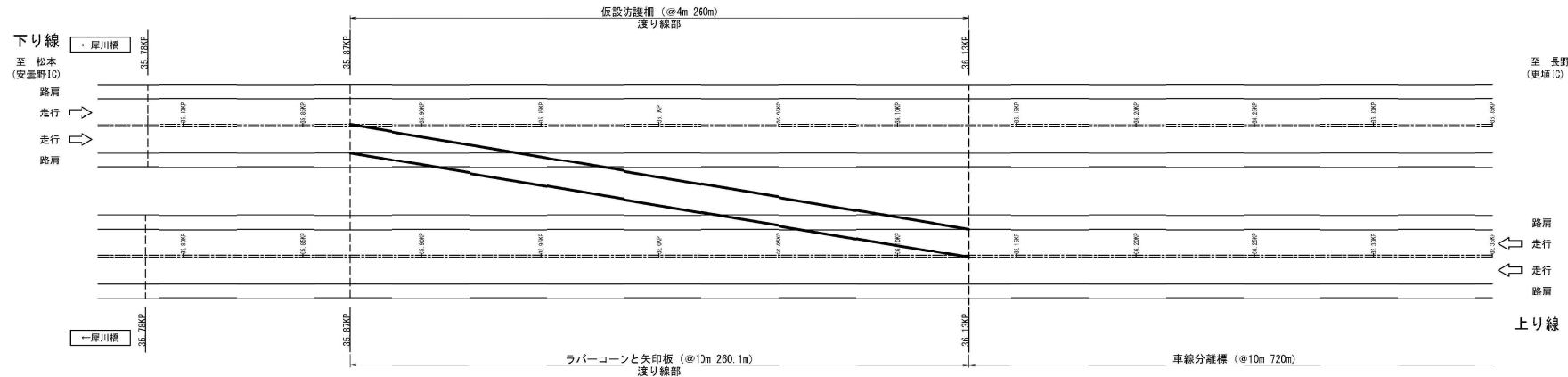
明科トンネル(下り線)				
長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類	交通規制図(7) 対面通行規制図(2) 明科トンネル坑口～長野IC側			
縮尺	図示	図面番号	84 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			



## 交通規制工図（8）

## 対面通行規制図（3）

## 平面図 安曇野IC側



対面通行規制 数量表

項目	単位	数量	備考
仮設移動式鋼製防護柵	基	24	非常駐車帯開口部にそれぞれ8基 ※1
衝撃緩和器具	基	6	非常駐車帯開口部にそれぞれ2基 ※2
車線分離標 ボール	基	122	安曇野側：73基 長野側：49基 ※2
仮設防護柵	基	140	安曇野側：65基、長野側：75基 ※2
ラバーコーン	個	30	安曇野側：14個、長野側：16個 ※2
矢印板	個	28	安曇野側：13個、長野側：15個 ※2

※1：貸与品が受注者用意となる可能性がある

※2：受注者用意

・この数量表の数量は、「対面通行規制図（3）～（5）平面図」の総数量である。

・この数量表に記載している項目に関する施工は、対面通行規制の単価の中を含むものとする。

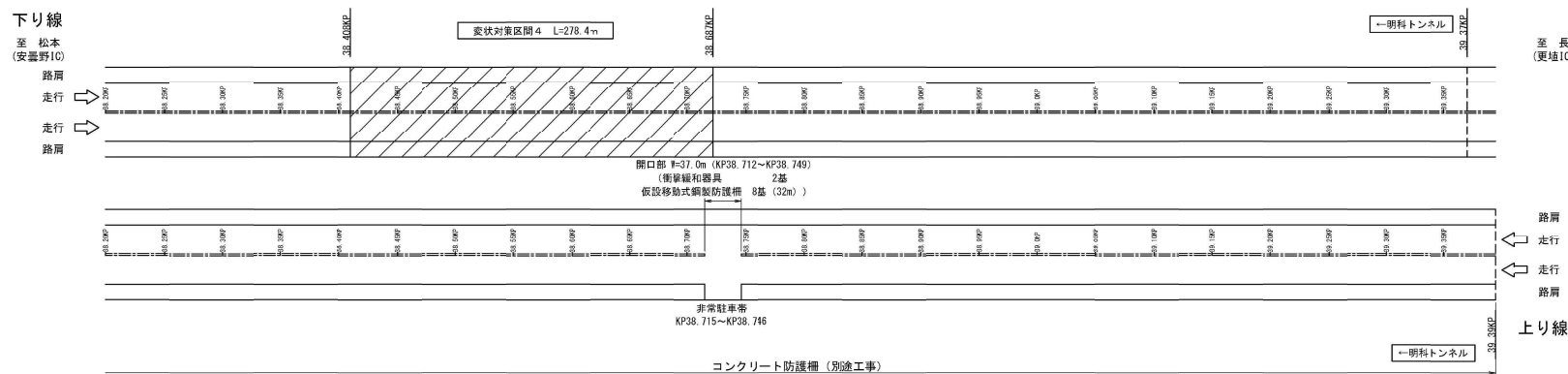
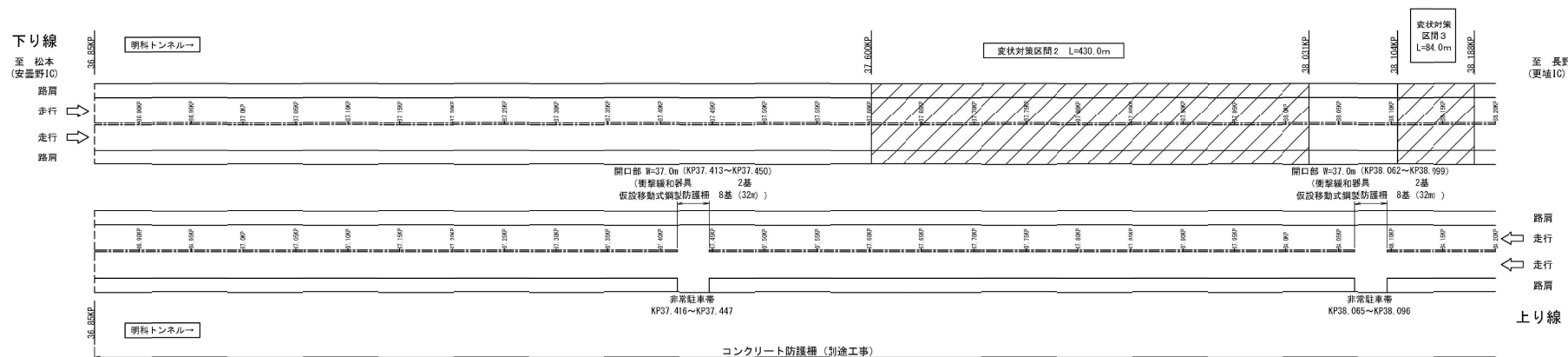
明科トンネル（下り線）

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	交通規制工図（8） 対面通行規制図（3） 平面図 安曇野IC側		
縮尺	—	図面番号	85 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

## 交通規制工図（9）

## 対面通行規制図（4）

## 平面図 トンネル部



明科トンネル (下り線)

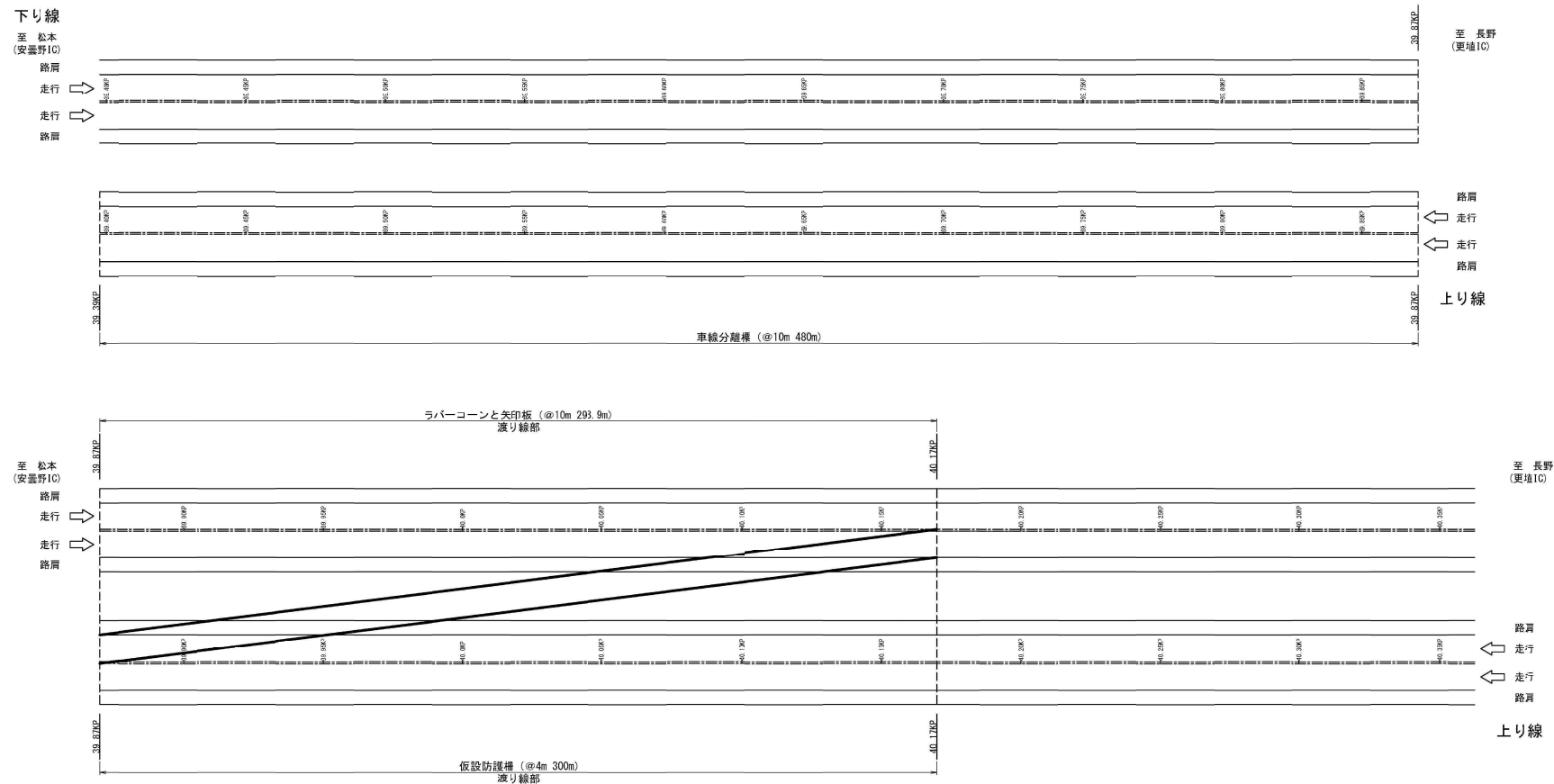
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	交通規制工図 (9) 対面通行規制図 (4) 平面図 トンネル部		
縮 尺	—	図面番号	86 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

# 交通規制工図（１０）

87 / 204

## 対面通行規制図（５）

平面図 長野IC側



明科トンネル（下り線）

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	交通規制工図（１０） 対面通行規制図（５） 平面図 長野IC側		
縮 尺	—	図面番号	87 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

## 対面通行規制図（６）

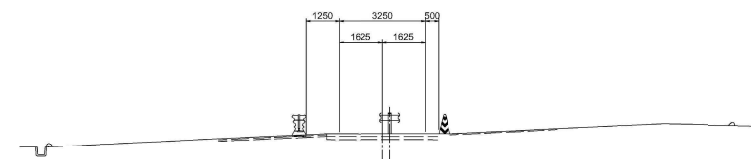
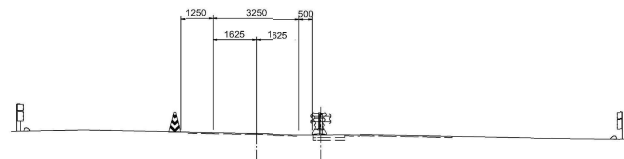
断面図 S=1:100

（安曇野側）

（長野側）

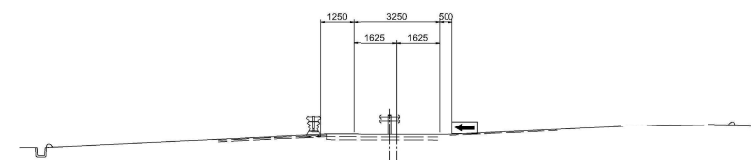
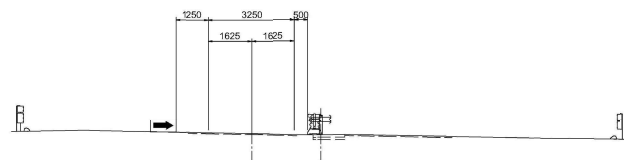
STA.355+60  
STA.0+80.065

STA.396+60  
STA.1+40.116



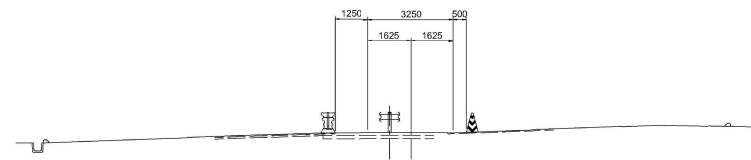
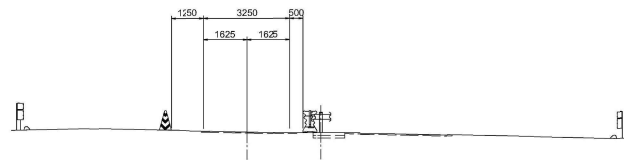
STA.355+50  
STA.0+70.065

STA.396+50  
STA.1+30.116



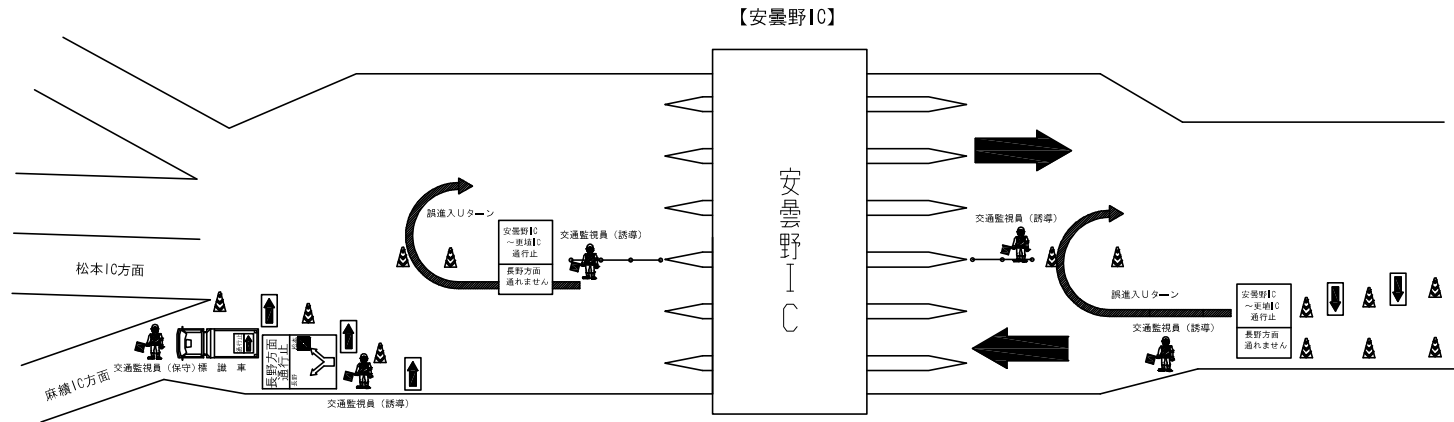
STA.355+40  
STA.0+60.049

STA.396+40  
STA.1+20.077



明科トンネル（下り線）			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	交通規制工図（１１） 対面通行規制図（６） 断面図		
縮尺	—	図面番号	88 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

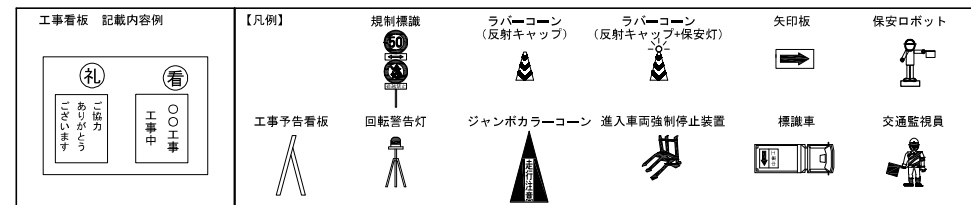
## 交通規制工図（12）



(1回当たり)

項 目	数量	単位	備 考
規制標識	0	枚	受注者用意
ラバーコーン	11	本	受注者用意
矢印板	7	枚	10内3枚、10外テーパー部4枚 受注者用意
保安ロボット	0	台	受注者用意
標識等安全施設（標示板）	0	枚	受注者用意
標識等安全施設（保安灯）	11	本	ラバーコーン1本につき1個 受注者用意
標識等安全施設（回転警告灯）	0	台	受注者用意
標識等安全施設（ジャンボカラーコーン）	0	本	受注者用意
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	0	台	受注者用意
標識車	1	台	受注者用意
発炎筒（設置時・撤去時）	0	本	受注者用意
交通監視員（規制保守）	1	人・日	
交通監視員（誘導）	4	人・日	

- ・テーパ一部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。



明科トンネル(下り線)

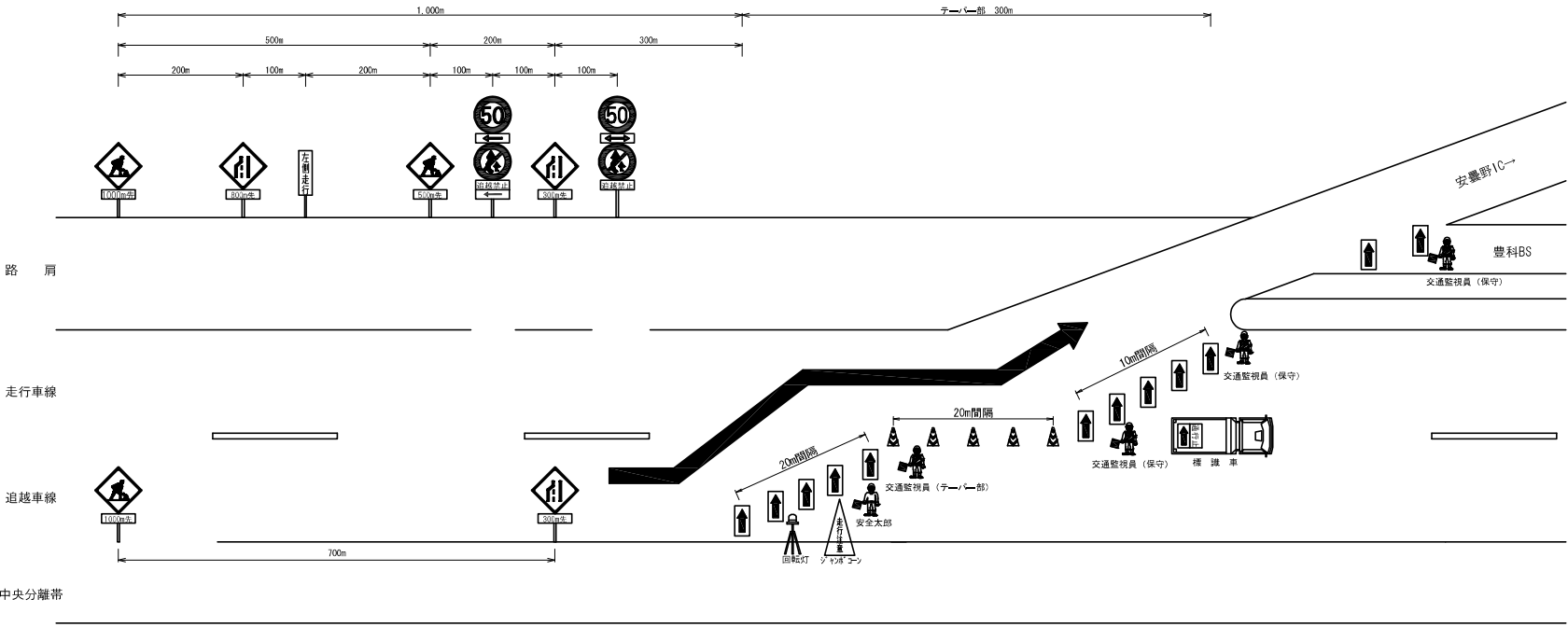
長野自動車道 明科トンネル補強工事		
図面の種類	交通規制図 (12) 【通行止め閉鎖箇所 (安曇野 C①)】	
縮 尺	—	図面番号 89 / 204
設計会社名		
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所	

【通行止め閉鎖箇所（安曇野IC②）】

至 松本IC

【安曇野IC】

至 麻績IC



交通規制工 数量表

(1回当たり)

項 目	数量	単位	備 考
規制標識	9	枚	受注者用意
ラバーコーン	6	本	受注者用意
矢印板	16	枚	作業部
保安ロボット	1	台	受注者用意
標識等安全施設（標示板）	0	枚	受注者用意
標識等安全施設（保安灯）	6	本	ラバーコーン1本につき1個
標識等安全施設（回転警告灯）	1	台	受注者用意
標識等安全施設（ジャンボカラーコーン）	1	本	受注者用意
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	0	台	受注者用意
標識車	1	台	受注者用意
発炎筒（設置時・撤去時）	6	本	規制設置・撤去時 各6本ずつ（長野管マニュアルより）
交通監視員（規制保守）	3	人・日	
交通監視員（作業部）	1	人・日	

・ 作業部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。

工事看板 記載内容例

【凡例】

規制標識: 50km/h speed limit sign with a red circle and slash.

ラバーコーン (反射キャップ): Rubber cone with reflective cap.

ラバーコーン (反射キャップ+保安灯): Rubber cone with reflective cap and safety light.

矢印板: Arrow board.

保安ロボット: Security robot.

工事予告看板: Construction advance sign.

回転警告灯: Rotating warning light.

ジャンボカラーコーン: Jumbo color cone.

進入車両強制停止装置: Vehicle entry forced stop device.

標識車: Signage vehicle.

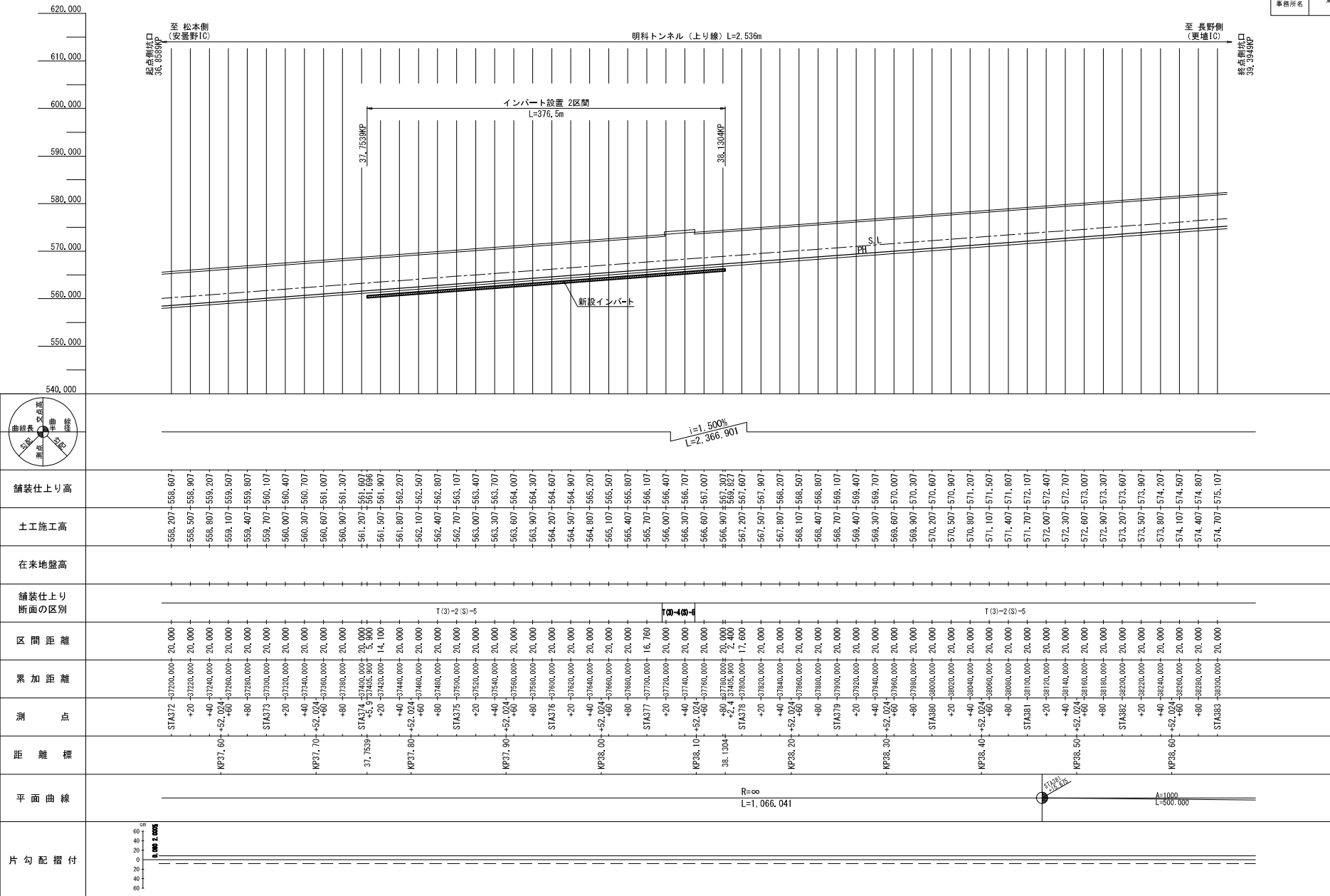
交通監視員: Traffic monitor.

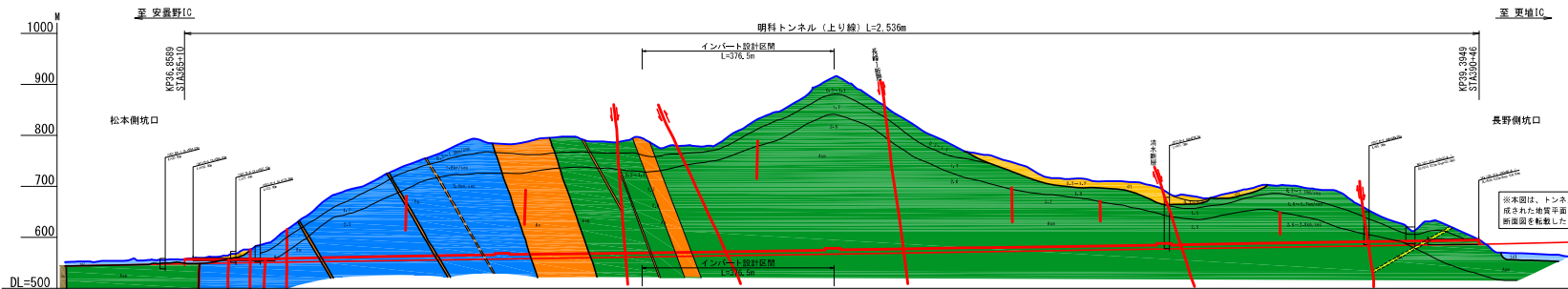
明科トンネル(下り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	交通規制図（13） 【通行止め閉鎖箇所（安曇野IC②）】		
縮 尺	図示	図面番号	90 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

縦断図 V=1: 800  
H=1: 4,000  
明科トンネル（上り線）

図面の種類	縦断面図		
縮 尺	V=1: 800 H=1:4000	図面番号	91 / 204
設計会社名	応用地質株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



NATMショートベンチカット工法[illegible]

時代	地名	地名	記号	記事
第三紀	沖積層	堆積土	丁	河原 / 沖積層の堆積土が、砂礫主体。
	沖積層	重層堆積物 (礫層)	41	礫層 / 礫層は、礫・砂・泥に分ち、礫層に礫が主。
	沖積層	沖積層	41	川谷川沿いの河川、河原に主。
第四紀	浸透層	砂礫層	50	砂礫層と堆積土の層に分ち、礫が主。
	浸透層	高位粘土層 堆積物	120	礫層・礫層の礫層に分ち、礫が主。
	大礫層 (礫層)	灰泥質礫層	51	礫層・礫層に分ち、礫が主。
第三紀	黄土地	砂礫層	41	砂礫層 / 砂礫層は、砂・礫・砂・礫 (sand) に主。
	砂礫層	砂礫層	41	砂礫層 / 砂礫層は、砂・礫・砂・礫 (sand) に主。
	砂礫層	砂礫層	41	砂礫層 / 砂礫層は、砂・礫・砂・礫 (sand) に主。
第四紀	別所層	黄色土	51	別所層 / 別所層は、砂・礫・砂・礫 (sand) に主。

地質平面圖・地質斷面圖凡例

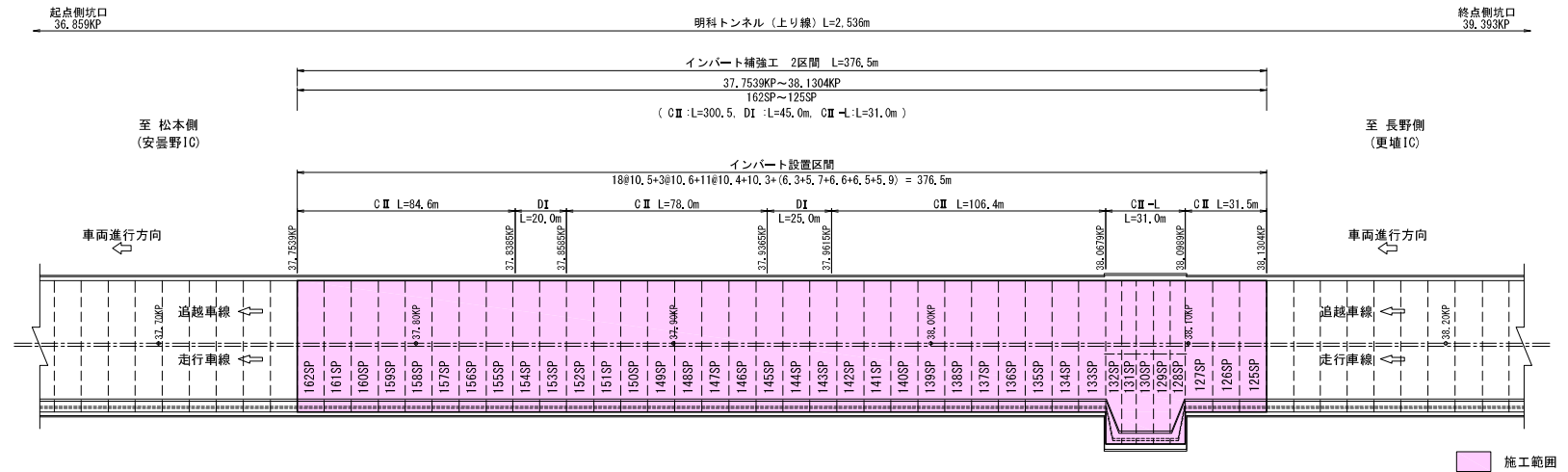
記号	記事
	断層（実在および推定）
	断層（伏在）矢印は傾斜の方向
	地層の境界
	背斜軸
	向斜軸
	地すべり、崖線地形
	地層の走行、傾斜
	砂岩岩脈の走行、傾斜
	節理の走行、傾斜、間隔（cm）
	露頭
	破砕帯





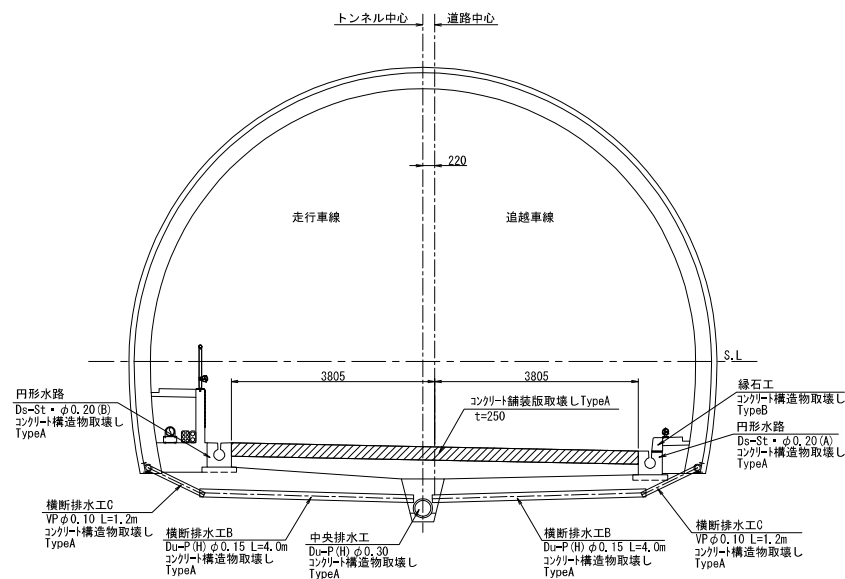
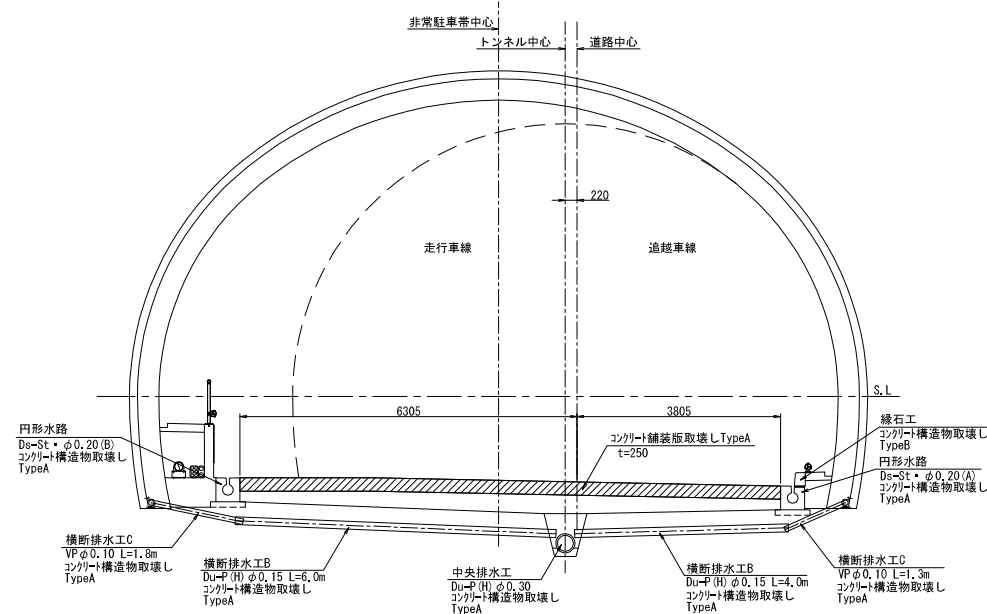


長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	標準断面図 (3) (0Ⅱ-Ⅰパターン)		
縮 尺	1:100	図面番号	95 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



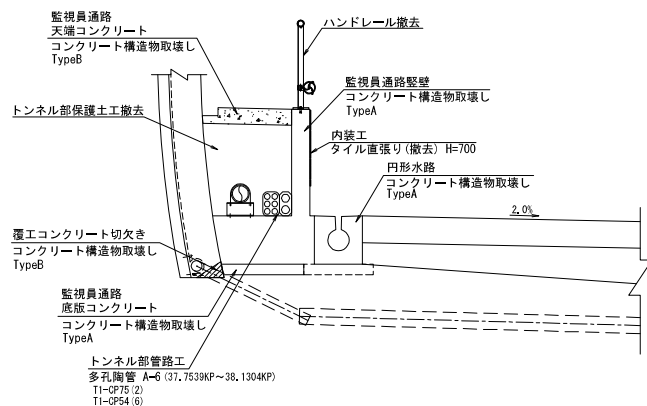
明科トンネル（上り線）			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	全体概要図		
縮尺	V=1: 400 H=1:2,000	図面番号	96 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

## 撤去工断面図

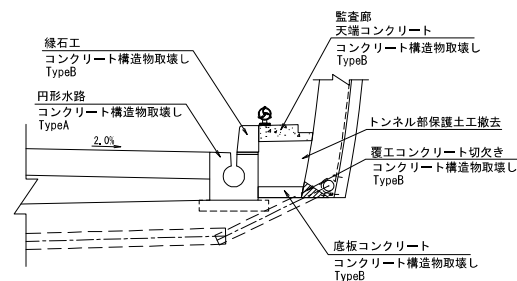
断面図 S=1:100  
(C II, D I 断面)断面図 S=1:100  
(C II-L 断面)

詳細図 S=1:50

## 走行車線



## 追越車線



明科トンネル (上り線)

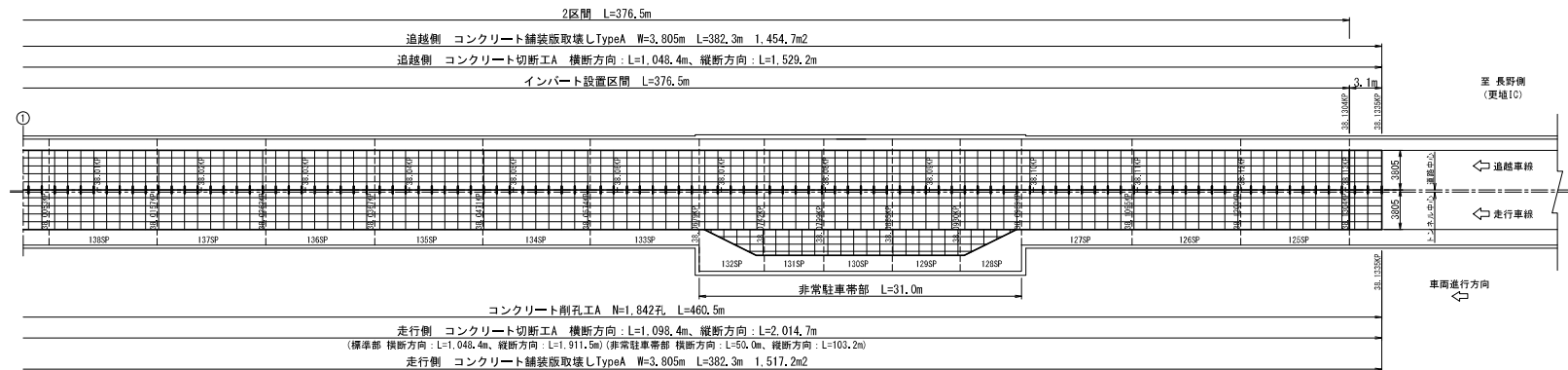
長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類		撤去工断面図		
縮尺	図示	図面番号	97 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

### 構造物等取壊し工図(1)

( コンクリート舗装版 )

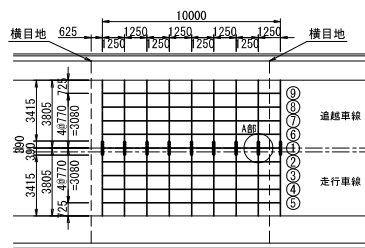
( コンクリート切断工A・コンクリート削孔工A )

平面图 S=1:500



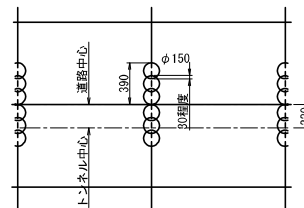
コンクリート舗装版切断・削孔  
平面図 S=1:300

平面图 S=1:300



A部：コンクリート削孔工A 詳細図  
平面図 S=1:50

平面图 S=1:50



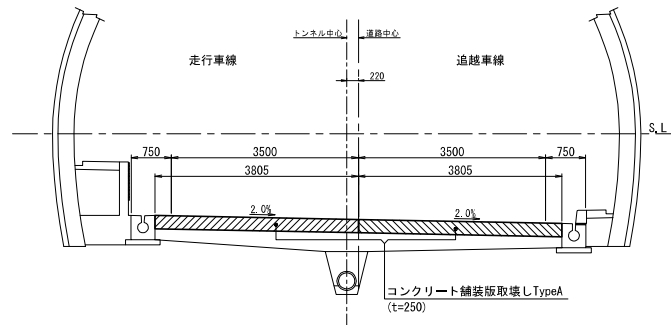
明科トンネル（上り線）

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	構造物等取壊し工図(1) (コンクリート補装版) (コンクリート切断工・コンクリート削凡工)		
縮 尺	1:500	図面番号	98 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

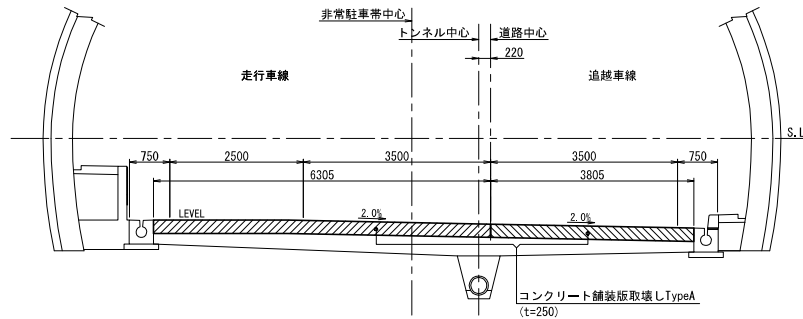
**構造物等取壊し工図(2)**  
**( コンクリート舗装版 )**  
( コンクリート切断工A・コンクリート削孔工A )

断面図 S=1:100  
( コンクリート切断工A )

CII,DI 区間

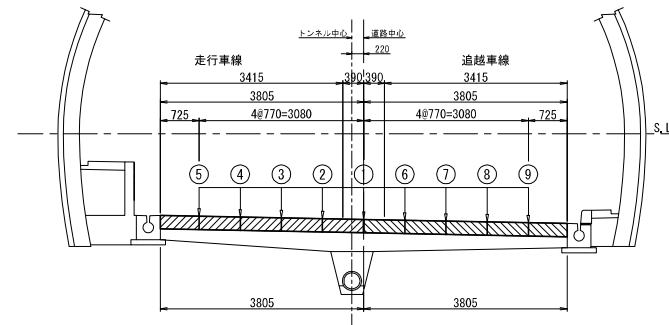


CII-L区間

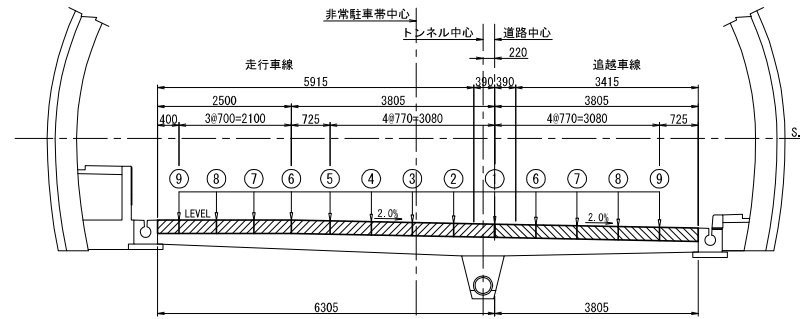


切断位置詳細図 S=1:100  
( コンクリート切断工A )

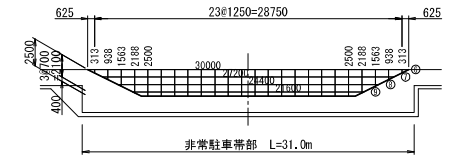
CII,DI 区間



CII-L区間



非常駐車帯部 平面図 S=1:500  
( CII-L区間 )



コンクリート切断工A 数量表

区間	車線 区分	延長 (m)	コンクリート切断工A					コンクリート削孔工A		摘要
			横断方向		縦断方向		数量 (m)	削孔数 (孔)	削孔深 累計延長 (m)	
			本数 (本)	延長 (m)	本数 (本)	延長 (m)				
2区間	追越側	382.3	307	1,048.4	4	1,529.2	2,577.6	921	230.3	
	走行側	382.3	307	1,048.4	5	1,911.5	2,959.9	921	230.3	
	走行側 非常駐車帯部	30.0	24	50.0	4	103.2	153.2	-	-	
	合計			2,146.8		3,543.9	5,690.7	1,842	460.5	

コンクリート舗装版取壊しTypeA 数量表

区間	車線区分	延長 (m)	厚さ (cm)	幅員 (m)	数量 (m2)	摘要
2区間	追越側	382.3	25	3.805	1,454.7	
	走行側	382.3	25	3.805	1,454.7	
	走行側 非常駐車帯部	30.0	25	3.805	62.5	
	合計	764.6			2,971.9	

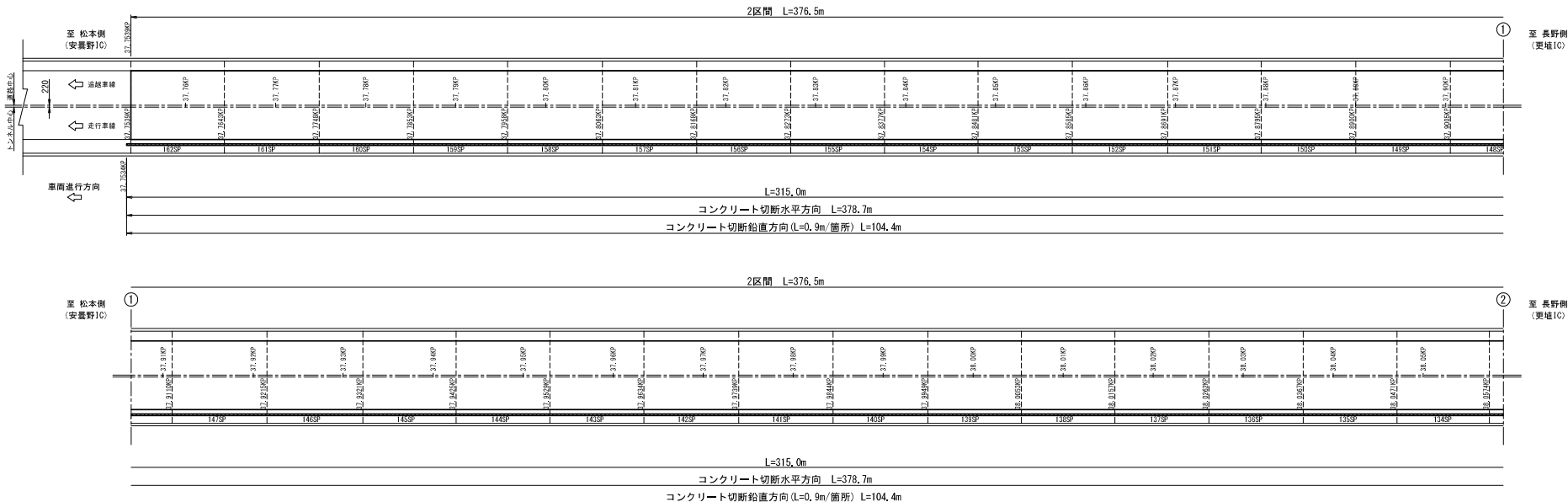
明科トンネル (上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	構造物等取壊し工図(2) (コンクリート舗装版) (コンクリート切断工A・コンクリート削孔工A)		
縮尺	図示	図面番号	99 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

コンクリート切断工(1)

( コンクリート切断工C1 )

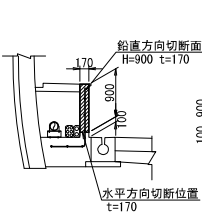
平面図 S=1:500  
(監視員通路壁切斷)



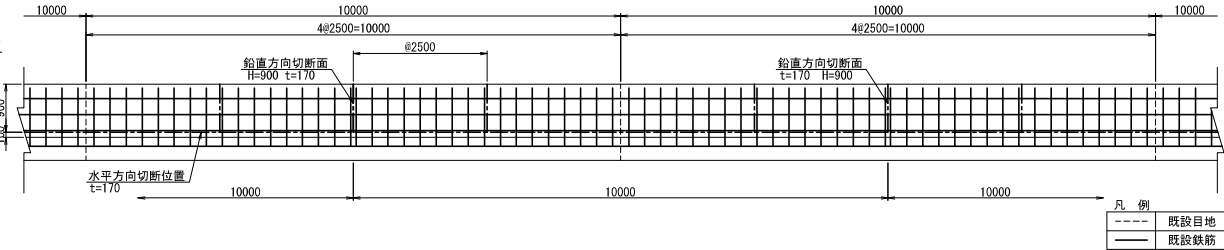
コンクリート切断工C1 数量表

区間	厚さ (mm)	水平方向		鉛直方向		合計 (m)
		延長 (m)	本数	延長 (m)	本数	
2区間	170	378.7	1	378.7	0,9	116
						104,4
						483,1

断面図 S=1:100



側面図 S=1:100



明科トンネル (上り線)

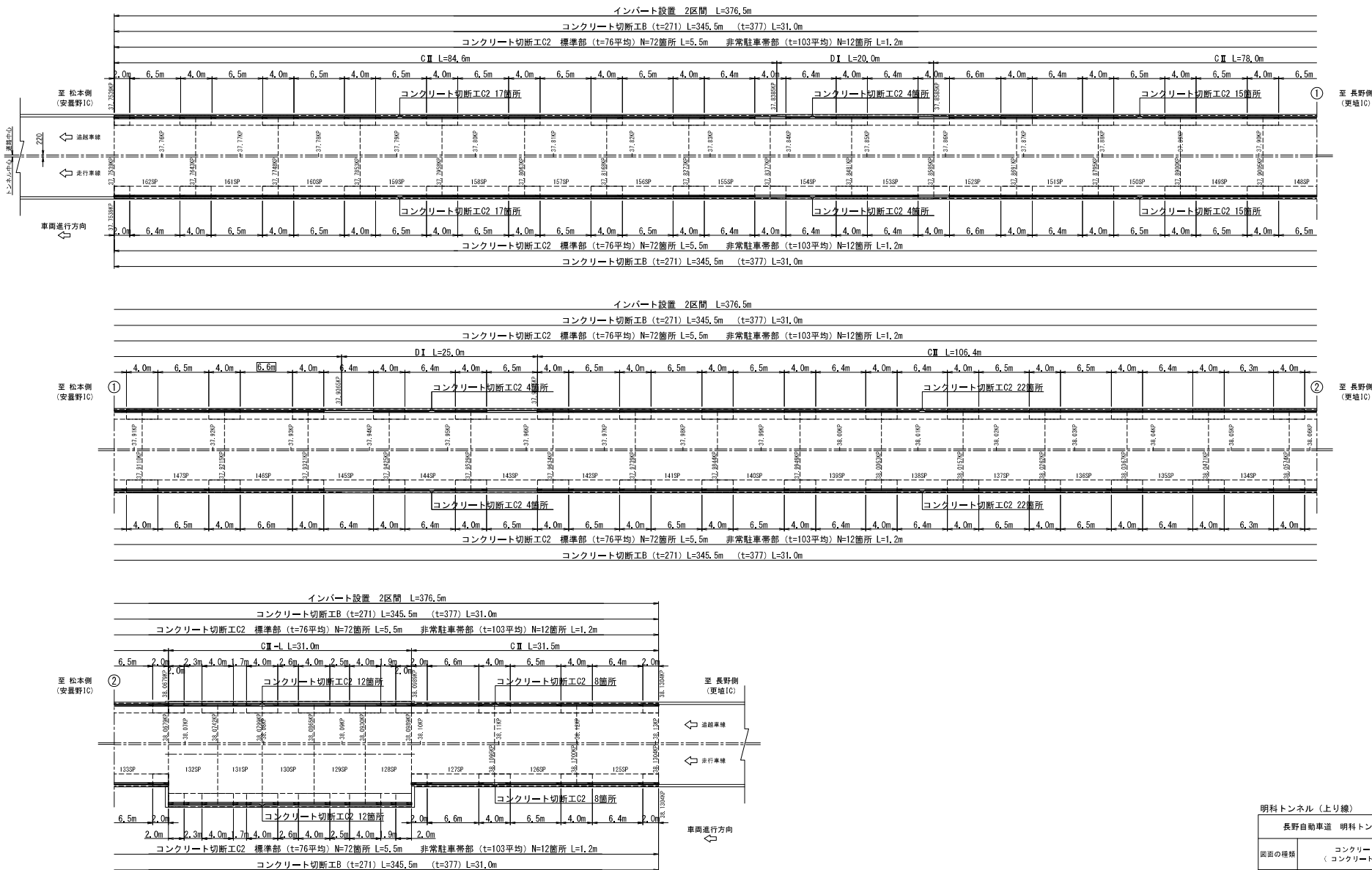
長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種別	コンクリート切断工 (1) ( コンクリート切断工C1 )			
縮 尺	図示	図面番号	100 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工 事 務 所			



コンクリート切断工(2)

(コンクリート切断工B、C2)

平面図 S=1:500  
(覆工コンクリート切欠き)

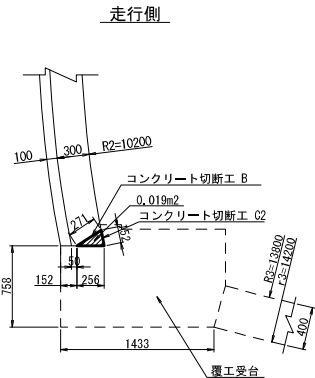


明科トンネル(上り線)			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種別	コンクリート切断工(2) (コンクリート切断工B、C2)		
縮 尺	1:500	図面番号	101 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

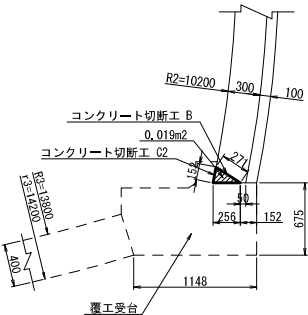
コンクリート切断工(3)  
(コンクリート切断工B、C2)

切断位置断面図 S=1:50  
覆工コンクリート切欠き

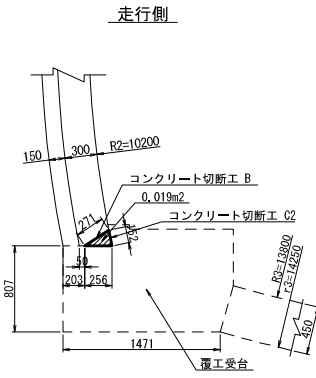
CⅡ断面



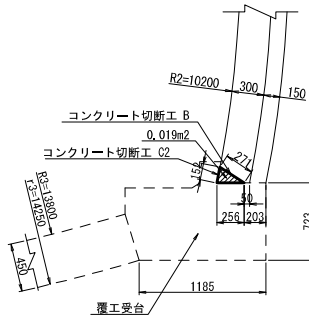
追越側



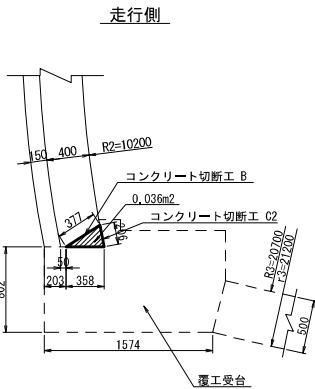
DⅠ断面



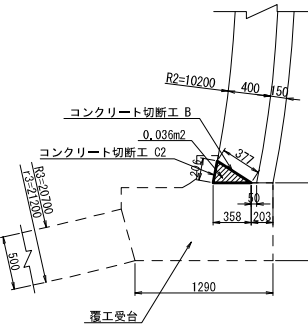
追越側



CⅡ-L断面



追越側



コンクリート切断工 数量表

区間	車線区分	設計パターン	コンクリート切断工 B		コンクリート切断工 C2		摘要
			厚さ(mm)	数量(m)	厚さ(mm)	箇所数(箇所)	
2区間	追越側	標準部	271	345.5	平均 76	72	5.5
		非常駐車帯部	377	31.0	平均103	12	1.2
		小 計		376.5		84	6.7
	走行側	標準部	271	345.5	平均 76	72	5.5
		非常駐車帯部	377	31.0	平均103	12	1.2
		小 計		376.5		84	6.7
	走行側			376.5		84	6.7
	追越側			376.5		84	6.7
	合 計			753.0		13.4	

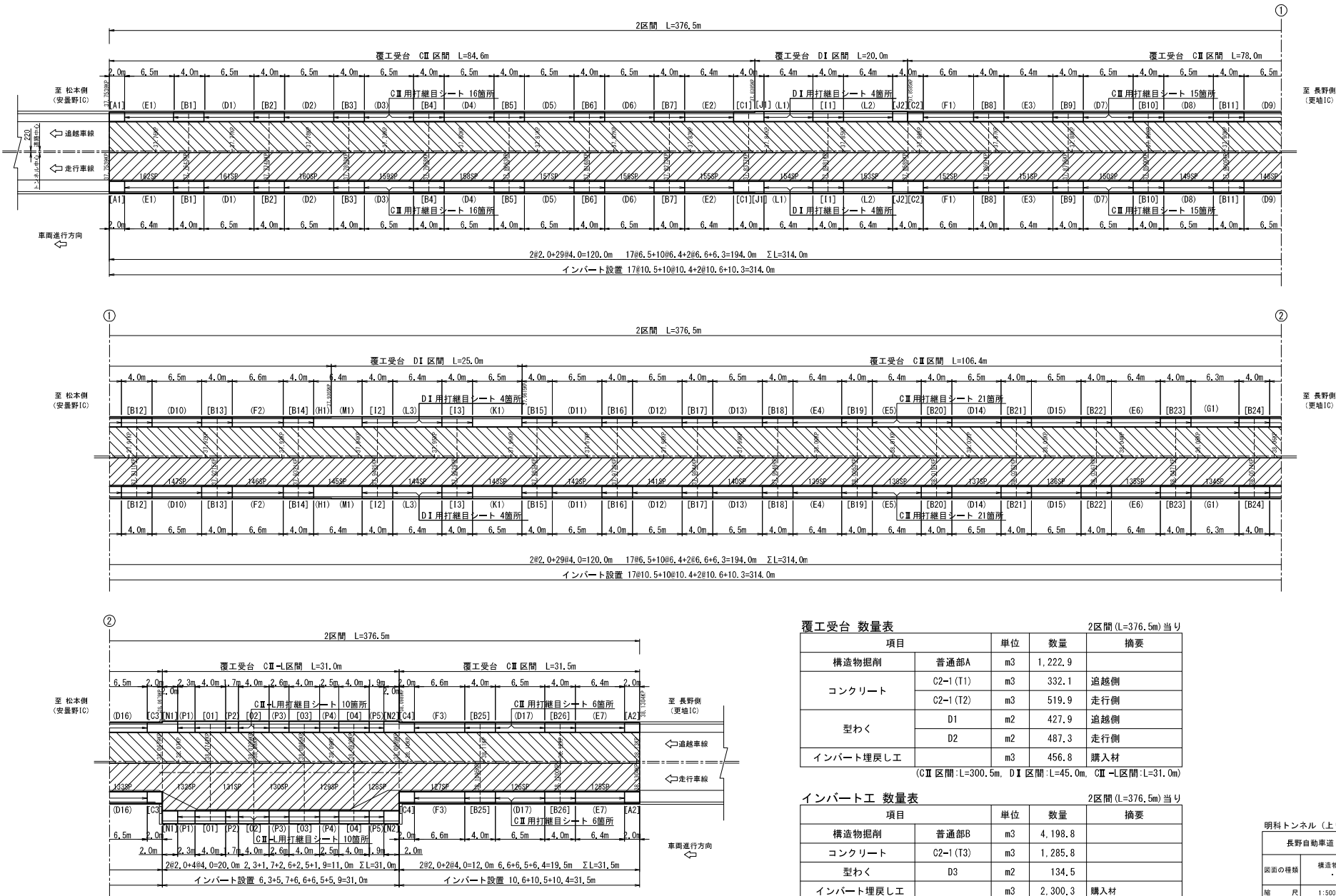
構造物等取壊し工 数量表

区間	車線区分	設計パターン	コンクリート構造物取壊しTypeB			摘要
			断面積 (m2)	延長 (m)	数量 (m3)	
2区間	追越側	標準部	0.019	345.5	6.6	
		非常駐車帯部	0.036	31.0	1.1	
		小 計		376.5	7.7	
	走行側	標準部	0.019	345.5	6.6	
		非常駐車帯部	0.036	31.0	1.1	
		小 計		376.5	7.7	
	走行側			376.5	7.7	
	追越側			376.5	7.7	
	合 計				15.4	

明科トンネル (上り線)			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	コンクリート切断工(3) (コンクリート切断工B、C2)		
縮 尺	1:50	図面番号	102 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

構造物掘削・構造物用コンクリート・型わくエ・埋戻し工図(1)

平面図 S=1:500



覆工受台 数量表		2区間 (L=376.5m) 当り		
項目	単位	数量	摘要	
構造物掘削	普通部A	m3	1,222.9	
コンクリート	C2-1 (T1)	m3	332.1	追越側
	C2-1 (T2)	m3	519.9	走行側
型わく	D1	m2	427.9	追越側
	D2	m2	487.3	走行側
インバート埋戻しエ	m3	456.8	購入材	

(CII区間:L=300.5m, DI区間:L=45.0m, CII-L区間:L=31.0m)

インバートエ 数量表		2区間 (L=376.5m) 当り		
項目	単位	数量	摘要	
構造物掘削	普通部B	m3	4,198.8	
コンクリート	C2-1 (T3)	m3	1,285.8	
型わく	D3	m2	134.5	
インバート埋戻しエ	m3	2,300.3	購入材	

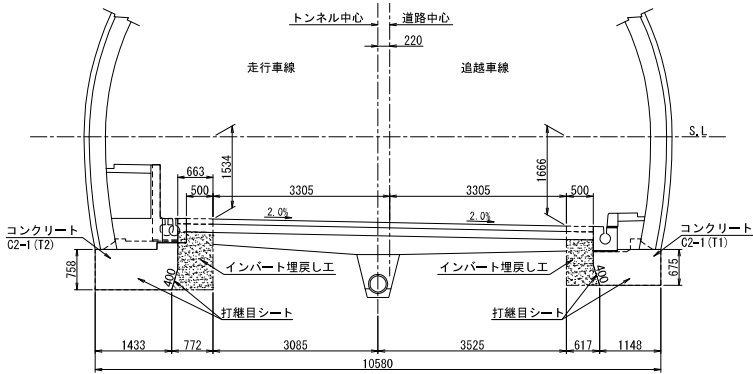
(CII区間:L=300.5m, DI区間:L=45.0m, CII-L区間:L=31.0m)

明科トンネル（上り線）				
長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類	構造物掘削・構造物用コンクリート ・型わく工・埋戻し工図(1)			
縮 尺	1:500	図面番号	103 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工 事 務 所			

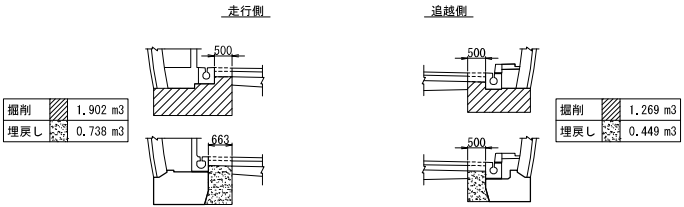
構造物掘削・構造物用コンクリート・型わくエ・埋戻し工図(2)

構造物掘削・埋戻し断面図 S=1:100

C II 断面



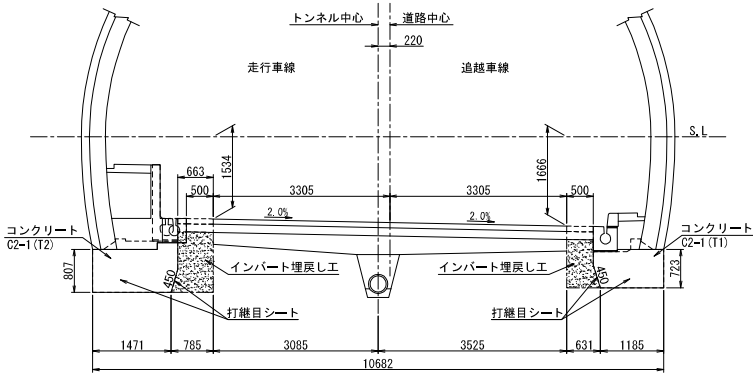
覆工受台設置時 掘削部 S=1:150



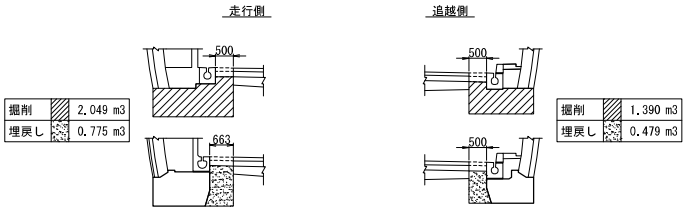
C II 断面 数量表

項目	単位	2区間	摘要
構造物掘削 普通部A	m3	958.1	
インバート埋戻し工	m3	361.1	

D I 断面



覆工受台設置時 掘削部 S=1:150



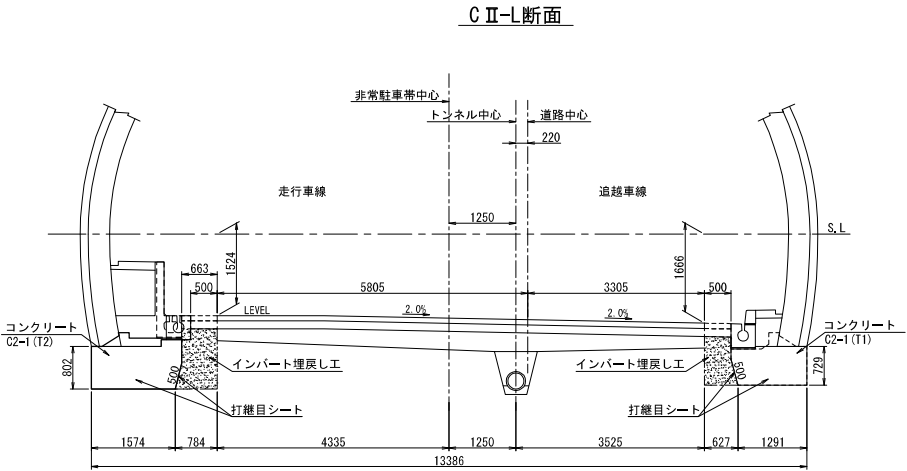
D I 断面 数量表

項目	単位	2区間	摘要
構造物掘削 普通部A	m3	153.2	
インバート埋戻し工	m3	56.7	

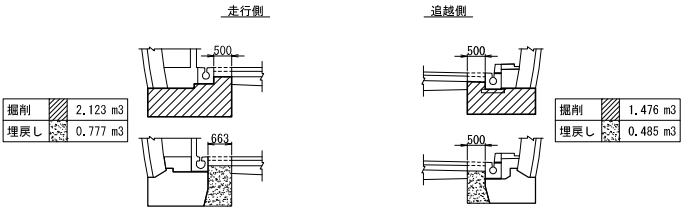
明科トンネル（上り線）				
長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類	構造物掘削・構造物用コンクリート ・型わく工・埋戻し工図(2)			
縮 尺	図示	図面番号	104 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

構造物掘削・構造物用コンクリート・型わくエ・埋戻し工図(3)

構造物掘削・埋戻し断面図 S=1:100



覆工受台設置時 掘削部 S=1:150



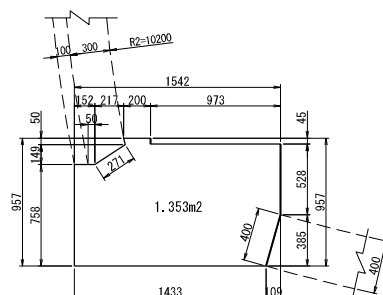
※断面積はCAD計測による

C II-L断面 数量表

項目	単位	2区間	摘要
構造物掘削 普通部A	m3	111.6	
インバート埋戻し工	m3	39.0	

明科トンネル（上り線）			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	構造物掘削・構造物用コンクリート ・型わく工・埋戻し工図(3)		
縮 尺	図示	図面番号	105 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

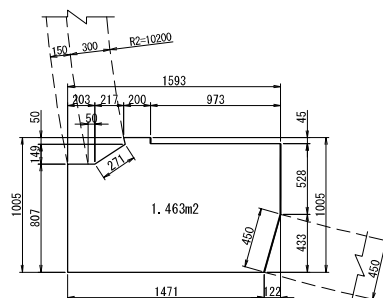
C II 断面



種別	単位	数量	摘要
コンクリート C2-1 (T2)	m3	1.353	縦断方向1.0m当り
型わく D2	m2	1.353	素部1箇所当り
	m2	0.973	縦断方向1.0m当り
打継目シート	m2	0.400	縦断方向1.0m当り
目地板	m2	1.353	素部1箇所当り

※断面積はCAD計測による

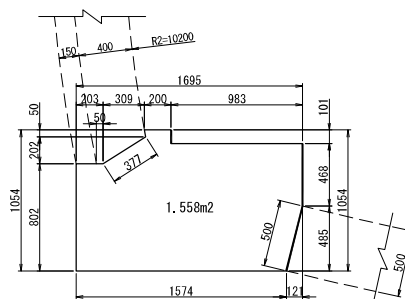
D I 断面



種別	単位	数量	摘要
コンクリート C2-1 (T2)	m3	1.463	縦断方向1.0m当り
型わく D2	m2	1.463	妻部1箇所当り
	m2	1.023	縦断方向1.0m当り
打継目シート	m2	0.450	縦断方向1.0m当り
目地板	m2	1.463	妻部1箇所当り

※断面積はCAD計測による

CII-L断面



種別	単位	数量	摘要
コンクリート C2-1 (T2)	m3	1.558	縦断方向1.0m当り
型わく D2	m2	1.558	素部1箇所当り
	m2	1.069	縦断方向1.0m当り
打継目シート	m2	0.500	縦断方向1.0m当り
目地板	m2	1.558	素部1箇所当り

※断面積はCAD計測による

C II 断面 数量表 (走行側)

項目	単位	2区間	摘要
コンクリート C2-1 (T2)	m3	405.7	
型わく D2	m2	377.7	

C II-L断面 数量表 (走行側)

項目	単位	2区間	摘要
コンクリート C2-1 (T2)	m3	48.1	
型わく D2	m2	52.1	

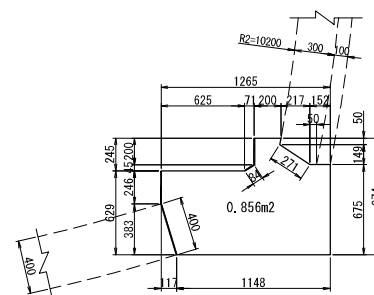
C II 断面 数量表 (追越側)

項目	単位	2区間	摘要
コンクリート C2-1 (T1)	m3	256.8	
型わく D1	m2	332.2	

C II-L断面 数量表 (追越側)

項目	単位	2区間	摘要
コンクリート C2-1 (T1)	m3	32.5	
型わく D1	m2	44.0	

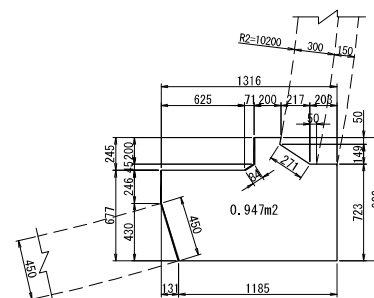
C II 断面



種別	単位	数量	摘要
コンクリート C2-1 (T1)	m3	0.856	縦断方向1.0m当り
型わく D1	m2	0.856	妻部1箇所当り
	m2	0.930	縦断方向1.0m当り
打継目シート	m2	0.400	縦断方向1.0m当り
目地板	m2	0.856	妻部1箇所当り

※断面積はCAD計測による

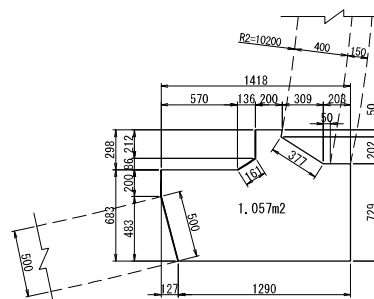
D I 断面



種別	単位	数量	摘要
コンクリート C2-1 (T1)	m3	0.947	縦断方向1.0m当り
型わく D1	m2	0.947	妻部1箇所当り
	m2	0.980	縦断方向1.0m当り
打継目シート	m2	0.450	縦断方向1.0m当り
目地板	m2	0.947	妻部1箇所当り

※断面積はCAD計測による

CII-L断面



種 別	単 位	数 量	摘 要
コンクリート C2-1 (T1)	m3	1.057	縦断方向 1.0m 当り
型 枠 D1	m2	1.057	妻部 1 箇所 当り
	m2	1.073	縦断方向 1.0m 当り
打継目シート	m2	0.500	縦断方向 1.0m 当り
目地板	m2	1.057	妻部 1 箇所 当り

※断面積はCAD計測による

D I 断面 数量表 (走行側)

項目	単位	2区間	摘要
コンクリート C2-1 (T2)	m3	66.1	
型わく D2	m2	57.5	

D I 断面 数量表 (追越側)

項目	単位	2区間	摘要
コンクリート C2-1 (T1)	m3	42.8	
型わく D1	m2	51.7	

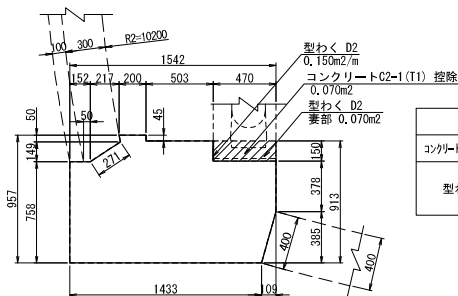
明科トンネル（上り線）

明科トンネル(上)様				
長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類	構造物密閉・構造物用コンクリート・型わく工・埋戻し工(4)			
縮尺	1:40	図面番号	106 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事業所			

構造物掘削・構造物用コンクリート・型わくエ・埋戻し工図(5)

覆工受台構造図 S=1:40  
集水ます部

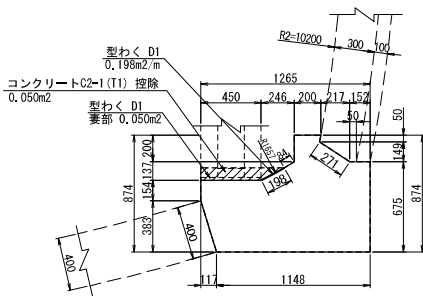
CⅡ断面  
走行側  
集水ます部 (1.0m/箇所)



ます1箇所当り				
種別	単位	数量	摘要	
コンクリート C2-1 (T2)	m3	0.070	控除数量1.0m当り	
型わく D2	m2	0.140	妻部2箇所	
	m2	0.150	縦断方向1.0m当り	

※断面積はCAD計測による

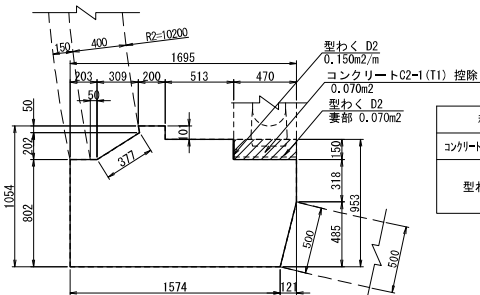
CⅡ断面  
追越側  
集水ます部 (0.9m/箇所)



ます1箇所当り				
種別	単位	数量	摘要	
コンクリート C2-1 (T1)	m3	0.045	控除数量0.9m当り	
型わく D1	m2	0.100	妻部2箇所	
	m2	0.178	縦断方向0.9m当り	

※断面積はCAD計測による

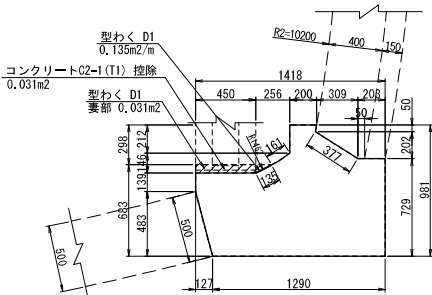
CⅡ-L断面  
走行側  
集水ます部 (1.0m/箇所)



ます1箇所当り				
種別	単位	数量	摘要	
コンクリート C2-1 (T2)	m3	0.070	控除数量1.0m当り	
型わく D2	m2	0.140	妻部2箇所	
	m2	0.150	縦断方向1.0m当り	

※断面積はCAD計測による

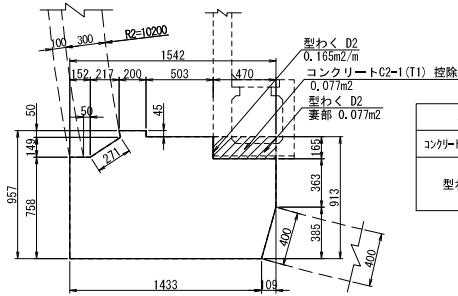
CⅡ-L断面  
追越側  
集水ます部 (0.9m/箇所)



ます1箇所当り				
種別	単位	数量	摘要	
コンクリート C2-1 (T1)	m3	0.028	控除数量0.9m当り	
型わく D1	m2	0.062	妻部2箇所	
	m2	0.122	縦断方向0.9m当り	

※断面積はCAD計測による

走行側  
接続ます部 (0.5m/箇所)



ます1箇所当り				
種別	単位	数量	摘要	
コンクリート C2-1 (T2)	m3	0.038	控除数量0.5m当り	
型わく D2	m2	0.077	妻部1箇所	
	m2	0.083	縦断方向0.5m当り	

※断面積はCAD計測による

明科トンネル (上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類		構造物掘削・構造物用コンクリート ・型わく工・埋戻し工図(5)		
縮 尺	1:40	図面番号	107 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

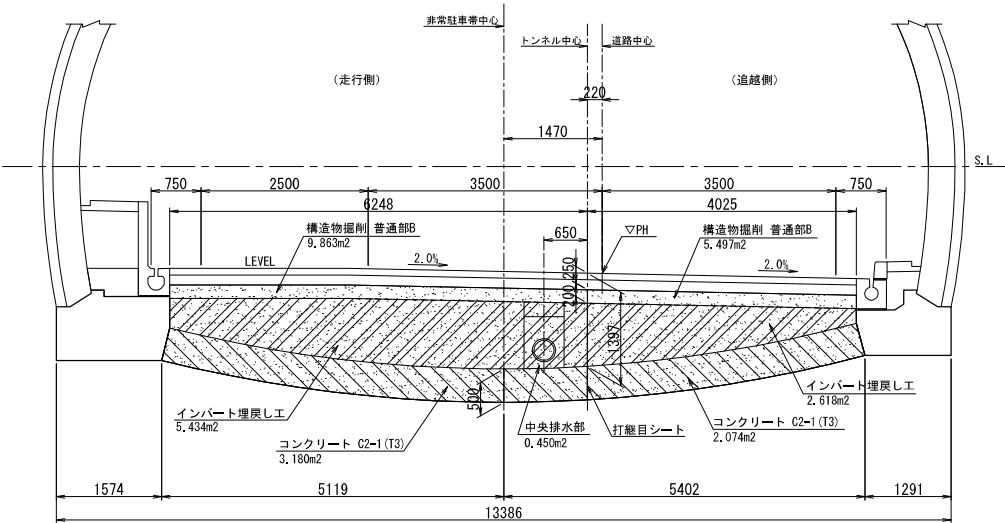




構造物掘削・構造物用コンクリート・型わくエ・埋戻し工図(7)

インバート断面図 S=1:80

CⅡ-Ⅰ断面  
(インバート厚 t=500)



種別	単位	断面積		摘要
		走行側	追越側	
構造物掘削 普通部B	m3	9.863	5.497	ワックス
コンクリート C2-1 (T3)	m3	3.180	2.074	
インバート埋戻しエ	m3	5.434	2.618	
型わく D3	m2	3.180	2.074	妻部1箇所当り
打継目シート	m2	0.500	-	縦断方向

※断面積はCAD計測による

CⅡ-Ⅰ区間 数量表

項目	単位	2区間	摘要
構造物掘削 普通部B	m3	476.2	
コンクリート C2-1 (T3)	m3	162.9	
型わく D3	m2	21.0	
インバート埋戻しエ	m3	249.7	

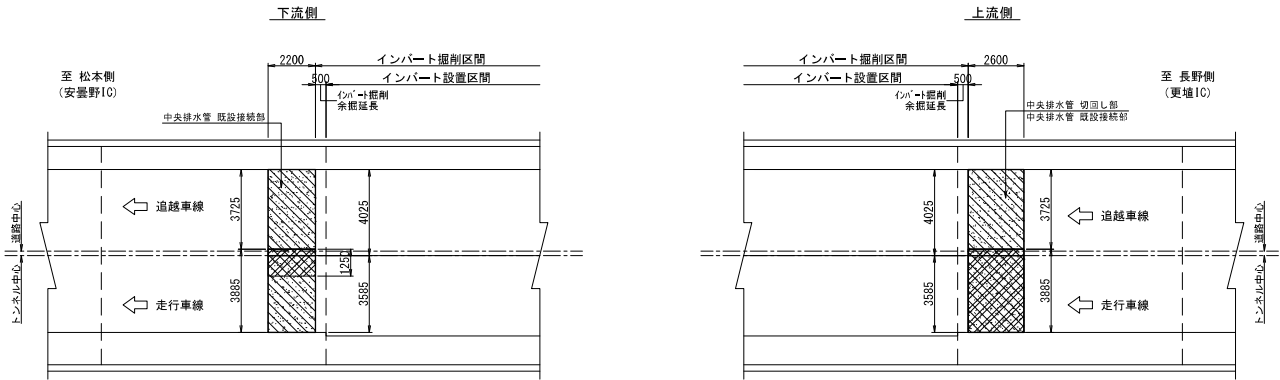
明科トンネル (上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種別		構造物掘削・構造物用コンクリート・型わく工・埋戻し工図(7)		
縮 尺	1:80	図面番号	109 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

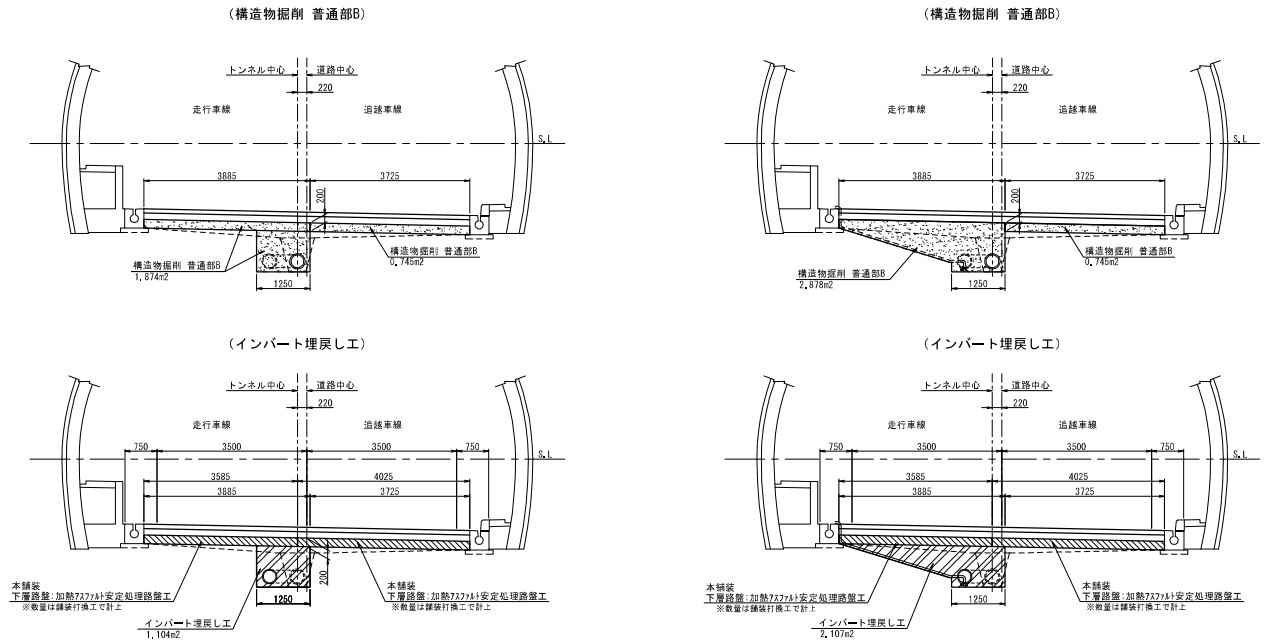
構造物掘削・構造物用コンクリート・型わくエ・埋戻し工図(8)

中央排水管切回し部、中央排水管既設接続部

平面図 S=1:250



断面図 S=1:125



種別	単位	数量		摘要
		走行側	追越側	
構造物掘削 普通部B	m3	1.874	0.745	
インバート埋戻し工	m3	1.104	-	

種別	単位	数量		摘要
		走行側	追越側	
構造物掘削 普通部B	m3	2.878	0.745	
インバート埋戻し工	m3	2.107	-	

明科トンネル（上り線）				
長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類	構造物掘削・構造物用コンクリート ・型わく工・埋戻し工図(8)			
縮 尺	図示	図面番号	110 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

路盤排水工図(1)

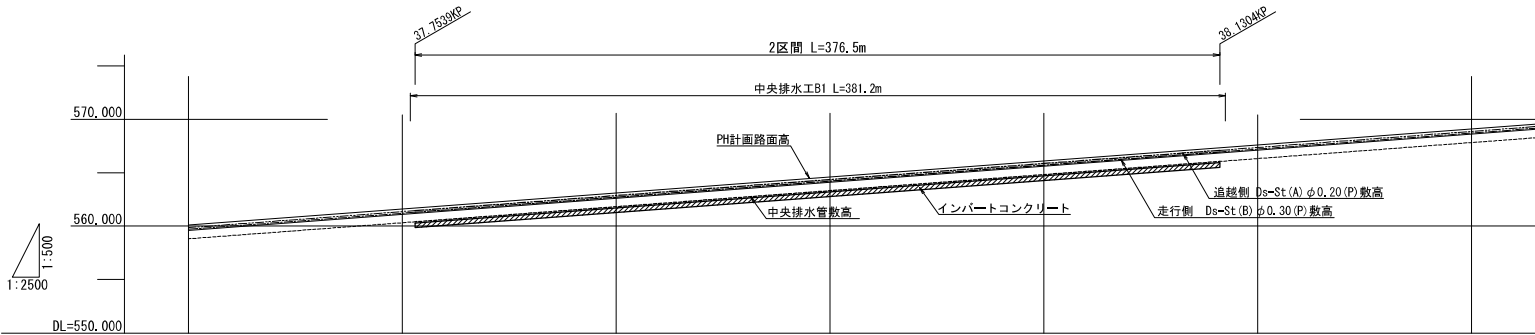
平面図

V=1:500  
H=1:2500



縦断図

V=1:500  
H=1:2500



横断勾配	<div><div></div><div><div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div>																																
測点	STA373	+20	+40	MP37.70	+60	+80	STA374	37.7539	+20	+40	MP37.80	+60	STA375	+20	+40	MP37.90	+60	STA376	+20	+40	MP38.00	+60	STA377	+20	+40	MP38.10	+60	STA378	+20	+40	MP38.20	+60	STA379
単距離	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	5.900	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	
走行側 側溝敷高 (φ0.20)	559.706	560.006	560.306	560.606	560.906	561.206	561.295	561.295	561.506	561.806	562.106	562.406	562.706	563.006	563.306	563.606	563.906	564.206	564.506	564.806	565.106	565.406	565.706	566.006	566.306	566.606	566.906	567.206	567.506	567.806	568.106	568.406	568.706
追越側 側溝敷高 (φ0.20)	559.858	560.158	560.458	560.758	561.058	561.358	561.447	561.447	561.658	561.958	562.258	562.558	562.858	563.158	563.458	563.758	564.058	564.358	564.658	564.958	565.258	565.558	565.858	566.158	566.458	566.758	567.058	567.358	567.658	567.958	568.258	568.558	568.858
中央排水工敷高 (φ300)	558.808	559.108	559.408	559.708	560.008	560.308	560.397	560.397	560.608	560.908	561.208	561.508	561.808	562.108	562.408	562.708	563.008	563.308	563.608	563.908	564.208	564.508	564.808	565.108	565.408	565.708	566.008	566.308	566.608	566.908	567.208	567.508	567.808
計画高 PH	560.107	560.407	560.707	561.007	561.307	561.607	561.696	561.696	561.907	562.207	562.507	562.807	563.107	563.407	563.707	564.007	564.307	564.607	564.907	565.207	565.507	565.807	566.107	566.407	566.707	567.007	567.307	567.607	567.907	568.207	568.507	568.807	569.107
縦断勾配	<div><div></div><div><div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div> <div><div></div><div></div></div>																																

凡例

<div></div>	中央排水工B1
<div></div>	横断排水工B1、C1

凡例

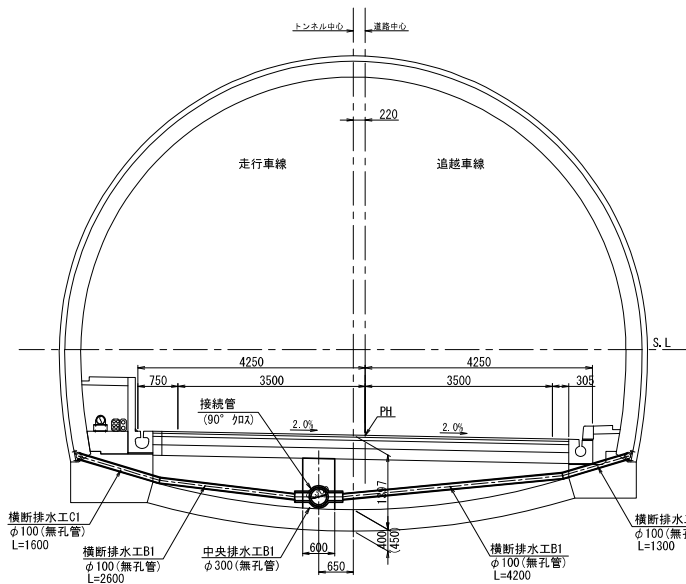
<div></div>	全ての既設部
-------------	--------

明科トンネル（上り線）

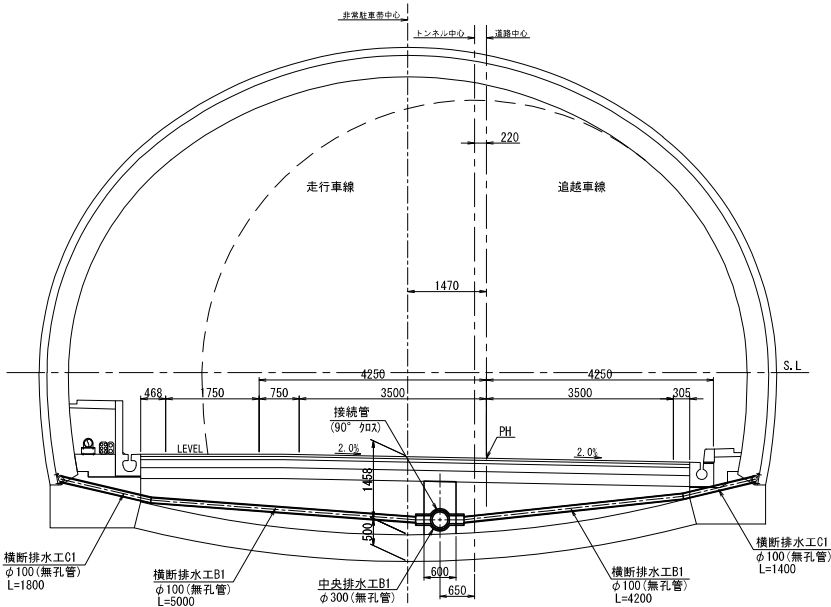
長野自動車道 明科トンネル補強工事	
図面の種類	路盤排水工図(1)
縮尺	V=1:500 H=1:2500
図面番号	111 / 204
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

断面図 S=1:100

CⅡ、DⅠ断面  
(標準部)



CⅡ-L断面  
(非常駐車帯部)



路盤排水工 数量表

項目	種別	車線区分	単位	標準部	非常駐車帯部	合計	摘要
中央排水工B1	高密度ポリエチレン管 (内面平滑管) φ300 (無孔管)	走行側	m	381.2	-	381.2	
	エルボ	走行側	個	4	-	4	
	ねじ込みソケット	走行側	個	5	-	5	
	ジョイント	走行側	個	2	-	2	
	中央排水接続材 φ300用	走行側	個	94	-	94	シーリング付ストロングソケット 4.0m/箇所
横断排水工B1	高密度ポリエチレン管 (内面平滑管) φ100 (無孔管)	追越側	m	25.2	4.2	29.4	
		走行側	m	15.6	5.0	20.6	
		合計	m	40.8	9.2	50.0	
	ソケット	追越側	個	6	1	7	
		走行側	個	6	1	7	
横断排水工C1	硬質塩化ビニール管 φ100 (無孔管)	追越側	m	7.8	1.4	9.2	
		走行側	m	9.6	1.8	11.4	
		合計	m	17.4	3.2	20.6	

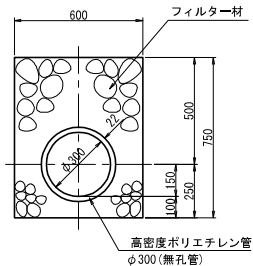
構造物等取壊しE コンクリート構造物取壊しTypeA 数量表

項目	規格・形状寸法	単位	数量	摘要
中央排水工B1	φ300 (ヒューム管)	m3	11.8	
横断排水工B1	φ150 (ヒューム管)	m3	0.8	
横断排水工C1	φ100 (塩化ビニール管)	m3	0.04	
合計		m3	12.6	

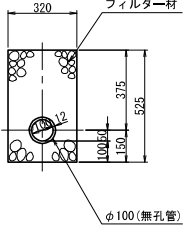
明科トンネル (上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	路盤排水工図(2)		
縮尺	1:100	図面番号	112 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

中央排水工B1 S=1:25

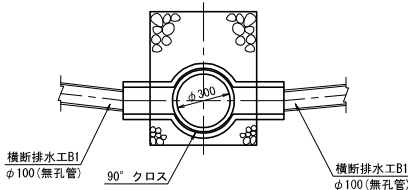


横断排水工B1 S=1:25

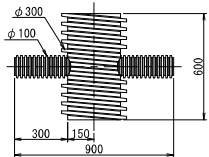


中央排水工B1 S=1:30

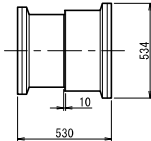
横断排水工B接続部



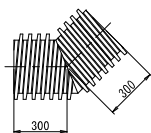
交差部詳細図 S=1:30  
(90° クロス)



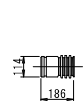
ジョイント詳細図 S=1:30  
既設ヒューム管接続用



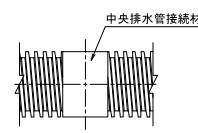
エルボ詳細図 S=1:30  
(45° エルボ)



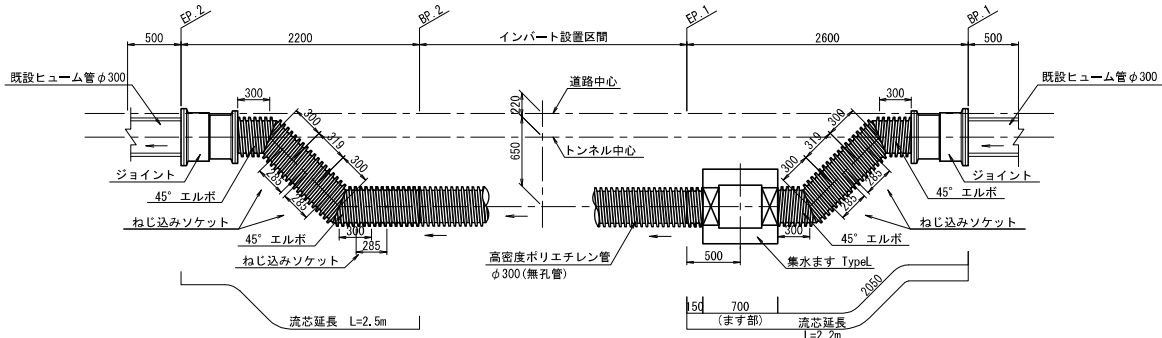
ソケット詳細図 S=1:30



中央排水管接続材 S=1:30



中央排水工B1 既設管接続部詳細図 S=1:50



※ 既設中央排水管の接続部の位置により現場にて適宜変更

横断排水工B1 数量表 (一般部) (1箇所当り)

項目	規格・形状寸法	単位	数量	摘要
掘削		m3	1.142	
フィルター材	単粒度砕石4号	m3	1.060	30~20mm
高密度ポリエチレン管 (内面平滑型)	φ100(無孔管)	m	6.800	JIS K 6922
ソケット	φ100塩ビ接続用	個	2	
クロス	90° クロス	個	1	

横断排水工C1 数量表 (一般部) (1箇所当り)

項目	規格・形状寸法	単位	数量	摘要
硬質塩化ビニール管	φ100(無孔管)	m	2.900	JIS K 6741

横断排水工B1 数量表 (非常駐車帯部) (1箇所当り)

項目	規格・形状寸法	単位	数量	摘要
掘削		m3	1.546	
フィルター材	単粒度砕石4号	m3	1.434	30~20mm
高密度ポリエチレン管 (内面平滑型)	φ100(無孔管)	m	9.200	JIS K 6922
ソケット	φ100塩ビ接続用	個	2	

横断排水工C1 数量表 (非常駐車帯部) (1箇所当り)

項目	規格・形状寸法	単位	数量	摘要
硬質塩化ビニール管	φ100(無孔管)	m	3.200	JIS K 6741

中央排水工B1 数量表 (10m当り)

項目	規格・形状寸法	単位	数量	摘要
掘削	H=750	m3	4.500	
フィルター材	単粒度砕石4号	m3	3.571	
高密度ポリエチレン管 (内面平滑型)	φ300(無孔管)	m	10.000	JIS K 6922
	90° クロス	個	1	横断排水工B接続箇所
	中央排水接続材 φ300用	個	2.5	ソケット付ストロークソケット 4.0m/箇所

中央排水工B1 接続部数量表 (上流部・下流部) (1箇所当り)

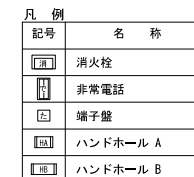
項目	規格・形状寸法	単位	数量	摘要
エルボ	45° 以下	個	4	
ねじ込みソケット		個	5	
ジョイント		個	2	

位置諸元 中央排水工B既設管接続部

区間	BP.1	EP.1	BP.2	EP.2
2区間	38.1330KP	38.1304KP	37.7539KP	37.7517KP

明科トンネル（上り線）				
長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類		路盤排水工図（3）		
縮尺	図示	図面番号	113 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

2区間

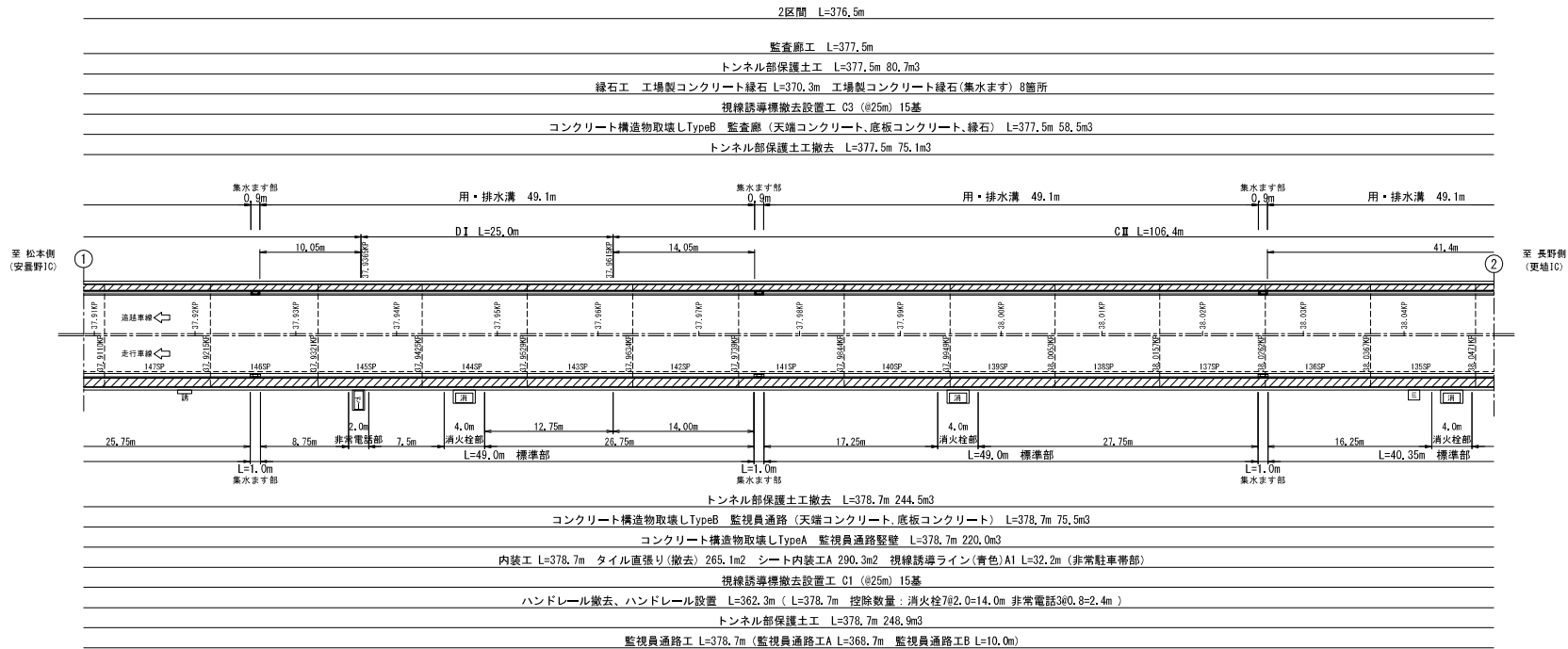


明科トンネル（工事様）			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	監視員通路・監査廊工図(1)		
縮 尺	1:500	図面番号	114 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事業務所		

監視員通路・監査廊工図(2)

平面図 S=1:500

2区間



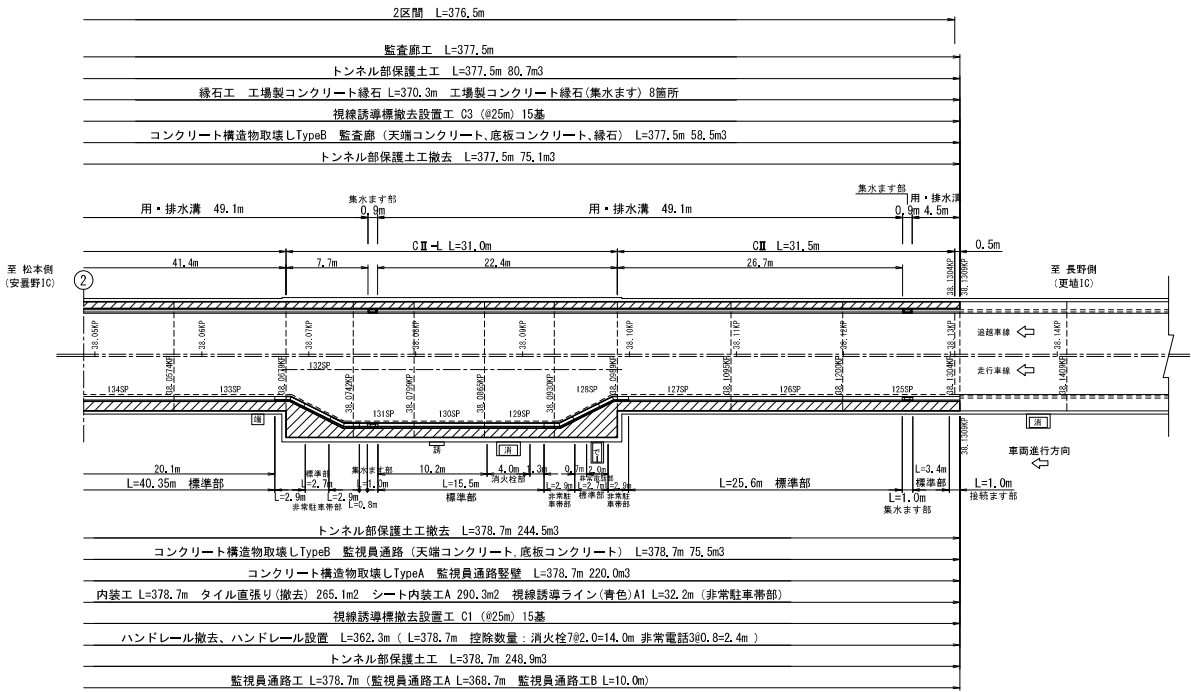
凡 例	記号	名 称
		消火栓
		非常電話
		端子盤
		ハンドホール A
		ハンドホール B

明科トンネル (上り線)			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	監視員通路・監査廊工図(2)		
縮 尺	1:500	図面番号	115 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工 事 務 所		

監視員通路・監査廊工図(3)

平面図 S=1:500

2区間



監視員通路工 数量表

項目	規格・寸法	単位	2区間	摘要
監視員通路工 A	標準部 L=2000	m	323, 1	
	消火栓部 L=2000×2	m	28, 0	
	非常電話部 L=2000	箇所	7	
		m	6, 0	
	非常駐車帯部 (隅角部) L=1450×2	箇所	3	
		m	11, 6	
監視員通路工 B	集水ます部 L=1000	m	8, 0	
		箇所	8	
	接続ます L=1000	m	2, 0	
		箇所	2	
	合 計		m	378, 7

監査廊工 数量表

項目	規格・寸法	単位	2区間	摘要
監査廊工	標準部 L=2000	m	370.3	
	集水ます部 L=900	m	7.2	
		箇所	8	
合 計		m	377.5	

凡 例

記号	名 称
	消火栓
	非常電話
	端子盤
	ハンドホール A
	ハンドホール B

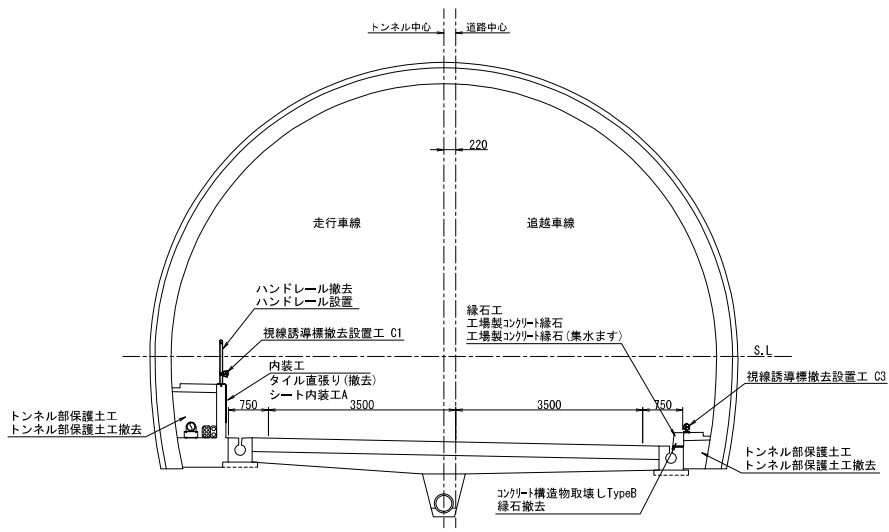
明科トンネル(上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	監視員通路・監査廊工図(3)		
縮 尺	1:500	図面番号	116 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		



監視員通路・監査廊工図(4)

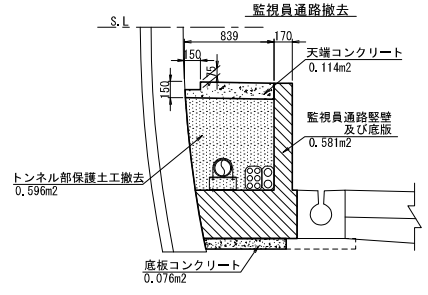
断面図 S=1:100



撤去断面詳細図 S=1:50

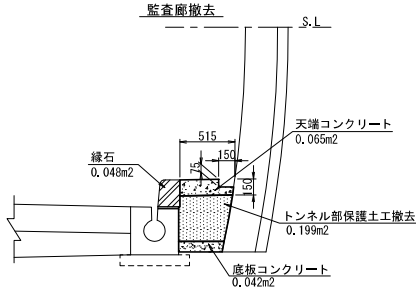
監視員通路撤去

コンクリート構造物取壊しTypeA  
コンクリート構造物取壊しTypeB



監査廊撤去

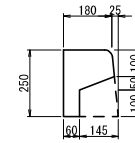
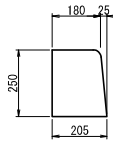
コンクリート構造物取壊しTypeB



縁石工 S=1:20

円形水路用

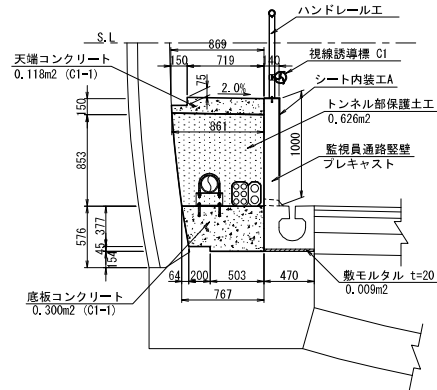
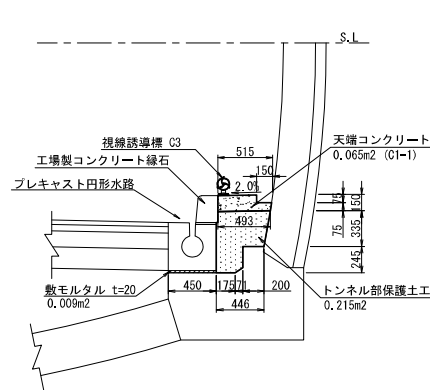
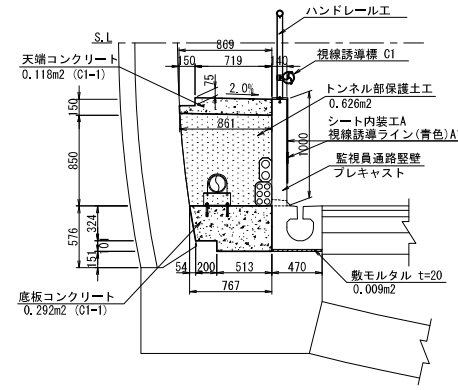
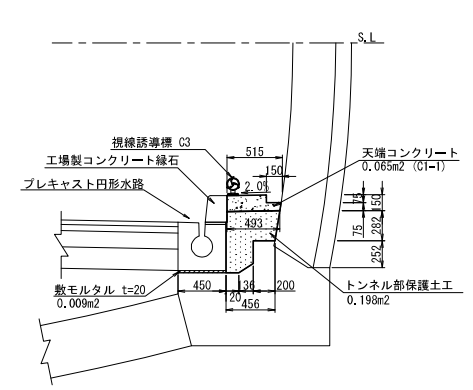
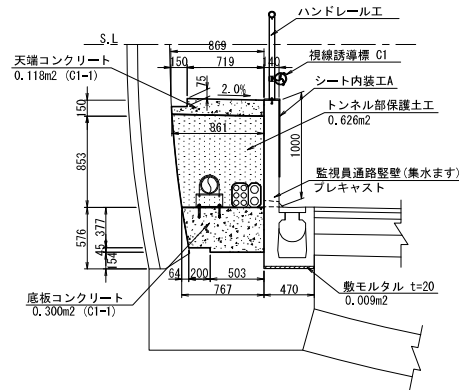
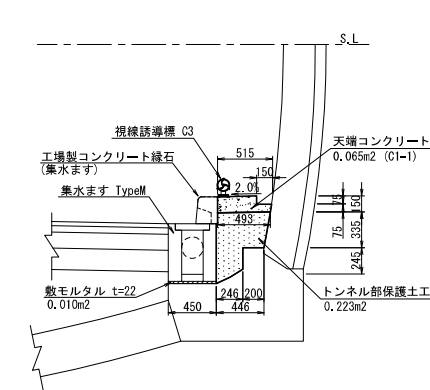
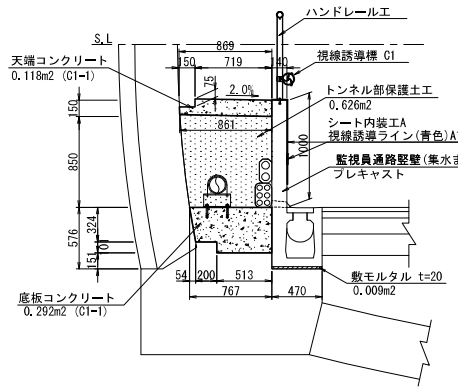
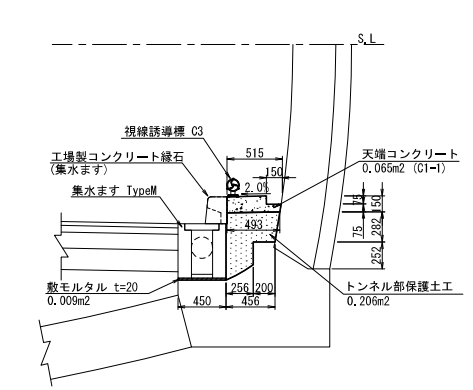
集水ます用



設計条件	
項目	単位 (N/mm <sup>2</sup> )
コンクリート	$\sigma_{ck}=24$

明科トンネル（上り線）				
長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類		監視員通路・監査廊工図（4）		
縮尺	図示	図面番号	117 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

## 監視員通路・監査廊工図(5)

監視員通路工A 断面図 S=1:50  
(CⅡ, DⅠ断面 標準部)監査廊工 断面図 S=1:50  
(CⅡ, DⅠ断面 標準部)監視員通路工A 断面図 S=1:50  
(CⅡ-L断面 標準部)監査廊工 断面図 S=1:50  
(CⅡ-L断面 標準部)監視員通路工B 断面図 S=1:50  
(CⅡ断面 集水ます部)監査廊工 断面図 S=1:50  
(CⅡ断面 集水ます部)監視員通路工B 断面図 S=1:50  
(CⅡ-L断面 集水ます部)監査廊工 断面図 S=1:50  
(CⅡ-L断面 集水ます部)

監視員通路工A(CⅡ, DⅠ断面) 数量表 10m当り

項目	規格・寸法	単位	数量	摘要
監視員通路壁	L=2000	m	10.0	水路一体型
敷モルタル	t=20	m³	0.09	
天端コンクリート	C1-I	m³	1.18	
底板コンクリート	C1-I	m³	3.00	
トンネル部保護土工	中詰め砂	m³	6.26	再利用

監視員通路工B(CⅡ, DⅠ断面) 数量表 10箇所当り

項目	規格・寸法	単位	数量	摘要
監視員通路壁(ます用)	L=1000	箇所	10	水路一体型
敷モルタル	t=20	m³	0.09	
天端コンクリート	C1-I	m³	1.18	
底板コンクリート	C1-I	m³	3.00	
トンネル部保護土工	中詰め砂	m³	6.26	再利用

※集水ます 1.0m/箇所

監査廊工(CⅡ, DⅠ断面 標準部) 数量表 10m当り

項目	規格・寸法	単位	数量	摘要
工場製コンクリート緑石		m	10.00	
敷モルタル	t=20	m³	0.09	
天端コンクリート	C1-I	m³	0.65	
トンネル部保護土工	中詰め砂	m³	2.15	再利用

監査廊工(CⅡ, DⅠ断面 集水ます部) 数量表 10箇所当り

項目	規格・寸法	単位	数量	摘要
工場製コンクリート緑石(集水ます)		箇所	10	
敷モルタル	t=22	m³	0.09	
天端コンクリート	C1-I	m³	0.59	
トンネル部保護土工	中詰め砂	m³	2.01	再利用

※集水ます 0.9m/箇所

監視員通路工A(CⅡ-L断面) 数量表 10m当り

項目	規格・寸法	単位	数量	摘要
監視員通路壁	L=2000	m	10.0	水路一体型
敷モルタル	t=20	m³	0.09	
天端コンクリート	C1-I	m³	1.18	
底板コンクリート	C1-I	m³	2.92	
トンネル部保護土工	中詰め砂	m³	6.26	再利用

監視員通路工B(CⅡ-L断面) 数量表 10箇所当り

項目	規格・寸法	単位	数量	摘要
監視員通路壁(ます用)	L=1000	箇所	10	水路一体型
敷モルタル	t=20	m³	0.09	
天端コンクリート	C1-I	m³	1.18	
底板コンクリート	C1-I	m³	2.92	
トンネル部保護土工	中詰め砂	m³	6.26	再利用

※集水ます 1.0m/箇所

監査廊工(CⅡ-L断面 標準部) 数量表 10m当り

項目	規格・寸法	単位	数量	摘要
工場製コンクリート緑石		m	10.00	
敷モルタル	t=20	m³	0.09	
天端コンクリート	C1-I	m³	0.65	
トンネル部保護土工	中詰め砂	m³	1.98	再利用

監査廊工(CⅡ-L断面 集水ます部) 数量表 10箇所当り

項目	規格・寸法	単位	数量	摘要
工場製コンクリート緑石(集水ます)		箇所	10	
敷モルタル	t=20	m³	0.08	
天端コンクリート	C1-I	m³	0.59	
トンネル部保護土工	中詰め砂	m³	1.85	再利用

※集水ます 0.9m/箇所  
明科トンネル(上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	監視員通路・監査廊工図(5)		
縮 尺	1:50	図面番号	118 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

数量表

項目		車線区分	単位	数量	摘要	
監視員通路工	延長	走行側	m	378.7	集水ます  撤去と同じ	
	監視員通路工A	走行側	m	368.7		
	監視員通路工B	走行側	m	10.0		
	ハンドレール設置	走行側	m	362.3		
	ハンドレール撤去	走行側	m	302.3		
	天端コンクリート C1-1	走行側	m3	46.6		
	底板コンクリート C1-1	走行側	m3	119.3		
	敷モルタル	走行側	m3	3.4		
監査廊工	延長	追越側	m	377.5		
	天端コンクリート C1-1	追越側	m3	24.6		
	敷モルタル	追越側	m3	3.5		
内装工	シート内装工A	走行側	m2	290.3		
	視線誘導ライン(青色)A1	走行側	m	32.2		
	タイル直張り(撤去)	走行側	m2	265.1		
視線誘導標撤去設置工	C1	走行側	基	15		
	C3	追越側	基	15		
緑石工	工場製コンクリート緑石	追越側	m	370.3		
	工場製コンクリート緑石(集水ます)	追越側	箇所	8		
構造物等取壊し工	コンクリート構造物取壊しTypeA	監視員通路縦壁	走行側	m3	220.0	
		監視員通路天端コンクリート	走行側	m3	45.3	
	コンクリート構造物取壊しTypeB	監視員通路底板コンクリート	走行側	m3	30.2	
		監査廊天端コンクリート	追越側	m3	24.5	
		監査廊底板コンクリート	追越側	m3	15.9	
		緑石工	追越側	m3	18.1	
		TypeB 合計		m3	134.0	
		トンネル部保護土工	撤去	監視員通路	走行側	
監査廊	追越側			m3	75.1	
合 計				m3	319.6	
保護土工	監視員通路		走行側	m3	248.9	
	監査廊		追越側	m3	80.7	
	合 計		m3	329.6		

明科トンネル（上り線）				
長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類		監視員通路・監査廊工図(6) 数量表		
縮 尺	—	図面番号	119 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

監視員通路・監査廊工図(7)

標準部 S=1:30

構造図  
φ200相当

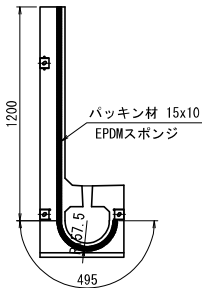
配筋図  
φ200相当

設計条件

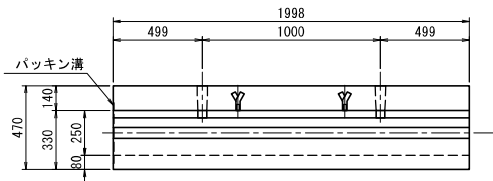
型 式	φ200相当
鉄筋コンクリート	
単位 (N/mm <sup>2</sup> )	
設計基準強度	σ <sub>ck</sub> =40
コンクリート 許容圧縮応力度	σ <sub>ca</sub> =14.0
許容せん断応力度	τ <sub>ca</sub> =0.27
鉄 筋 SD295※	許容引張応力度 σ <sub>sa</sub> =160

※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

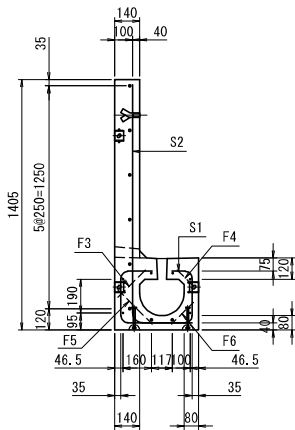
パッキン貼り付け位置



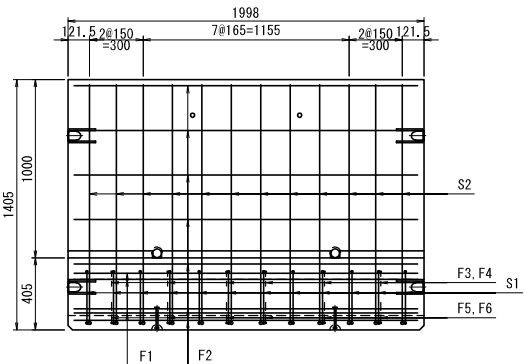
平面図



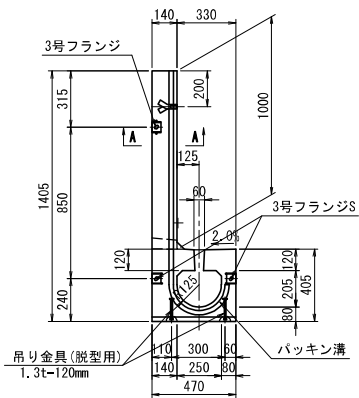
断面図



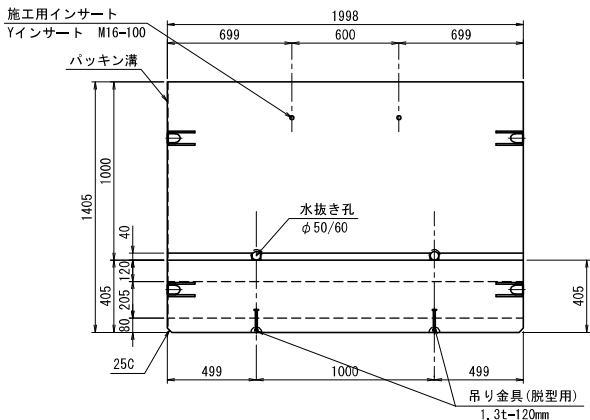
側面図



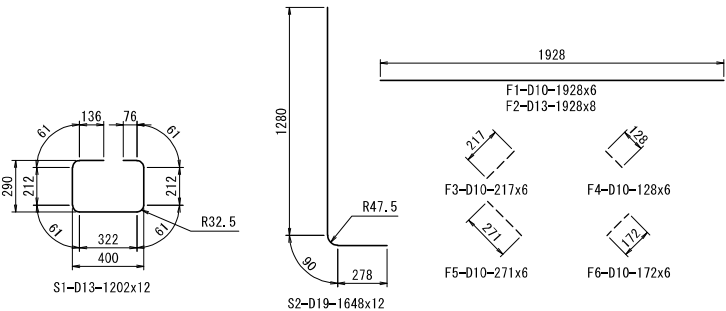
断面図



側面図



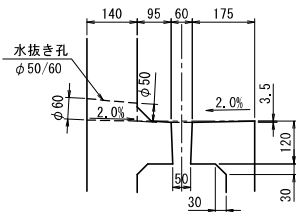
鉄筋加工図



注) 構造に影響ない範囲で面取り・抜きテーパーなどを設ける。

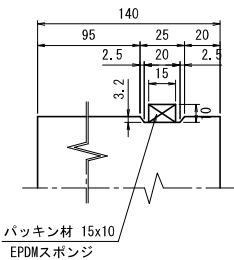
頂版部 寸法図

S=1/15



パッキン溝詳細図 (A-A)

S=1/3



鉄筋表

記号	鉄筋径 (SD295※)	単位重量 (kg/m)	本 数	長 さ (m)	重 量 (kg)
S1	D13	0.995	12	1.202	14.4
S2	D19	2.250	12	1.648	44.5
F1	D10	0.560	6	1.928	6.5
F2	D13	0.995	8	1.928	15.3
F3	D10	0.560	6	0.217	0.7
F4	D10	0.560	6	0.128	0.4
F5	D10	0.560	6	0.271	0.9
F6	D10	0.560	6	0.172	0.6
鉄筋総重量				83.3	(kg)
製品立積				0.560	(m <sup>3</sup> )

※鉄筋の種類は SD295 同等品以上とする。

明科トンネル (上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種別	監視員通路・監査廊工図(7)		
縮 尺	図示	図面番号	120 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工 事 務 所		

監視員通路・監査廊工図(8)

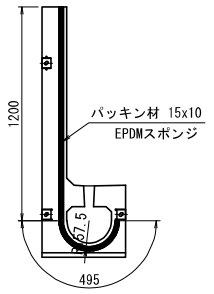
非常電話 S=1:30

構造図  
φ200相当

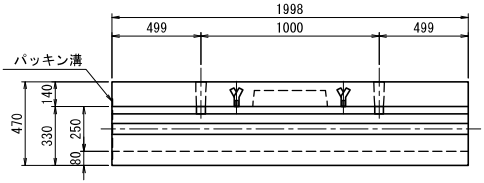
配筋図  
φ200相当

設計条件	
型 式	φ200相当
鉄筋コンクリート	単位 (N/mm <sup>2</sup> )
	設計基準強度 σ <sub>ck</sub> =40
コンクリート	許容圧縮応力度 σ <sub>ca</sub> =14.0
	許容せん断応力度 τ <sub>ca</sub> =0.27
鉄 筋	許容引張応力度 σ <sub>sa</sub> =160
※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。	

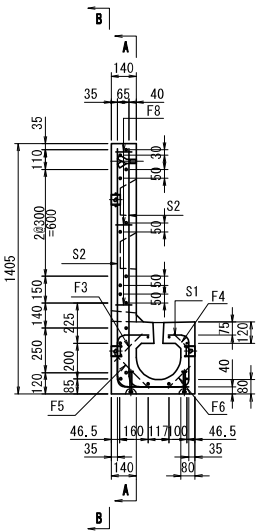
パッキン貼り付け位置



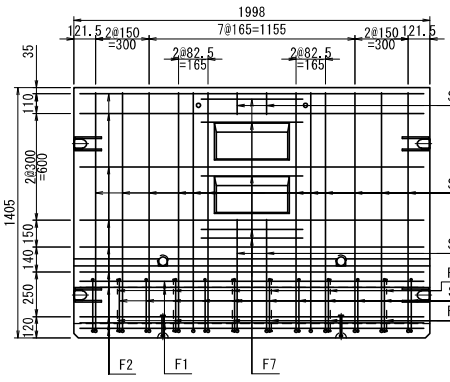
平面図



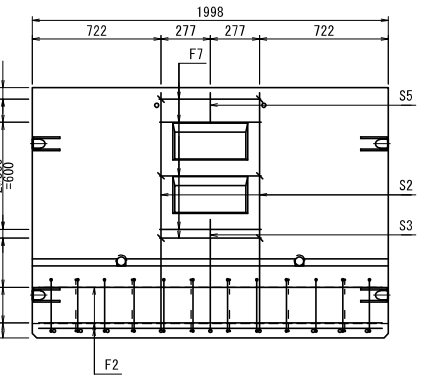
断面図



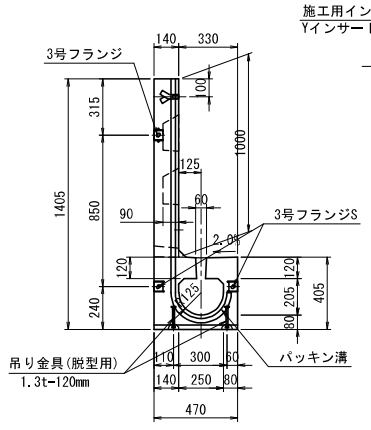
側面図  
(A-A)



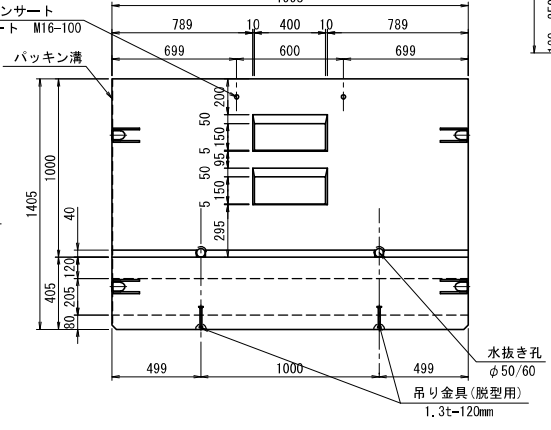
側面図  
(B-B)



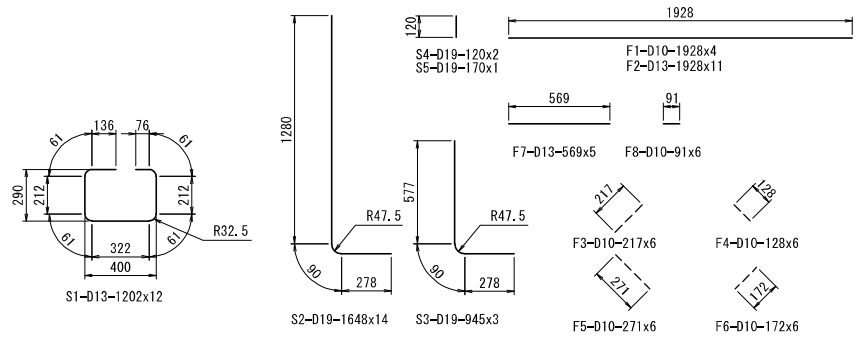
断面図



側面図



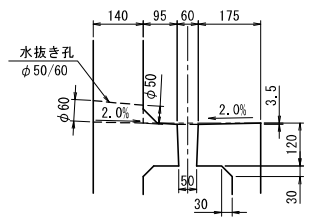
鉄筋加工図



注) 構造に影響ない範囲で面取り・抜きテーバーなどを設ける。

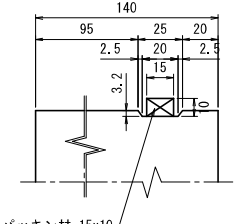
頂版部 寸法図

S=1/15



パッキン溝詳細図 (A-A)

S=1/3



鉄筋表

記号	鉄筋径 (SD295※)	単位重量 (kg/m)	本 数	長 さ (m)	重 量 (kg)
S1	D13	0.995	12	1.202	14.4
S2	D19	2.250	14	1.648	51.9
S3	D19	2.250	3	0.945	6.4
S4	D19	2.250	2	0.120	0.5
S5	D19	2.250	1	0.170	0.4
F1	D10	0.560	4	1.928	4.3
F2	D13	0.995	11	1.928	21.1
F3	D10	0.560	6	0.217	0.7
F4	D10	0.560	6	0.128	0.4
F5	D10	0.560	6	0.271	0.9
F6	D10	0.560	6	0.172	0.6
F7	D13	0.995	5	0.569	2.8
F8	D10	0.560	6	0.091	0.3
鉄筋総重量				104.7	(kg)
製品立積				0.548	(m <sup>3</sup> )

※鉄筋の種類は SD295 同等品以上とする。

明科トンネル (上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	監視員通路・監査廊工図(8)		
縮 尺	図示	図面番号	121 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	監視員通路・監査廊工図(10)		
縮 尺	図示	図面番号	123 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

## 監視員通路・監査廊工図(11)

標準ます S=1:30

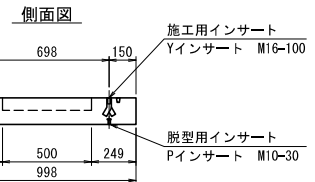
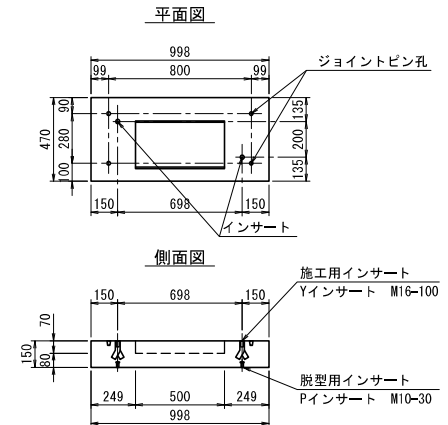
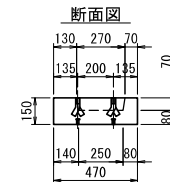
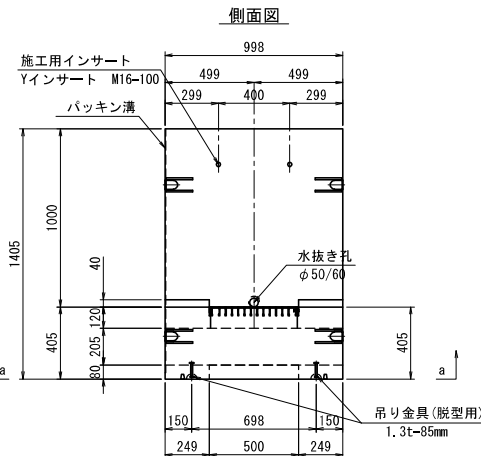
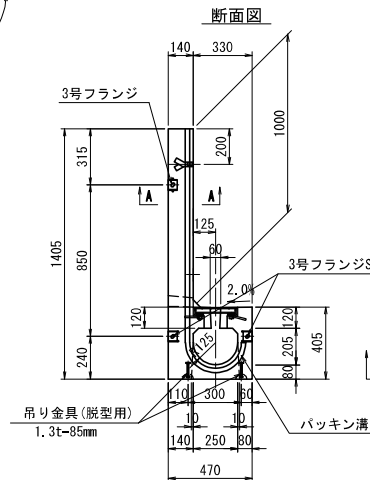
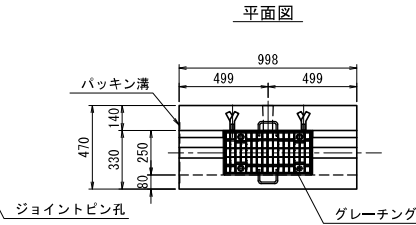
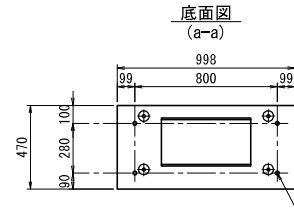
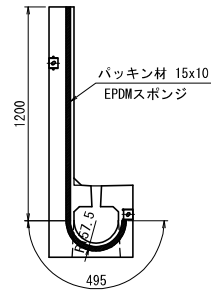
構造図  
φ200相当

設計条件

型 式	φ 200相当	
鉄筋コンクリート		
	単位 (N/mm <sup>2</sup> )	
コンクリート	設計基準強度	σ <sub>ck</sub> =40
	許容圧縮応力度	σ <sub>ca</sub> =14.0
	許容せん断応力度	τ <sub>ca</sub> =0.27
鉄 筋 SD295※		
	許容引張応力度	σ <sub>sa</sub> =160

※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

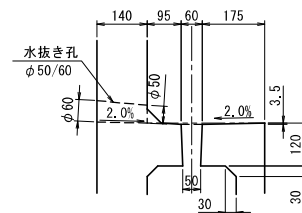
パッキン貼り付け位置



注) 構造に影響ない範囲で面取り・抜きテーパーなどを設ける。

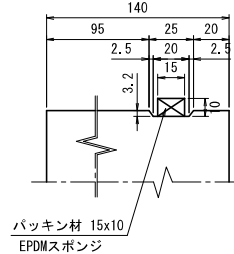
頂版部 寸法図

S=1/15



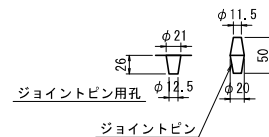
パッキン溝詳細図 (A-A)

S=1/3



ジョイントピン 寸法図

S=1/7.5



明科トンネル (上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	監視員通路・監査廊工図(11)		
縮 尺	図示	図面番号	124 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工 事 務 所		



監視員通路・監査廊工図(12)

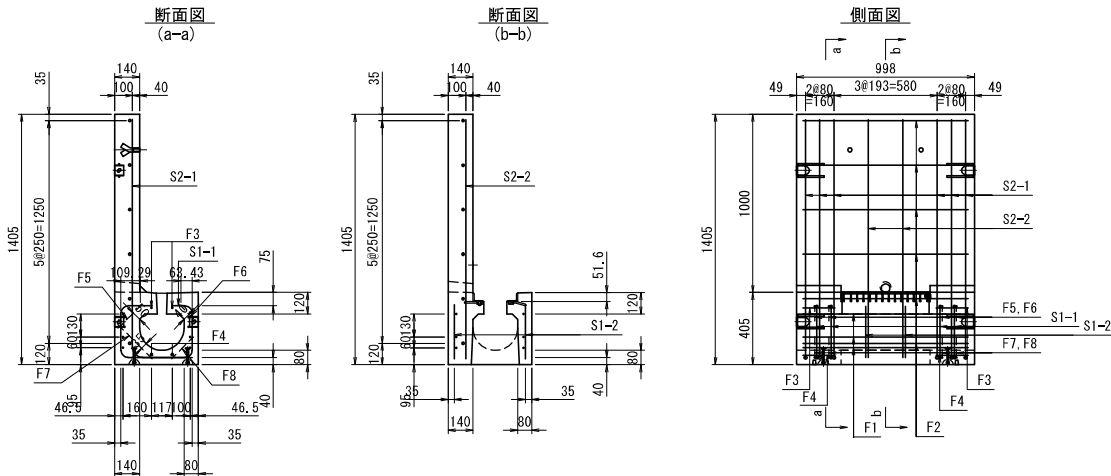
標準ます S=1:30

配筋図  
φ200相当

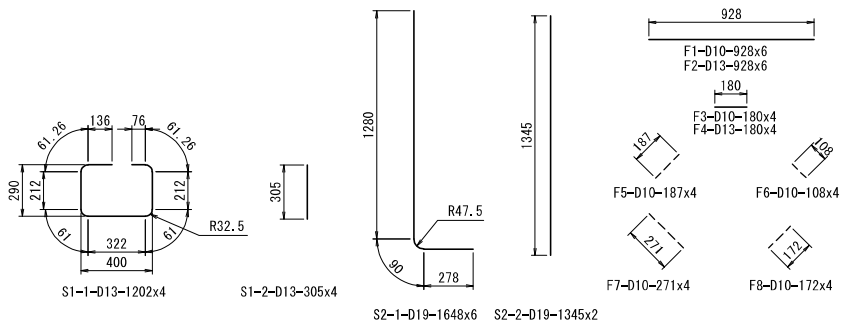
設計条件

型 式	φ200相当
鉄筋コンクリート	単位 (N/mm <sup>2</sup> )
設計基準強度	σ <sub>ck</sub> =40
コンクリート 許容圧縮応力度	σ <sub>ca</sub> =14.0
許容せん断応力度	τ <sub>ca</sub> =0.27
鉄 筋 SD295※	許容引張応力度 σ <sub>sa</sub> =160

※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

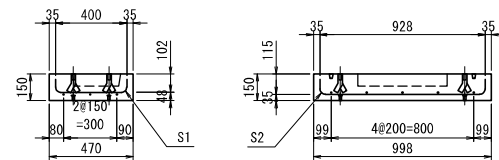


鉄筋加工図

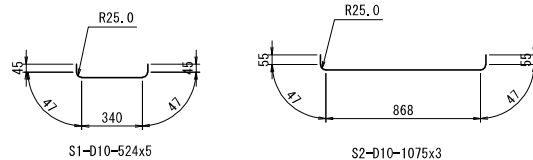


断面図

側面図



鉄筋加工図



鉄筋表

記号	鉄筋径 (SD295※)	単位重量 (kg/m)	本 数	長 さ (m)	重 量 (kg)
S1	D10	0.560	5	0.524	1.5
S2	D10	0.560	3	1.075	1.8
鉄筋総重量					3.3 (kg)
製品立積					0.062 (m3)

※鉄筋の種類は SD295 同等品以上とする。

鉄筋表

記号	鉄筋径 (SD295※)	単位重量 (kg/m)	本 数	長 さ (m)	重 量 (kg)
S1-1	D13	0.995	4	1.202	4.8
S1-2	D13	0.995	4	0.305	1.2
S2-1	D19	2.250	6	1.648	22.2
S2-2	D19	2.250	2	1.345	6.1
F1	D10	0.560	6	0.928	3.1
F2	D13	0.995	6	0.928	5.5
F3	D10	0.560	4	0.180	0.4
F4	D13	0.995	4	0.180	0.7
F5	D10	0.560	4	0.187	0.4
F6	D10	0.560	4	0.108	0.2
F7	D10	0.560	4	0.271	0.6
F8	D10	0.560	4	0.172	0.4
鉄筋総重量					45.6 (kg)
製品立積					0.257 (m3)

※鉄筋の種類は SD295 同等品以上とする。

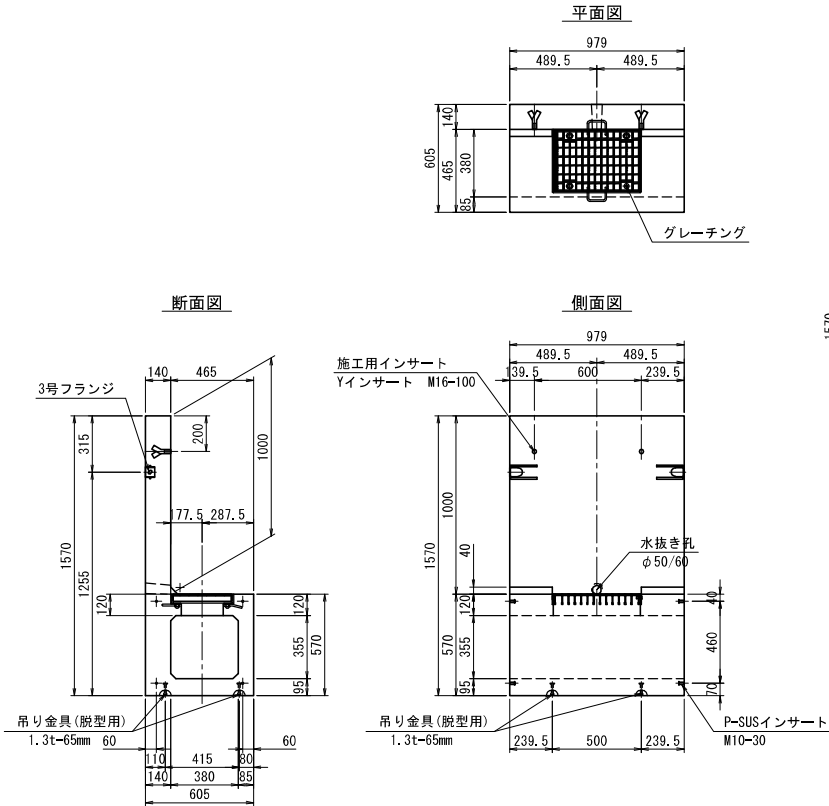
明科トンネル (上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種別	監視員通路・監査廊工図(12)		
縮 尺	図示	図面番号	125 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

監視員通路・監査廊工図(13)

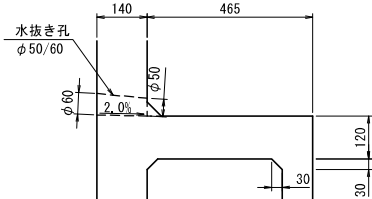
接続部 S=1:30

構造図  
φ 200相当

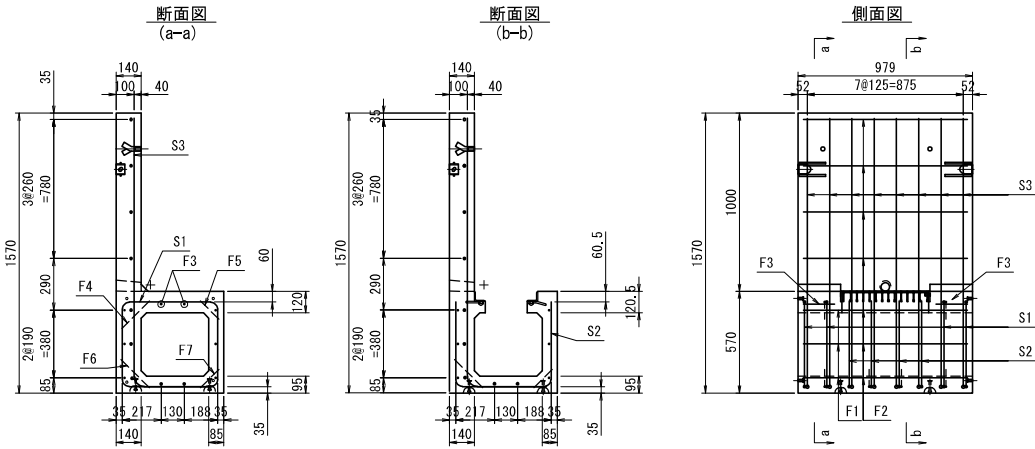


注) 構造に影響ない範囲で面取り・抜きテーパなどを設ける。

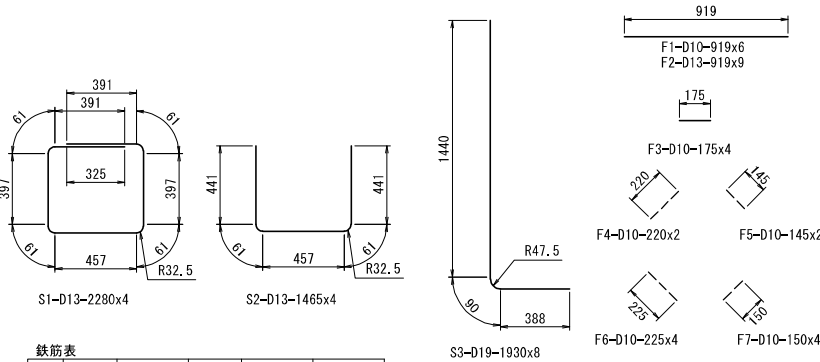
頂版部 寸法図  
S=1/15



配筋図  
φ 200相当



鉄筋加工図



鉄筋表

記号	鉄筋径 (SD295※)	単位重量 (kg/m)	本 数	長 さ (m)	重 量 (kg)
S1	D13	0.995	4	2.280	9.1
S2	D13	0.995	4	1.465	5.8
S3	D19	2.250	8	1.930	34.7
F1	D10	0.560	6	0.919	3.1
F2	D13	0.995	9	0.919	8.2
F3	D10	0.560	4	0.175	0.4
F4	D10	0.560	2	0.220	0.2
F5	D10	0.560	2	0.145	0.2
F6	D10	0.560	4	0.225	0.5
F7	D10	0.560	4	0.150	0.3
鉄筋総重量				62.5	(kg)
製品立積				0.330	(m3)

※鉄筋の種類は SD295 同等品以上とする。

設計条件

型 式	φ 200相当	
鉄筋コンクリート		
		単位 (N/mm <sup>2</sup> )
コンクリート	設計基準強度	σ ck=40
	許容圧縮応力度	σ ca=14.0
	許容せん断応力度	τ ca=0.27
鉄 筋 SD295※	許容引張応力度	σ sa=160

※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

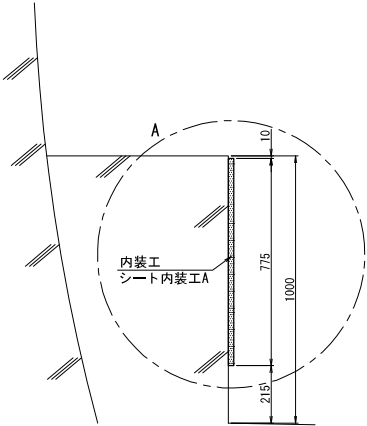
明科トンネル (上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類		監視員通路・監査廊工図(13)		
縮	尺	図示	図面番号	125 / 204
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所			

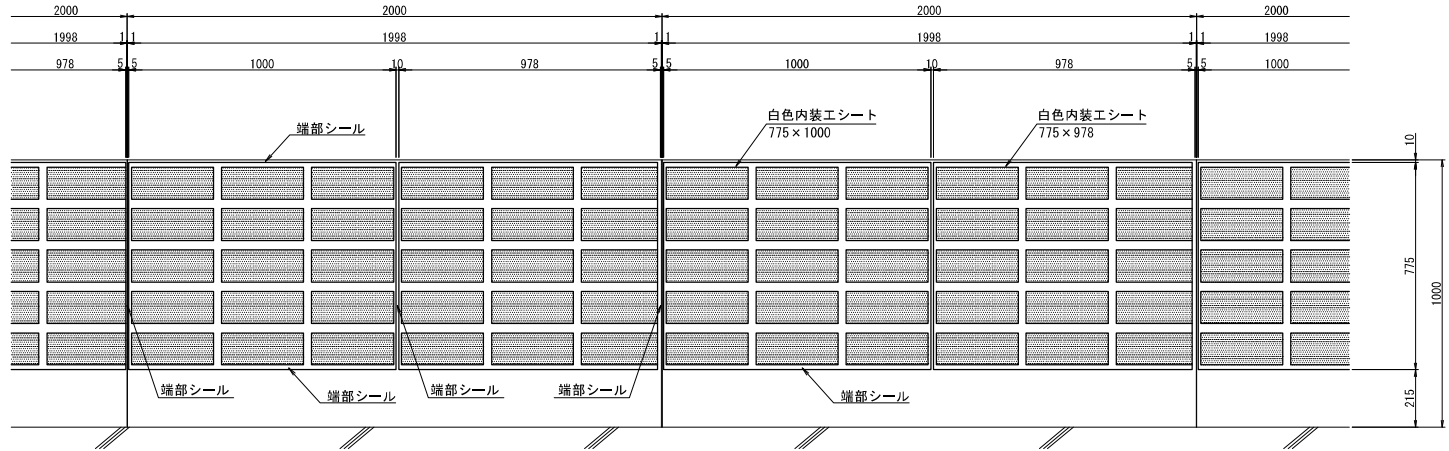
監視員通路・監査廊工図(14)

シート内装工A S=1:20

側面図

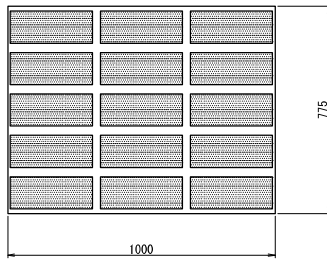


正面図



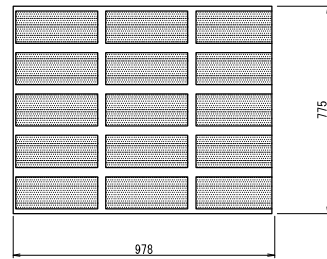
内装シート詳細図

内装シート 775×1000



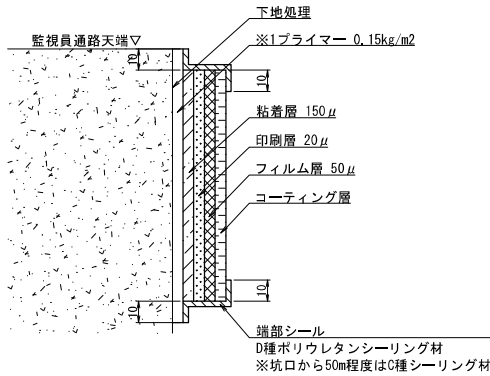
内装シート詳細図

内装シート 775×978



A部詳細図 S=1:5

シート構造図



内装工 材料表

品名	形状	単位	数量	備考
白色内装工シート	775×1000	枚	1	1ロール50m 幅1m
	775×978	枚	1	1ロール50m 幅1m
プライマー	標準塗布量 0.15kg/m2	kg	0.23	1.533m2×0.15
端部シール		m	6.33	0.775m×3箇所(両端部+1箇所) +縦断方向2m×2箇所(上下) ※監視員通路工A: 1基 L=2.0m

施工数量

項目	形状	単位	数量	備考
施工面積 白色内装工シート		m2	1,533	0,775m×1,978m

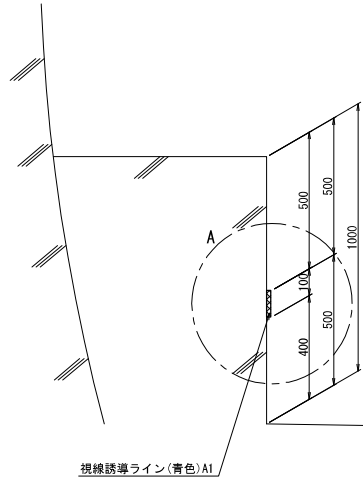
明科トンネル(上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類	監視員通路・監査廊工図(14)			
縮尺	図示	図面番号	127 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所			

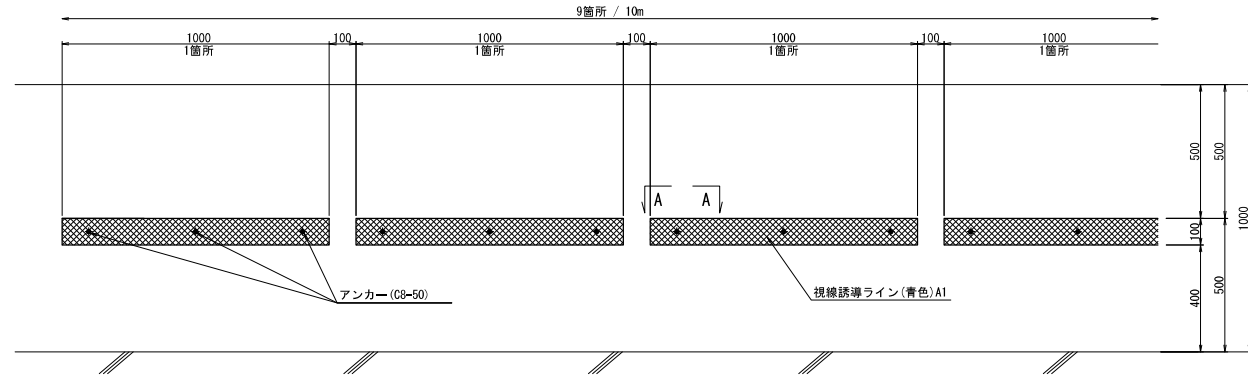
監視員通路・監査廊工図(15)

視線誘導ライン(青色)A1  $S=1:20$   
連続設置

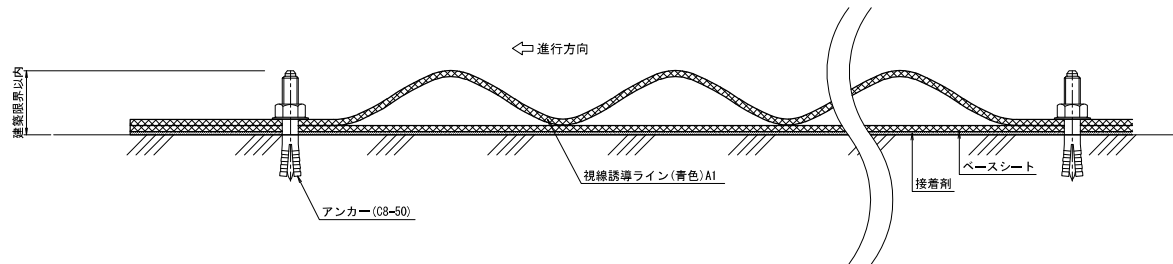
側面図



正面図

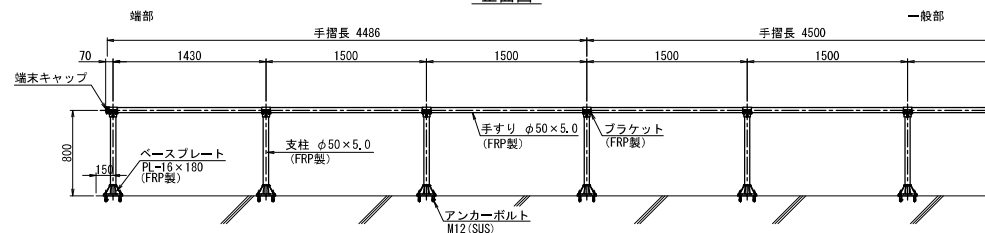


A-A部 詳細図

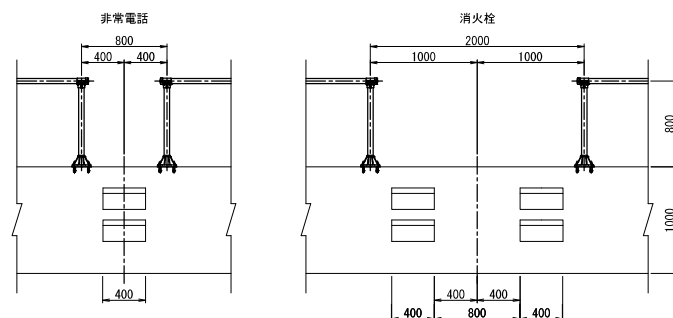


明科トンネル（上り線）				
長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類	監視員通路・監査廊工図(15)			
縮 尺	図示	図面番号	128 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所			

支柱断面图 S=1:10



開口部立面図



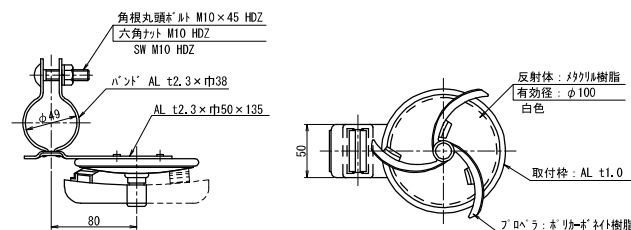
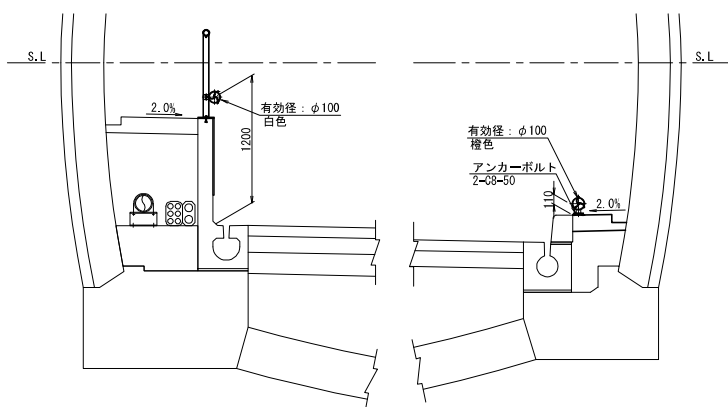
視線誘導標 設置位置図 S=1:50

視線誘導標 C1 S=1:5

視線誘導標 C3 S=1:5

監視員通路部(走行側)

監査廊部(追越側)



視線誘導標 C1 部材表

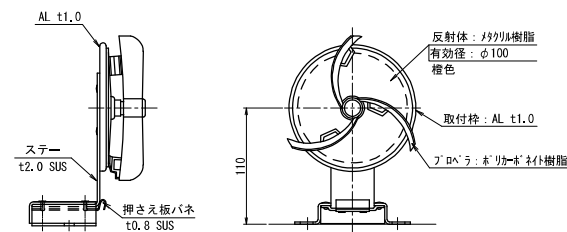
部材品目	寸法・規格	単位	数量	備考
頭部		個	1	
機械式	M3×50	組	1	

視線誘導標 C1 数量表

項目	形状寸法	単位	数量	摘要
視線誘導標 C1		基	15	1基/25m

視線誘導標 C3 數量表

項目	形狀寸法	單位	數量	摘要
視線誘導標 C3		基	15	1基/25m



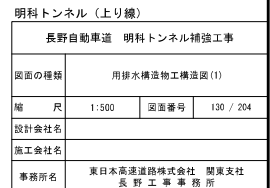
視線誘導標 C3 部材表

部材品目	寸法・規格	単位	数量	備考
頭部		個	1	
取付金具	着脱金具	個	1	
機械式	M8×50	本	2	

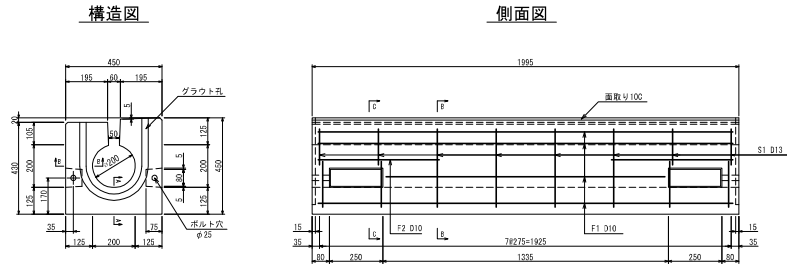
明科トンネル（上り線）

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	監視員通路・監査廊工図(16)		
縮 尺	図示	図面番号	129 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

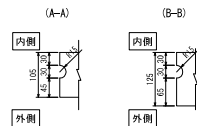
2区間  $L=376.5\text{m}$



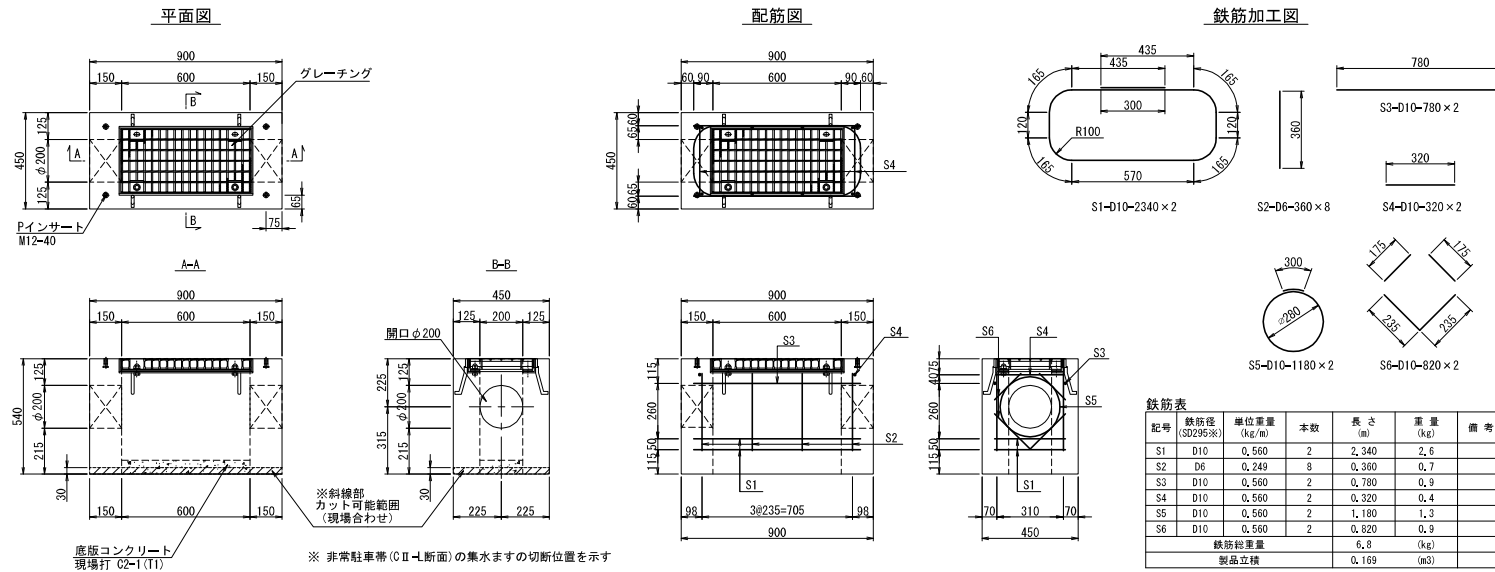
Ds-St・φ0.20(A) 詳細図 S=1:25



グラウト孔詳細図 S=1:5



円形水路 材料表					10m当り
名称	規格	単位	数量	摘要	
円形水路	φ200	m	10		
敷モルタル	1:3 BB	m <sup>3</sup>	0.09		
鉄筋	D10・D13	kg	102.0		

集水ますTypeM 詳細図 S=1:25  
追越側 (φ0.20用)

設計条件

型式	φ200
設計条件	Ds-St・φ0.20 同等 衝撃係数 i=0.0 後輪一軸荷重 80kN

鉄筋コンクリート	単位 (N/mm <sup>2</sup> )
設計基準強度	σ <sub>ck</sub> =24.0
コンクリート 許容圧縮応力度	σ <sub>ca</sub> =8.0
許容せん断応力度	τ <sub>ca</sub> =0.39
鉄筋 SD295※	許容引張応力度 σ <sub>sa</sub> =180

※鉄筋の種類は SD295 同等品以上とする。

鉄筋表

記号	鉄筋径 (SD295※)	単位重量 (kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (kg)	備考
S1	D13	0.995	8	1.180	9.4	
S2	D13	0.995	8	0.065	0.5	
S3	D13	0.995	8	0.215	1.7	
F1	D10	0.560	9	1.940	9.8	
F2	D10	0.560	4	0.570	1.3	
欠損鉄筋重量				-2.4	(kg)	
鉄筋総重量				22.7	20.3	(kg)
製品立積				0.312	(m <sup>3</sup> )	

※鉄筋の種類は SD295 同等品以上とする。

設計条件

型式	φ200用集水樹 600×200×510mm
設計条件	10.0 (kN/m <sup>2</sup> )

鉄筋コンクリート	単位 (N/mm <sup>2</sup> )
設計基準強度	σ <sub>ck</sub> =24
コンクリート 許容圧縮応力度	σ <sub>ca</sub> =8
許容せん断応力度	τ <sub>ca</sub> =0.39
鉄筋 SD295※	許容引張応力度 σ <sub>sa</sub> =180

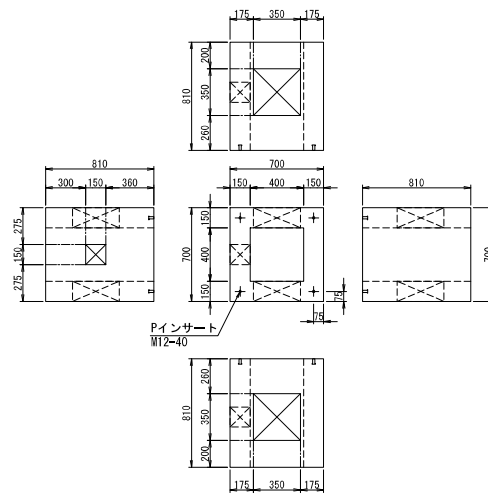
※鉄筋の種類は SD295 同等品以上とする。

明科トンネル (上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類		用排水構造物工構造図(2)		
縮尺	1:25	図面番号	131 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

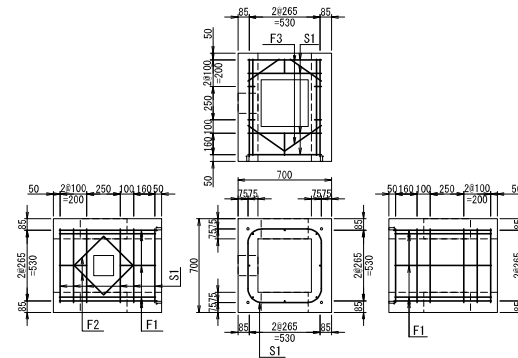
集水ますTypeL 詳細図 S=1:40

構造図

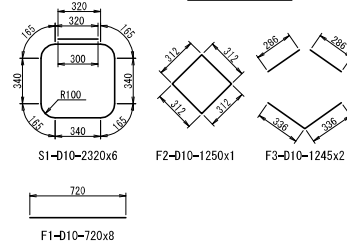


材料表 (1箇所当り)			
項 目	単位	数 量	摘 要
コンクリート C1-I	m3	0.02	底板

配筋図



鉄筋加工図



設計条件

型 式	400x400x810mm
側載荷重	10.0 (kN/m2)
土被り	0.870m

鉄筋コンクリート 単位 (N/mm2)		
設計基準強度	$\sigma_{ck}=24.0$	
許容圧縮応力度	$\sigma_{ca}=9.0$	
許容せん断応力度	$\tau_{ca}=0.39$	
鉄 筋 SD295※	許容引張応力度	$\sigma_{sa}=180$

※鉄筋の種類は SD295 同等品以上とする。

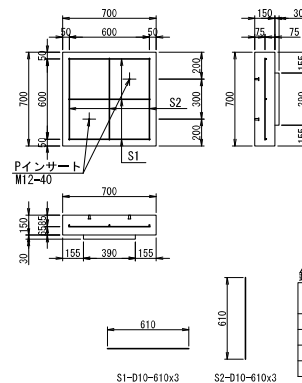
鉄筋表

記号	鉄筋径 (SD295)	単位重量 (kg/m)	本 数	長 さ (m)	重 量 (kg)	備 考
S1	D10	0.560	6	2.320	7.8	
F1	D10	0.560	8	0.720	3.2	
F2	D10	0.560	1	1.250	0.7	
F3	D10	0.560	2	1.245	1.4	
鉄筋欠損量					1.7	(kg)
鉄筋総重量					11.4	(kg)
製品立積					0.227	(m3)

※鉄筋の種類は SD295 同等品以上とする。

集水ます蓋 詳細図 S=1:40

ます蓋 鉄筋図



設計条件

型 式	700x150x700mm
上 載 荷 重	T-20 (横断)
土被り	0.720m

鉄筋コンクリート 単位 (N/mm2)		
設計基準強度	$\sigma_{ck}=24.0$	
許容圧縮応力度	$\sigma_{ca}=9.0$	
許容せん断応力度	$\tau_{ca}=0.39$	
鉄 筋 SD295※	許容引張応力度	$\sigma_{sa}=180$

※鉄筋の種類は SD295 同等品以上とする。

鉄筋表

記号	鉄筋径 (SD295※)	単位重量 (kg/m)	本 数	長 さ (m)	重 量 (kg)	備 考
S1	D10	0.560	3	0.610	1.0	
S2	D10	0.560	3	0.610	1.0	
鉄筋総重量					2.0	(kg)
製品立積					0.078	(m3)

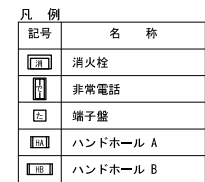
※鉄筋の種類は SD295 同等品以上とする。

明科トンネル (上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類		用排水構造物工構造図 (3)	
縮 尺	1:40	図面番号	132 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



2区間



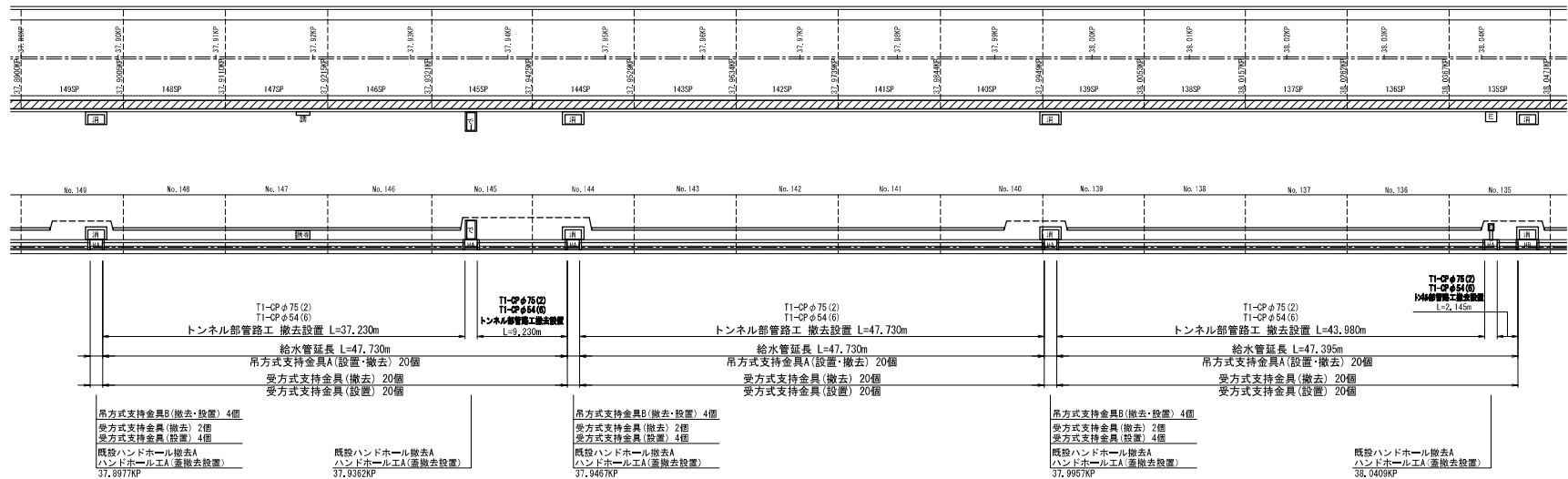
明科トンネル（上り線）			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	トンネル部管工・トンネル部管路付帯工 ・ハンドホール工図(1)		
縮 尺	1:500	図面番号	133 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

トンネル部管路工・トンネル部管路付帯工・ハンドホール工図(2)

平面図 S=1:500

2区間

2区間 L=376.5m



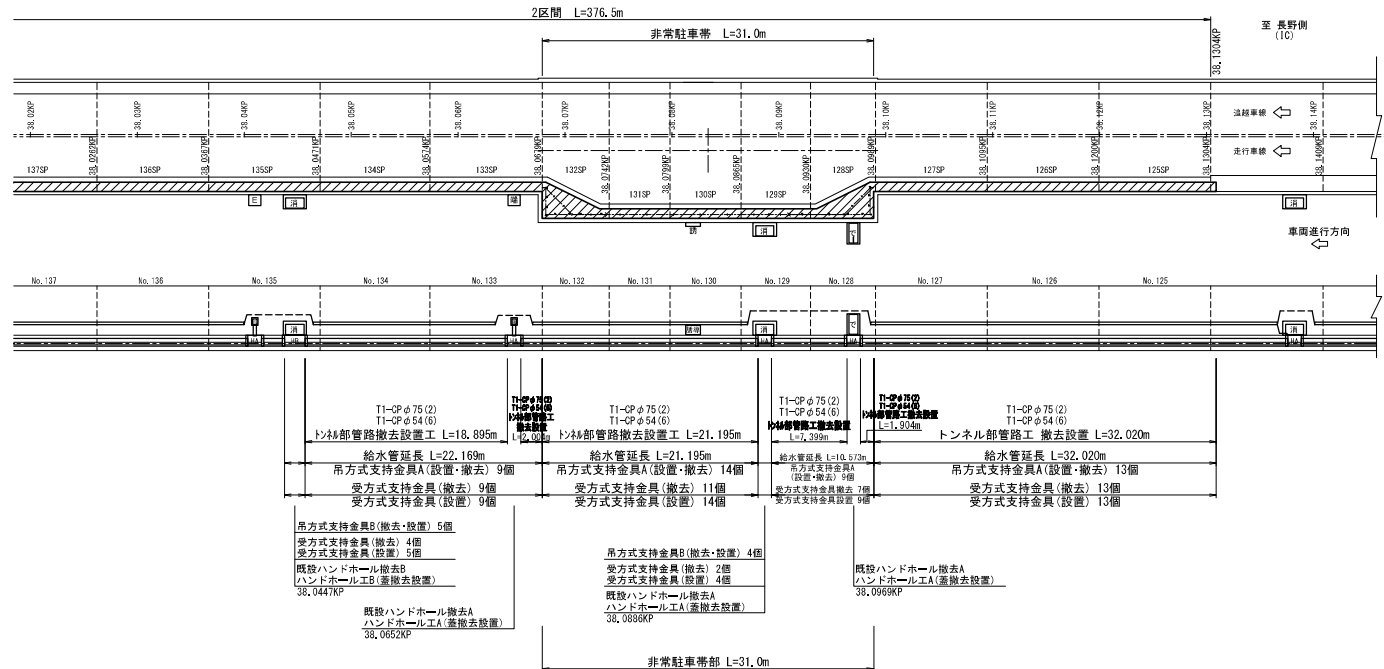
凡 例	
記号	名 称
	消火栓
	非常電話
	端子盤
	ハンドホール A
	ハンドホール B

明科トンネル (上り線)			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種別	トンネル部管路工・トンネル部管路付帯工・ハンドホール工図(2)		
縮 尺	1:500	図面番号	134 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

トンネル部管路工・トンネル部管路付帯工・ハンドホール工図(3)

平面図 S=1:500

2区間



凡 例	
記号	名 称
	消火栓
	非常電話
	端子盤
	ハンドホール A
	ハンドホール B

明科トンネル（上り線）			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	トンネル部管路工・トンネル部管路付帯工 ハンドホール工図(3)		
縮 尺	1:500	図面番号	135 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工 事 務 所		

数量表

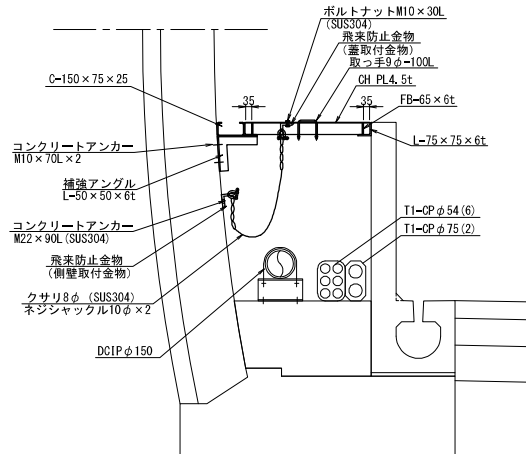
項目			車線区分	単位	数量	摘要
トンネル部管路工	トンネル部管路工設置	T1-CPφ75(2)	走行側	m	361.6	
		T1-CPφ54(6)	走行側	m	361.6	
	トンネル部管路工撤去	T1-CPφ75(2)	走行側	m	361.6	
		T1-CPφ54(6)	走行側	m	361.6	
ハンドホール工	ハンドホール工	A	走行側	箇所	11	
		B	走行側	箇所	2	
	既設ハンドホール撤去A	A	走行側	箇所	11	
		B	走行側	箇所	2	
		A	走行側	m3	3.1	
		B	走行側	m3	0.6	
		合計		m3	3.7	
				t	8.7	
トンネル部管路付帯工	吊方式支持金具 (設置・撤去)	A	走行側	個	163	
			走行側	kg	2,071.57	等辺山形鋼 L-75×75×9
		B	走行側	個	30	
			走行側	kg	677.97	等辺山形鋼 L-75×75×9
	受方式支持金具撤去		走行側	個	176	
			走行側	kg	589.60	溝形鋼 [-125×65×6×8
	受方式支持金具設置		走行側	個	193	

明科トンネル（上り線）				
長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類	トンネル部管路工・トンネル部管路付帯工 ・ハンドホール工図(4)			
縮 尺	—	図面番号	136 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

## トンネル部管路工・トンネル部管路付帯工・ハンドホール工図(5)

## ハンドホール工詳細図

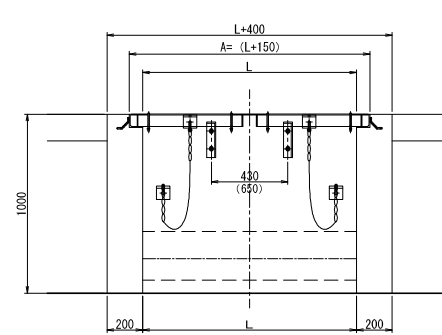
断面図 S=1:30



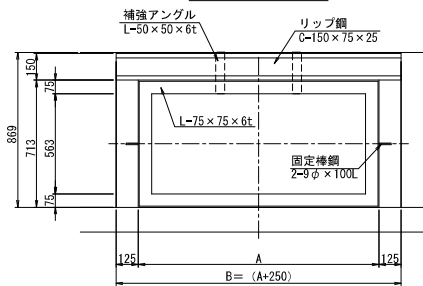
ハンドホール 数量表

項目	規格	単位	種別	2区間 (A-6)	合計
ハンドホール		箇所	A	11	13
			B	2	
ハンドホール蓋		組	A	11	13
			B	2	
妻壁型わく	D	m2	A	16.8	19.9
			B	3.1	
妻壁コンクリート	C1-I	m3	A	3.2	3.8
			B	0.6	
ハンドホール枠 ハンドホール蓋部材		t	A	1,144	1,438
			B	0,294	

正面図 S=1:30



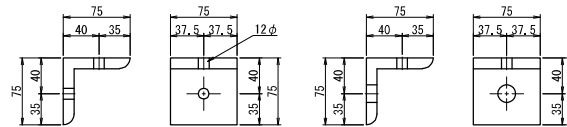
ハンドホール枠 S=1:30



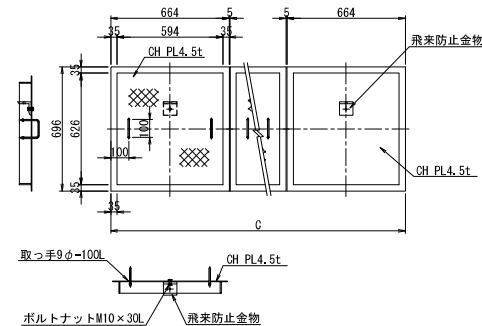
飛来防止金物 S=1:6

蓋取付金物

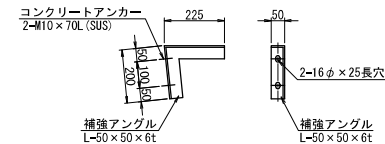
側壁取付金物



ハンドホール蓋 S=1:30



補強アングル S=1:20



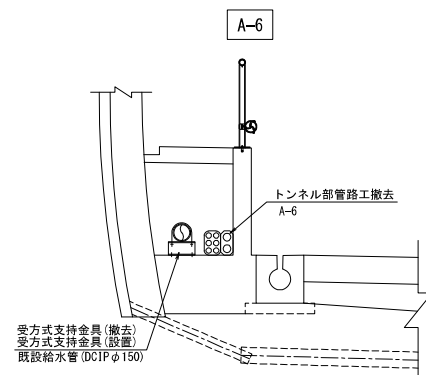
ハンドホール寸法表

種別	蓋枚数 (組)	ハンドホール長 L (mm)	枠および蓋寸法 (mm)		
			A	B	C
A	1	1270	1420	1670	1333
B	1	1940	2090	2340	2002

ハンドホール 材料表

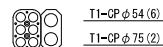
項目	規格	単位	数量		重量数量 (kg)		備考
			A	B	A	B	
ハンドホール枠	L=75×75×6t	m	4.27	5.61	29,222	38,401	
固定棒鋼	9φ	m	0.20	0.20	0,100	0,100	
リップ鋼	C=150×75×25	m	1.67	2.34	18,871	26,442	
補強アングル	L=50×50×6t	m	0.85	0.85	3,766	3,766	
ハンドホール蓋	CH PL4.5t	m	0.92	1.39	32,617	48,926	
蓋取っ手	9φ	m	1.20	1.80	0,599	0,898	
コンクリートアンカー	M10×70L	本	4	6	-	-	
飛来防止金物	蓋取付金物 L=75×75×12t	m	0.15	0.23	1,950	2,925	
	側壁取付金物 L=75×75×12t	m	0.15	0.23	1,950	2,925	
	ネジジャックル10φ	個	4	6	-	-	
	クサリ8φ	m	4.0	3.0	-	-	
合計 (重量)					104,008	146,782	

トンネル部管路工断面図 S=1:50

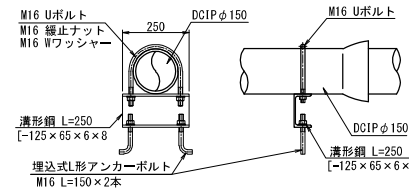


トンネル部管路工 (37, 7539KP ~ 38, 1304KP)

A-6



受方式支持金具 S=1:20



受方式支持金具 数量表

区間	撤去数量 (個)	設置数量 (個)	摘要
2区間	176	193	

受方式支持金具 材料表

種別	仕様・形状寸法	単位	数量	摘要
支持金具	[=125×65×6×8 L=250]	kg	3,350	13.4kg/m
Uボルト	Uボルト 150用 M16 緩止ナット M16 Wワッシャー M16	組	1	
埋込式L形アンカーボルト	L形アンカーボルト M16 L=150 緩止ナット M16 Wワッシャー M16	本	2	

※受方式支持金具に使用する材料は、溶融亜鉛メッキ (HDZ49) とする。

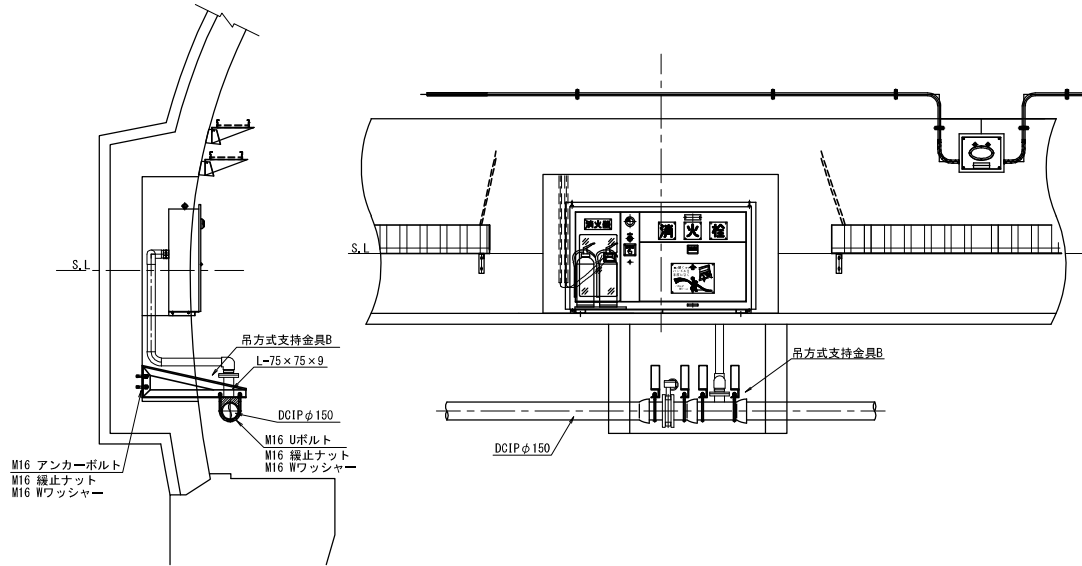
明科トンネル (上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事	
図面の種別	トンネル部管路工・トンネル部管路付帯工・ハンドホール工図(5)
縮尺	図示 図面番号 137 / 204
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

トンネル部管路工・トンネル部管路付帯工・ハンドホール工図(6)

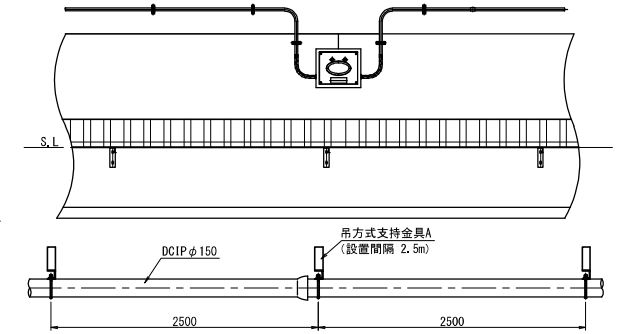
吊方式支持金具設置図

消火栓部側面図 S=1:50

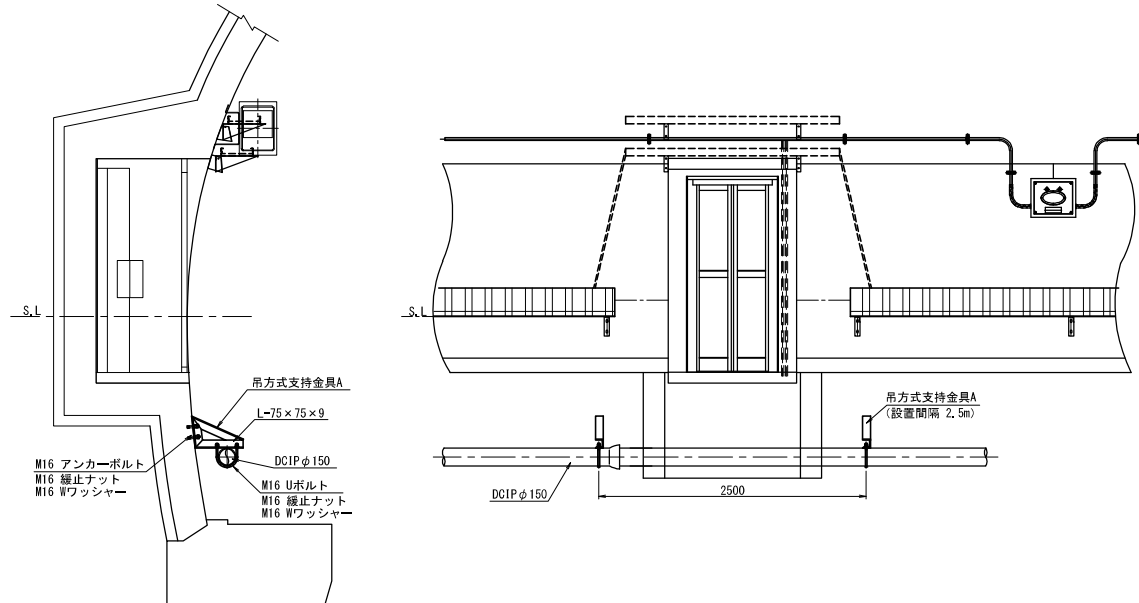


標準部側面図 S=1:50

吊方式支持金具A  
(設置間隔: 2.5m)



非常電話部側面図 S=1:50



吊方式支持金具 数量表

区 間	数量 (個)		摘要
	A	B	
2区間	163	30	

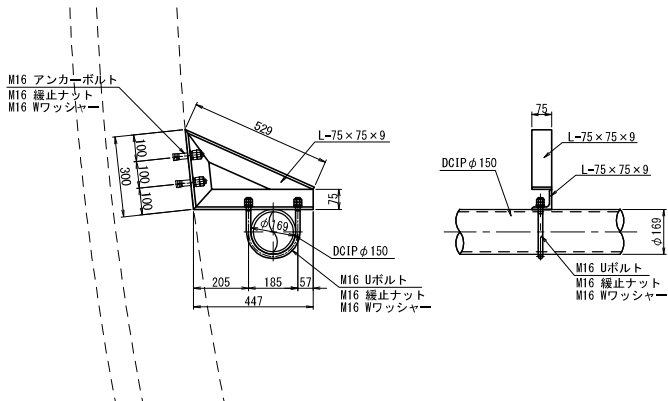
明科トンネル (上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事	
図面の種類	トンネル部管路工・トンネル部管路付帯工・ハンドホール工図(6)
縮 尺	1:50 図面番号 138 / 204
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

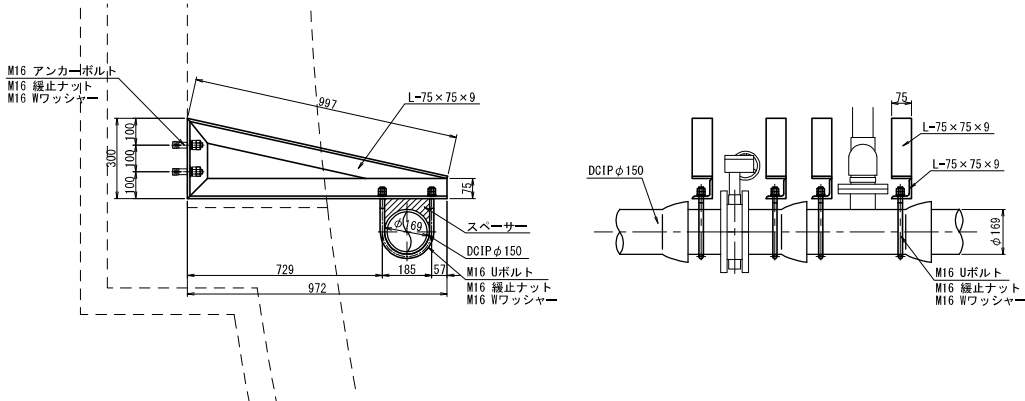
トンネル部管路工・トンネル部管路付帯工・ハンドホール工図(7)

吊方式支持金具詳細図

吊方式支持金具A S=1:20  
(標準部・非常電話部)



吊方式支持金具B S=1:20  
(消火栓部)



※消火栓位置に設ける給水本管の支持金具の下に隙間が生じている場合がある。

材 料 表					1箇所当り
種別	仕様・形状寸法	単位	数量	摘要	
支持金具	L=75×75×9t L=0, 529m	kg	5, 269	9, 96kg/m	
	L=75×75×9t L=0, 300m	kg	2, 988	9, 96kg/m	
	L=75×75×9t L=0, 447m	kg	4, 452	9, 96kg/m	
Uボルト	Uボルト 150用 M16 緩止ナット M16 Wワッシャー M16	組	1		
アンカーボルト	アンカーボルト M16 緩止ナット M16 WワッシャーM16	組	2		

材 料 表					1箇所当り
種別	仕様・形状寸法	単位	数量	摘要	
支持金具	L=75×75×9t L=0, 997m	kg	9, 930	9, 96kg/m	
	L=75×75×9t L=0, 300m	kg	2, 988	9, 96kg/m	
	L=75×75×9t L=0, 972m	kg	9, 681	9, 96kg/m	
Uボルト	Uボルト 150用 M16 緩止ナット M16 Wワッシャー M16	組	1		
アンカーボルト	アンカーボルト M16 緩止ナット M16 WワッシャーM16	組	2		

※等辺山形鋼は、溶融亜鉛メッキ (HDZT49) とする。

明科トンネル（上り線）			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	トンネル部管路工・トンネル部管路付帯工 ・ハンドホール工図(7)		
縮 尺	1:20	図面番号	139 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

平面图 S=1:500

[illegible][illegible][illegible]

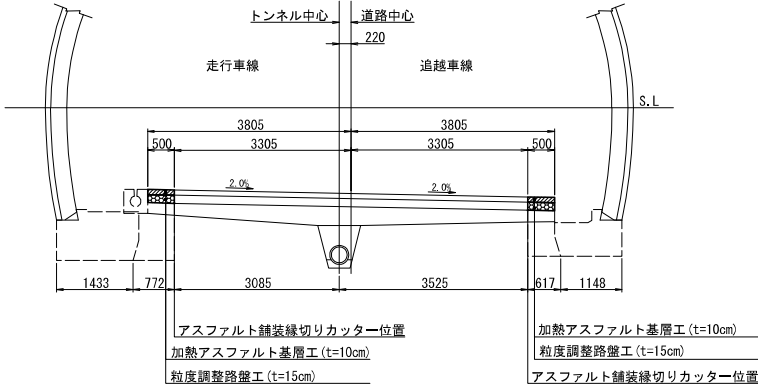
明科トンネル（上り線）				
長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類	構造物等取壊し工図(1) (アスファルト舗装版) 覆工受台施工前			
縮 尺	1:500	図面番号	140 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			



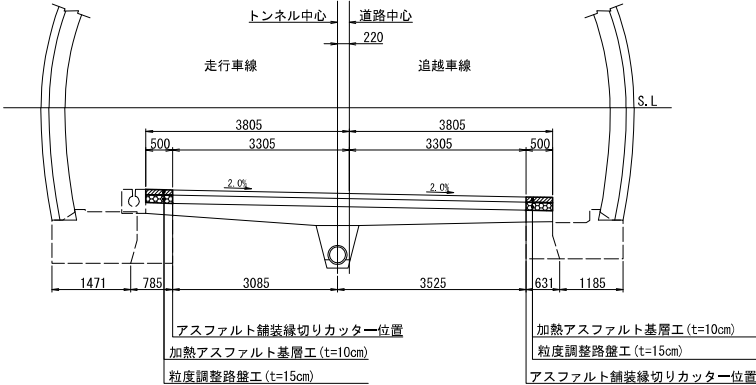
構造物等取壊し工図(2)  
(アスファルト舗装版)

覆工受台施工前

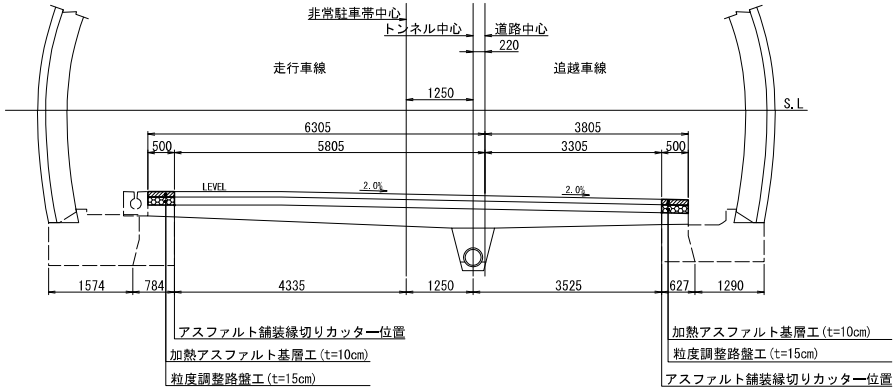
断面図 S=1:100  
C II 断面



断面図 S=1:100  
D I 断面



断面図 S=1:100  
C II-L断面



アスファルト舗装版取壊しTypeA 数量表 (覆工受台施工前)

区間	車線区分	延長 (m)	厚さ (cm)	幅員 (m)	数量 (m2)	摘要
2区間	追越側	C II	301.5	10	0.500	150.8
		D I	45.0	10	0.500	22.5
		C II-L	31.0	10	0.500	15.5
	走行側	C II	301.5	10	0.500	150.8
		D I	45.0	10	0.500	22.5
		C II-L	32.2	10	0.500	16.1
小計	追越側	377.5			188.8	
	走行側	378.7			189.4	
合 計					378.2	

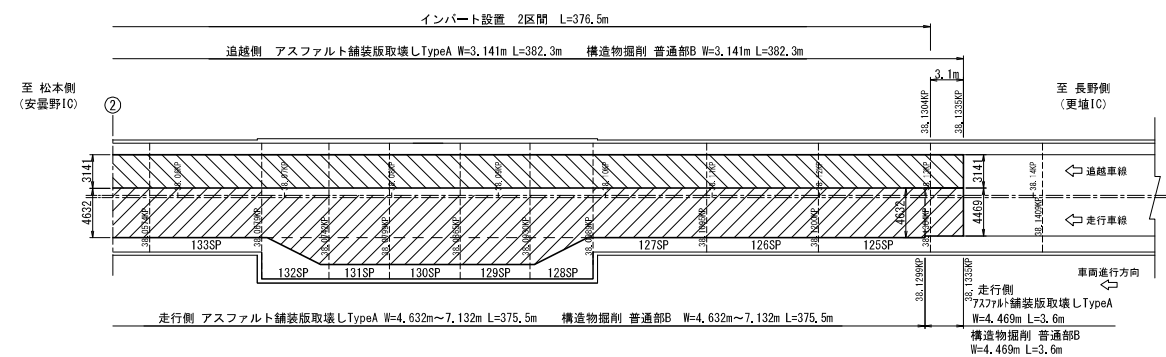
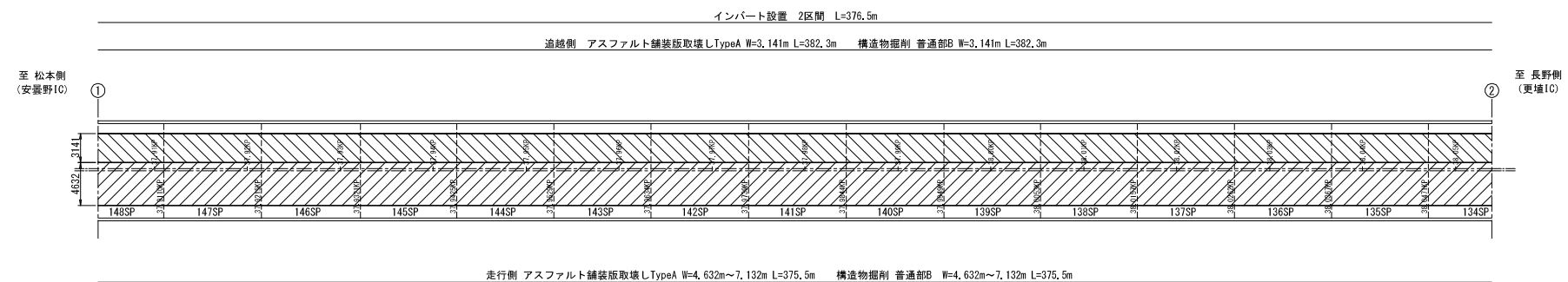
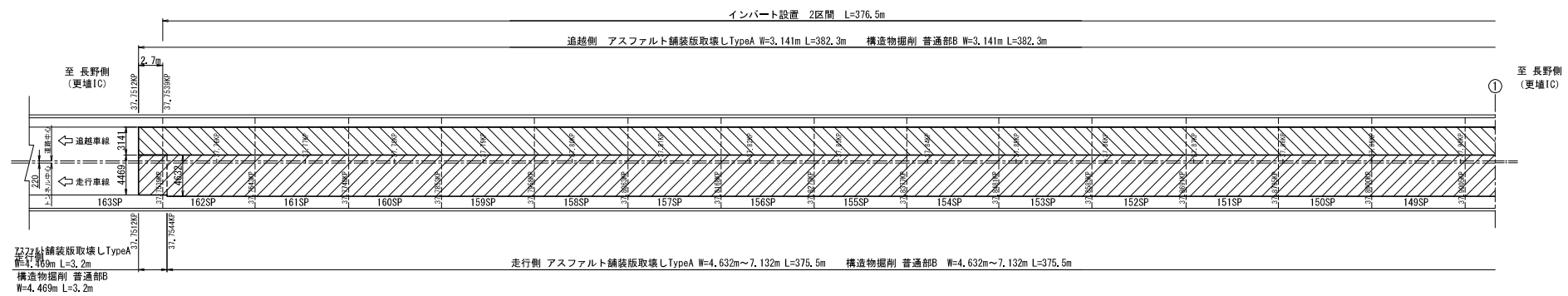
構造物掘削 普通部A 数量表 (覆工受台施工前)

区間	車線区分	延長 (m)	断面積 (m2)	数量 (m3)	摘要
2区間	追越側	C II	301.5	0.075	22.6
		D I	45.0	0.075	3.4
		C II-L	31.0	0.075	2.3
	走行側	C II	301.5	0.075	22.6
		D I	45.0	0.075	3.4
		C II-L	32.2	0.075	2.4
小計	追越側	377.5		28.3	
	走行側	378.7		28.4	
合 計				56.7	

明科トンネル (上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	構造物等取壊し工図(2) (アスファルト舗装版) 覆工受台施工前		
縮 尺	1:100	図面番号	141 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

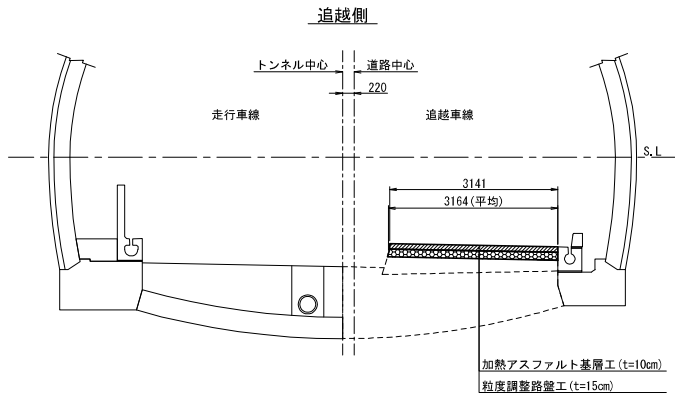
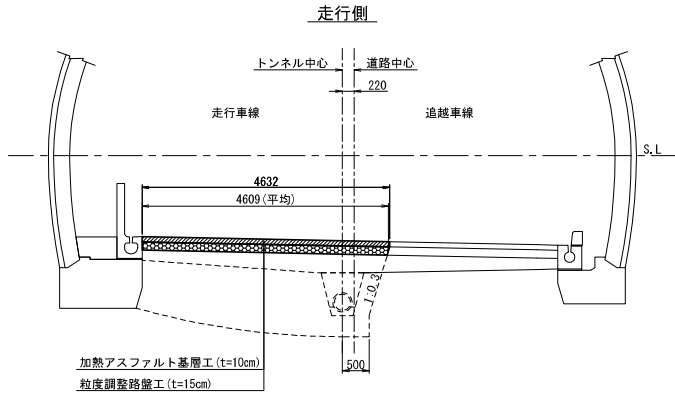
2区間



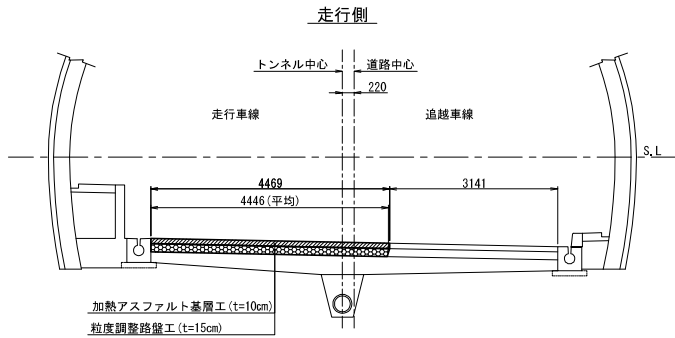
明科トンネル（上り線）			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	構造物等取壊し工事(3) （アスファルト舗装段） インパクト施工前		
縮 尺	1:500	図面番号	142 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

構造物等取壊し工図(4)  
(アスファルト舗装版)  
インバート施工前

断面図 S=1:100  
C II, D I 断面



余掘区間  
(上流側: 3.6m、下流側: 3.2m)



明科トンネル (上り線)				
長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類	構造物等取壊し工図(4) (アスファルト舗装版) (インバート施工前)			
縮 尺	1:100	図面番号	143 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

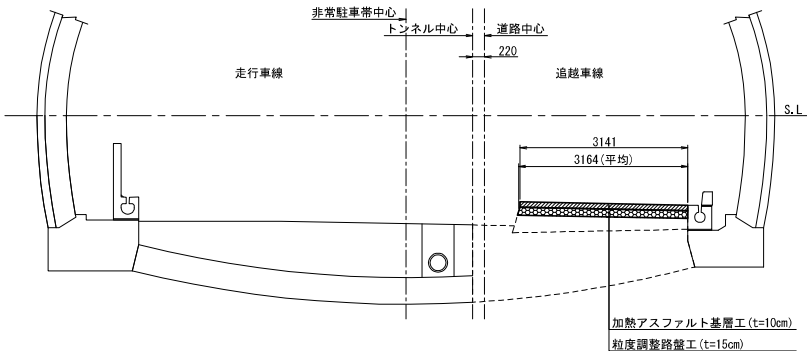
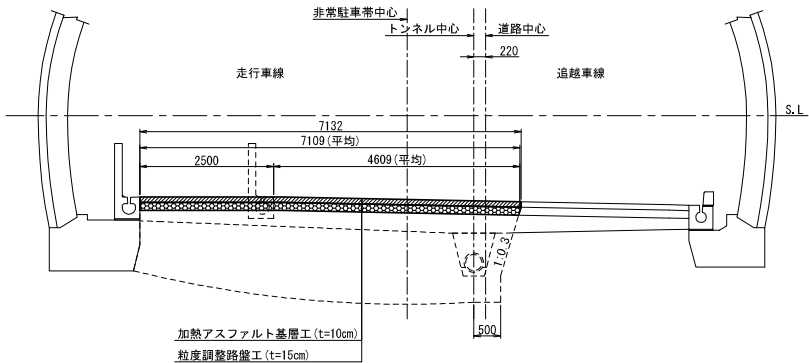
構造物等取壊し工図(5)

(アスファルト舗装版)

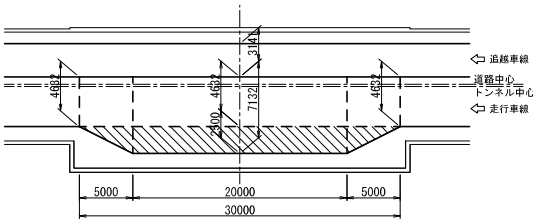
インバート施工前

断面図 S=1:100

CⅡ-L断面



非常駐車帯部 S=1:500



アスファルト舗装版取壊しTypeA 数量表 (インバート施工前)

区間	車線区分	延長 (m)	厚さ (cm)	幅員 (m)	数量 (m2)	摘要
2区間	追越側	382.3	10	3.141	1,200.8	
	標準部	375.5	10	4.632	1,739.3	
	走行側 非常駐車帯部	30.0	10	-	62.5	
	余掘区間	6.8	10	4.469	30.4	
小計	追越側	382.3			1,200.8	
	走行側	382.3			1,832.2	
合 計					3,033.0	

構造物掘削 普通部B 数量表 (インバート施工前)

区間	車線区分	延長 (m)	断面積 (m2)	数量 (m3)	摘要
2区間	追越側	382.3	0.475	181.4	
	標準部	382.3	0.691	269.5	
	走行側 非常駐車帯部	30.0	-	9.4	
	余掘区間	6.8	0.667	4.5	
小計	追越側	382.3		181.6	
	走行側	382.3		273.4	
合 計				455.0	

明科トンネル (上り線)

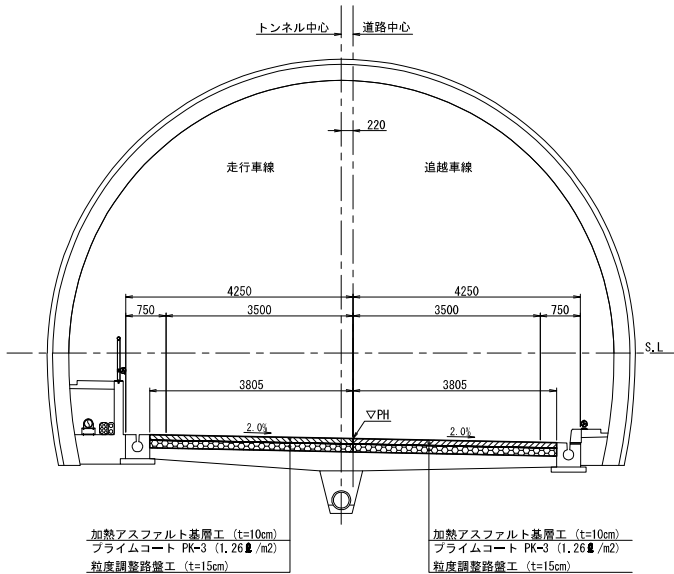
長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類		構造物等取壊し工図(5) (アスファルト舗装版) インバート施工前		
縮 尺	図示	図面番号	144 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工 事 務 所			

明科トンネル（上り線）			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種別	仮舗装工図 (I) コンクリート舗装版撤去後		
縮 尺	1:500	図面番号	145 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

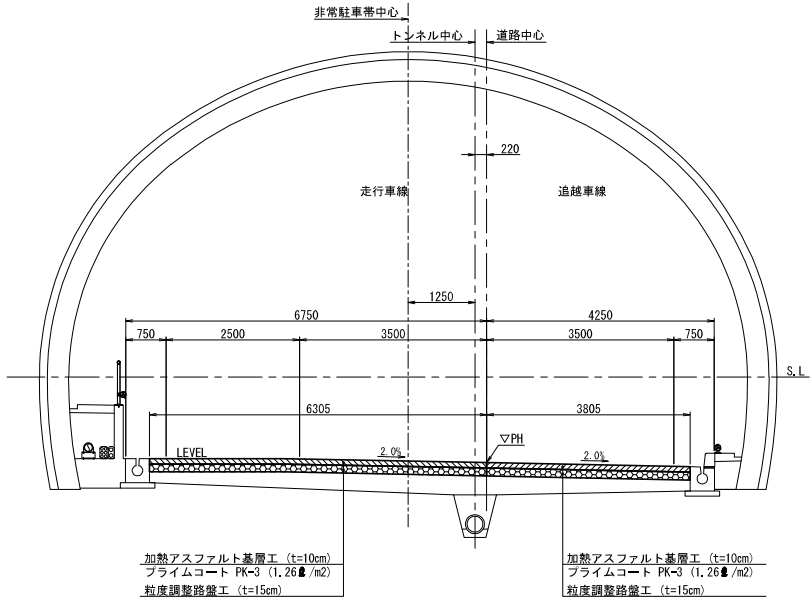
仮舗装工図(2)  
コンクリート舗装版撤去後

標準断面図 S=1:100

CⅡ,DI 断面



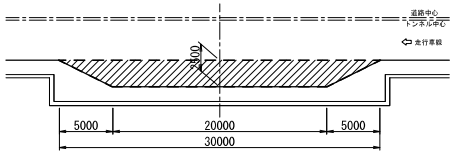
CⅡ-L断面  
(非常駐車帯部)



仮舗装工 数量表 (コンクリート舗装版撤去後)

区間	車線区分	延長 (m)	加熱アスファルト基層工 (t=10cm)		粒度調整路盤工 (t=15cm)		摘要
			幅員 (m)	数量 (m2)	幅員 (m)	数量 (m2)	
2区間	追越側	382.3	3.805	1,454.7	3.805	1,454.7	
	走行側	382.3	3.805	1,454.7	3.805	1,454.7	
	非常駐車帯部	30.0	-	62.5	-	62.5	
小計	追越側	382.3		1,454.7		1,454.7	
	走行側	382.3		1,517.2		1,517.2	
合計				2,971.9		2,971.9	

非常駐車帯部 S=1:500



明科トンネル (上り線)

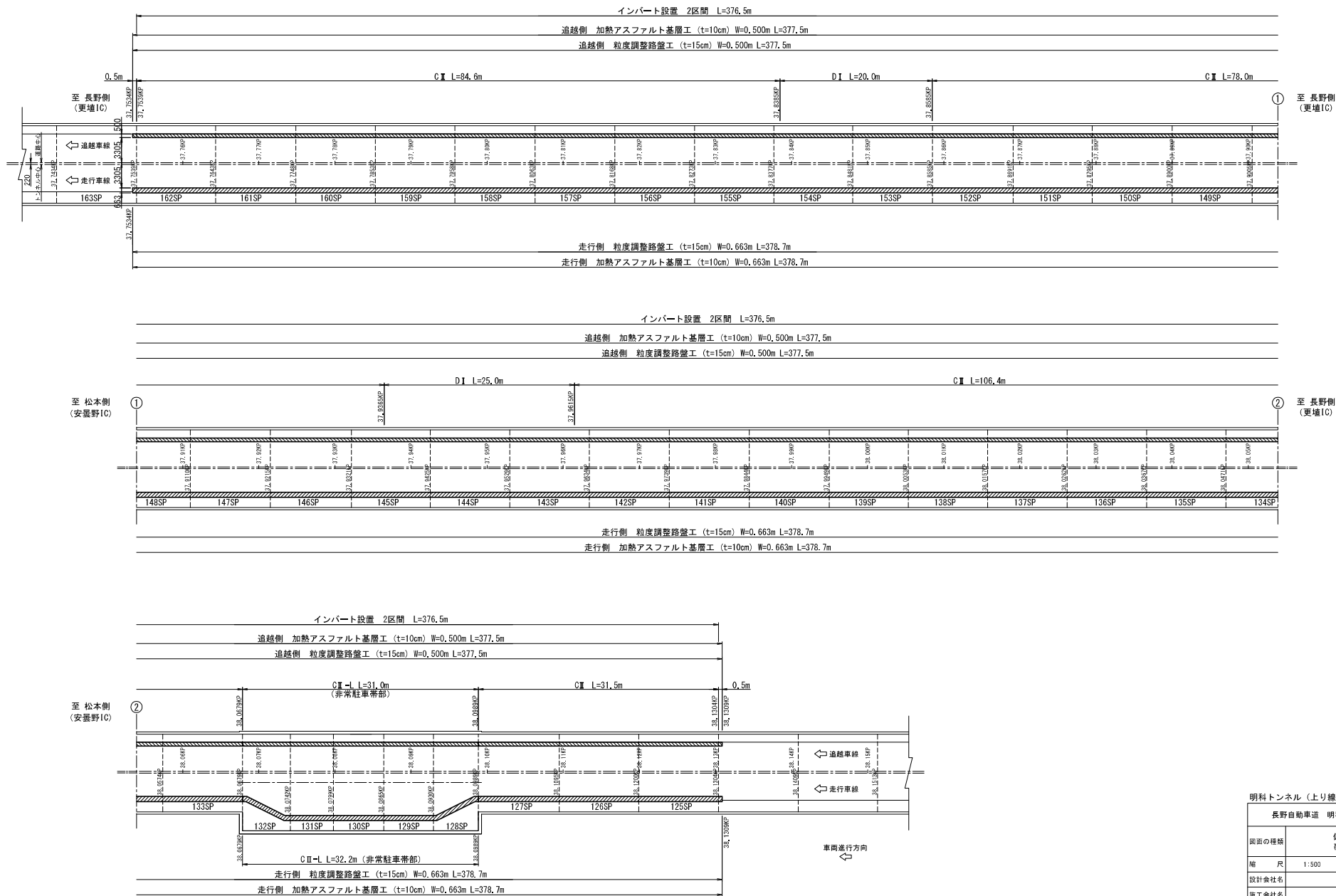
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	仮舗装工図(2) コンクリート舗装版撤去後		
縮 尺	図示	図面番号	146 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

仮舗装工図(3)

覆工受台施工後

平面図 S=1:500

2区間



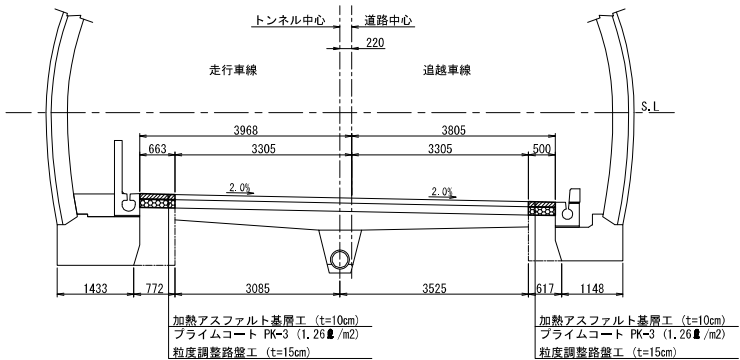
明科トンネル (上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	仮舗装工図(3) 覆工受台施工後		
縮 尺	1:500	図面番号	147 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

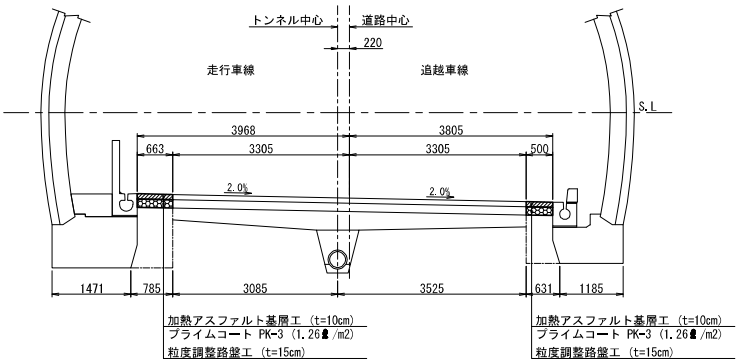
仮舗装工図(4)

覆工受台施工後

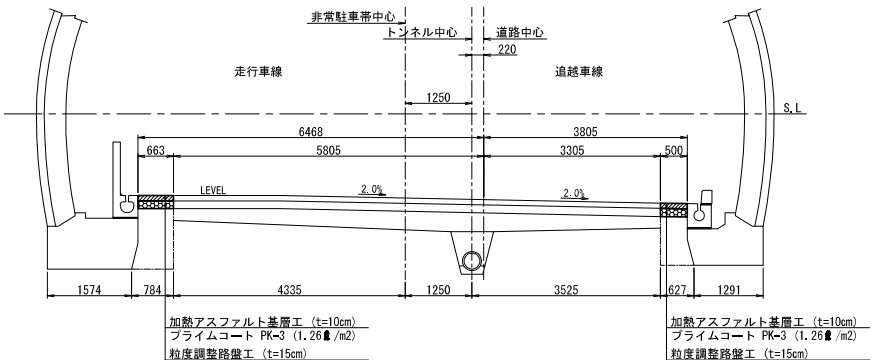
断面図 S=1:100  
CⅡ断面



断面図 S=1:100  
DⅠ断面



断面図 S=1:100  
CⅡ-L断面



仮舗装工 数量表 (覆工受台施工後)

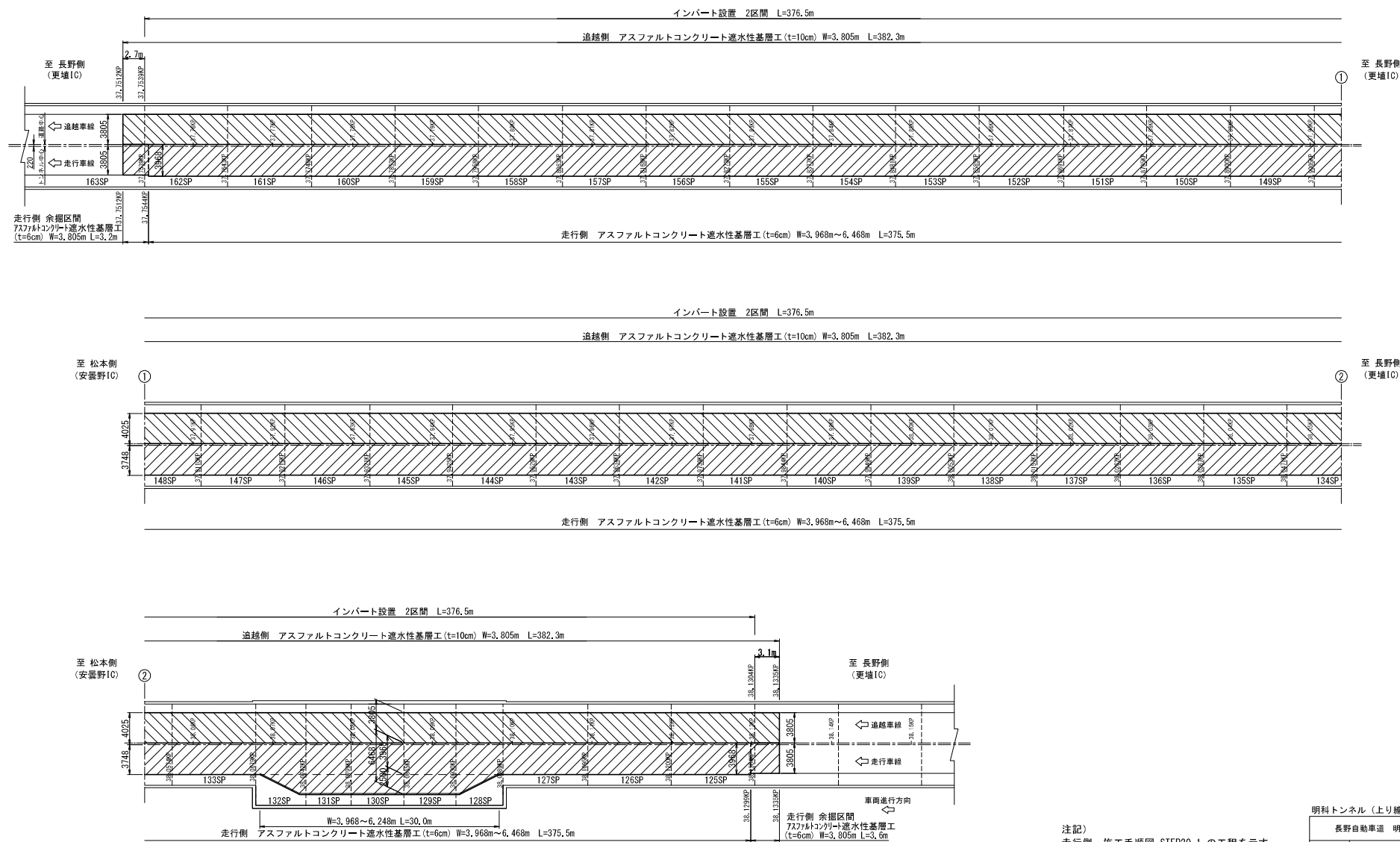
区間	車線 区分	延長 (m)	加熱アスファルト基層工 (t=10cm)		粒度調整路盤工 (t=15cm)		摘要
			幅員 (m)	数量 (m2)	幅員 (m)	数量 (m2)	
2区間	追越側	CⅡ	301.5	0.500	150.8	0.500	150.8
		DⅠ	45.0	0.500	22.5	0.500	22.5
		CⅡ-L	31.0	0.500	15.5	0.500	15.5
	走行側	CⅡ	301.5	0.663	199.9	0.663	199.9
		DⅠ	45.0	0.663	29.8	0.663	29.8
		CⅡ-L	32.2	0.663	21.3	0.663	21.3
小 計	追越側	377.5		188.8		188.8	
	走行側	378.7		251.0		251.0	
合 計				439.8		439.8	

明科トンネル (上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類	仮舗装工図(4) 覆工受台施工後			
	縮 尺	1:100	図面番号	148 / 204
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			



2区間



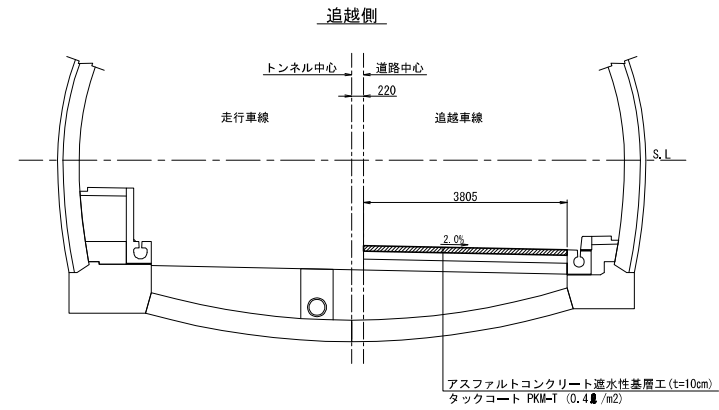
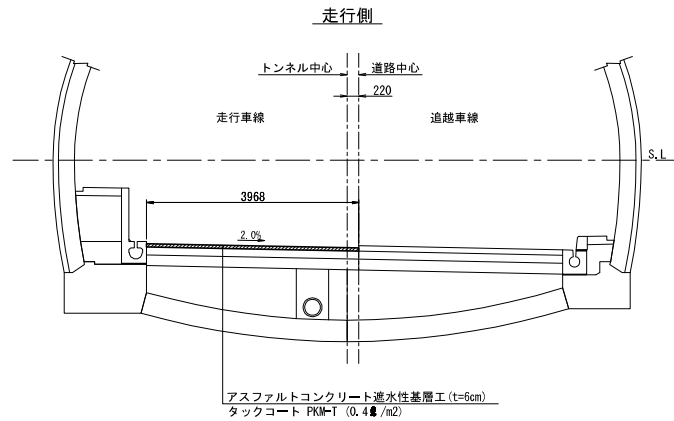
注記)  
走行側：施工手順図 STEP20-1 の工程を示す  
追越側：施工手順図 STEP20-2 の工程を示す

明科トンネル（上り線）			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
路面の種類	アスファルト舗装改良工(Ⅰ) インパット施工後		
幅 尺	1:500	国道路番	149 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

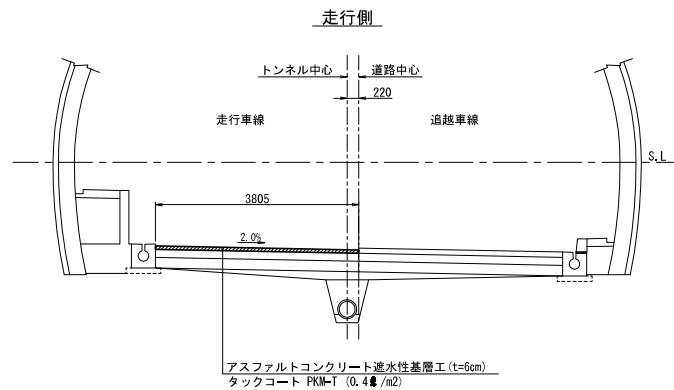
# アスファルト舗装改良工(2)

インバート施工後

断面図 S=1:100  
(C II, D I 断面)



余掘り区間  
(上流側: 3.6m、下流側: 3.2m)



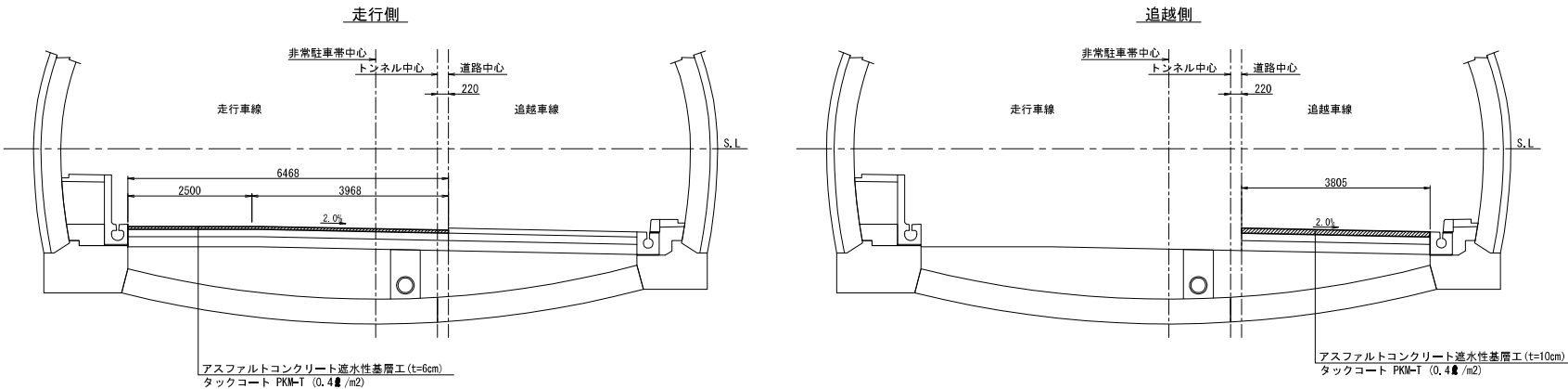
注記)  
走行側: 施工手順図 STEP20-1 の工程を示す  
追越側: 施工手順図 STEP20-2 の工程を示す

明科トンネル (上り線)			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	アスファルト舗装改良工(2) インバート施工後		
縮 尺	1:100	図面番号	150 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工 事 務 所		

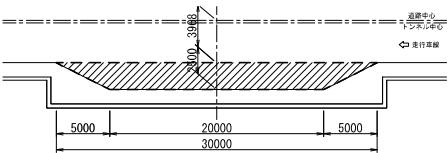
アスファルト舗装改良工(3)

インバート施工後

断面図 S=1:100  
(CⅡ-L断面)



非常駐車帯部 S=1:500



数量表 (インバート施工後)

区間	車線区分	延長 (m)	アスファルトコンクリート遮水性基層工			摘要
			厚さ (cm)	幅員 (m)	数量 (m <sup>2</sup> )	
2区間	追越側	382.3	10	3,805	1,454.6	
	走行側 標準部	375.5	6	3,968	1,490.0	
	走行側 非常駐車帯部	30.0	6	—	62.5	
	走行側 余幅区間	6.8	6	3,805	25.9	
合計	追越側	382.3	10		1,454.6	
	走行側	382.3	6		1,578.4	延長 (m) = 標準部 + 余幅区間

注記  
走行側：施工手順図 STEP20-1 の工程を示す  
追越側：施工手順図 STEP20-2 の工程を示す

明科トンネル（上り線）				
長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類		アスファルト舗装改良工（3） インバート施工後		
縮 尺	図示	図面番号	151 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



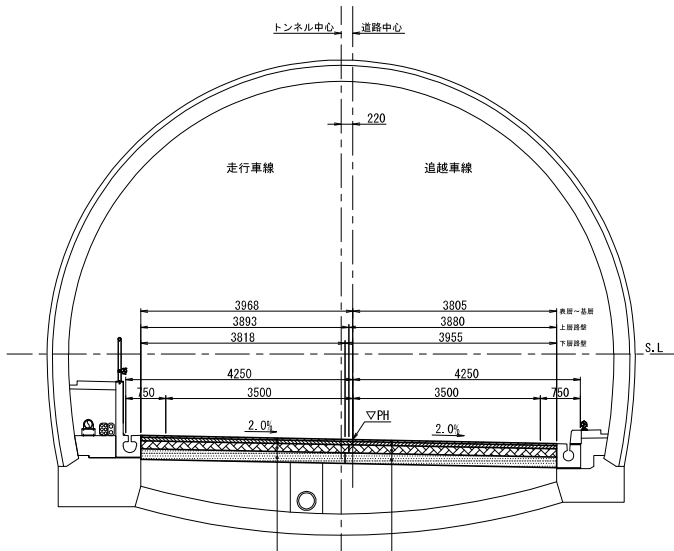
アスファルト舗装改良工(5)

完成時 舗装構成

標準断面図 S=1:100

インバート設置区間

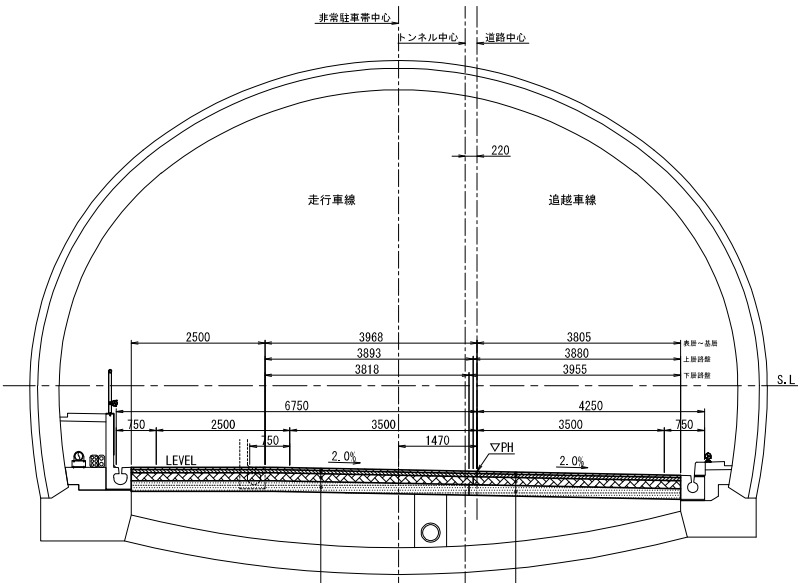
CⅡ,DI 断面



アスファルトコンクリート表層工 (t=4cm)  
(開粒度As、セメントミルク注入工)  
タックコート PKM-T (0.4 $\frac{kg}{m^2}$ )  
アスファルトコンクリート遮水性基層工 (t=6cm)  
タックコート PKM-T (0.4 $\frac{kg}{m^2}$ )  
上層路盤：加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=15cm)  
タックコート PKM-T (0.4 $\frac{kg}{m^2}$ )  
下層路盤：加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=20cm)  
プライムコート PK-3 (0.8 $\frac{kg}{m^2}$ )

アスファルトコンクリート表層工 (t=4cm)  
(開粒度As、セメントミルク注入工)  
タックコート PKM-T (0.4 $\frac{kg}{m^2}$ )  
アスファルトコンクリート遮水性基層工 (t=6cm)  
タックコート PKM-T (0.4 $\frac{kg}{m^2}$ )  
上層路盤：加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=15cm)  
タックコート PKM-T (0.4 $\frac{kg}{m^2}$ )  
下層路盤：加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=20cm)  
プライムコート PK-3 (0.8 $\frac{kg}{m^2}$ )

CⅡ-L断面



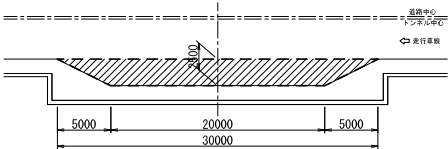
アスファルトコンクリート表層工 (t=4cm)  
(開粒度As、セメントミルク注入工)  
タックコート PKM-T (0.4 $\frac{kg}{m^2}$ )  
アスファルトコンクリート遮水性基層工 (t=6cm)  
タックコート PKM-T (0.4 $\frac{kg}{m^2}$ )  
上層路盤：加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=15cm)  
タックコート PKM-T (0.4 $\frac{kg}{m^2}$ )  
下層路盤：加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=20cm)  
プライムコート PK-3 (0.8 $\frac{kg}{m^2}$ )

アスファルトコンクリート表層工 (t=4cm)  
(開粒度As、セメントミルク注入工)  
タックコート PKM-T (0.4 $\frac{kg}{m^2}$ )  
アスファルトコンクリート遮水性基層工 (t=6cm)  
タックコート PKM-T (0.4 $\frac{kg}{m^2}$ )  
上層路盤：加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=15cm)  
タックコート PKM-T (0.4 $\frac{kg}{m^2}$ )  
下層路盤：加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=20cm)  
プライムコート PK-3 (0.8 $\frac{kg}{m^2}$ )

数量表

区間	車線区分	延長 (m)	アスファルトコンクリート表層工 (開粒度As、セメントミルク注入工)			アスファルトコンクリート 遮水性基層工			上層路盤 加熱アスファルト安定処理路盤工			下層路盤 加熱アスファルト安定処理路盤工			摘要
			厚さ (cm)	幅員 (m)	数量 (m2)	厚さ (cm)	幅員 (m)	数量 (m2)	厚さ (cm)	幅員 (m)	数量 (m2)	厚さ (cm)	幅員 (m)	数量 (m2)	
2区間	追越側	382.3	4	3,805	1,454.6	6	3,805	1,454.6	15	3,880	1,483.3	20	3,955	1,512.0	
	走行側 標準部	375.5	4	3,968	1,490.0	6	3,968	1,490.0	15	3,893	1,461.8	20	3,818	1,433.6	
	走行側 非常駐車帯部	30.0	4	2,500	62.5	6	2,500	62.5	15	2,500	62.5	20	2,500	62.5	
	走行側 余掘区間	6.8	4	3,805	25.9	6	3,805	25.9	15	3,730	25.4	20	3,655	24.9	
	走行側 計	382.3			1,578.4			1,578.4			1,549.7			1,521.0	
小計	追越側	382.3			1,454.6			1,454.6			1,483.3			1,512.0	
	走行側	382.3			1,578.4			1,578.4			1,549.7			1,521.0	
合 計					3,033.0			3,033.0			3,033.0			3,033.0	

非常駐車帯部 S=1:500



明科トンネル（上り線）

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	アスファルト舗装改良工(5) 完成時 舗装構成		
縮 尺	図示	図面番号	153 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

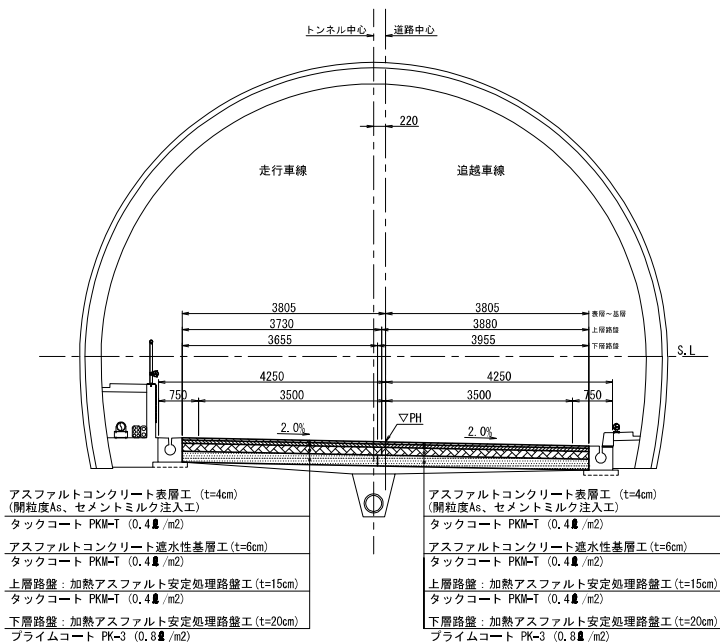
アスファルト舗装改良工(6)

完成時 舗装構成

標準断面図 S=1:100

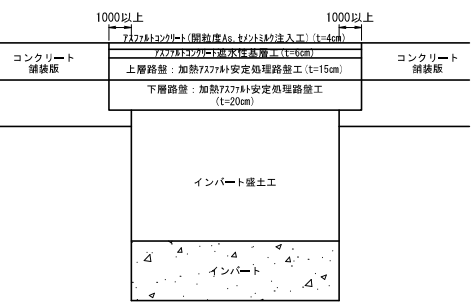
余掘り区間

(上流側: 3.6m、下流側: 3.2m)

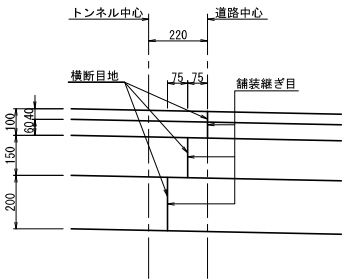


断面図

縦断方向打継



継ぎ目詳細図 S=1:20



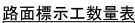
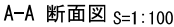
明科トンネル（上り線）				
長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類	アスファルト舗装改良工（6） 完成時 舗装構成			
縮 尺	図示	図面番号	154 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

路面標示工数量表（上り線）

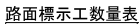
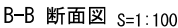
上り線路面標示工数量表



STEP	項 目	塗色	幅 (cm)	A 区間 (m)	変状区間 2 (m)	B 区間 (m)	摘 要
STEP 5 走行側コンクリート舗装取壊し TypeA後の路面標示構成	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		382.3		走行側 1本、実線
STEP 6 追越し側コンクリート 舗装取壊しTypeA 後の路面標示構成	路面標示標準型A1	白	15		152.9		中央 1本、破線
	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		382.3		追越側 1本、実線
STEP13-3 走行側覆工受け台施工後の 路面標示構成	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		377.5		走行側 1本、実線
STEP14-3 追越側覆工受け台施工後の 路面標示構成	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		377.5		追越側 1本、実線
STEP20-2, 21 走行、追越し側イン パート施工後の路面標 示構成	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		382.3		追越側 1本、実線
	路面標示標準型A1	白	15		152.9		中央 1本、破線
	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		382.3		走行側 1本、実線
STEP23-3~24 走行、追越し側 対面通行前の 路面標示構成	路面標示消去工A1		20	1791.8	753.0	2527.2	走行、追越外側線B2-1消去 2本、実線
	突起型路面標示標準型B2-1	白	20	3583.6	1506.0	5054.4	走行、追越側 4本、実線
	路面標示標準型D1	白	20	1792.0	753.2	2527.2	走行、追越側 4本、破線
STEP34 走行、追越し側 対面通行終了後の 路面標示構成	路面標示消去工A1		20	3572.8	1529.2	5042.0	走行、追越路面標示B2-1 消去4本、実線
	路面標示消去工A2	黒	20		764.6		走行、追越路面標示D1 消去4本、破線
	路面標示消去工A3	灰	20	1786.4		2521.0	走行、追越路面標示D1 消去4本、破線
	突起型路面標示標準型B2-1	白	20	895.9	376.5	1263.6	追越側 1本、実線
	突起型路面標示標準型B2-1	白	20	895.9	376.5	1263.6	走行側 1本、実線

平面図  
路面標示(外側線設置) 走行側



平面図  
路面標示(外側線設置) A 追越側



凡 例	
	路面標示標準型A1
	突起型路面標示標準型B2-1

長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類		路面標示工（上り線）（１）		
縮尺	図示	図面番号	156 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

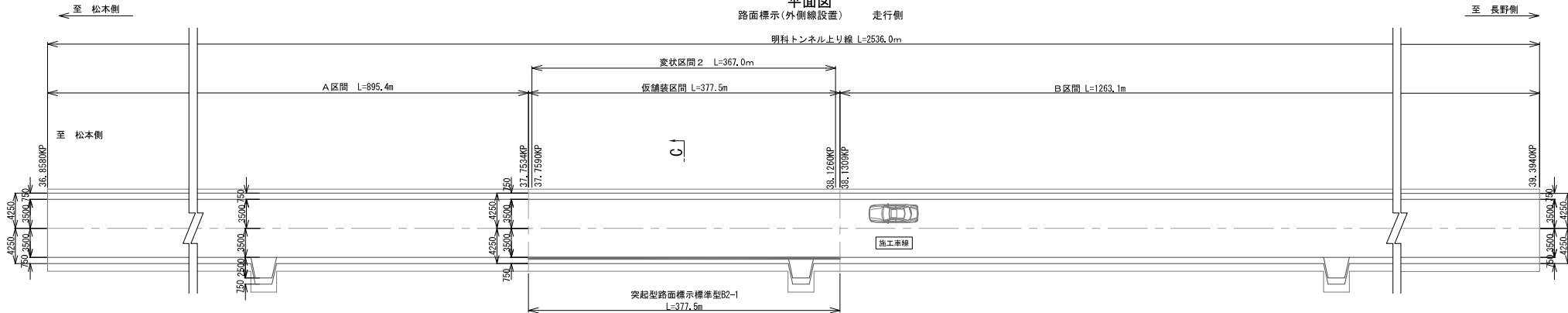


路面標示工(上り線)(2) V=1:500  
H=1:5000

走行側覆工受け台施工後の路面標示構成

平面図

路面標示(外側線設置) 走行側



C-C 断面図 S=1:100

STEP13-3 路面標示(外側線設置) 走行側  
走行車線 追越車線



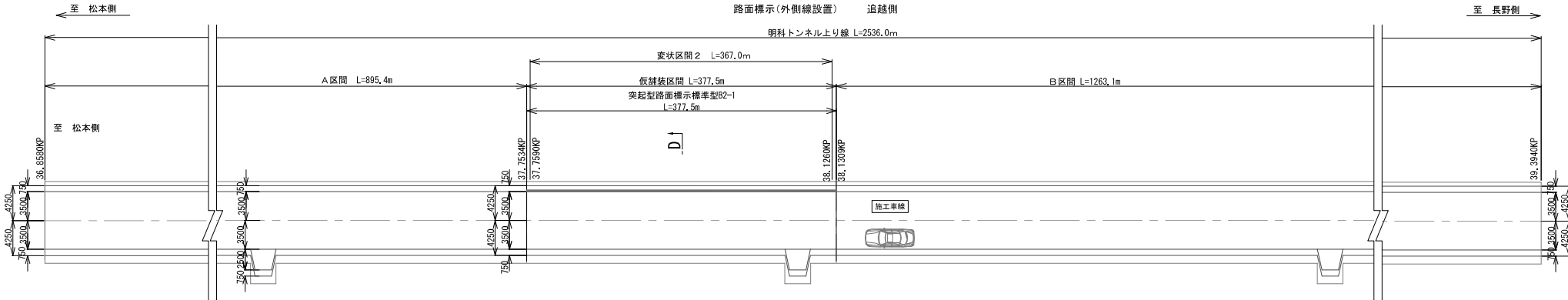
路面標示工数量表

STEP13-3	項目	塗色	幅 (cm)	A区間	変状区間 2	B区間	摘要
走行側覆工受け台施工後の路面標示構成	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		377.5		走行側 1本、実線

追越側覆工受け台施工後の路面標示構成

平面図

路面標示(外側線設置) 追越側



D-D 断面図 S=1:100

STEP14-3 路面標示(外側線設置) 追越側  
走行車線 追越車線



路面標示工数量表

STEP14-3	項目	塗色	幅 (cm)	A区間	変状区間 2	B区間	摘要
追越側覆工受け台施工後の路面標示構成	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		377.5		追越側 1本、実線

凡 例

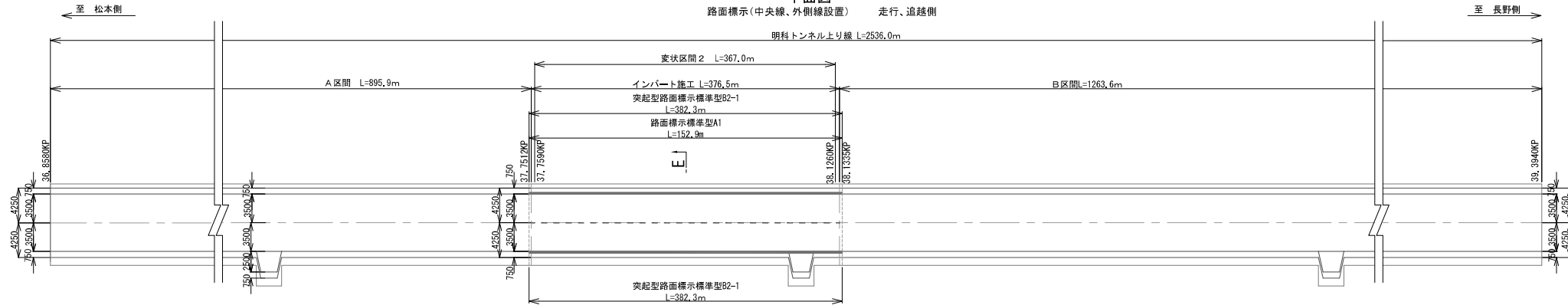
突起型路面標示標準型B2-1

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種別	路面標示工(上り線)(2)		
縮 尺	図示	図面番号	157 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

走行、追越側インバート施工後の路面標示構成

平面図

路面標示(中央線、外側線設置) 走行、追越側



E-E 断面図 S=1:100

STEP20-2. 21 路面標示 (中心線、外側線設置) 走行、追越側



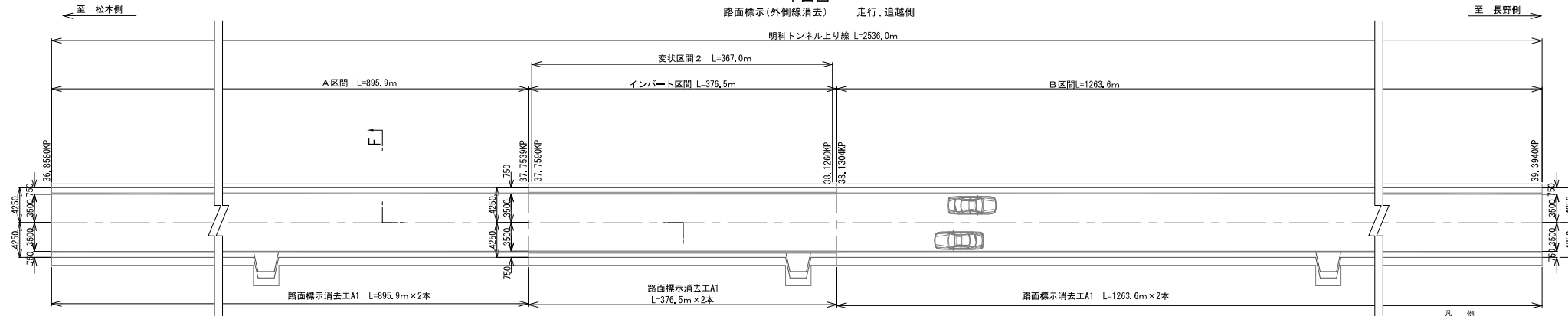
路面標示工数量表

STEP20-2. 21	項 目	塗色	幅 (cm)	A区間	変状区間2	B区間	摘 要
走行、追越し側インバート施工後の路面標示構成	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		382.3		追越側 1本、実線
	路面標示標準型A1	白	15		152.9		中央 1本、破線
	突起型路面標示標準型B2-1	白	20		382.3		走行側 1本、実線

走行、追越側対面通行前の路面標示構成

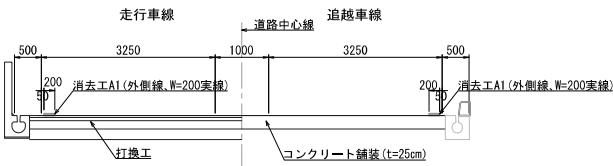
平面図

路面標示(外側線消去) 走行、追越側



F-F 断面図 S=1:100

STEP23-3~24 路面標示 (外側線消去) 走行、追越側



路面標示工数量表

STEP23-3~24	項 目	塗色	幅 (cm)	A区間	変状区間2	B区間	摘 要
走行、追越し側対面通行前の路面標示構成	路面標示消去工A1		20	1791.8	753.0	2527.2	走行、追越外側線B2-1消去2本、実線

凡 例
突起型路面標示標準型B2-1
路面標示標準型A1
路面標示消去工A1

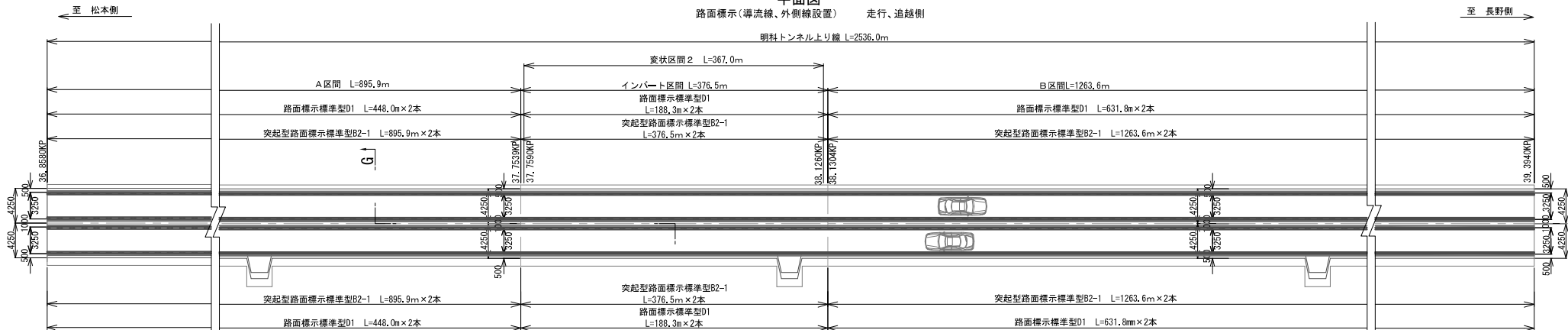
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種別	路面標示工(上り線) (3)		
縮 尺	図示	図面番号	158 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

路面標示工(上り線)(4) V=1:500  
H=1:5000

走行、追越側対面通行前の路面標示構成

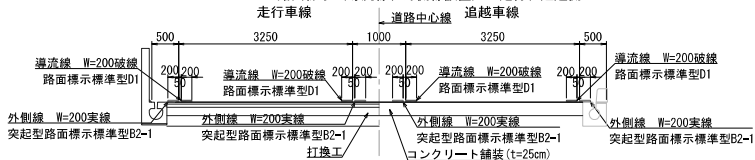
平面図

路面標示(導流線、外側線設置) 走行、追越側



G-G 断面図 S=1:100

STEP23-3~24 路面標示(導流線、外側線設置) 走行、追越側



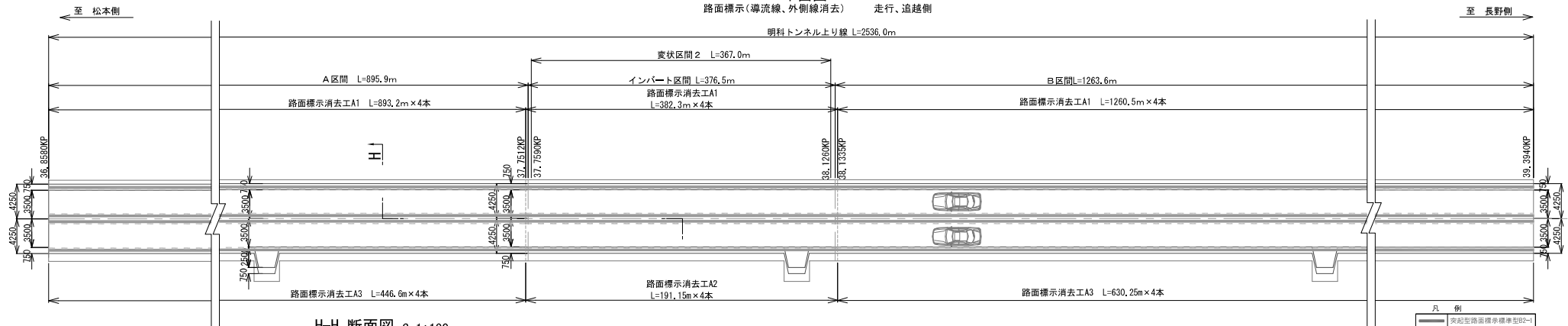
路面標示工数量表

STEP23-3~24	項目	塗色	幅 (cm)	A区間	変状区間2	B区間	摘要
走行、追越し側 対面通行前の 路面標示構成	突起型路面標示標準型B2-1	白	20	3583.6	1506.0	5054.4	走行、追越側 4本、実線
	路面標示標準型D1	白	20	1792.0	753.2	2527.2	走行、追越側 4本、破線

走行、追越側対面通行終了後の路面標示構成

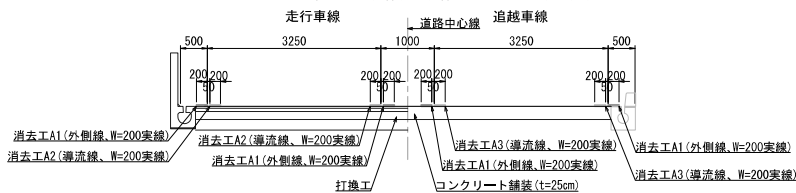
平面図

路面標示(導流線、外側線消去) 走行、追越側



H-H 断面図 S=1:100

STEP34 路面標示(導流線、外側線消去) 走行、追越側



路面標示工数量表

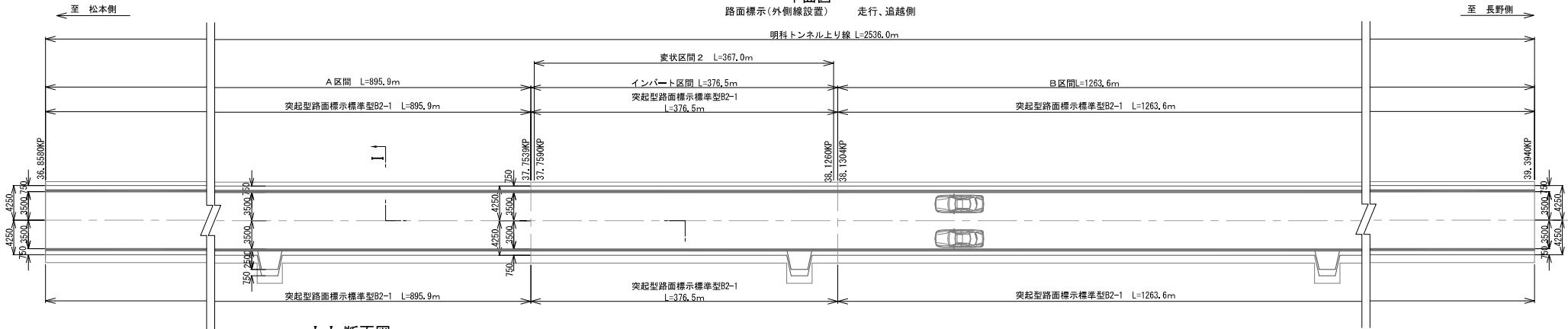
STEP34	項目	塗色	幅 (cm)	A区間	変状区間2	B区間	摘要
走行、追越し側 対面通行終了後の 路面標示構成	路面標示消去工A1		20	3572.8	1529.2	5042.0	走行、追越路面標示B2-1 消去4本、実線
	路面標示消去工A2	黒	20		764.6		走行、追越路面標示D1 消去4本、破線
	路面標示消去工A3	灰	20	1796.4		2521.0	走行、追越路面標示D1 消去4本、破線

凡 例
突起型路面標示標準型B2-1
路面標示標準型D1
路面標示消去工A1
路面標示消去工A2
路面標示消去工A3

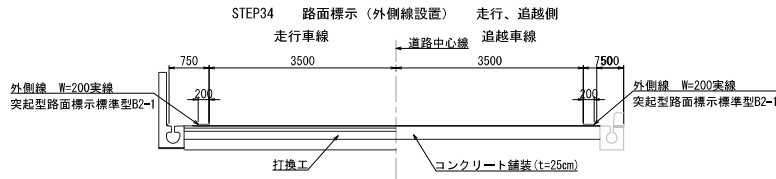
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種別	路面標示工(上り線)(4)		
縮 尺	図示	図面番号	159 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

走行、追越側対面通行終了後の路面標示構成

平面図



I-I 断面図 S=1:100



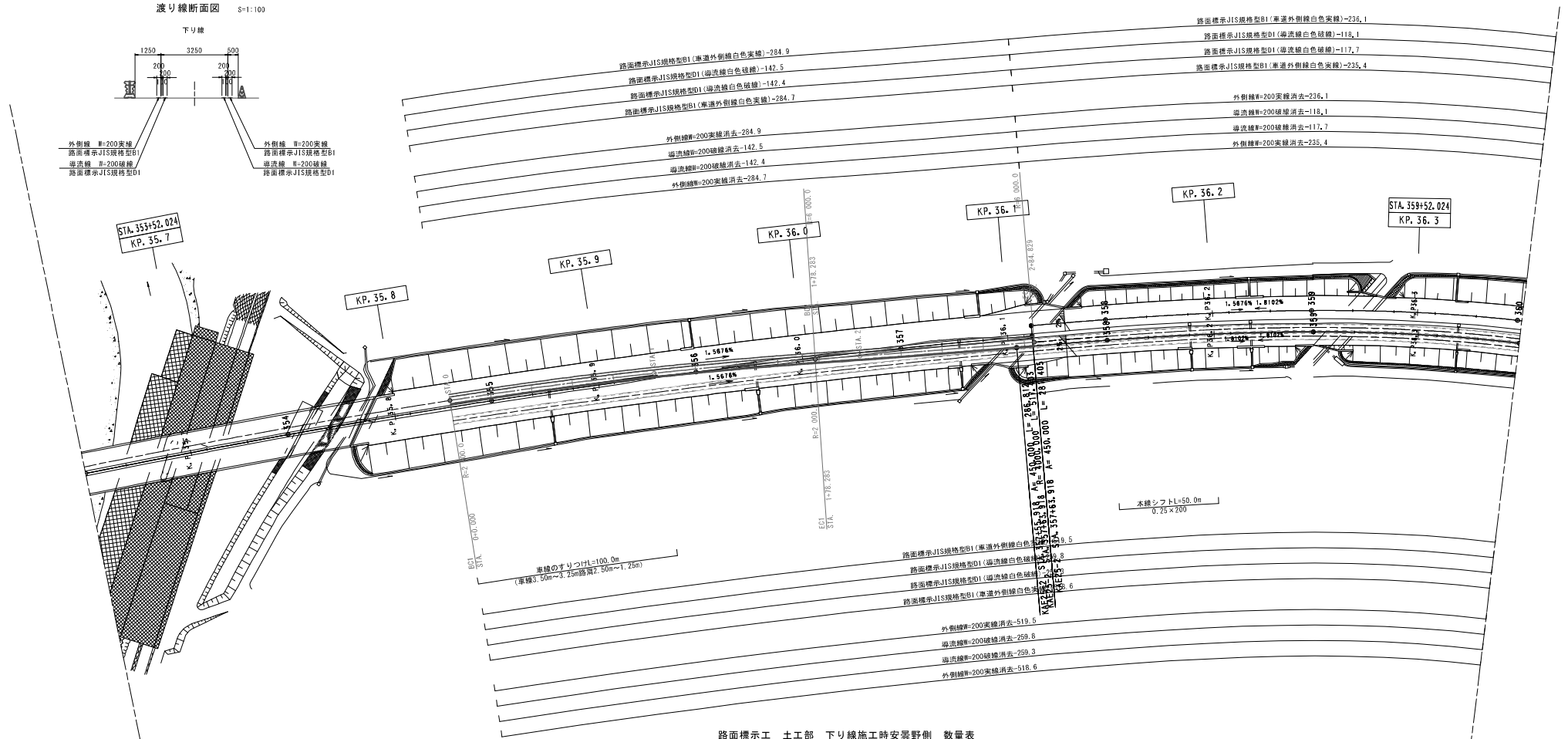
路面標示工数量表

STEP34	項 目	塗色	幅 (cm)	A区間	変状区間2	B区間	摘 要
走行、追越し側 対面通行終了後の 路面標示構成	突起型路面標示標準型B2-1	白	20	895.9	376.5	1263.6	追越側 1本、実線
	突起型路面標示標準型B2-1	白	20	895.9	376.5	1263.6	走行側 1本、実線

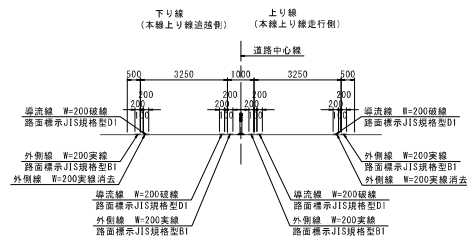
凡 例  
突起型路面標示標準型B2-1

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	路面標示工（上り線）（5）		
縮 尺	図示	図面番号	160 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

路面標示工平面図(1) S=1:1000  
(下り線施工時安曇野側)



対面通行断面図 S=1:100



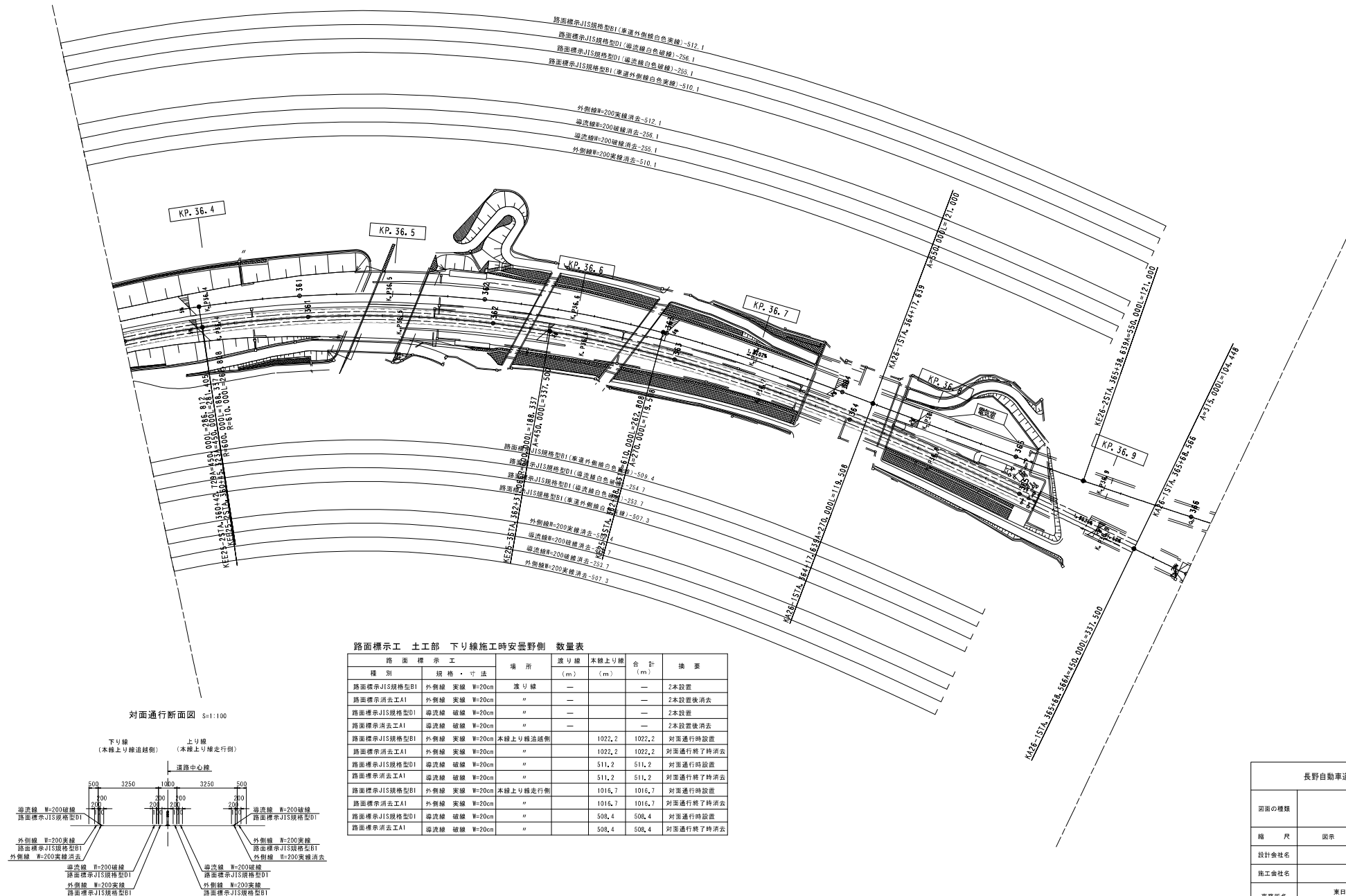
路面標示工 土工部 下り線施工時安曇野側 数量表

路面標示工		場 所	渡り線		合 計	備 考
種 別	規 格・寸 法		(m)	(m)		
路面標示JIS規格型B1	外側線 実線 W=200cm	渡り線	569.6		569.6	2本設置
路面標示消去工A1	外側線 実線 W=200cm	"	569.6		569.6	2本設置後消去
路面標示JIS規格型D1	導流線 破線 W=200cm	"	284.9		284.9	2本設置
路面標示消去工A1	導流線 破線 W=200cm	"	284.9		284.9	2本設置後消去
路面標示JIS規格型B1	外側線 実線 W=200cm	本線上り線送迎側		471.5	471.5	対面通行時設置
路面標示消去工A1	外側線 実線 W=200cm	"		471.5	471.5	対面通行終了時消去
路面標示JIS規格型D1	導流線 破線 W=200cm	"		235.8	235.8	対面通行時設置
路面標示消去工A1	導流線 破線 W=200cm	"		235.8	235.8	対面通行終了時消去
路面標示JIS規格型B1	外側線 実線 W=200cm	本線上り線走行側		1038.1	1038.1	対面通行時設置
路面標示消去工A1	外側線 実線 W=200cm	"		1038.1	1038.1	対面通行終了時消去
路面標示JIS規格型D1	導流線 破線 W=200cm	"		519.1	519.1	対面通行時設置
路面標示消去工A1	導流線 破線 W=200cm	"		519.1	519.1	対面通行終了時消去

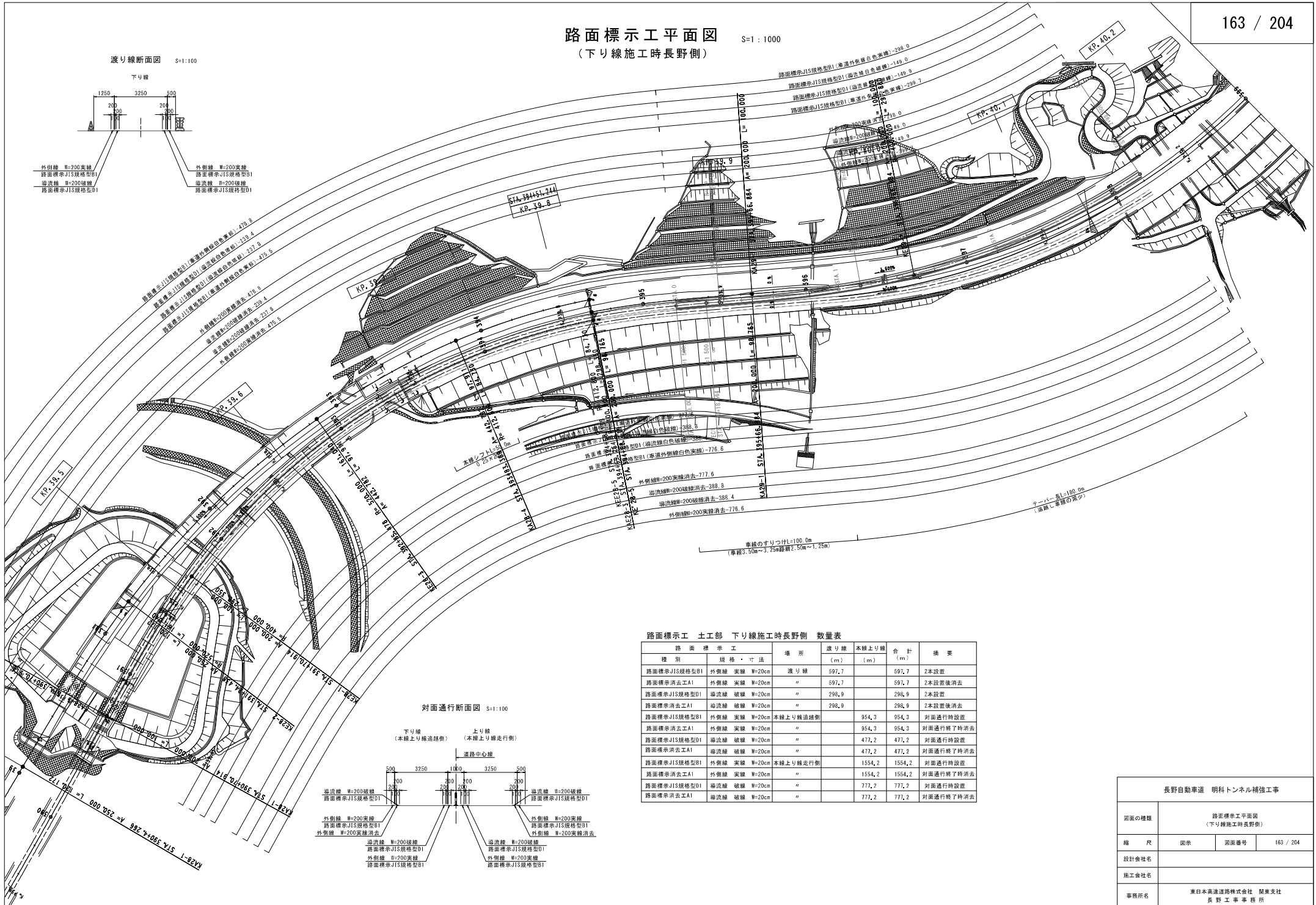
長野自動車道 明科トンネル補強工事

図面の種類	路面標示工平面図(1) (下り線施工時安曇野側)		
	図示	図面番号	161 / 204
縮 尺			
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

路面標示工平面図(2) S=1:1000  
(下り線施工時安曇野側)



(下り線施工時長野側)

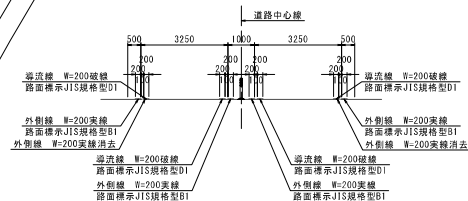


路面標示工 土工部 下り線施工時長野側 数量表

路面標示工事		場 所	渡り線	本線より上り	合 計	備 考
種 別	規格・寸法		(m)	(m)		
路面標示JIS規格型B1	外側線 実線 W=20cm	渡り線	597.7	597.7	2本設置	
路面標示消去工A1	外側線 実線 W=20cm	〃	597.7	597.7	2本設置後消去	
路面標示JIS規格型D1	導流線 破線 W=20cm	〃	298.9	298.9	2本設置	
路面標示消去工A1	導流線 破線 W=20cm	〃	298.9	298.9	2本設置後消去	
路面標示JIS規格型B1	外側線 実線 W=20cm	本線より横道越部	954.3	954.3	対面通行時設置	
路面標示消去工A1	外側線 実線 W=20cm	〃	954.3	954.3	対面通行終了時消去	
路面標示JIS規格型D1	導流線 破線 W=20cm	〃	477.2	477.2	対面通行時設置	
路面標示消去工A1	導流線 破線 W=20cm	〃	477.2	477.2	対面通行終了時消去	
路面標示JIS規格型B1	外側線 実線 W=20cm	本線より横道歩行側	1554.2	1554.2	対面通行時設置	
路面標示消去工A1	外側線 実線 W=20cm	〃	1554.2	1554.2	対面通行終了時消去	
路面標示JIS規格型D1	導流線 破線 W=20cm	〃	777.2	777.2	対面通行時設置	
路面標示消去工A1	導流線 破線 W=20cm	〃	777.2	777.2	対面通行終了時消去	

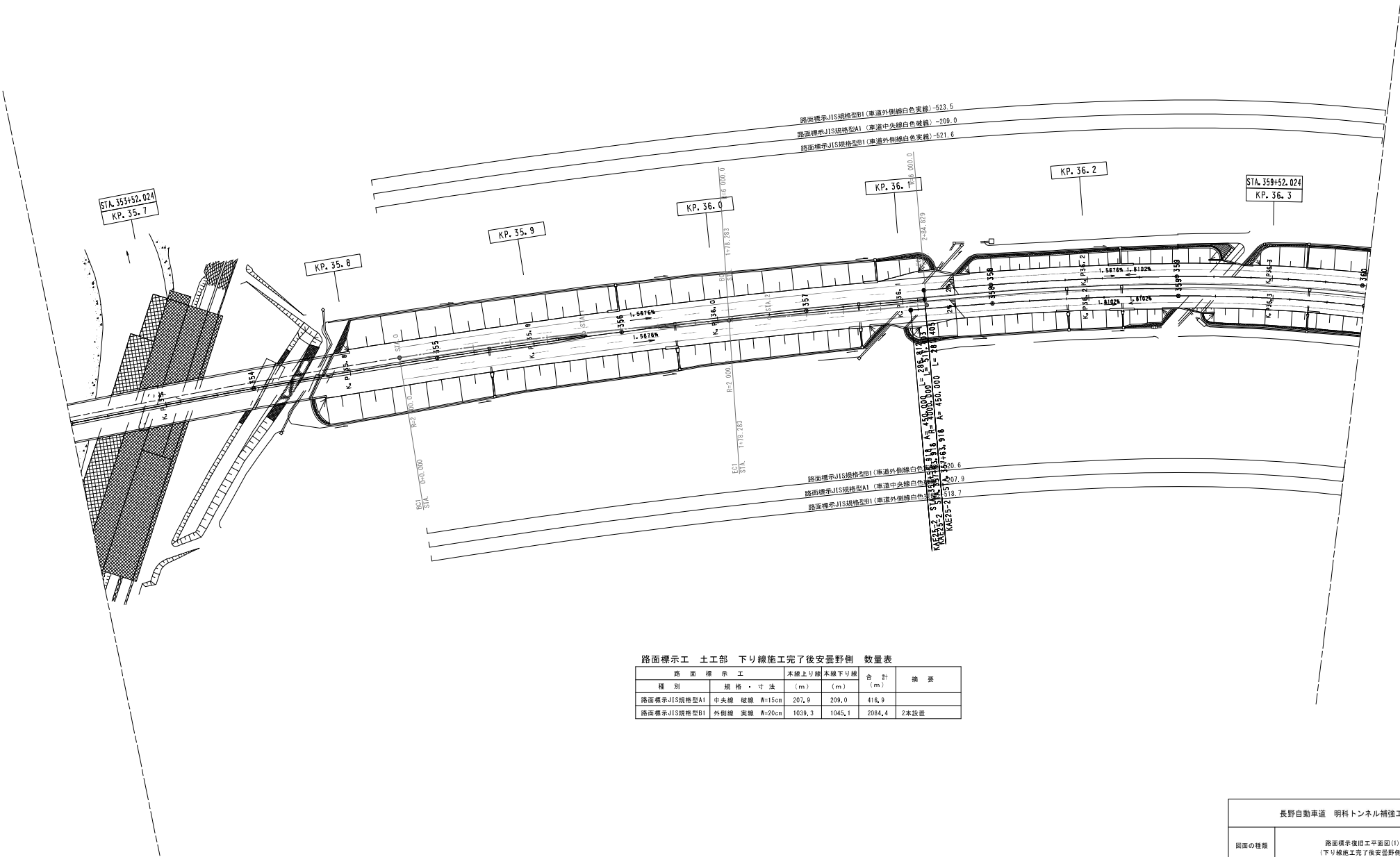
S=1:100

(本線上り線追越側) (本線上り線走行側)



図面の種類	路面標示工平面図 (下り線路工時長野側)		
縮 尺	図示	図面番号	163 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

路面標示復旧工平面図(1) S=1:1000  
(下り線施工完了後安曇野側)



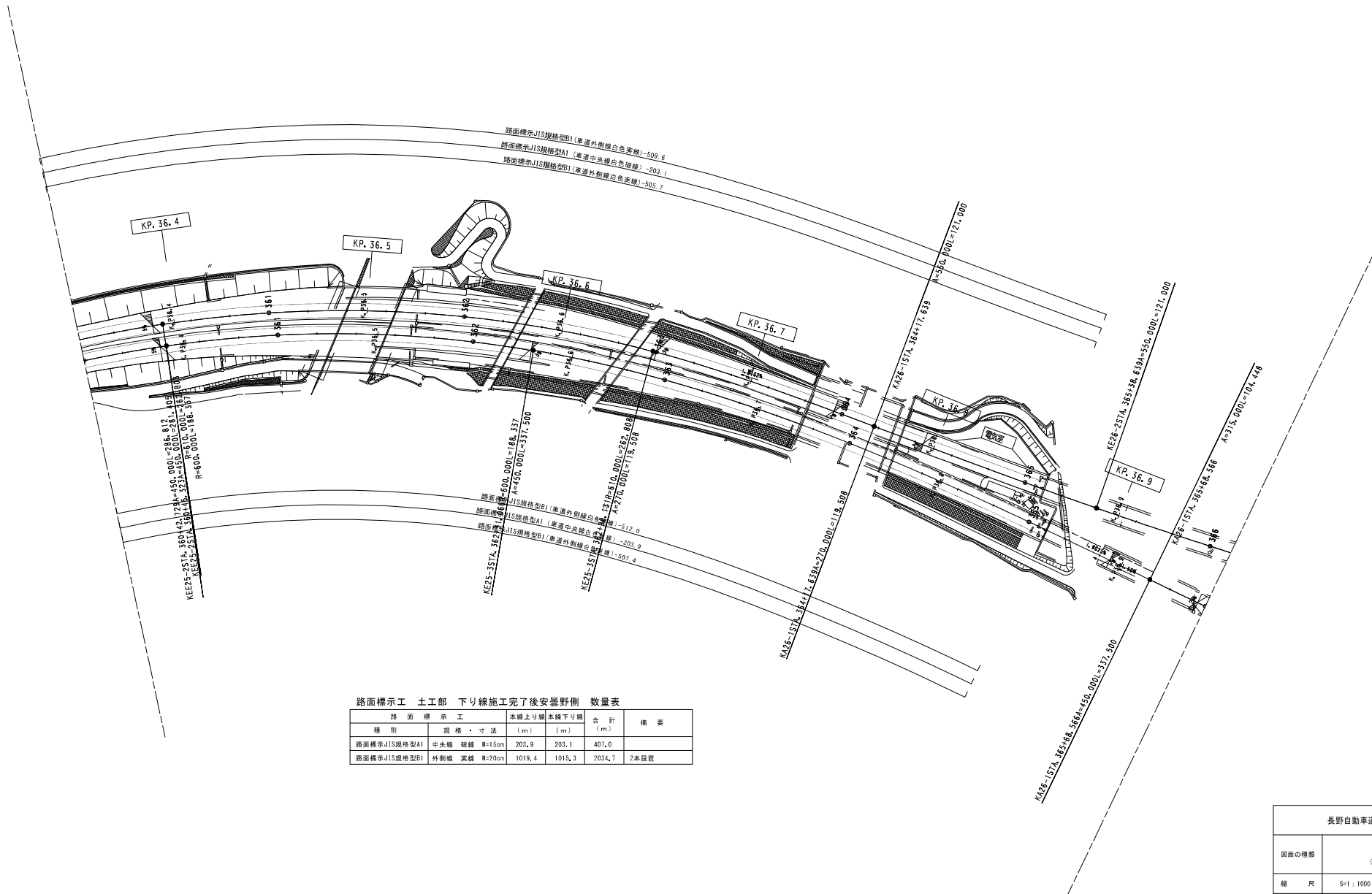
路面標示工 土工部 下り線施工完了後安曇野側 数量表

路面標示工	規格・寸法	本線より上り線	本線より下り線	合計	換算
路面標示JIS規格型A1	中央線 破線 W=15cm	207.9	209.0	416.9	
路面標示JIS規格型B1	外側線 実線 W=20cm	1039.3	1045.1	2084.4	2本設置

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	路面標示復旧工平面図(1) (下り線施工完了後安曇野側)		
縮 尺	S=1:1000	図面番号	164 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		



路面標示復旧工平面図(2) S=1:1000  
(下り線施工完了後安曇野側)



路面標示工 土工部 下り線施工完了後安曇野側 数量表

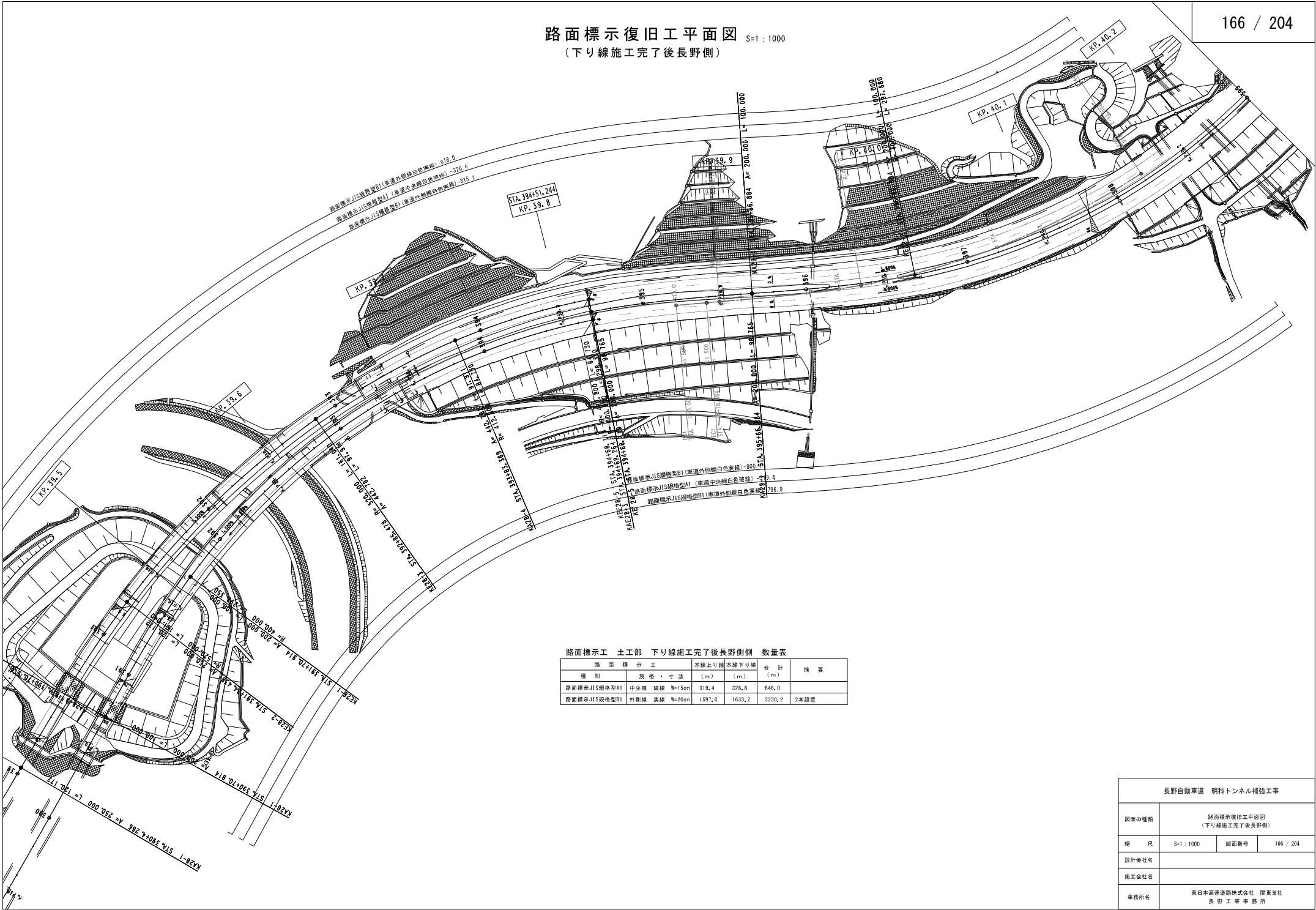
路面標示工		本線上り線	本線下り線	合 計 (m)	摘 要
種 別	規 格 ・ 寸 法	(m)	(m)		
路面標示JIS規格型AI	中央線 破線 W=15cm	203.9	203.1	407.0	
路面標示JIS規格型BI	外側線 実線 W=20cm	1019.4	1015.3	2034.7	2本設置

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	路側壁型復旧工平面図 (2) (下り補強完了後安芸郡側)		
縮 尺	S=1:1000	図面番号	165 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

路面標示復旧工平面図

S=1:1000

(下り線施工完了後長野側)



路面標示工 土工部 下り線施工完了後長野側 数量表

路面標示工	規格・寸法	本線上り線	本線下り線	合計	換算
種別		(m)	(m)	(m)	
路面標示JIS規格型A1	中央線 破線 W=15cm	319.4	326.6	646.0	
路面標示JIS規格型B1	外側線 実線 W=20cm	1597.0	1633.2	3230.2	2本設置

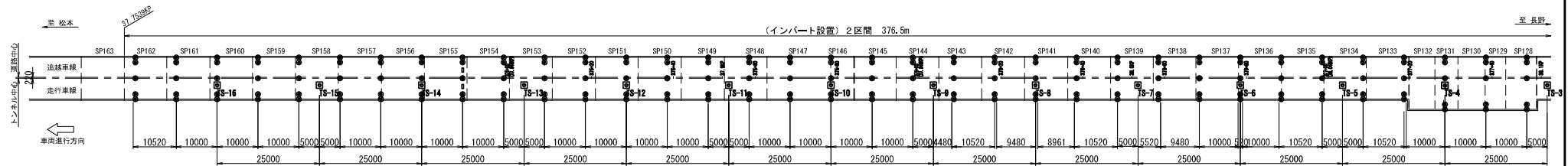
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	路面標示復旧工平面図 (下り線施工完了後長野側)		
縮尺	S=1:1000	図面番号	166 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

## 計測工図(上り線)

167 / 204

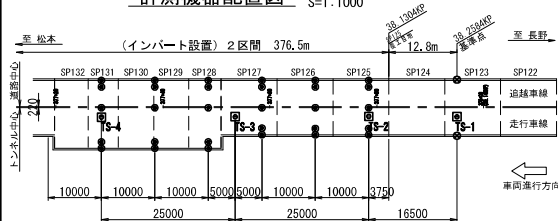
&lt;変状区間2&gt;

計測機器配置図 S=1:1000



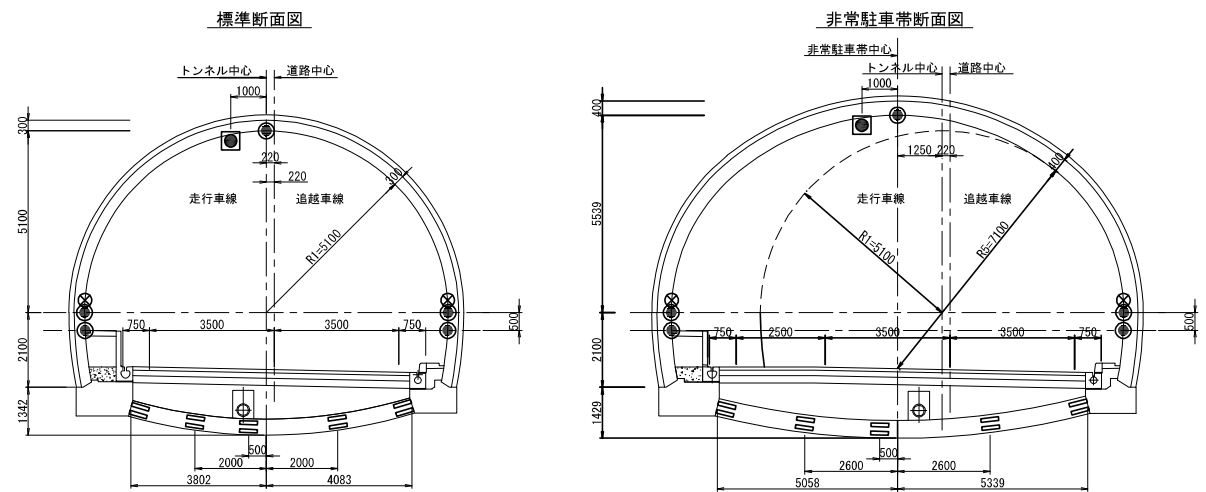
項目	
インバートコンクリート 応力測定	
内空変位測定	37.7565MP 37.7665MP 37.7765MP 37.7865MP 37.7965MP 37.8065MP 37.8165MP 37.8265MP 37.8365MP 37.8465MP 37.8565MP 37.8665MP 37.8765MP 37.8865MP 37.8965MP 37.9065MP 37.9165MP 37.9265MP 37.9365MP 37.9465MP 37.9565MP 37.9665MP 37.9765MP 37.9865MP 37.9965MP 38.0065MP 38.0165MP 38.0265MP 38.0365MP 38.0465MP 38.0565MP 38.0665MP 38.0765MP 38.0865MP 38.0965MP
オンラインシステム測定	
基準点	37.7765MP 37.8015MP 37.8265MP 37.8515MP 37.8765MP 37.9015MP 37.9265MP 37.9515MP 37.9765MP 38.0015MP 38.0265MP 38.0515MP 38.0765MP
TS設置位置	

計測機器配置図 S=1:1000



項目	
インバートコンクリート 応力測定	
内空変位測定	38.0965MP 38.1065MP 38.1165MP 38.1265MP
オンラインシステム測定	
基準点	
TS設置位置	38.1015MP 38.1265MP 38.2584MP 38.2584MP

計測機器配置断面図 S=1:150



数量表(変状区間2)

項目	単位	数量	備考
インバートコンクリート応力測定(設置)	箇所	20	10箇所×2測線
インバートコンクリート応力測定(供用)	箇所・月	120	20箇所×6月
内空変位測定(設置・撤去)	箇所	190	5箇所×38測線
内空変位測定(供用)	箇所・月	2660	190箇所×14月
オンライン計測システム(設置・撤去)	式	1	
オンライン計測システム(供用)	月	14	

## 【凡 例】

- : TS (自動追尾型トータルステーション)
- ⊗ : 基準点 (プリズム)
- ⊙ : 内空変位計測点 (プリズム)
- : インバート応力計測点 (コンクリート有効応力計)

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	計測工図(上り線) <変状区間2>		
縮 尺	図示	図面番号	167 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

交通規制工図（１）  
車線規制3km

至 松本  
(安曇野IC)

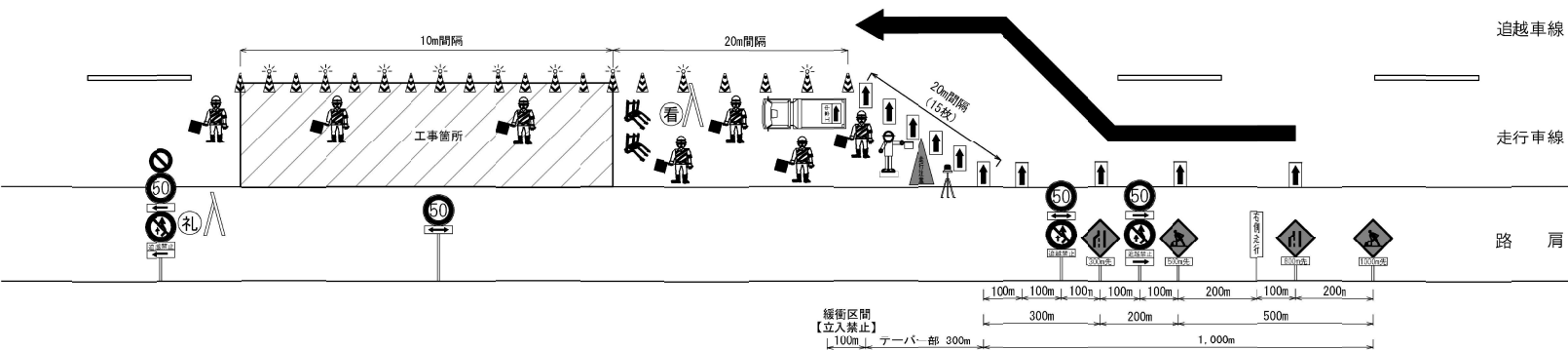
至 長野  
(更埴IC)

中央分離帯

追越車線

走行車線

路 肩



交通規制工 数量表 (1回当たり)

項 目	数量	単位	備 考
規制標識	9	枚	受注者用意
ラバーコーン	221	本	受注者用意
矢印板	19	枚	テーパー部に16枚 300m先看板、500m先看板、800m先看板付近にそれぞれ1枚
保安ロボット	1	台	受注者用意
標識等安全施設（標示板）	1	枚	受注者用意
標識等安全施設（保安灯）	44	本	受注者用意
標識等安全施設（回転警告灯）	1	台	受注者用意
標識等安全施設（ジャン・ボカラーコーン）	1	本	受注者用意
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	2	台	受注者用意
標識車	1	台	受注者用意
発炎筒（設置時・撤去時）	6	本	規制設置・撤去時 各3本ずつ（長野管マニュアルより）
交通監視員（テーパー部）	1	人・日	
交通監視員（工事車両出入口）	2	人・日	
交通監視員（施工箇所）	2	人・日	
交通監視員（規制保守）	2	人・日	

- ・テーパー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。
- ・工事（作業箇所）より手前の100m区間はラバーコーンを10m間隔で設置する。
- ・工事（作業箇所）手前に進入車両強制停止装置を設置する。
- ・発炎筒は交通規制工に含む。

工事看板 記載内容例

【凡例】

規制標識

ラバーコーン（反射キャップ）

ラバーコーン（反射キャップ+保安灯）

矢印板

保安ロボット

工事予告看板

回転警告灯

ジャンボカラーコーン

進入車両強制停止装置

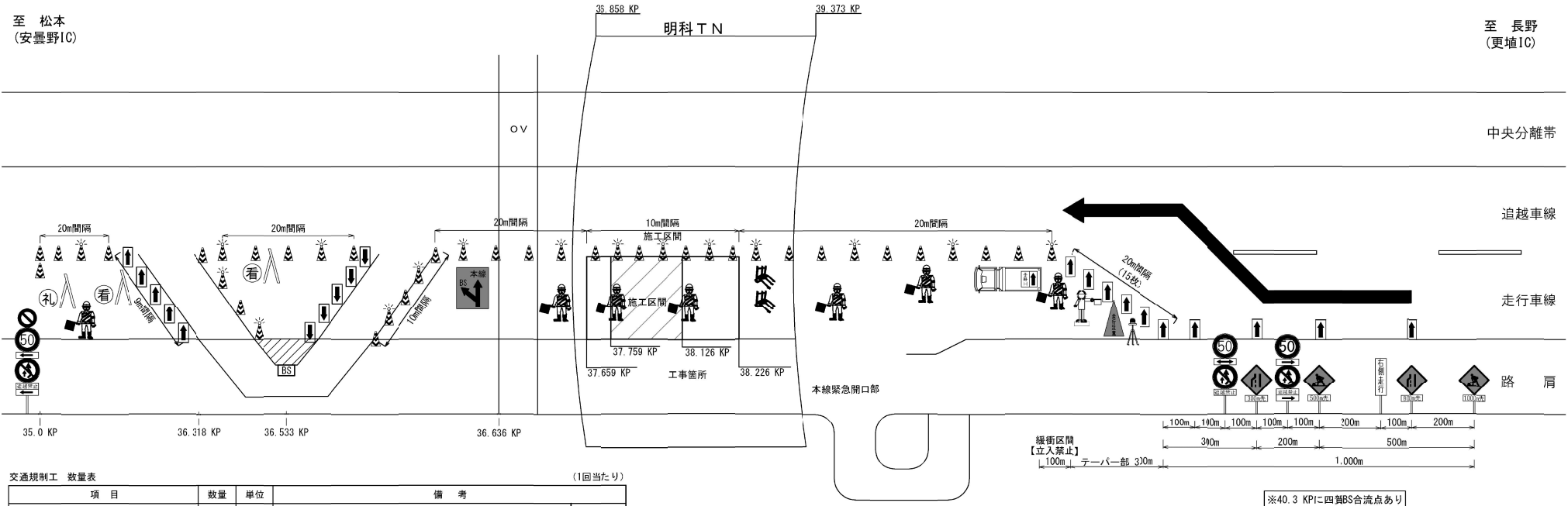
標識車

交通監視員

明科トンネル(上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類	交通規制図（１） 車線規制 3km			
縮 尺	図示	図面番号	168 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

交通規制工図（２）  
走行車線規制5km



交通規制工 数量表 (1回当たり)

項 目	数量	単位	備 考
規制標識	9	枚	受注者用意
ラバーコーン	269	本	受注者用意
矢印板	29	枚	テーパー部に16枚、BS減速車線、加速車線にそれぞれ5枚 300m先看板、500m先看板、800m先看板付近にそれぞれ1枚
保安ロボット	1	台	受注者用意
標識等安全施設（標示板）	1	枚	受注者用意
標識等安全施設（保安灯）	62	本	受注者用意
標識等安全施設（回転警告灯）	1	台	受注者用意
標識等安全施設（ジャンボカラーコーン）	1	本	受注者用意
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	2	台	2台1セットで使用するものとする。
標識車	1	台	受注者用意
発炎筒（設置時・撤去時）	6	本	規制設置・撤去時 各3本ずつ（長野管マニュアルより）
交通監視員（テーパー部）	1	人・日	
交通監視員（工事車両出入口）	2	人・日	
交通監視員（施工箇所）	2	人・日	
交通監視員（規制保守）	2	人・日	

- ・テーパー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。
- ・工事（作業箇所）より手前の100m区間はラバーコーンを10m間隔で設置する。
- ・工事（作業箇所）手前に進入車両強制停止装置を設置する。
- ・発炎筒は交通規制工に含む。
- ・保安灯に関して、TN入口から300m及び作業箇所から長野側に300mの区間に  
関してはラバーコーン2本につき1個配置し、  
上記以外の区間に関してはラバーコーン5本につき1個とする。

工事看板 記載内容例

【凡例】

規制標識

ラバーコーン  
（反射キャップ）

ラバーコーン  
（反射キャップ+保安灯）

矢印板

保安ロボット

工事予告看板

回転警告灯

ジャンボカラーコーン

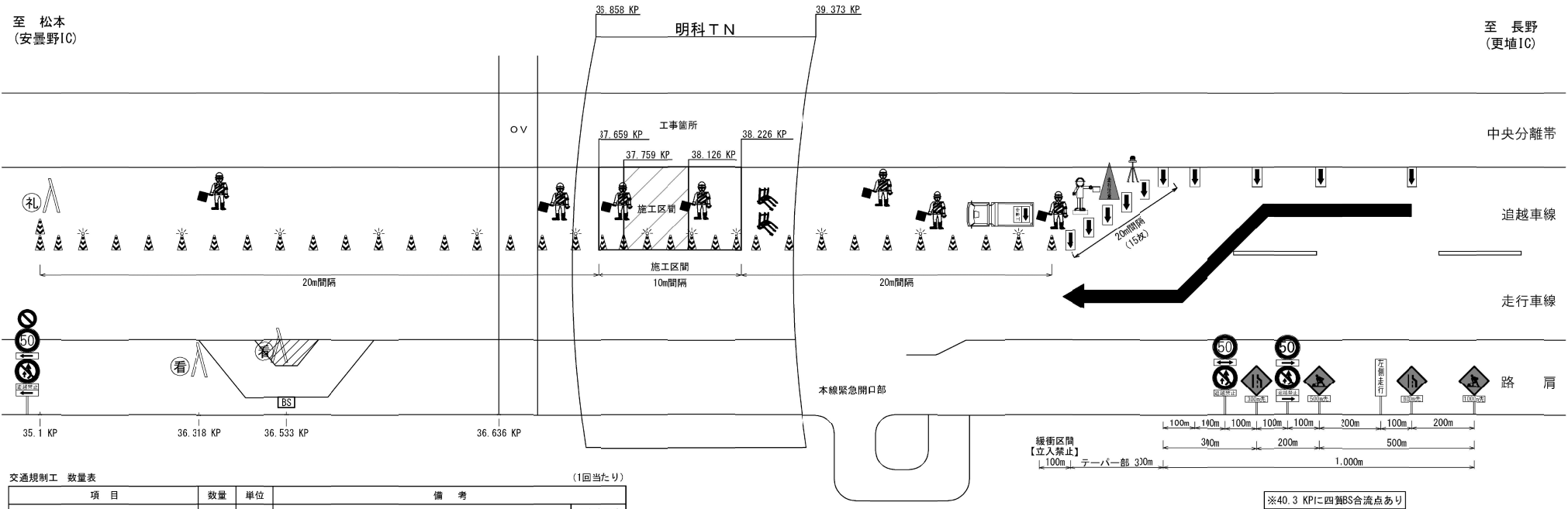
進入車両強制停止装置

標識車

交通監視員

明科トンネル(上り線)				
長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類		交通規制図(2) 走行車線規制 5km		
縮 尺	開示	図面番号	169 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

交通規制工図（3）  
追越車線規制5km



交通規制工 数量表

(1回当たり)

項 目	数 量	単 位	備 考
規制標識	9	枚	受注者用意
ラバーコーン	259	本	受注者用意
矢印板	19	枚	テーパー部に16枚 300m先看板、500m先看板、800m先看板付近にそれぞれ1枚
保安ロボット	1	台	受注者用意
標識等安全施設 (標示板)	1	枚	受注者用意
標識等安全施設 (保安灯)	63	本	受注者用意
標識等安全施設 (回転警告灯)	1	台	受注者用意
標識等安全施設 (ジャンボカラーコーン)	1	本	受注者用意
標識等安全施設 (進入車両強制停止装置)	2	台	2台1セットで使用するものとする。
標識車	1	台	受注者用意
発炎筒 (設置時・撤去時)	6	本	規制設置・撤去時 各3本ずつ (長野管マニュアルより)
交通監視員 (テーパー部)	1	人・日	
交通監視員 (工事車両出入口)	2	人・日	
交通監視員 (施工箇所)	2	人・日	
交通監視員 (規制保守)	2	人・日	

- ・テーパー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。
- ・工事 (作業箇所) より手前の100m区間はラバーコーンを10m間隔で設置する。
- ・工事 (作業箇所) 手前に進入車両強制停止装置を設置する。
- ・発炎筒は交通規制工に含む。
- ・保安灯に関して、TN入口から300m及び作業箇所から長野側に300mの区間に  
関してはラバーコーン2本につき1個配置し、  
上記以外の区間に関してはラバーコーン5本につき1個とする。

工事看板 記載内容例

【凡例】

規制標識

ラバーコーン (反射キャップ)

ラバーコーン (反射キャップ+保安灯)

矢印板

保安ロボット

工事予告看板

回転警告灯

ジャンボカラーコーン

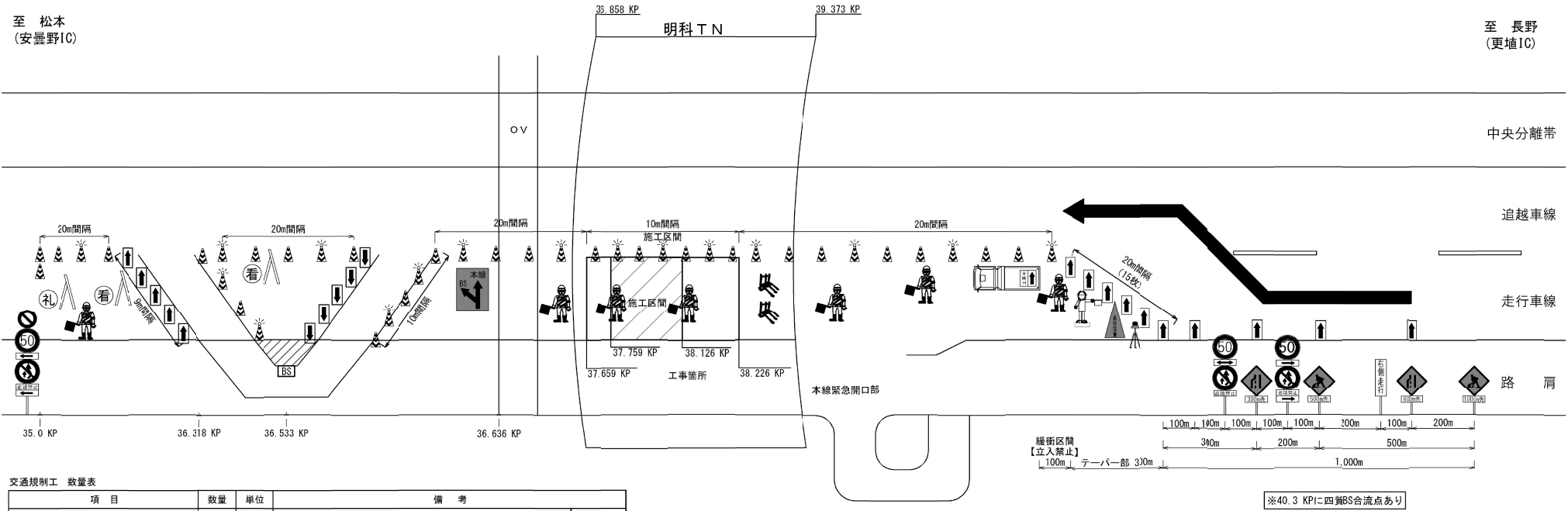
進入車両強制停止装置

標識車

交通監視員

明科トンネル(上り線)				
長野自動車道 明科トンネル補強工事				
図面の種類	交通規制図 (3) 追越車線規制 5km			
縮 尺	図示	図面番号	170 / 204	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

交通規制工図（４）  
昼夜連続車線規制  
走行車線規制5km



交通規制工 数量表

項 目	数量	単位	備 考
規制標識	9	枚	受注者用意
ラバーコーン	269	本	受注者用意
矢印板	29	枚	テーパー部に16枚、BS減速車線、加速車線にそれぞれ5枚 300m先看板、500m先看板、800m先看板付近にそれぞれ1枚
保安ロボット	1	台	受注者用意
標識等安全施設（標示板）	1	枚	受注者用意
標識等安全施設（保安灯）	62	本	受注者用意
標識等安全施設（回転警告灯）	1	台	受注者用意
標識等安全施設（ジャンボカラーコーン）	1	本	受注者用意
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	2	台	2台1セットで使用するものとする。
標識車	1	台	受注者用意
発炎筒（設置時・撤去時）	6	本	規制設置・撤去時 各3本ずつ（長野管マニュアルより）
交通監視員（テーパー部）	1	人・日	
交通監視員（工事車両出入口）	2	人・日	
交通監視員（施工箇所）	2	人・日	
交通監視員（規制保守）	2	人・日	

- ・テーパー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。
- ・工事（作業箇所）より手前の100m区間はラバーコーンを10m間隔で設置する。
- ・工事（作業箇所）手前に進入車両強制停止装置を設置する。
- ・発炎筒は交通規制工に含む。
- ・保安灯に関して、TN入口から300m及び作業箇所から長野側に300mの区間に  
関してはラバーコーン2本につき1個配置し、  
上記以外の区間に関してはラバーコーン5本につき1個とする。

工事看板 記載内容例

【凡例】

規制標識

ラバーコーン  
（反射キャップ）

ラバーコーン  
（反射キャップ+保安灯）

矢印板

保安ロボット

工事予告看板

回転警告灯

ジャンボカラーコーン

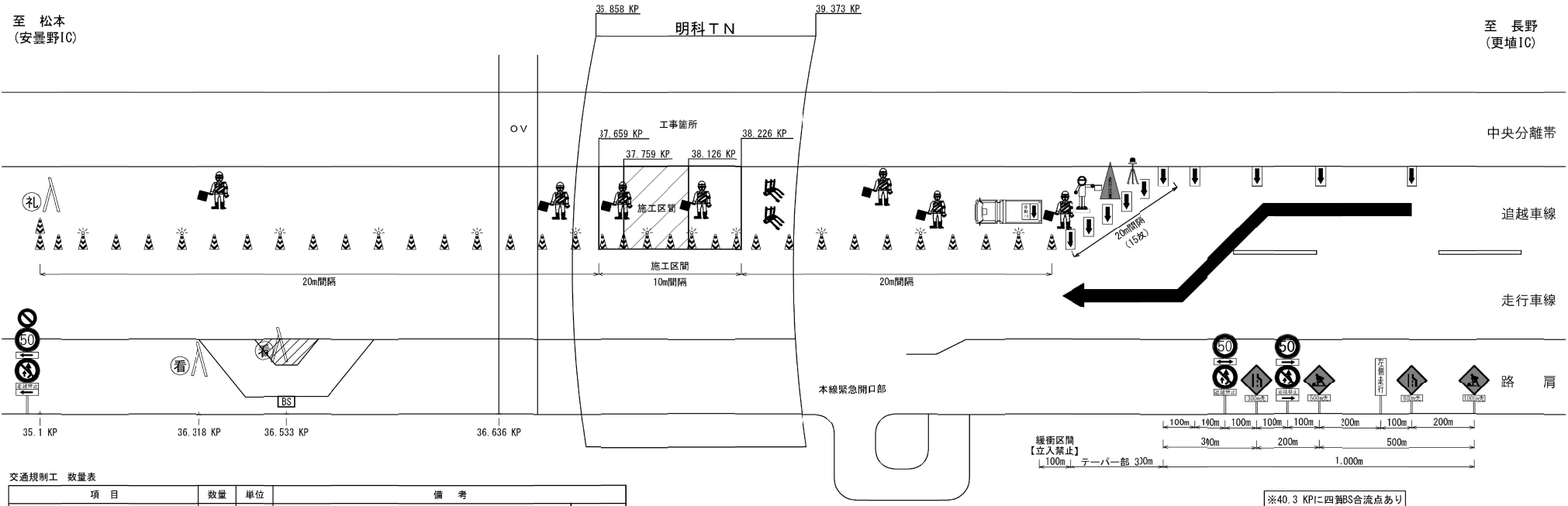
進入車両強制停止装置

標識車

交通監視員

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	交通規制図（４）	昼夜連続車線規制	走行車線規制 5km
縮 尺	開示	図面番号	171 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

交通規制工図（５）  
昼夜連続車線規制  
追越車線規制5km



交通規制工 数量表

項 目	数量	単位	備 考
規制標識	9	枚	受注者用意
ラバーコーン	259	本	受注者用意
矢印板	19	枚	テーパー部に16枚 300m先看板、500m先看板、800m先看板付近にそれぞれ1枚
保安ロボット	1	台	受注者用意
標識等安全施設（標示板）	1	枚	受注者用意
標識等安全施設（保安灯）	63	本	受注者用意
標識等安全施設（回転警告灯）	1	台	受注者用意
標識等安全施設（ジャンボカラーコーン）	1	本	受注者用意
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	2	台	2台1セットで使用するものとする。
標識車	1	台	受注者用意
発炎筒（設置時・撤去時）	6	本	規制設置・撤去時 各3本ずつ（長野管マニュアルより）
交通監視員（テーパー部）	1	人・日	
交通監視員（工事車両出入口）	2	人・日	
交通監視員（施工箇所）	2	人・日	
交通監視員（規制保守）	2	人・日	

- ・テーパー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。
- ・工事（作業箇所）より手前の100m区間はラバーコーンを10m間隔で設置する。
- ・工事（作業箇所）手前に進入車両強制停止装置を設置する。
- ・発炎筒は交通規制工に含む。
- ・保安灯に関して、TN入口から300m及び作業箇所から長野側に300mの区間に  
関してはラバーコーン2本につき1個配置し、  
上記以外の区間に関してはラバーコーン5本につき1個とする。

工事看板 記載内容例

【凡例】

規制標識

ラバーコーン（反射キャップ）

ラバーコーン（反射キャップ+保安灯）

矢印板

保安ロボット

工事予告看板

回転警告灯

ジャンボカラーコーン

進入車両強制停止装置

標識車

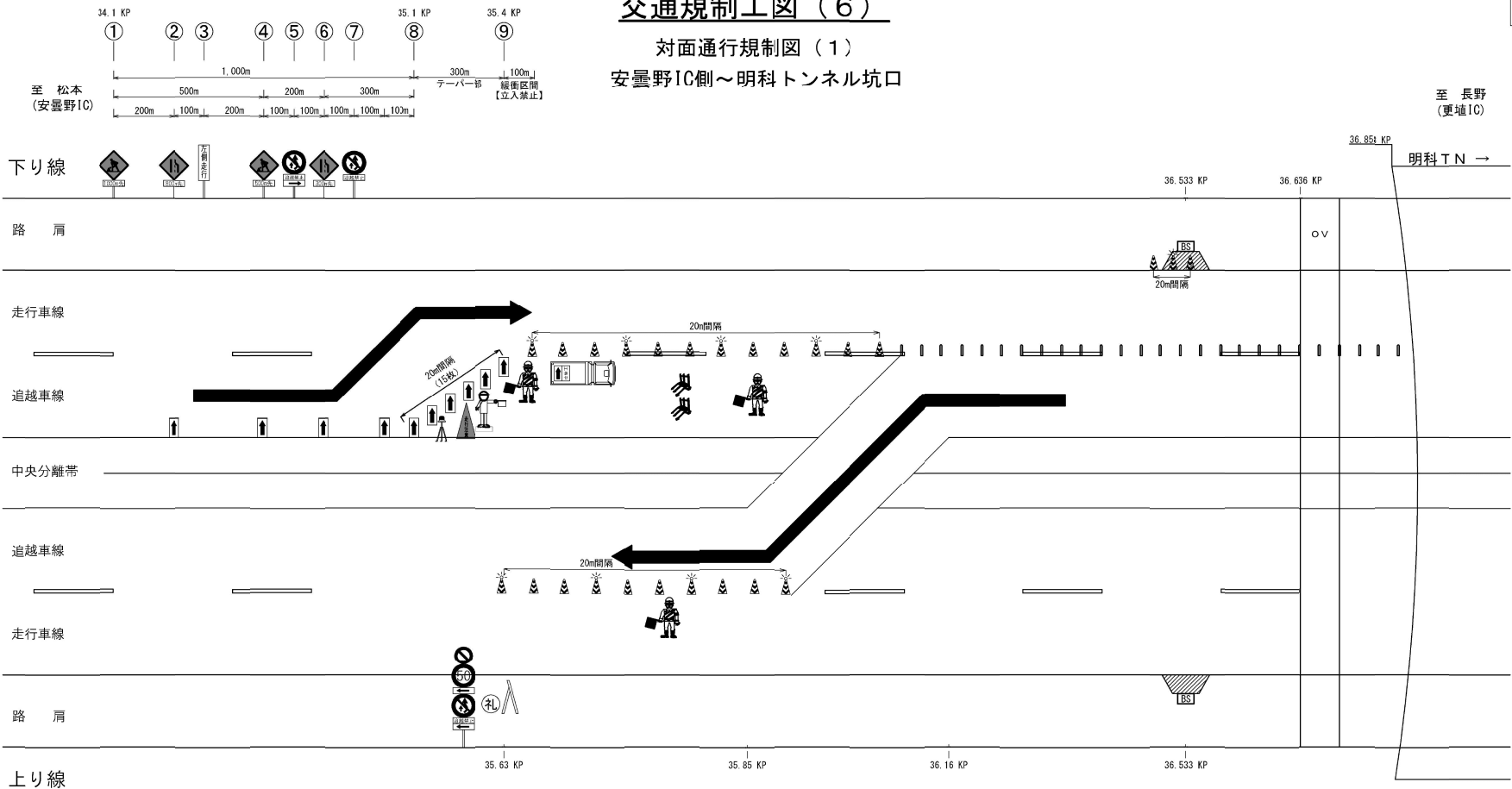
交通監視員

明科トンネル（上り線）			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	交通規制図（５） 昼夜連続車線規制 追越車線規制 5km		
縮 尺	開示	図面番号	172 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



交通規制工図（6）

対面通行規制図（1）  
安曇野IC側～明科トンネル坑口



交通規制工 数量表

項目	数量	単位	備 考	
規制標識	18	枚		受注者用意
ラバーコーン	53	本		受注者用意
矢印板	38	枚	テーパー部に16枚 300m先看板、500m先看板、800m先看板付近にそれぞれ1枚	受注者用意
保安ロボット	2	台		受注者用意
標識等安全施設（標示板）	2	枚		受注者用意
標識等安全施設（保安灯）	8	本		受注者用意
標識等安全施設（回転警告灯）	2	台		受注者用意
標識等安全施設（ジャンボカラーコーン）	2	本		受注者用意
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	4	台	2台1セットで使用するものとする。	受注者用意
標識車	2	台		受注者用意
発炎筒（設置時・撤去時）	12	本	規制設置・撤去時 各3本ずつ（長野管マニュアルより）	受注者用意
交通監視員（テーパー部）	2	人・日		
交通監視員（工事車両出入口）	2	人・日		
交通監視員（施工箇所）	3	人・日		
交通監視員（規制保守）	2	人・日		

- ・テーパー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。

・工事（作業箇所）より手前の100m区間はラバーコーンを10m間隔で設置する。

・工事（作業箇所）手前に進入車両強制停止装置を設置する。

・発炎筒は交通規制工に含む。
- ・ラバーコーンに関して、  
安曇野側：上り線・下り線各12個（設置区間 35.4KP～35.83KP）  
長野側：上り線・下り線各12個（設置区間 40.17KP～40.39KP）  
明科BS入口に5個

・交通規制工（7）の数量含む。

工事看板 記載内容例

【凡例】

規制標識

ラバーコーン  
（反射キャップ）

ラバーコーン  
（反射キャップ+保安灯）

矢印板

保安ロボット

工事予告看板

回転警告灯

ジャンボカラーコーン

進入車両強制停止装置

標識車

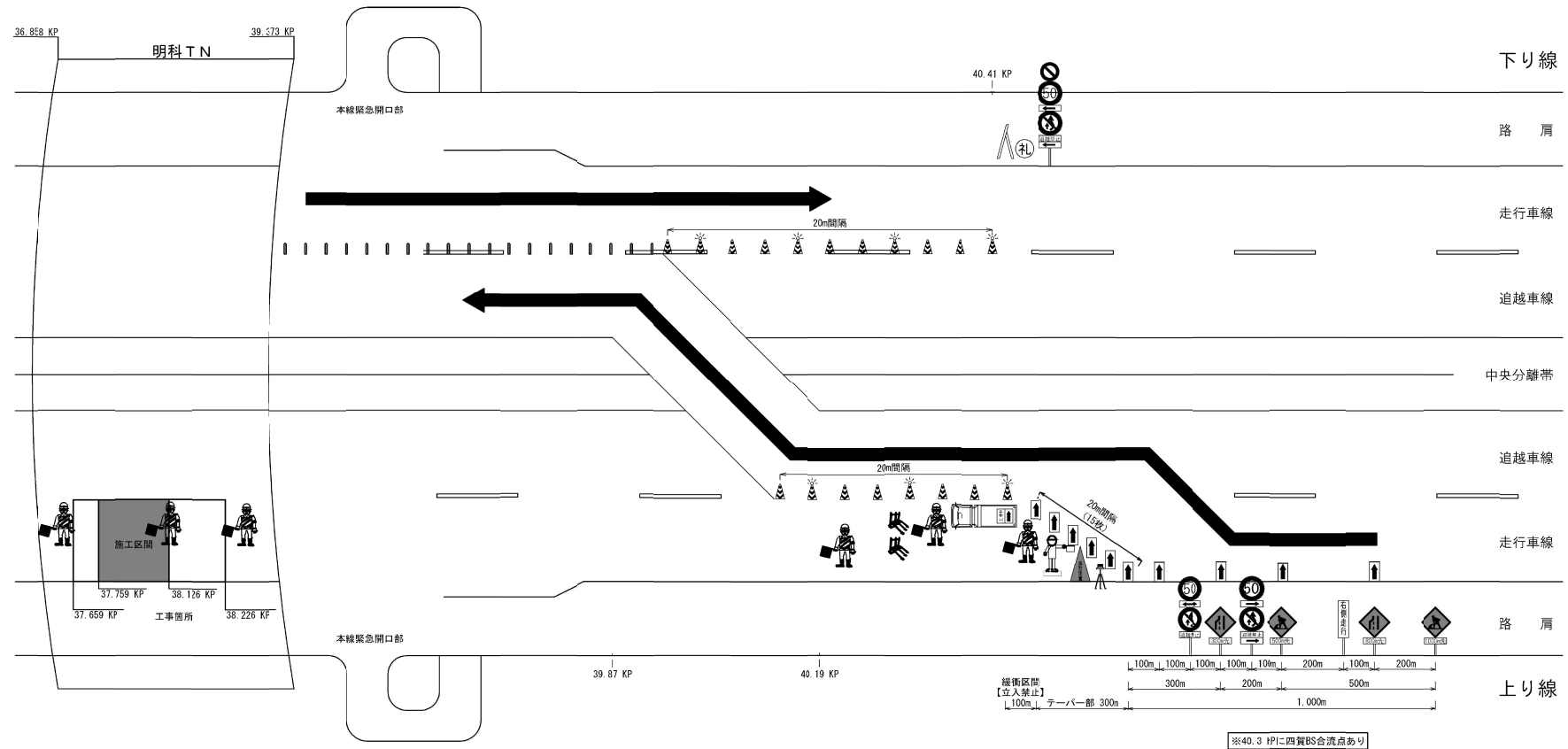
交通監視員

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	交通規制図（6） 対面通行規制図（1） 安曇野IC側～明科トンネル坑口		
縮 尺	図示	図面番号	173 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

# 交通規制工図（7）

174 / 204

## 対面通行規制図（2） 明科トンネル坑口～長野IC側



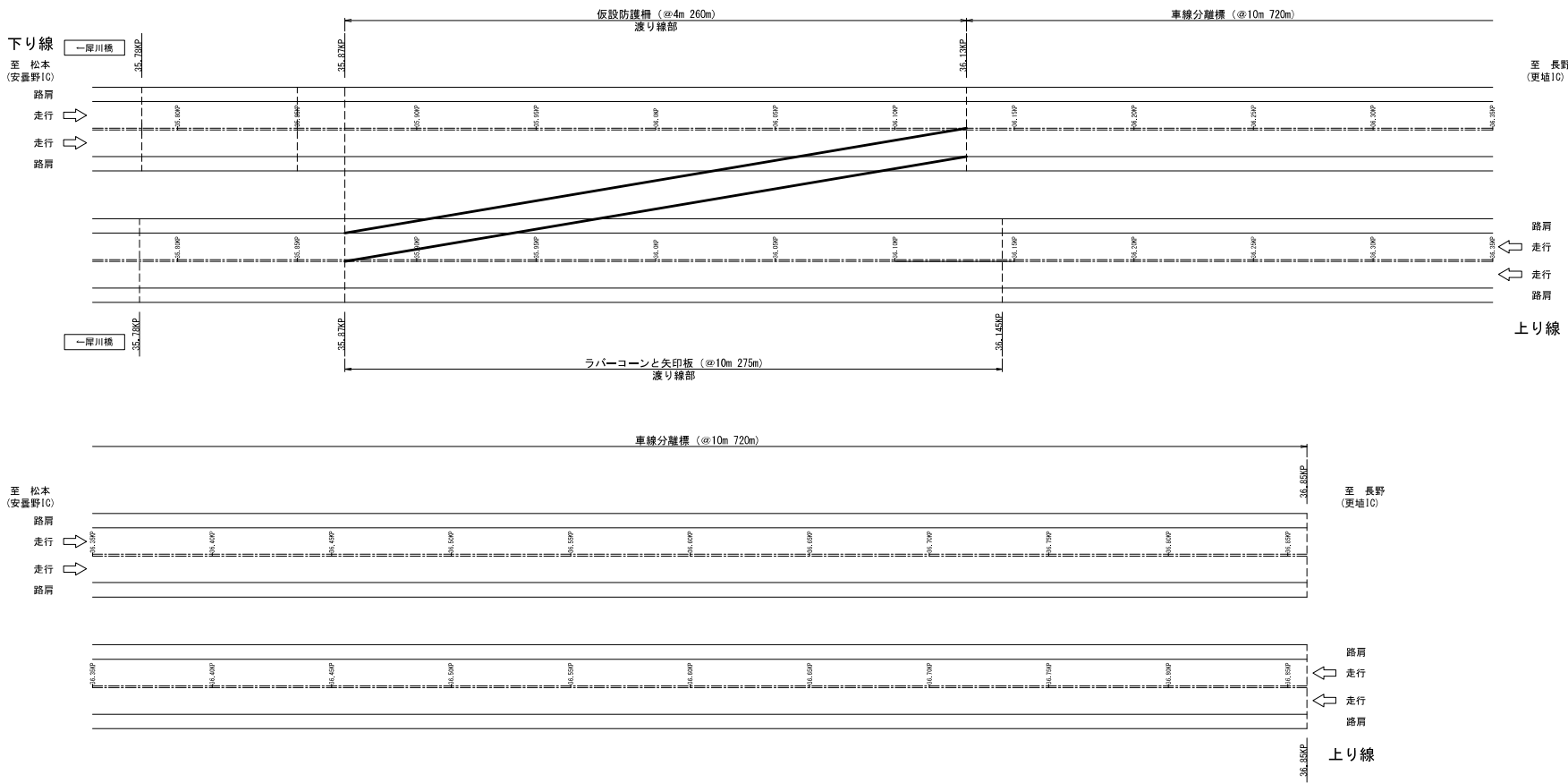
明科トンネル(上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	交通規制図(7) 対面通行規制図(2) 明科トンネル坑口～長野IC側		
縮 尺	図示	図面番号	174 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

交通規制工図（8）

対面通行規制図（3）

平面図 安曇野IC側



対面通行規制 数量表

項 目	単位	数量	備 考
仮設移動式鋼製防護柵	基	24	非常駐車帯開口部にそれぞれ8基 ※1
衝撃緩和器具	基	6	非常駐車帯開口部にそれぞれ2基 ※2
車線分離標 ポール	基	124	安曇野側：73基 長野側：51基 ※2
仮設防護柵	基	140	安曇野側：65基、長野側：75基 ※2
ラバーコーン	個	30	安曇野側：14個、長野側：16個 ※2
矢印板	個	29	安曇野側：14個、長野側：15個 ※2

※1：貸与品が受注者用意となる可能性がある  
※2：受注者用意

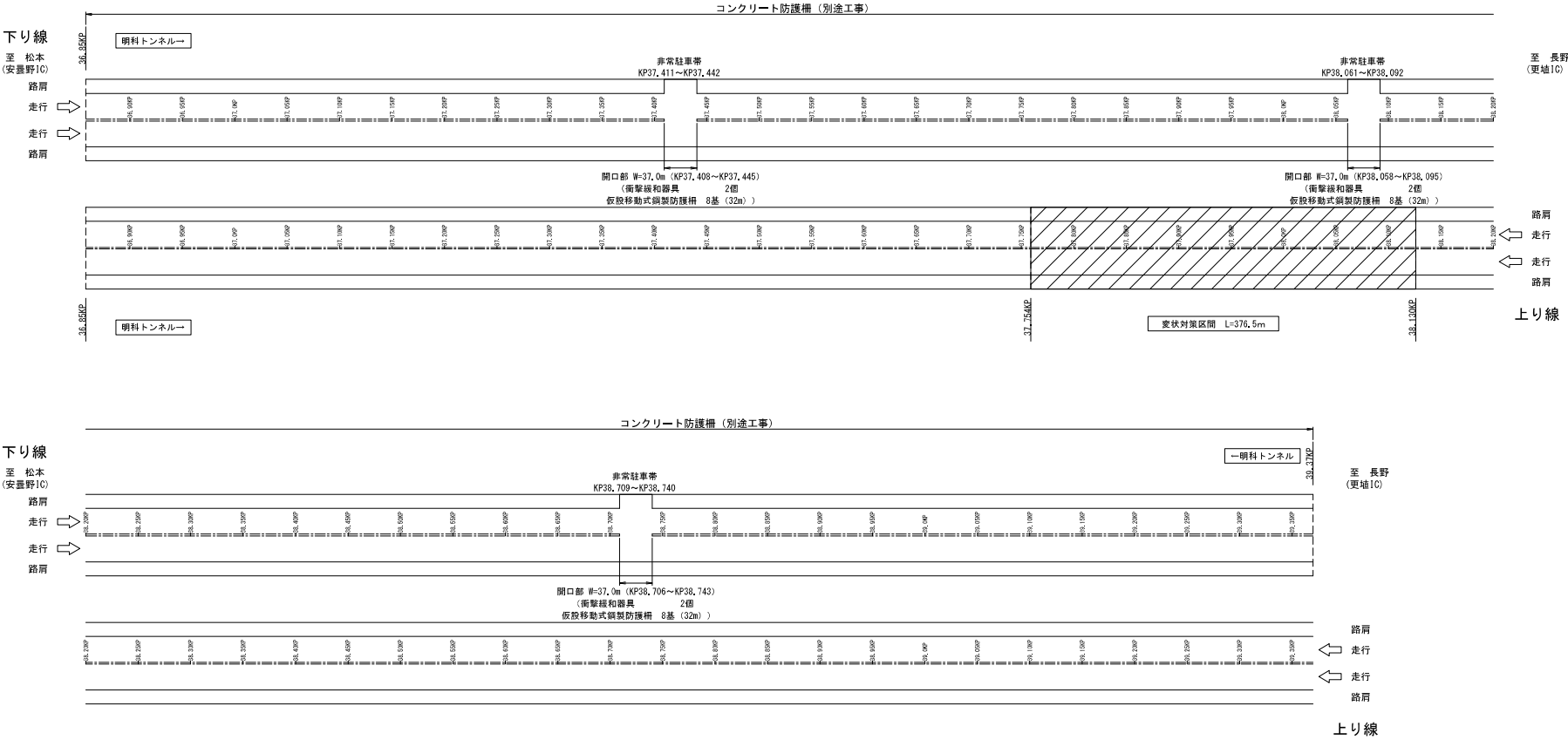
- ・この数量表の数量は、「対面通行規制図（3）～（5）平面図」の総数量である。
- ・この数量表に記載している項目に関する施工は、対面通行規制の単価の中を含むものとする。

明科トンネル（上り線）			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種別	交通規制工図（8） 対面通行規制図（3） 平面図 安曇野IC側		
縮 尺	—	図面番号	175 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

交通規制工図（9）

対面通行規制図（4）

平面図 トンネル部



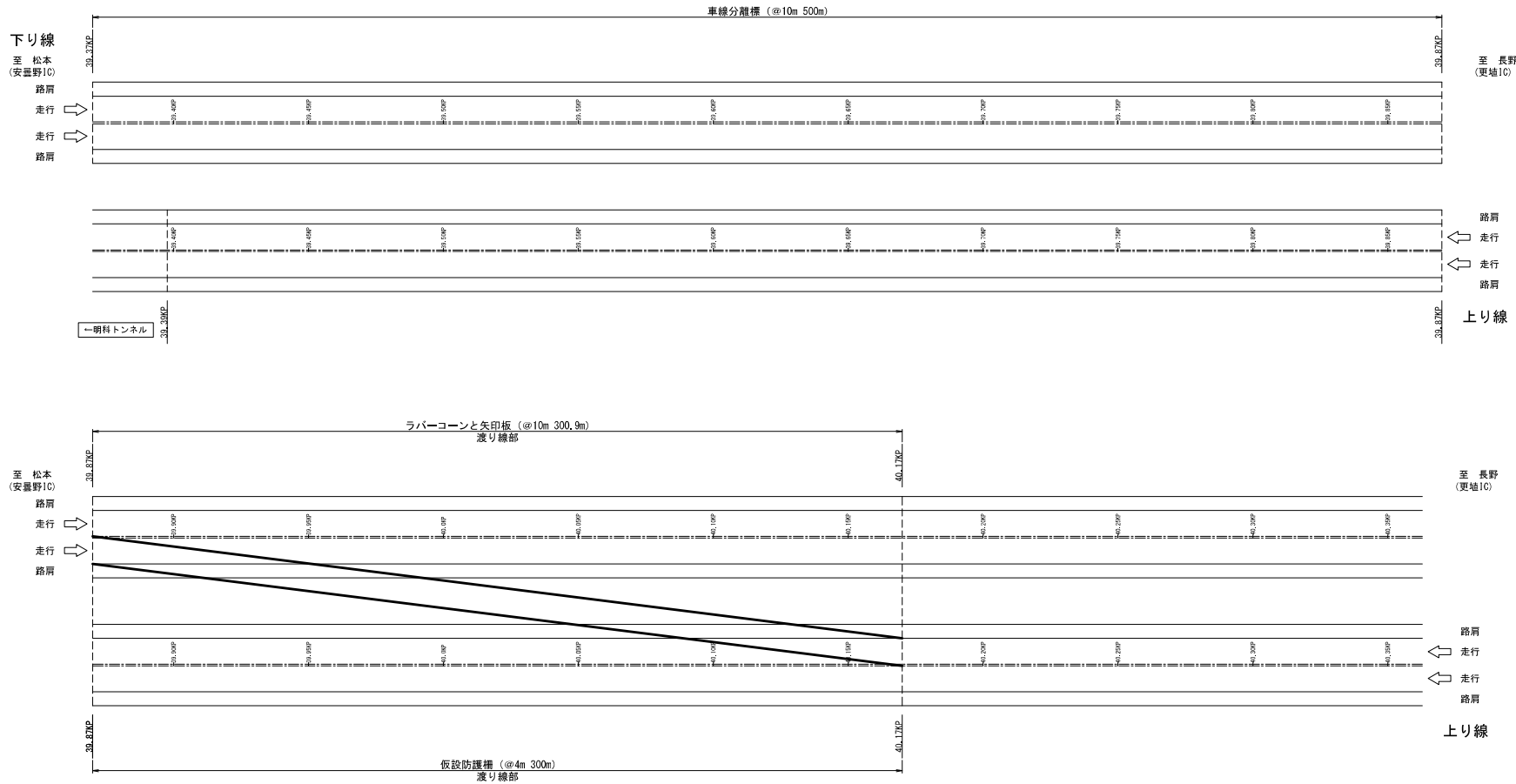
明科トンネル (上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	交通規制工図 (9) 対面通行規制図 (4) 平面図 トンネル部		
縮 尺	—	図面番号	176 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

# 交通規制工図（１０）

## 対面通行規制図（５）

### 平面図 長野IC側



明科トンネル（上り線）

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	交通規制工図（１０） 対面通行規制図（５） 平面図 長野IC側		
縮尺	—	図面番号	177 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

## 対面通行規制図（６）

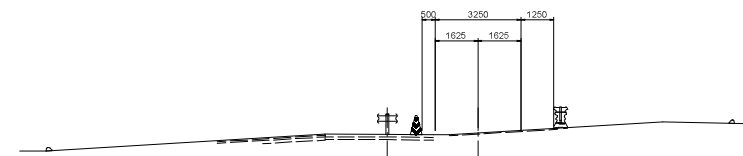
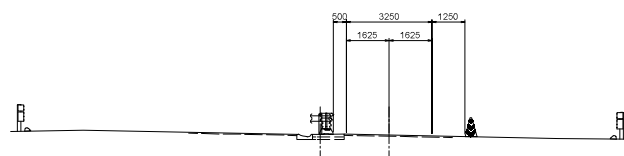
断面図 S=1:100

（安曇野側）

（長野側）

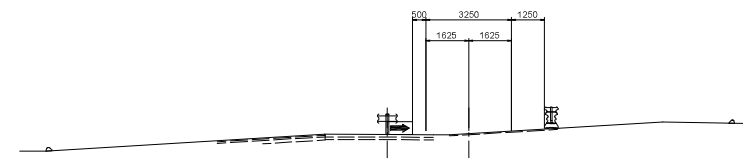
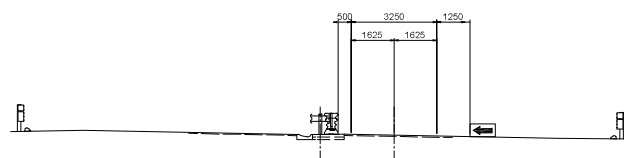
STA.355+60  
STA.0+55.466

STA.397+60  
STA.2+40.345



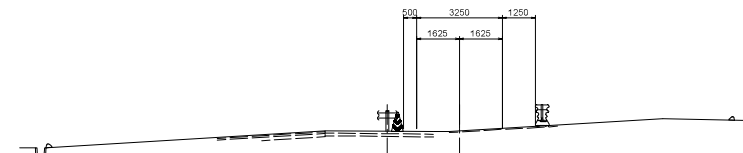
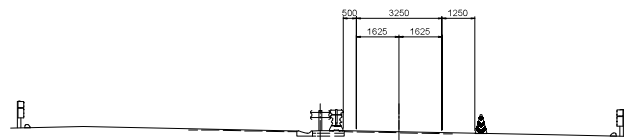
STA.355+50  
STA.0+45.466

STA.397+50  
STA.2+30.345



STA.355+40  
STA.0+35.477

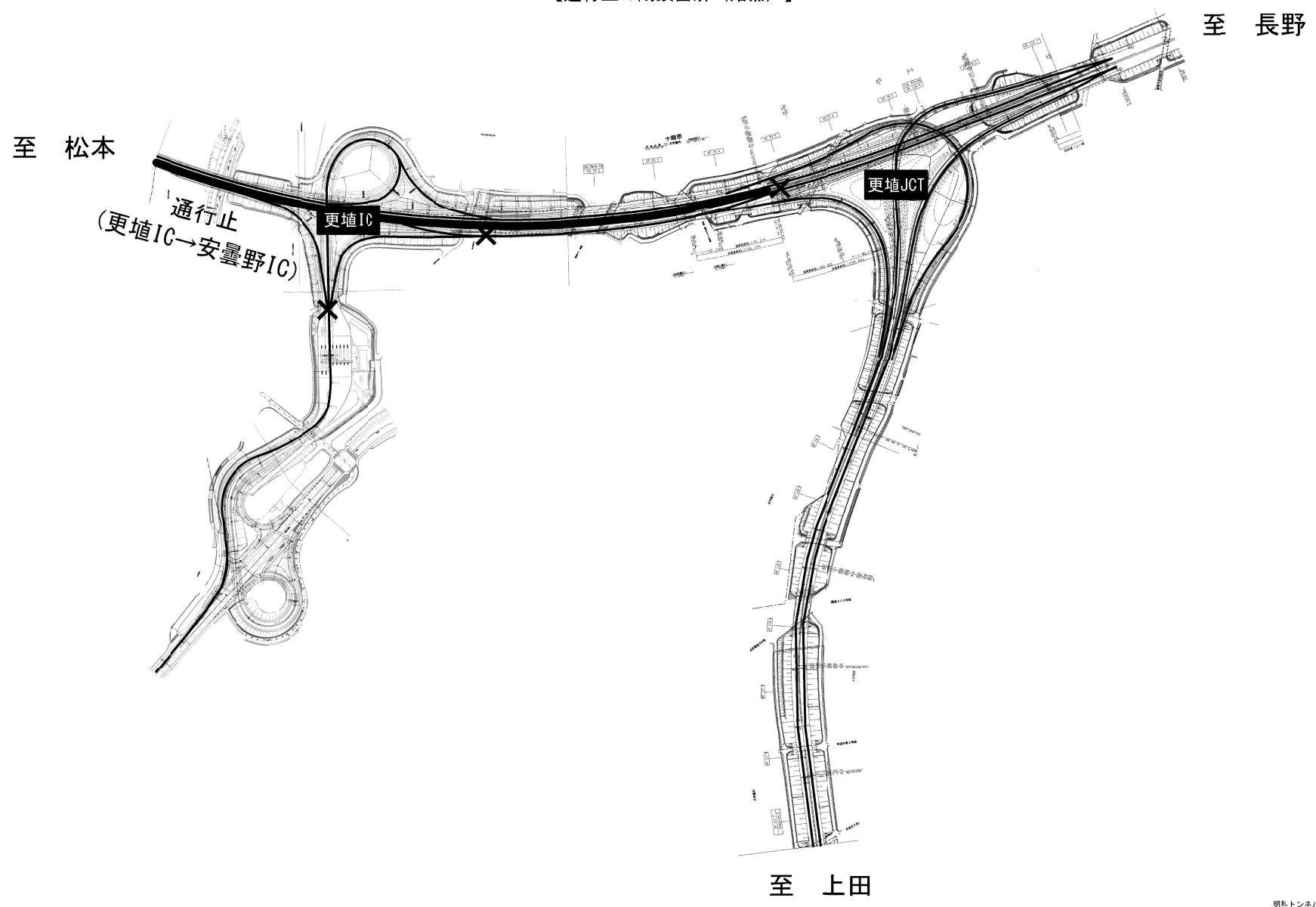
STA.397+40  
STA.2+20.178



明科トンネル（上り線）			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	交通規制工図（１１） 対面通行規制図（６） 断面図		
縮 尺	—	図面番号	178 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

交通規制工図（１２）

【通行止め閉鎖箇所（始点）】



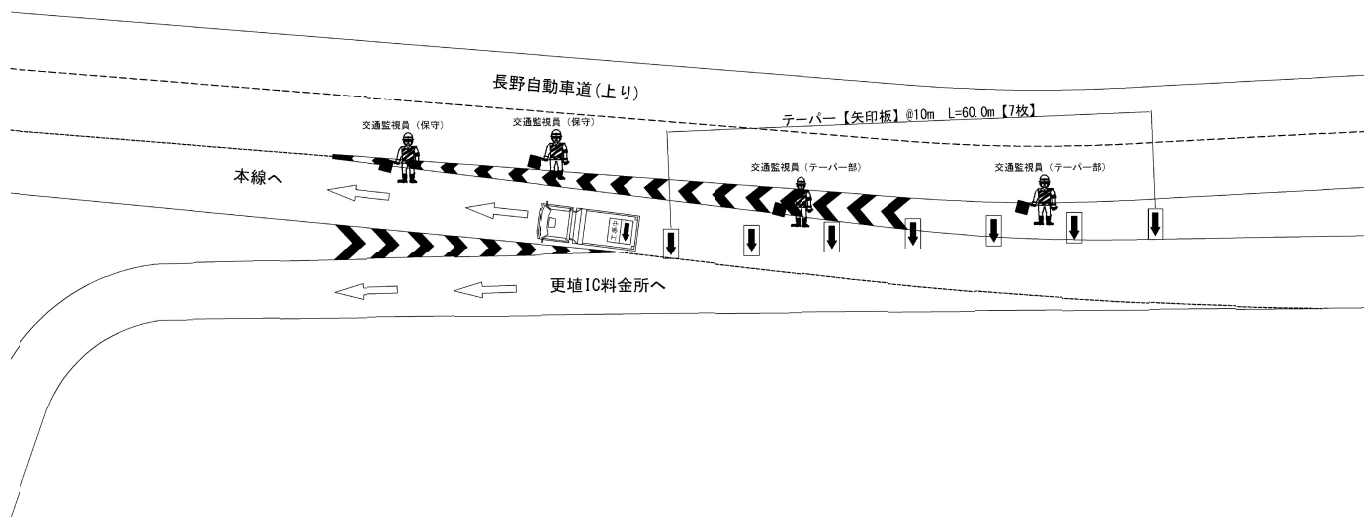
明科トンネル（上り線）

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	交通規制工図（１２）		
縮尺	—	図面番号	179 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

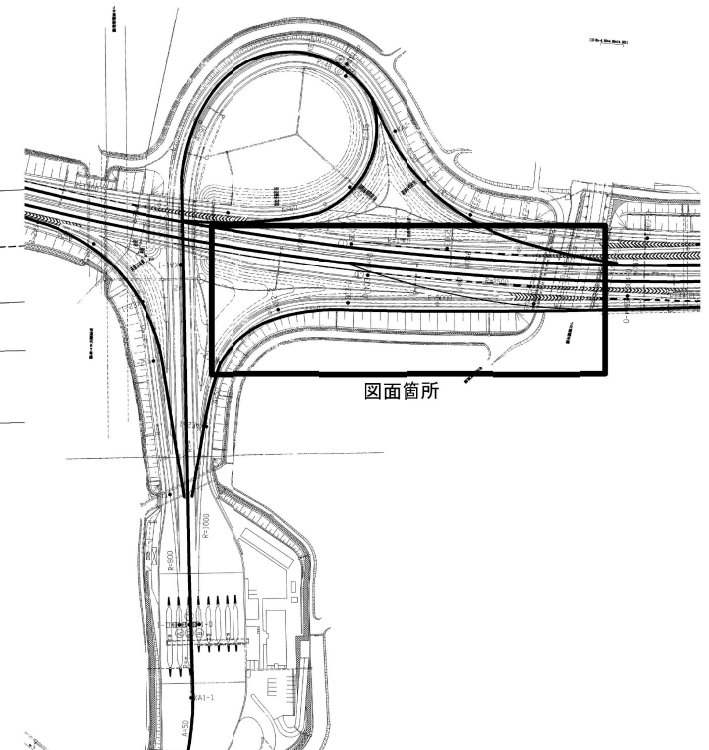
交通規制工図（13）  
【通行止め（更埴JCT①）】

180 / 204

詳細平面図



広域平面図



交通規制工 数量表

(1回当たり)

項目	数量	単位	備考
規制標識	0	枚	受注者用意
ラバーコーン	0	本	受注者用意
矢印板	7	枚	テーパー部
保安ロボット	0	台	受注者用意
標識等安全施設（標示板）	0	枚	受注者用意
標識等安全施設（保安灯）	0	本	受注者用意
標識等安全施設（回転警告灯）	0	台	受注者用意
標識等安全施設（ジャンボカラーコーン）	0	本	受注者用意
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	0	台	受注者用意
標識車	1	台	受注者用意
発炎筒（設置時・撤去時）	12	本	規制設置・撤去時 各6本ずつ（長野管マニュアルより）
交通監視員（規制保守）	2	人・日	
交通監視員（テーパー部）	2	人・日	

- ・テーパー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。
- ・発炎筒は交通規制工に含む。

工事看板 記載内容例	【凡例】	規制標識	ラバーコーン (反射キャップ)	ラバーコーン (反射キャップ+保安灯)	矢印板	保安ロボット
	工事予告看板	回転警告灯	ジャンボカラーコーン	進入車両強制停止装置	標識車	交通監視員

明科トンネル(上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	交通規制工図（13） 【通行止め（更埴JCT①）】		
縮尺	—	図面番号	180 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

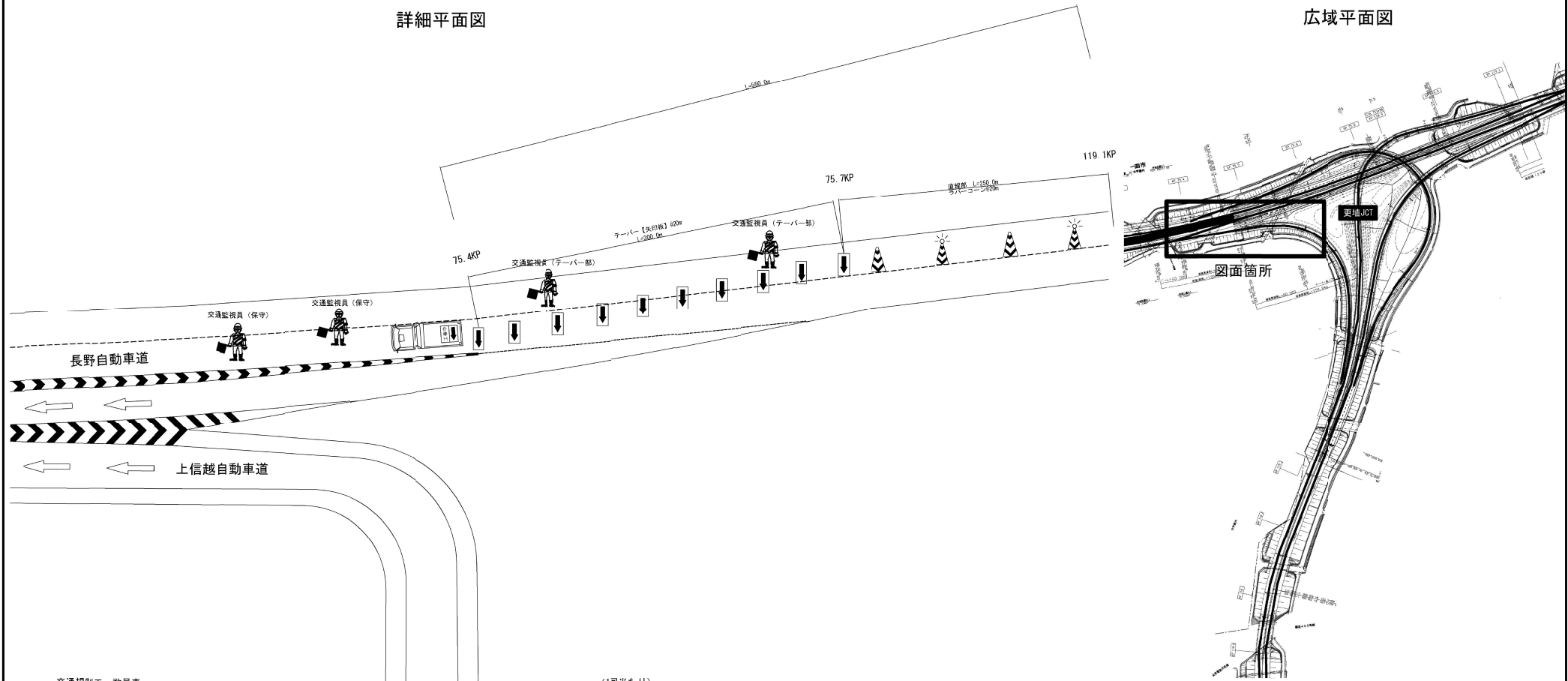


# 交通規制工図（14） 【通行止め（更埴JCT②）】

181 / 204

詳細平面図

広域平面図



交通規制工 数量表

(1回当たり)

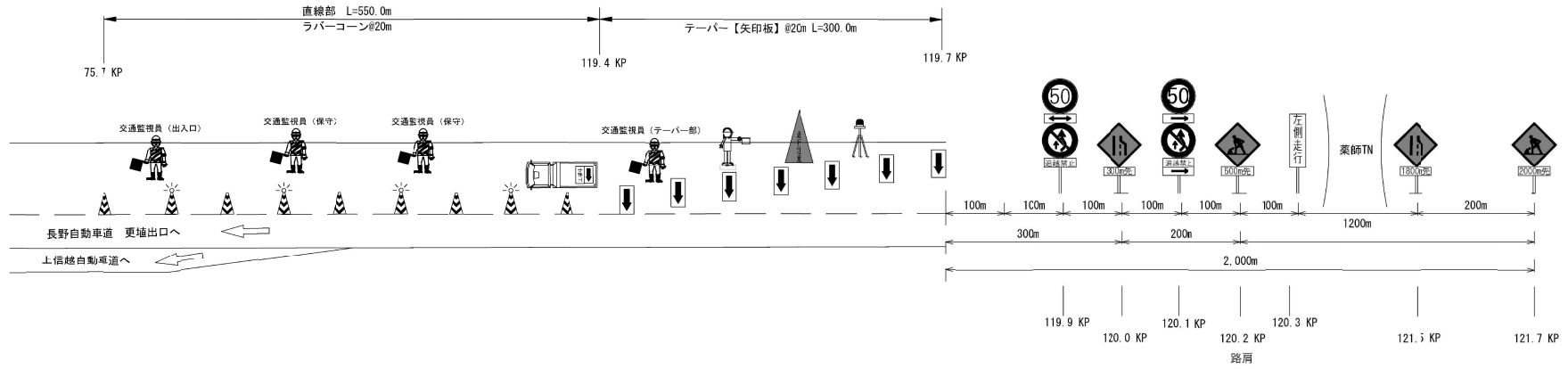
項目	数量	単位	備考
規制標識	0	枚	受注者用意
ラバーコーン	13	本	直線部 受注者用意
矢印板	16	枚	テーパー部 受注者用意
保安ロボット	0	台	受注者用意
標識等安全施設（標示板）	0	枚	受注者用意
標識等安全施設（保安灯）	13	本	ラバーコーン1本につき1個 受注者用意
標識等安全施設（回転警告灯）	0	台	受注者用意
標識等安全施設（ジャンボカラーコーン）	0	本	受注者用意
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	0	台	受注者用意
標識車	1	台	受注者用意
発炎筒（設置時・撤去時）	12	本	規制設置・撤去時 各6本ずつ（長野管マニュアルより） 受注者用意
交通監視員（規制保守）	2	人・日	
交通監視員（テーパー部）	2	人・日	

- ・テーパー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。
- ・発炎筒は交通規制工に含む。

工事看板 記載内容例	【凡例】	規制標識	ラバーコーン (反射キャップ)	ラバーコーン (反射キャップ+保安灯)	矢印板	保安ロボット
<div> <div>礼</div> <div>工事</div> </div>	<div> <div>工事予告看板</div> <div>回転警告灯</div> </div>	<div> <div>規制標識</div> <div>ジャンボカラーコーン</div> </div>	<div> <div>ラバーコーン</div> <div>ラバーコーン</div> </div>	<div> <div>ラバーコーン</div> <div>ラバーコーン</div> </div>	<div> <div>矢印板</div> <div>標識車</div> </div>	<div> <div>保安ロボット</div> <div>交通監視員</div> </div>

明科トンネル(上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事	
図面の種類	交通規制工図（14） 【通行止め（更埴JCT②）】
縮尺	— 図面番号 181 / 204
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

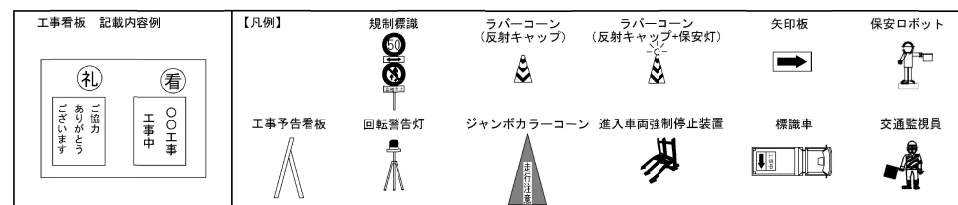


広域平面図

[illegible]

項 目	数量	単位	備 考
規制標識	9	枚	受注者用意
ラバーコーン	28	本	直線部 受注者用意
矢印版	18	枚	テーパー部16枚、300mと500mに各1枚 受注者用意
保安ロボット	1	台	受注者用意
標識等安全施設（標示板）	0	枚	受注者用意
標識等安全施設（保安灯）	6	本	ラバーコーン5本につき1個 受注者用意
標識等安全施設（回転警告灯）	1	台	受注者用意
標識等安全施設（ジャンボカラーコーン）	1	本	受注者用意
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	0	台	受注者用意
標識車	1	台	受注者用意
発炎筒（設置時・撤去時）	12	本	規制設置・撤去時 各6本ずつ（長野管マニュアルより） 受注者用意
交通監視員（規制保守）	2	人・日	
交通監視員（テーパー部）	1	人・日	
交通監視員（出入口）	1	人・日	

- ・テーパ部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。
- ・発光筒は交通規制工に含む。

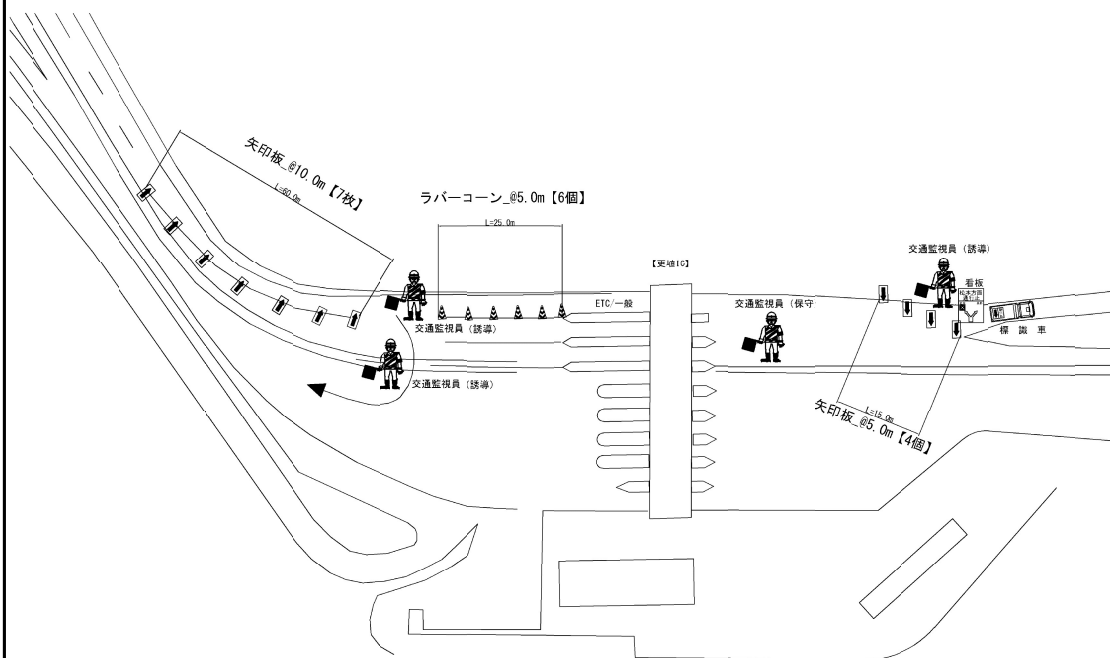
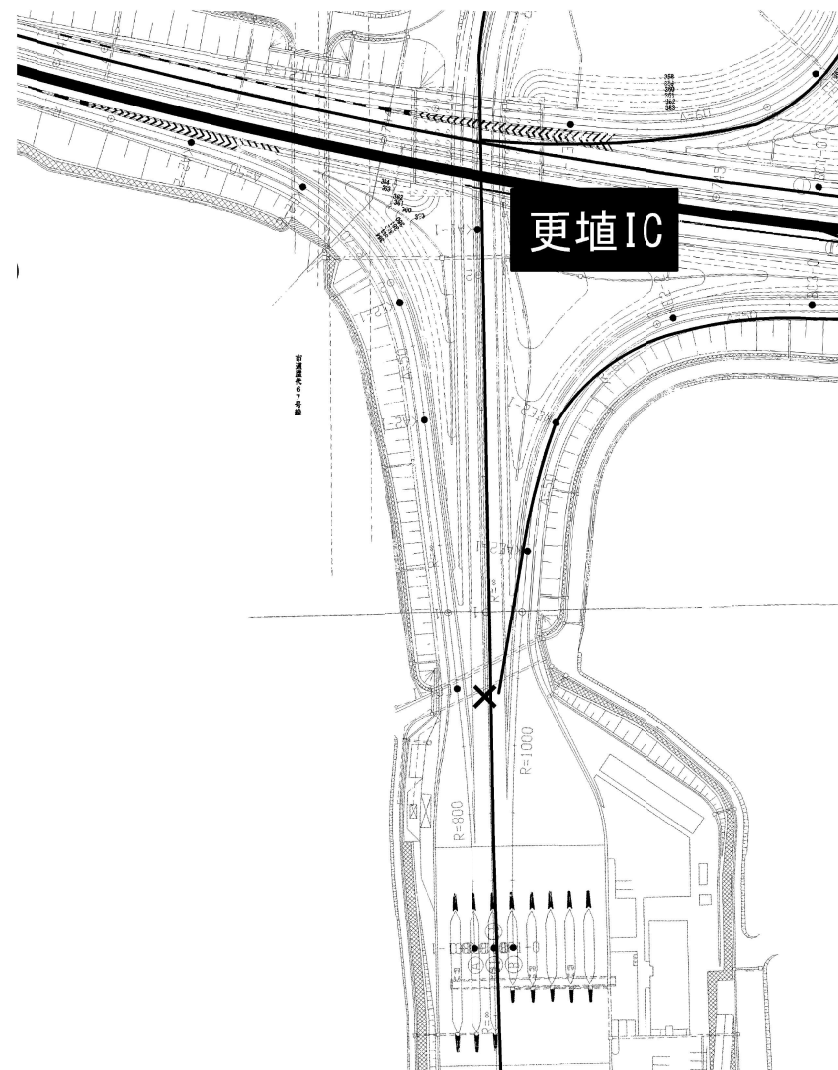


明科トンネル(上り線)			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	交通規制工図 (15) 【通行止め(更張JC73)】		
縮 尺	—	図面番号	182 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 南東北支 長野工事事務所		

# 交通規制工図（16） 【更埴IC～麻績IC方面 通行止め規制】

183 / 204

全体図



交通規制工 数量表 (1回当たり)

項目	数量	単位	備 考
規制標識	0	枚	受注者用意
ラバーコーン	6	本	料金所入口側
矢印板	11	枚	料金所入口側テーパー部に7枚 オンランプ閉鎖箇所に4枚
保安ロボット	0	台	受注者用意
標識等安全施設 (標示板)	0	枚	受注者用意
標識等安全施設 (保安灯)	6	本	ラバーコーン1本につき1個
標識等安全施設 (回転警告灯)	0	台	受注者用意
標識等安全施設 (ジャンボカラーコーン)	0	本	受注者用意
標識等安全施設 (進入車両強制停止装置)	0	台	受注者用意
標識車	1	台	受注者用意
炎筒 (設置時・撤去時)	0	本	受注者用意
交通監視員 (規制保守)	1	人・日	
交通監視員 (誘導)	3	人・日	

・テーパー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。

工事看板 記載内容例

【凡例】

規制標識

ラバーコーン  
(反射キャップ)

ラバーコーン  
(反射キャップ+保安灯)

矢印板

保安ロボット

工事予告看板

回転警告灯

ジャンボカラーコーン

進入車両強制停止装置

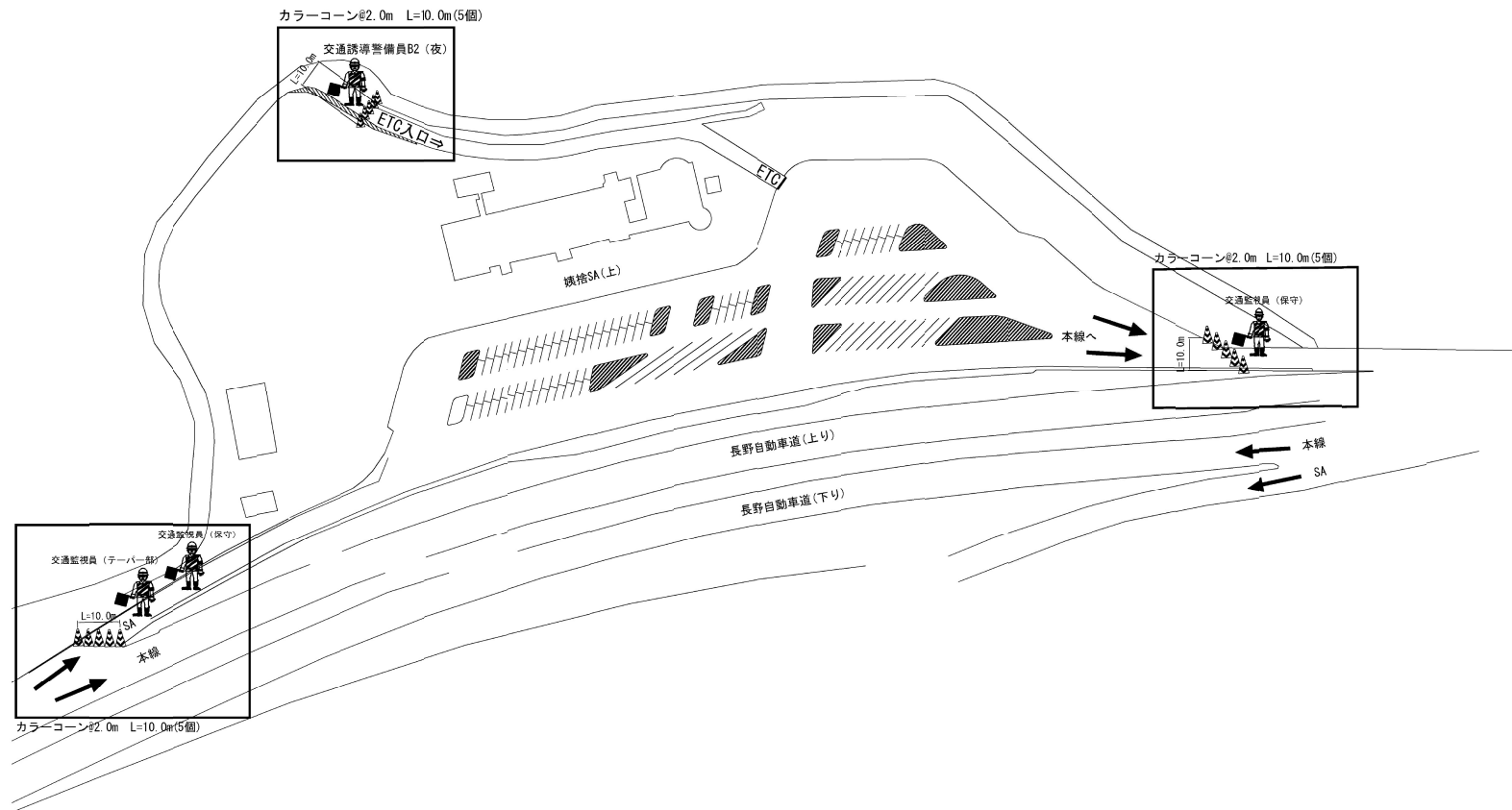
標識車

交通監視員

明科トンネル(上り線)			
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	交通規制工図 (16) 【更埴IC～麻績IC方面 通行止め規制】		
縮 尺	—	図面番号	183 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

# 交通規制工図（17） 【姨捨SIC 通行止め規制】

184 / 204

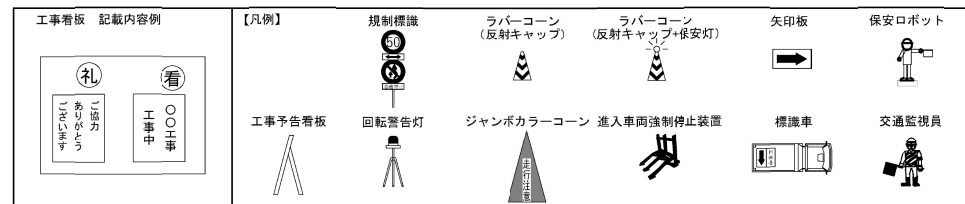


交通規制工 数量表

(1回当たり)

項目	数量	単位	備考
規制標識	0	枚	受注者用意
ラバーコーン	15	本	ETC入口5本、SA出入口に各5本
矢印板	0	枚	受注者用意
保安ロボット	0	台	受注者用意
標識等安全施設（標示板）	0	枚	受注者用意
標識等安全施設（保安灯）	15	本	ラバーコーン1本につき1個
標識等安全施設（回転警告灯）	0	台	受注者用意
標識等安全施設（ジャンボカラーコーン）	0	本	受注者用意
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	0	台	受注者用意
標識車	0	台	受注者用意
発炎筒（設置時・撤去時）	0	本	規制設置・撤去時 各6本ずつ（長野管マニュアルより）
交通監視員（規制保守）	2	人・日	
交通監視員（テープ一部）	1	人・日	
交通誘導警備員B2（夜）	1	人・日	※1

・テープ一部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。  
※1：姨捨上りETC入口にて上り線の通行止めを通知し振分け誘導するもの



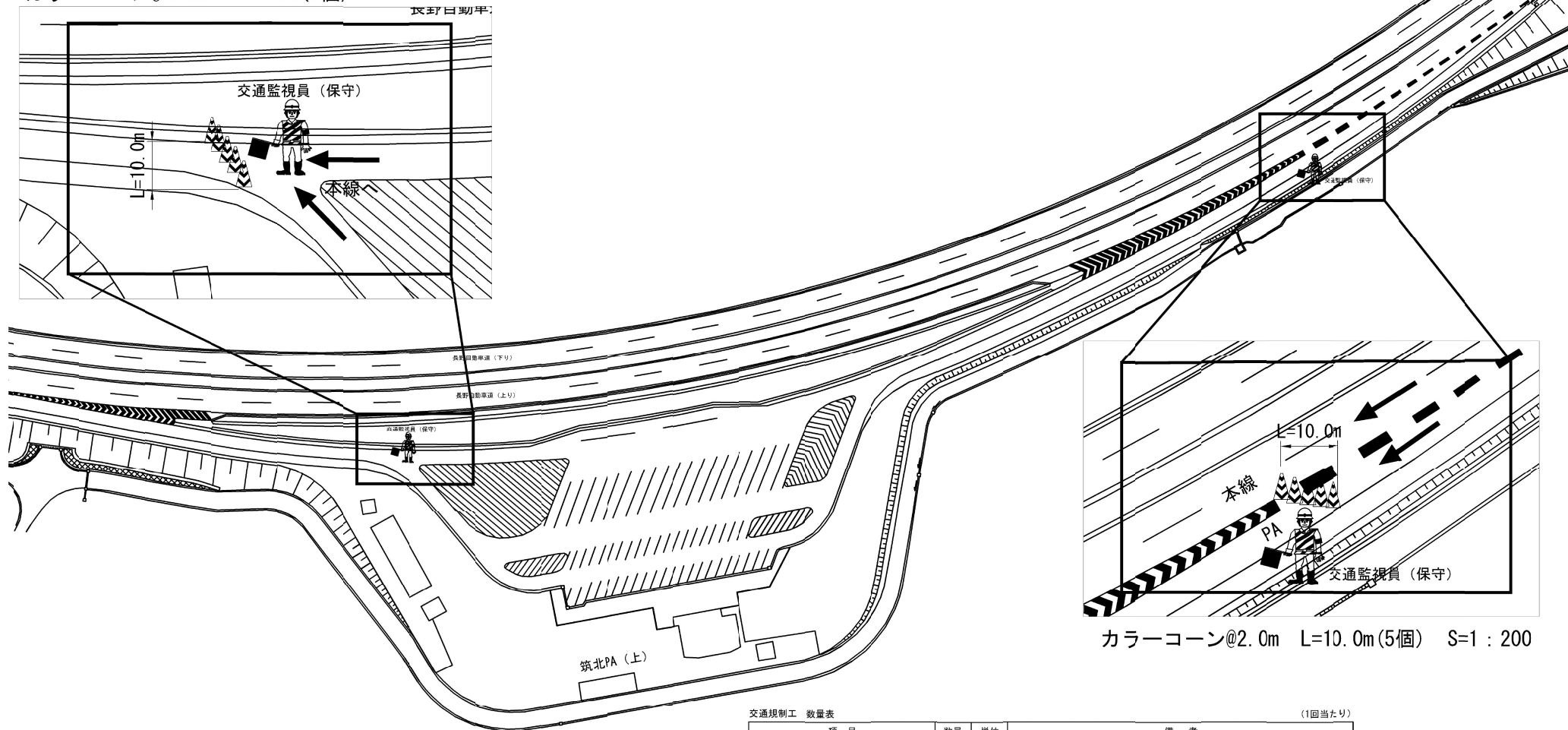
明科トンネル(上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事	
図面の種類	交通規制工図（17） 【姨捨SIC 通行止め規制】
縮尺	— 図面番号 184 / 204
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所

交通規制工図（１８）  
【筑北PA 通行止め規制】

185 / 204

カラーコーン@2.0m L=10.0m(5個) S=1:200



カラーコーン@2.0m L=10.0m(5個) S=1:200

交通規制工 数量表

(1回当たり)

項目	数量	単位	備考
規制標識	0	枚	受注者用意
ラバーコーン	10	本	PA出入口に各5本
矢印板	0	枚	受注者用意
保安ロボット	0	台	受注者用意
標識等安全施設（標示板）	0	枚	受注者用意
標識等安全施設（保安灯）	10	本	ラバーコーン1本につき1個
標識等安全施設（回転警告灯）	0	台	受注者用意
標識等安全施設（ジャンボカラーコーン）	0	本	受注者用意
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	0	台	受注者用意
標識車	0	台	受注者用意
発炎筒（設置時・撤去時）	0	本	規制設置・撤去時 各6本ずつ（長野管マニュアルより）
交通監視員（規制保守）	2	人・日	受注者用意

・テーパー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。

工事看板 記載内容例

【凡例】

規制標識

ラバーコーン  
(反射キヤップ)

ラバーコーン  
(反射キヤップ+保安灯)

矢印板

保安ロボット

工事予告看板

回転警告灯

ジャンボカラーコーン

進入車両強制停止装置

標識車

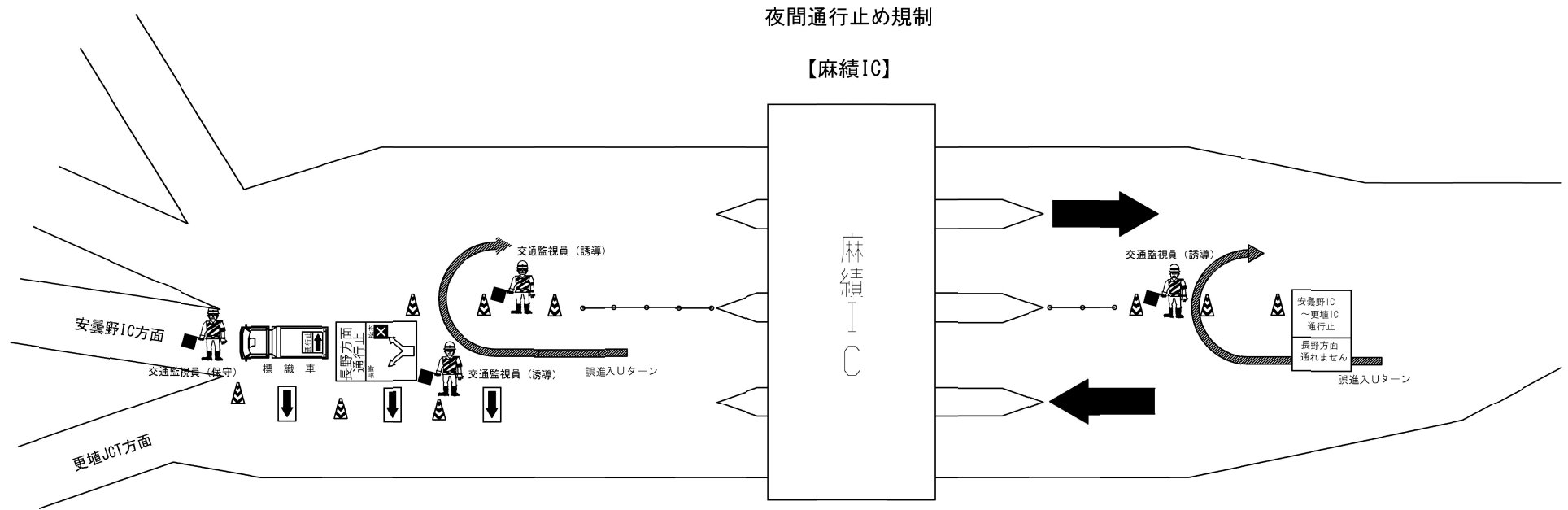
交通監視員

明科トンネル(上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事	
図面の種類	交通規制工図（１８） 【筑北PA 通行止め規制】
縮 尺	— 図面番号 185 / 204
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

交通規制工図（１９）  
【麻績IC 通行止め規制】

186 / 204



交通規制工 数量表

(1回当たり)

項目	数量	単位	備考	
規制標識	0	枚		受注者用意
ラバーコーン	9	本	IC内6本、IC外3本	受注者用意
矢印板	3	枚	IC内	受注者用意
保安ロボット	0	台		受注者用意
標識等安全施設（標示板）	0	枚		受注者用意
標識等安全施設（保安灯）	9	本	ラバーコーン1本につき1個	受注者用意
標識等安全施設（回転警告灯）	0	台		受注者用意
標識等安全施設（ジャンボカラーコーン）	0	本		受注者用意
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	0	台		受注者用意
標識車	1	台		受注者用意
発炎筒（設置時・撤去時）	0	本		受注者用意
交通監視員（規制保守）	1	人・日		
交通監視員（誘導）	3	人・日		

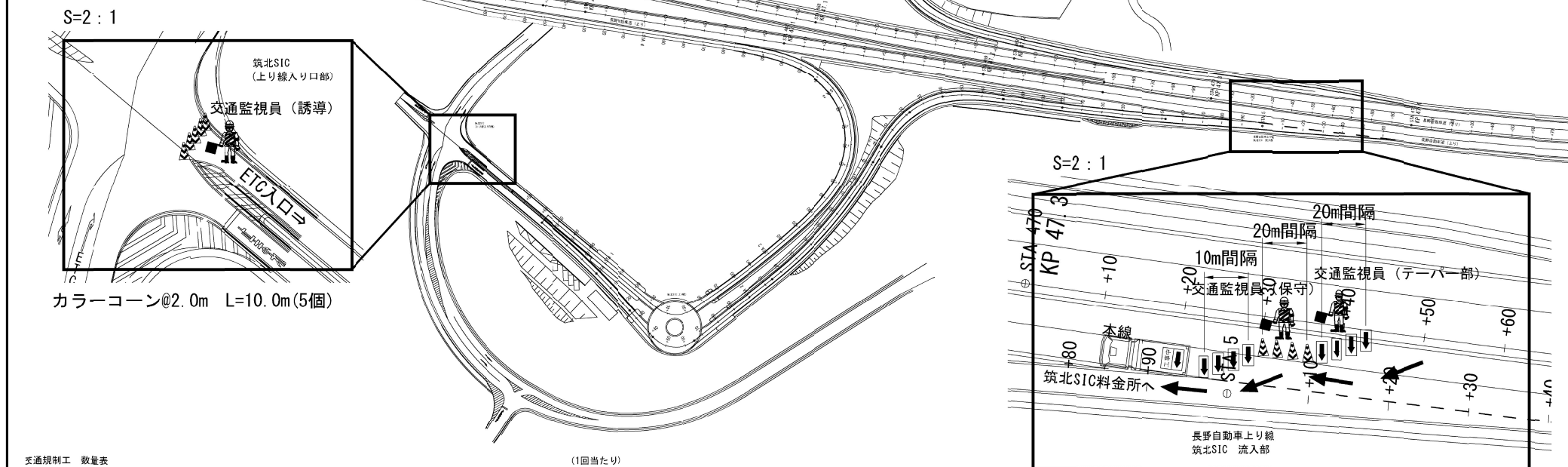
・テーパー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。

工事看板 記載内容例	【凡例】	規制標識	ラバーコーン (反射キャップ)	ラバーコーン (反射キャップ+保安灯)	矢印板	保安ロボット
	工事予告看板	回転警告灯	ジャンボカラーコーン	進入車両強制停止装置	標識車	交通監視員

明科トンネル(上り線)

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	交通規制工図（１９） 【麻績IC 通行止め規制】		
縮 尺	—	図面番号	186 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

# 交通規制工図（20） 【筑北SIC 通行止め規制】

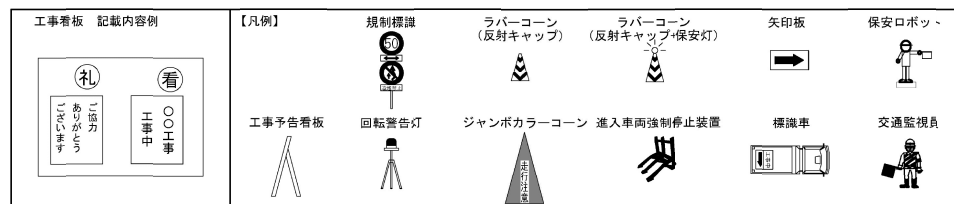


交通規制工 数量表

(1回当たり)

項目	数量	単位	備考
規制標識	0	枚	受注者用意
ラバーコーン	11	本	ETC入口5本、SIC流入部6本
矢印板	16	枚	SIC流入テーパー部
保安ロボット	0	台	受注者用意
標識等安全施設 (標示板)	0	枚	受注者用意
標識等安全施設 (保安灯)	11	本	ラバーコーン1本につき1個
標識等安全施設 (回転警告灯)	0	台	受注者用意
標識等安全施設 (ジャンボカラーコーン)	0	本	受注者用意
標識等安全施設 (進入車両強制停止装置)	0	台	受注者用意
標識車	1	台	受注者用意
発炎筒 (設置時・撤去時)	0	本	受注者用意
交通監視員 (規制保守)	1	人・日	
交通監視員 (テーパー部)	1	人・日	
交通監視員 (誘導)	1	人・日	

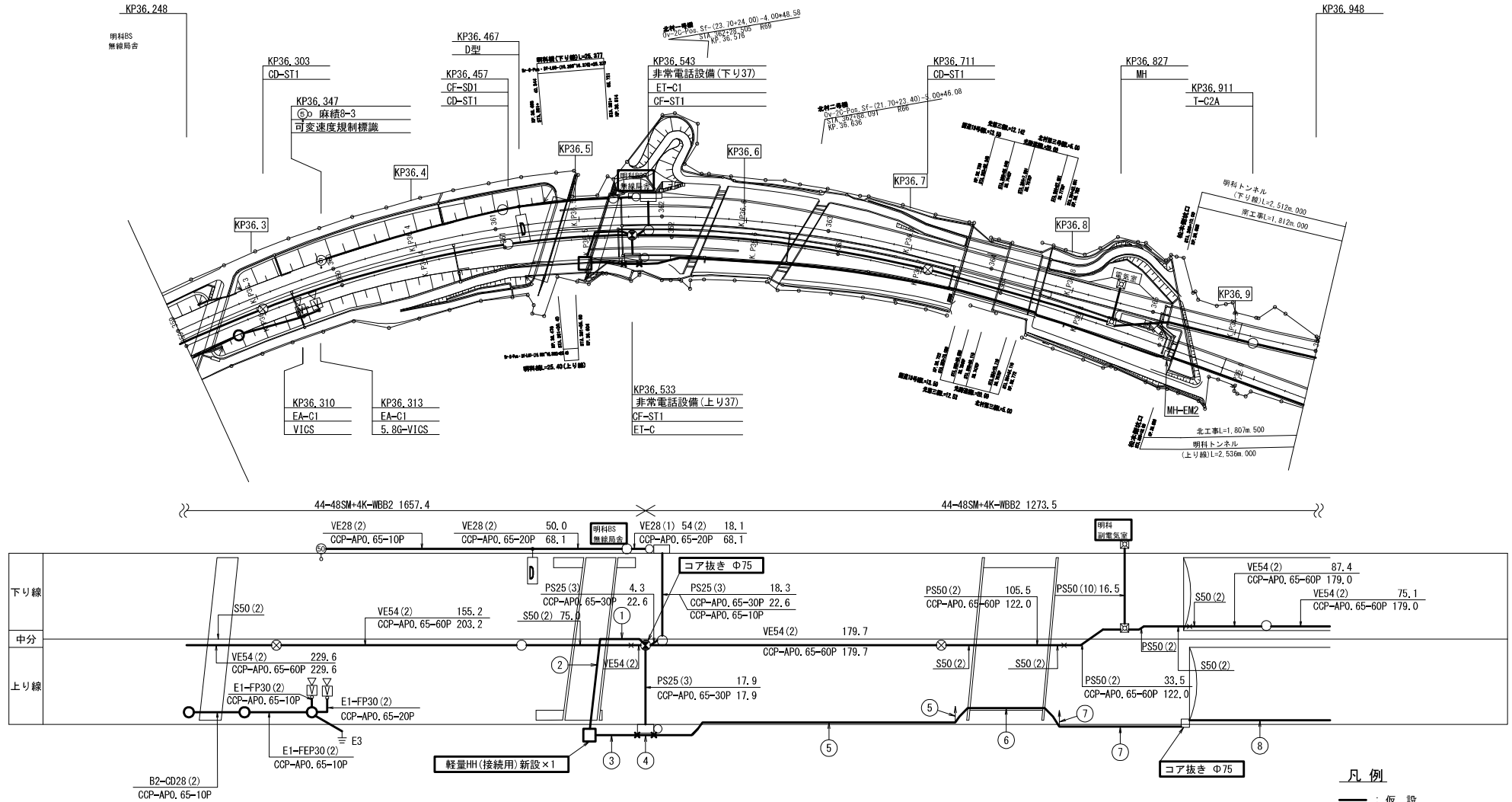
・テーパー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式とする。



明科トンネル(上り線)

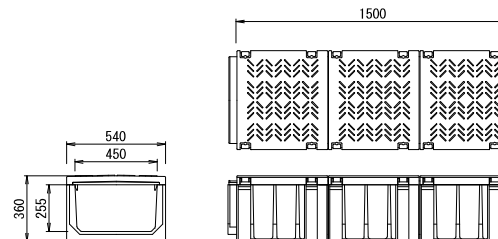
長野自動車道 明科トンネル補強工事	
図面の種類	交通規制工図 (20) 【筑北SIC 通行止め規制】
縮尺	— 図面番号 187 / 204
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

# 上り線 仮設ケーブル管路工 平面図(1)



- |                                     |                  |  |                            |                                   |                      |
|-------------------------------------|------------------|--|----------------------------|-----------------------------------|----------------------|
| ① 露出強化型FP40(1)<br>(KDDI光) 別途工事      | 22.6m<br>強化型FP40 | ④ 架空強化型FP40(1)<br>(KDDI光) 別途工事         | 5.83m+10m+5.83m<br>強化型FP40 | ⑦ よう壁添架強化型FP40(1)<br>(KDDI光) 別途工事 | ↑4m+84.5m<br>強化型FP40 |
| ② 橋梁床版下添架強化型FP40(1)<br>(KDDI光) 別途工事 | 19.5m<br>強化型FP40 | ⑤ よう壁添架強化型FP40(1)<br>(KDDI光) 別途工事      | 191.2m+14m<br>強化型FP40      | ⑧ 既設多孔陶管内<br>(KDDI光) 別途工事         | 既設多孔陶管               |
| ③ よう壁添架強化型FP40(1)<br>(KDDI光) 別途工事   | 23.2m<br>強化型FP40 | ⑥ カルバート部ころがし強化型FP40(1)<br>(KDDI光) 別途工事 | 49.4m<br>強化型FP40           |                                   |                      |

軽量HH(接続用) S=1:30

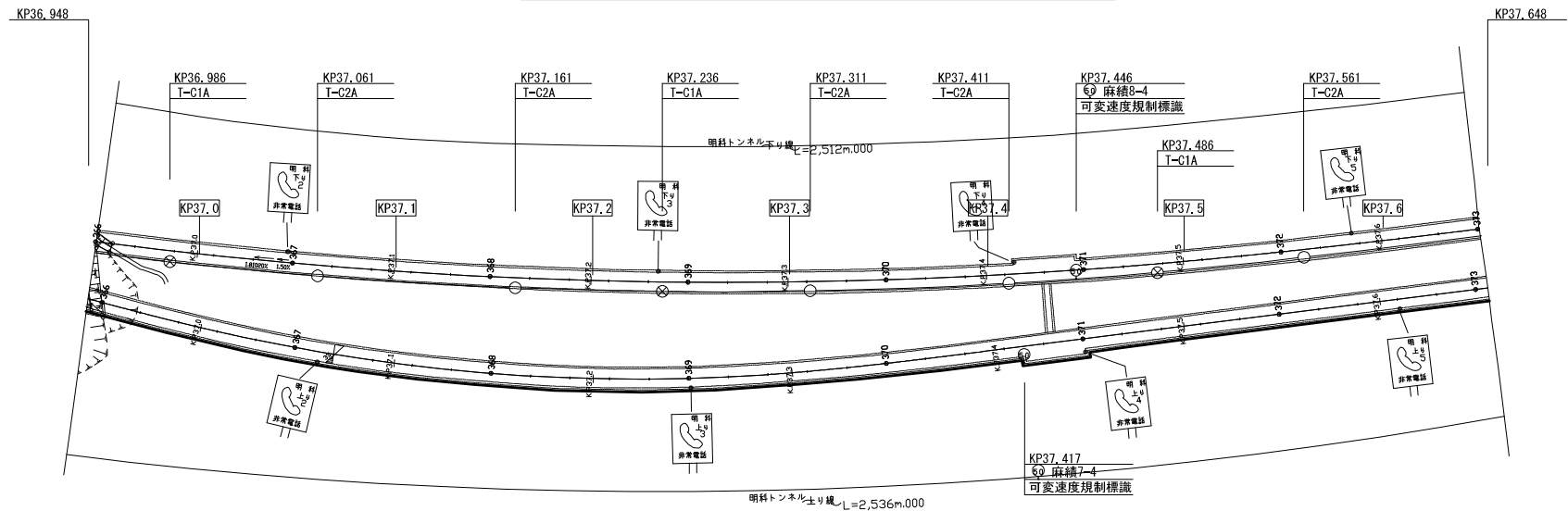


凡 例  
 — : 仮 設  
 — : 既 設  
 ↑ : 立上げ

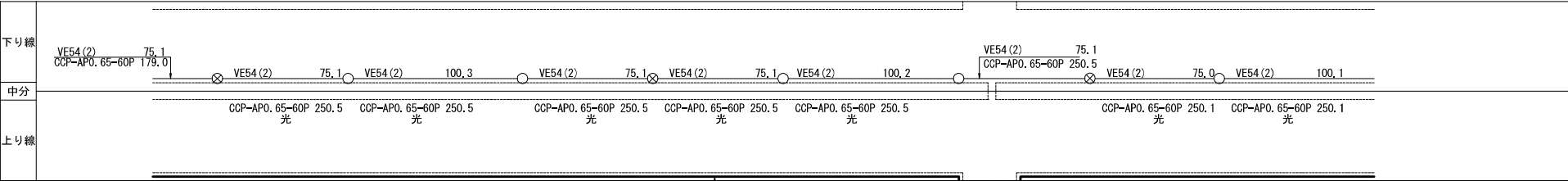
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	上り線 仮設ケーブル管路工 平面図(1)		
縮 尺	1:2500.30	図面番号	188 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		



# 上り線 仮設ケーブル管路工 平面図(2)



44-48SM+4K-WBB2 1273.5



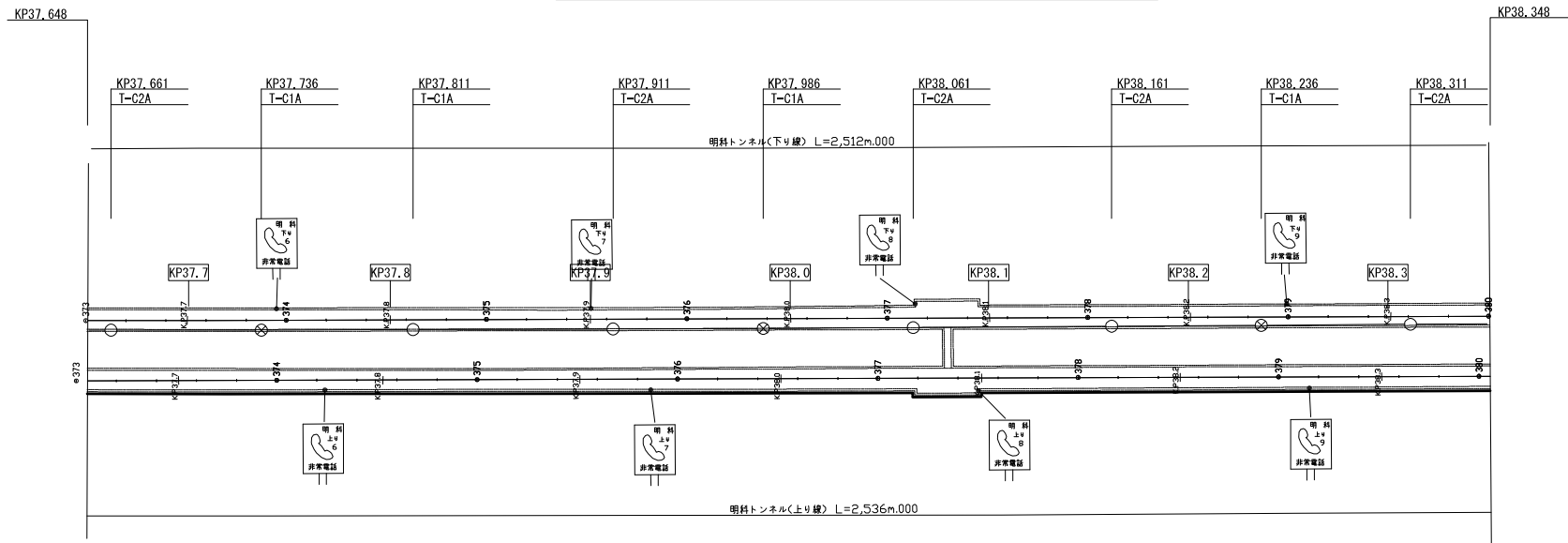
① 既設多孔陶管内  
(KDDI光) 別途工事 既設多孔陶管

## 凡例

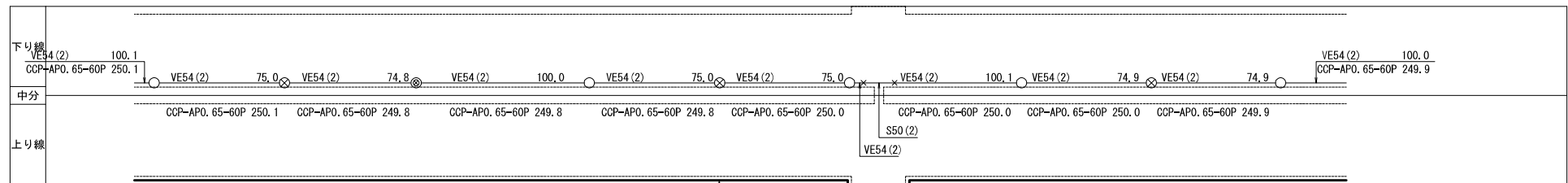
— : 仮設  
— : 既設

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	上り線 仮設ケーブル管路工 平面図(2)		
縮 尺	1:2500	図面番号	189 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

# 上り線 仮設ケーブル管路工 平面図(3)



44-48SM+4K-WBB2 1273.5 44-48SM+4K-WBB2 1918.4



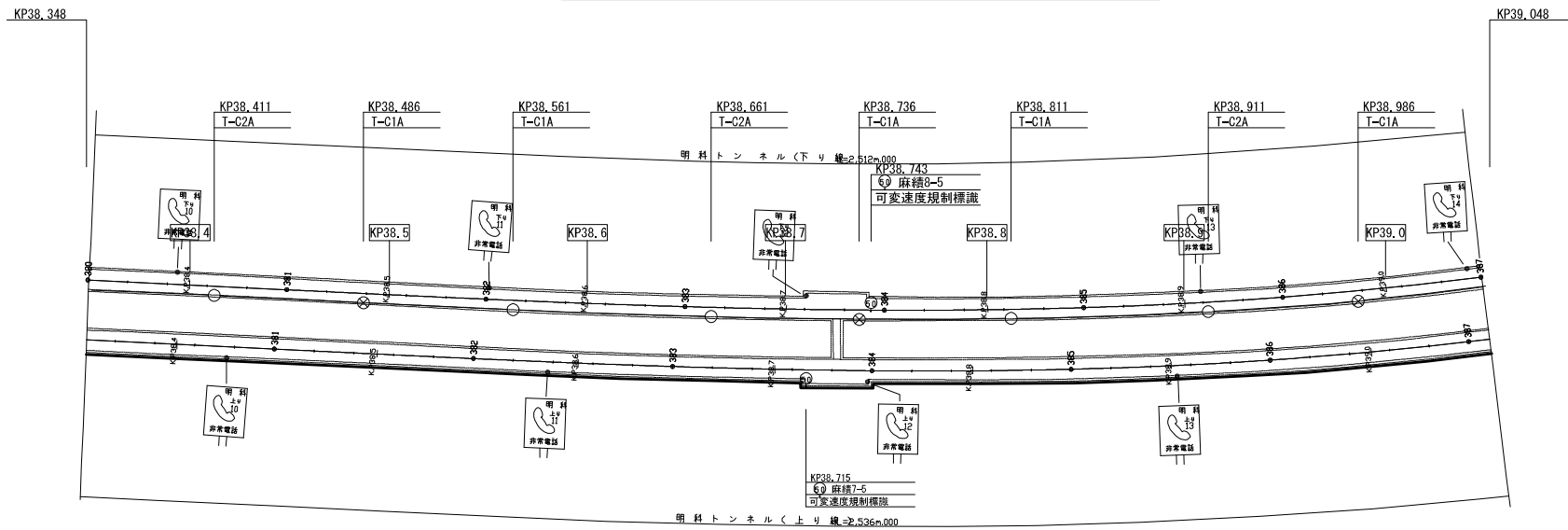
① 既設多孔陶管内  
(KDDI光) 別途工事 既設多孔陶管

## 凡例

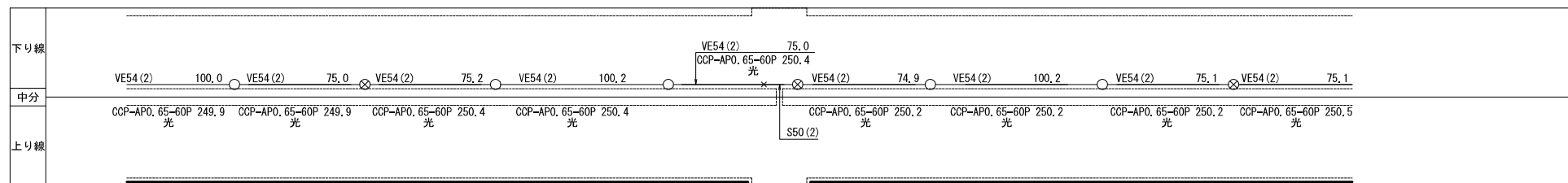
— : 仮設  
— : 既設

長野自動車道 明斜トンネル補強工事			
図面の種類	上り線 仮設ケーブル管路工 平面図(3)		
縮尺	1:2500	図面番号	190 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

# 上り線 仮設ケーブル管路工 平面図(4)



44-49SM+4K-WBB2 1918.4



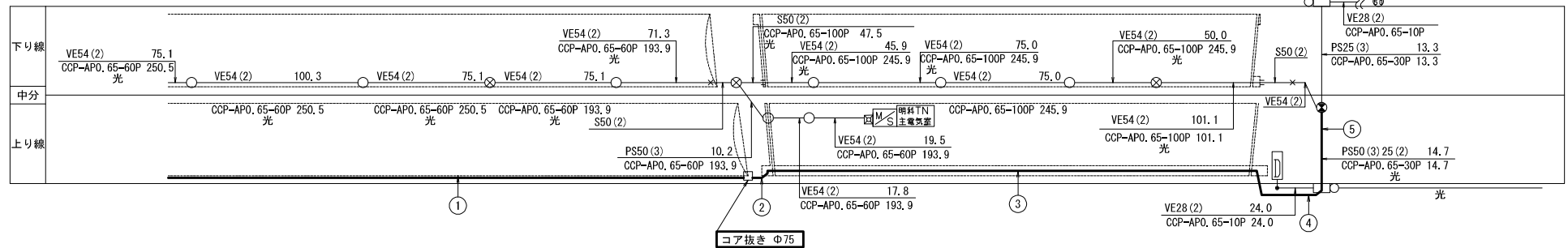
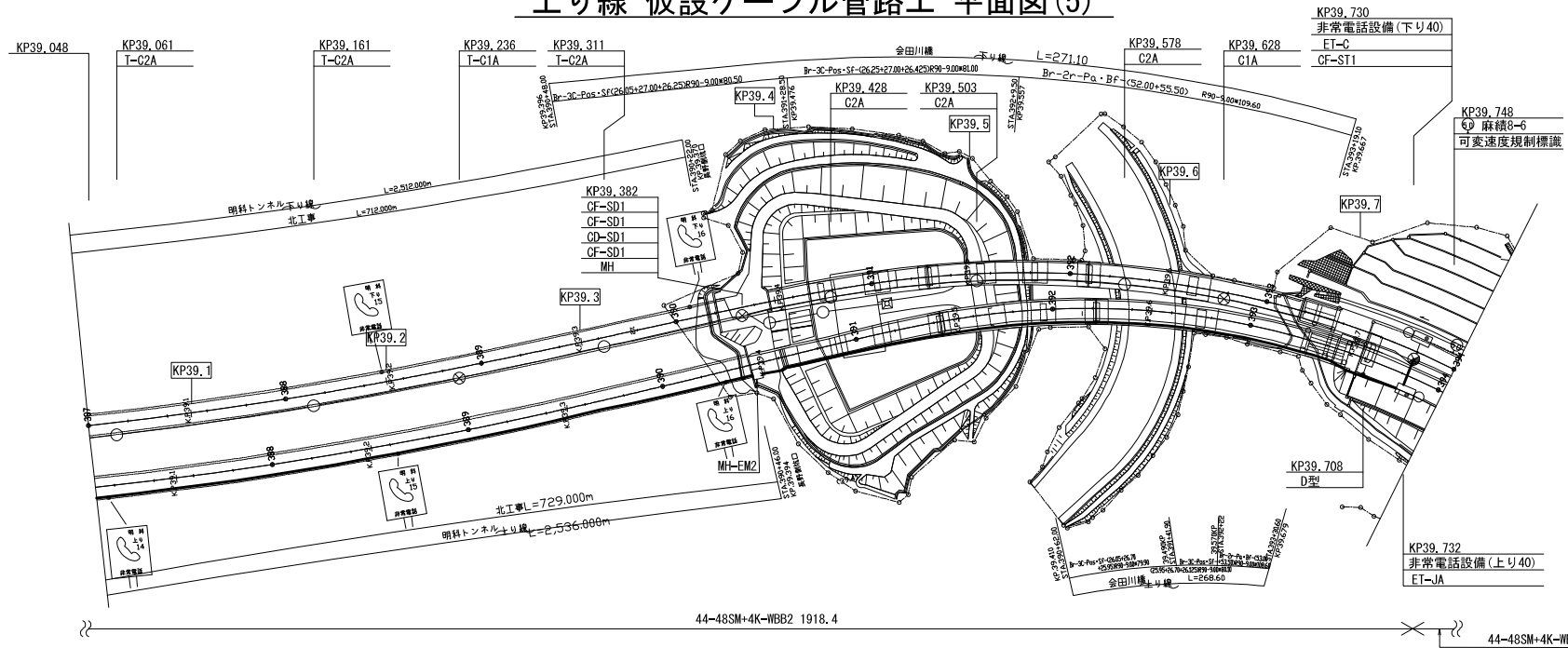
① 既設多孔陶管内  
(KDDI光) 別途工事 既設多孔陶管

## 凡例

— : 仮設  
— : 既設

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	上り線 仮設ケーブル管路工 平面図(4)		
縮 尺	1:2500	図面番号	191 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

上り線 仮設ケーブル管路工 平面図(5)



- |                          |         |        |
|--------------------------|---------|--------|
| ① 既設多孔陶管内<br>(KDDI光)別途工事 |         | 既設多孔陶管 |
| ② E2S-強化型FP40 (1)        |         | 13.7m  |
| (KDDI光)別途工事              | 強化型FP40 |        |
| ③ 橋梁壁高欄柵架強化型FP40 (1)     |         | 289.8m |
| (KDDI光)別途工事              | 強化型FP40 |        |

- |                 |         |       |
|-----------------|---------|-------|
| ④ E1-強化型FP40(1) |         | 29.4m |
| (KDDI光) 別途工事    | 強化型FP40 |       |
| ⑤ 既設管内          |         |       |
| (KDDI光) 別途工事    | PS50    |       |

- |              |      |
|--------------|------|
| ⑤ 既設管内       |      |
| (KDDI光) 別途工事 | PS50 |

## 凡 例

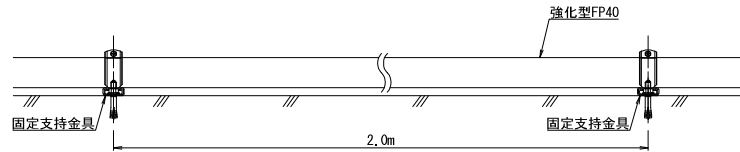
— : 假 設

——：既設

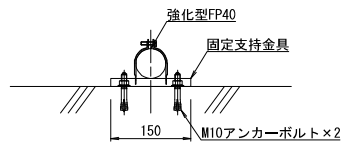
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	上り線 仮設ケーブル管路工 平面図(5)		
縮 尺	1:2500	図面番号	192 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

# 上り線 仮設ケーブル管路工 配管敷設図

## 強化型FP40(1)

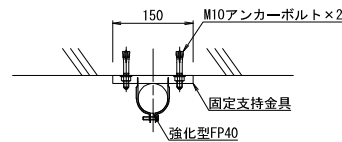


## 露出強化型FP40(1)



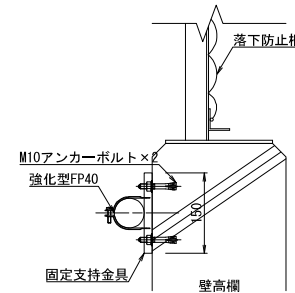
項 目	単位	数量	備 考
強化型FP40	m	22.6	
固定支持金具	組	12	
M10アンカーボルト	本	24	

## 橋梁床版下添架強化型FP40(1)



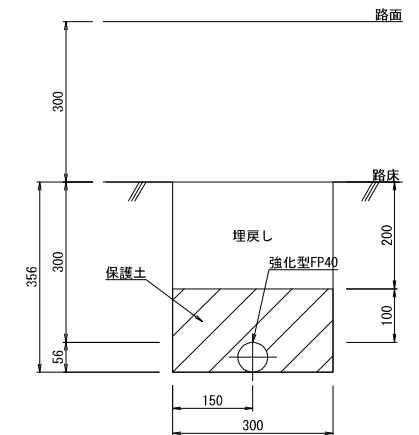
項 目	単位	数量	備 考
強化型FP40	m	19.5	
固定支持金具	組	11	
M10アンカーボルト	本	22	

## 橋梁壁高欄添架強化型FP40(1)



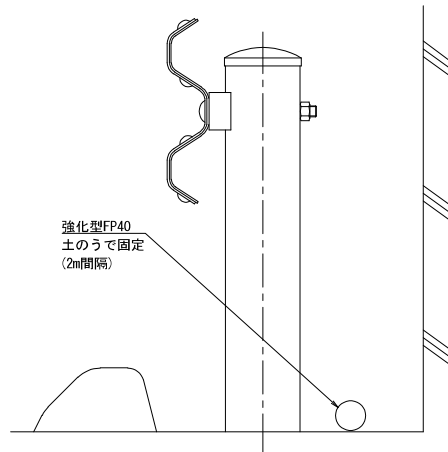
項 目	単位	数量	備 考
強化型FP40	m	289.8	
固定支持金具	組	146	
M10アンカーボルト	本	292	

## E2S-強化型FP40(1)



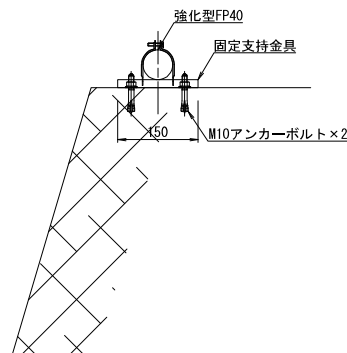
(1m当り)			
項 目	単位	数量	備 考
強化型FP40	m	1	
掘削	m³	0.107	
保護土	m³	0.047	
埋戻し	m³	0.060	
残土処理	m³	0.047	

## カルバート部ころがし強化型FP40(1)



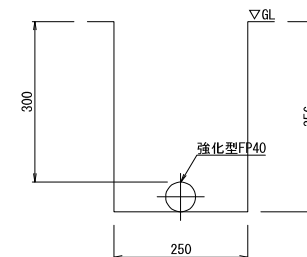
項 目	単位	数量	備 考
強化型FP40	m	49.4	
土のう	箇所	26	

## よう壁添架強化型FP40(1)



項 目	単位	数量	備 考
強化型FP40	m	306.9	
固定支持金具	組	160	
M10アンカーボルト	本	320	

## E1-強化型FP40(1)

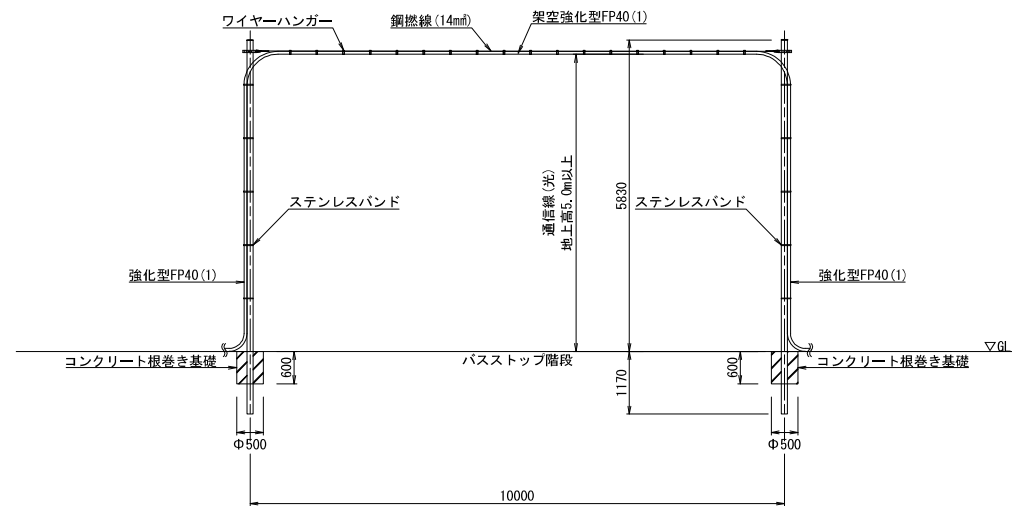


(1m当り)			
項 目	単位	数量	備 考
強化型FP40	m	1	
掘削	m³	0.089	
埋戻し	m³	0.089	

長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	上り線 仮設ケーブル管路工 配管敷設図		
縮 尺	1:10	図面番号	193 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

# 上り線 仮設ケーブル管路工 架空横断図

架空強化型FP40(1)



鋼管柱数量表

項 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	備 考
鋼管柱	Φ114.3×7m	本	2	パナソニック㈱ XDDC1370KW (KA) 相当品
自在バンド	3BD-X-10	個	2	溶融亜鉛めっき
丸型シンブル	14mm用	個	2	溶融亜鉛めっき
巻付けグリップ	シンブル用 (14mm)	個	2	溶融亜鉛めっき
鋼燃線	14mm 1.6φ×7本	m	柱間	溶融亜鉛めっき
ワイヤーハンガー	鋼燃線14mm、FP40用	個	18	0.5m間隔に設置
ステンレスバンド	バンド巾20mm	式	1	

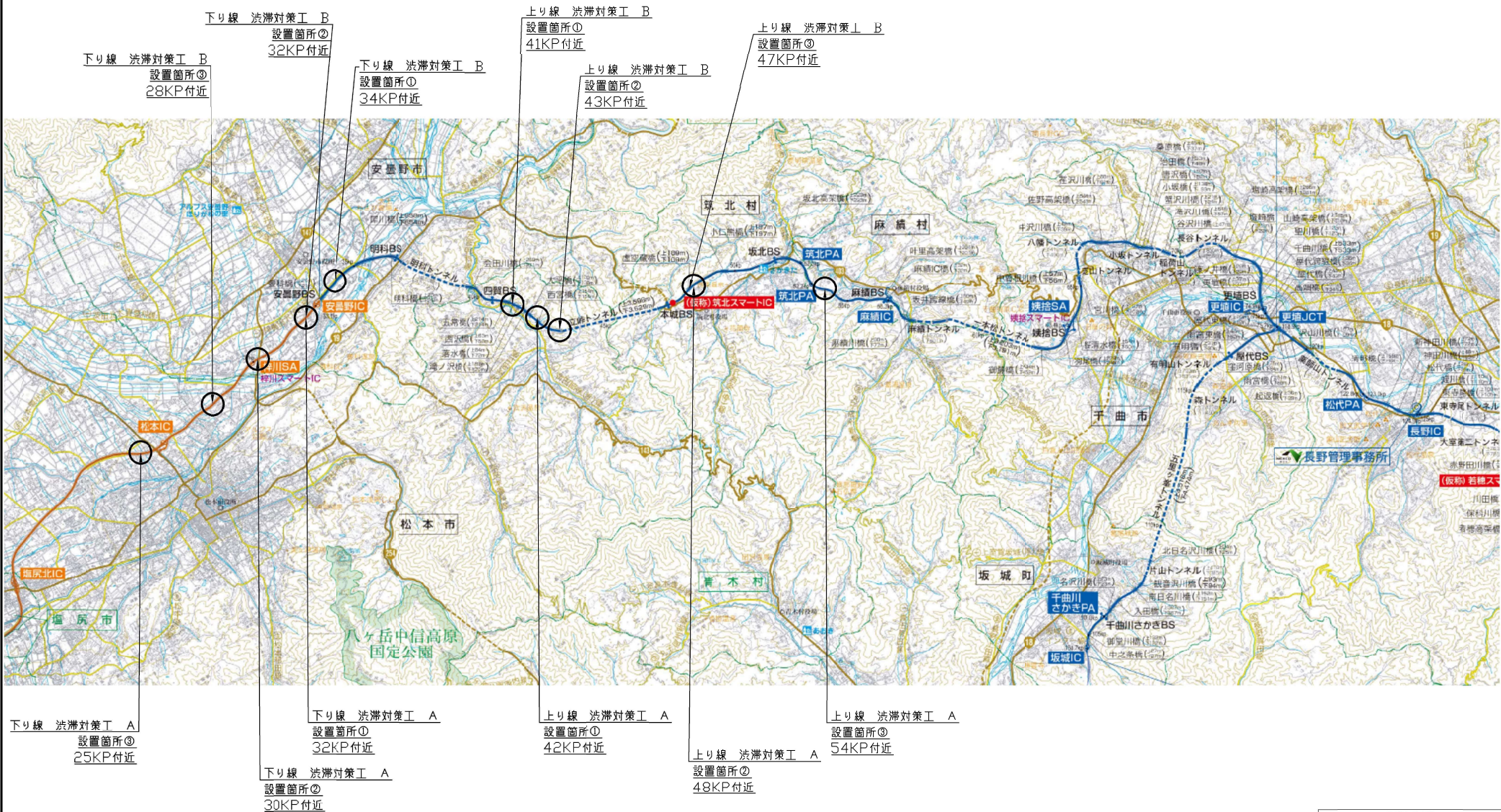
長野自動車道 明科トンネル補強工事			
図面の種類	上り線 仮設ケーブル管路工 架空横断図		
縮 尺	1:100	図面番号	194 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



# 渋滞対策工図

## 平面図

A（設置・撤去）、B（設置・撤去）

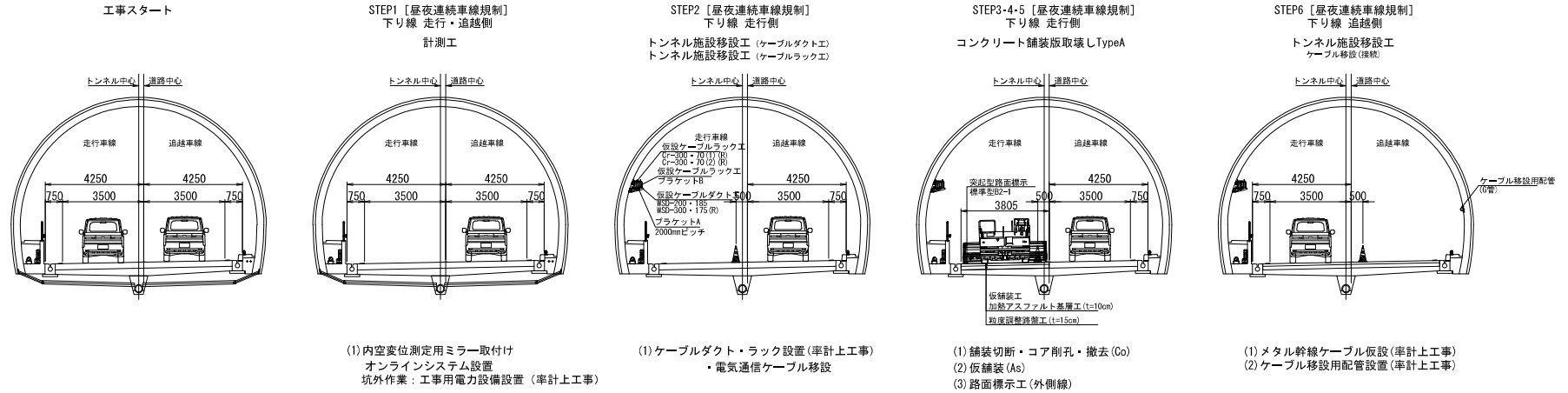


渋滞対策工 数量表				
項 目	単位	数量	備 考	
渋滞対策工 A（設置・撤去）	箇所	6	上下線各3箇所ずつ	
渋滞対策工 A（供用）	台・月	174	上下線各3箇所ずつ 計6台×29月＝174台・月	
渋滞対策工 B（設置・撤去）	箇所	6	上下線各3箇所ずつ	
渋滞対策工 B（供用）	台・月	174	上下線各3箇所ずつ 計6台×29月＝174台・月	

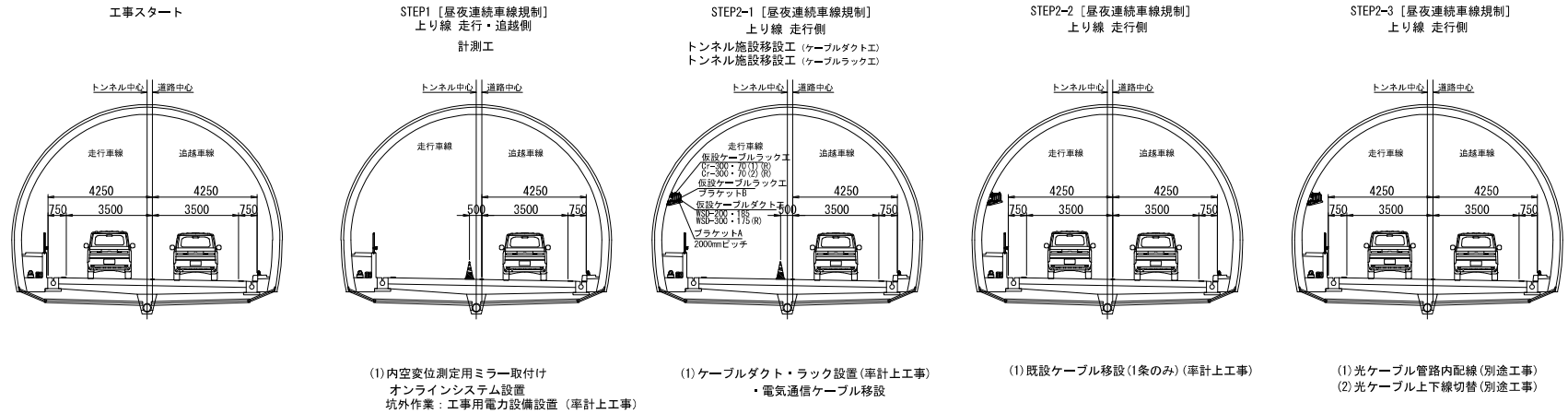
長野自動車道 明科トンネル補強工事	
図面の種類	渋滞対策工図
縮 尺	— 図面番号 105 / 204
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

施工手順図(1) S=1:200  
(参考図)

下り線



上り線



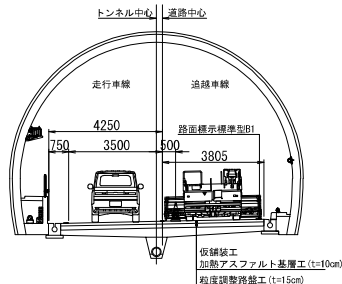
長野自動車道 明科トンネル 補修工事			
図面の種類	施工手順書(1)		
縮 尺	1:200	図面番号	196 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		



施工手順図(2) S=1:200  
(参考図)

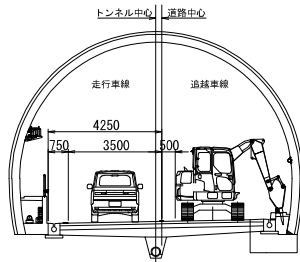
下り線

STEP7・8 [昼夜連続車線規制]  
下り線 追越側  
コンクリート舗装版取壊しTypeA



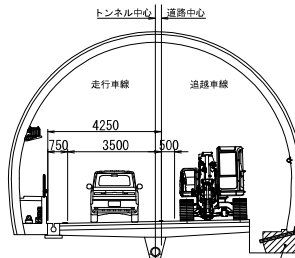
- (1) 舗装切断・コア削孔・撤去 (Co)
- (2) 仮舗装 (As)
- (3) 路面標示工 (外側線)

STEP9・10・11 [昼夜連続車線規制]  
下り線 追越側  
監査廊 撤去 [1/2回目]



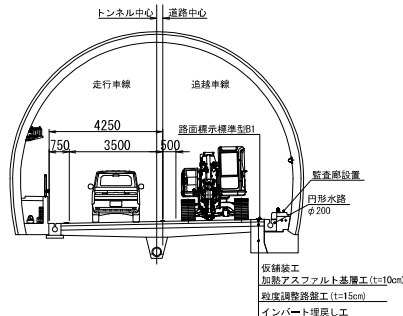
- (1) 交通安全施設取外し
- (2) 監査廊取壊し
- (3) 円形水路取壊し・縁石撤去
- (4) 仮舗装切断・撤去 (As)
- (5) 汚濁水処理工設置
- (6) 覆工切欠き・脚部掘削

STEP12 [昼夜連続車線規制]  
下り線 追越側  
覆工受台 打設



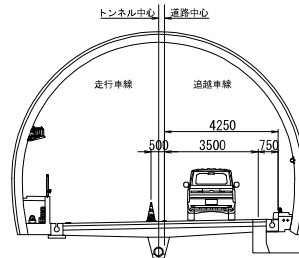
- (1) 型枠設置
- (2) コンクリート打設・養生・脱型

STEP13・14・15・16 [昼夜連続車線規制]  
下り線 追越側  
円形水路 設置  
監査廊 復旧



- (1) 円形水路、縁石、管路工設置
- (2) 監査廊設置
- (3) 埋戻し (路床部)
- (4) 仮舗装 (As)
- (5) 路面標示工 (外側線)

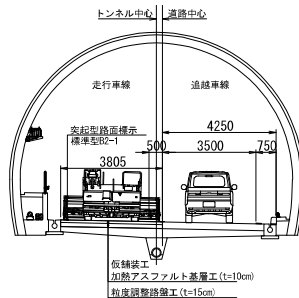
STEP17 [昼夜連続車線規制]  
下り線 走行側  
トンネル施設移設工  
ケーブル移設 (後続)



- (1) 高圧・低圧・通信ケーブル移設 (率計上工事)  
坑外作業：渡り線施工

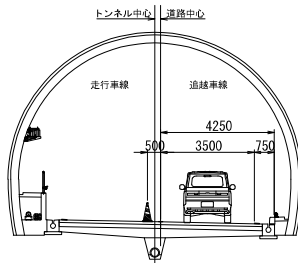
上り線

STEP3・4・5 [昼夜連続車線規制]  
上り線 走行側  
コンクリート舗装版取壊しTypeA



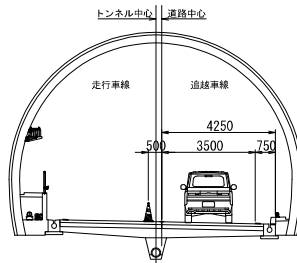
- (1) 舗装切断・コア削孔・撤去 (Co)
- (2) 仮舗装 (As)
- (3) 路面標示工 (外側線)

STEP6 [昼夜連続車線規制]  
上り線 走行側  
トンネル施設移設工  
ケーブル移設 (後続)、撤去



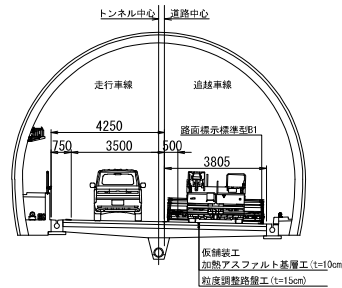
- (1) 低圧・通信ケーブル移設 (率計上工事)

STEP7・8 [昼夜連続車線規制]  
上り線 走行側  
対面通行規制準備、基面整正工



- (1) 坑外作業 : 渡り線施工  
トンネル内外 : 対面通行規制準備 (率計上工事)  
トンネル内外 : 基面整正工

STEP9・10・11 [昼夜連続車線規制]  
上り線 追越側  
コンクリート舗装版取壊しTypeA

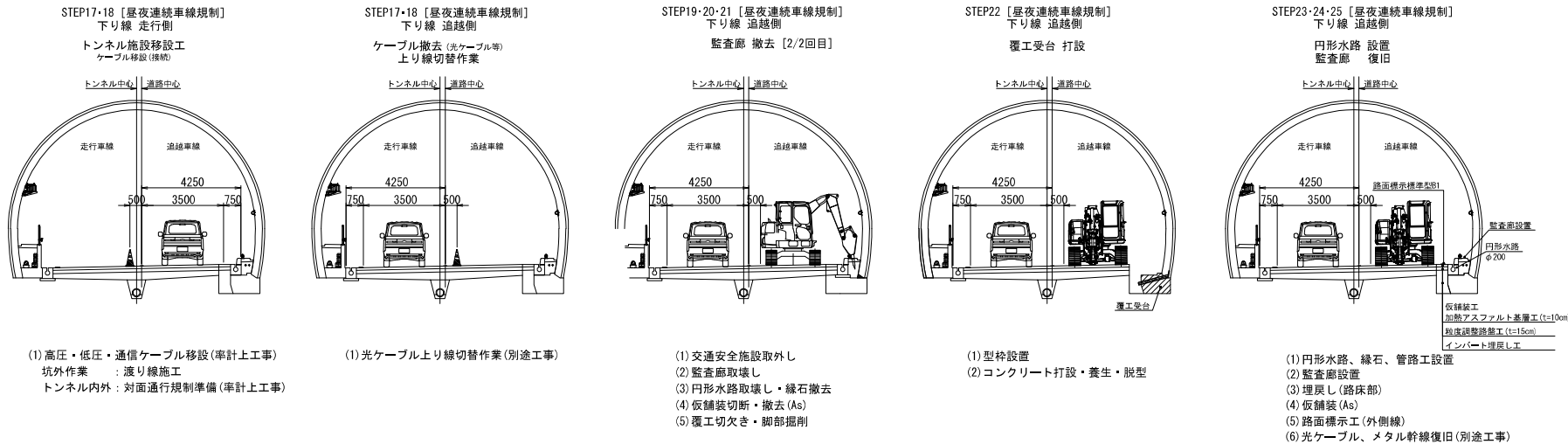


- (1) 舗装切断・コア削孔・撤去 (Co)
- (2) 仮舗装 (As)
- (3) 路面標示工 (外側線)

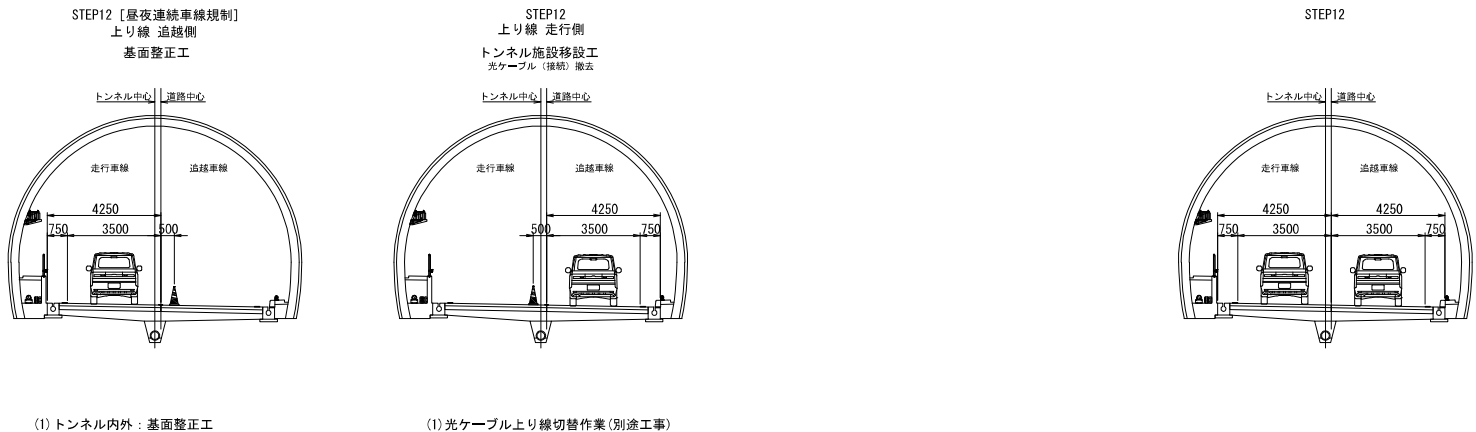
長野自動車道 明科トンネル 補修工事			
図面の種別	施工手順書(2)		
縮 尺	1:200	図面番号	197 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

施工手順図(3) S=1:200  
(参考図)

下り線



上り線

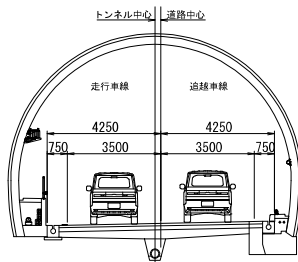


長野自動車道 明科トンネル 補強工事			
図面の種類	施工手順書(3)		
縮 尺	1:200	図面番号	198 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

施工手順図(4) S=1:200  
(参考図)

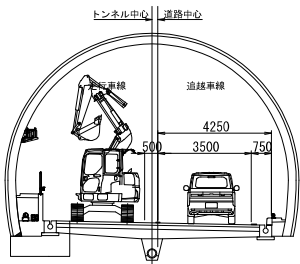
下り線

STEP13～23 [対面通行運用中]



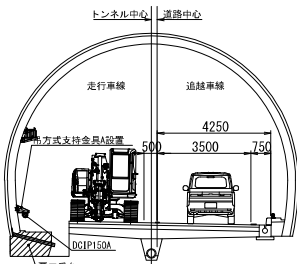
上り線

STEP13・14・15・16 [昼夜連続車線規制]  
上り線 走行側  
監視員通路 撤去



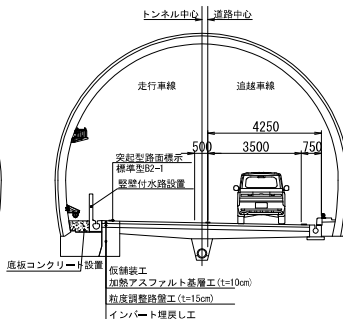
- (1) ハンドレール取外し、監視員通路(天端・壁)切斷・撤去
- (2) 多孔陶管撤去
- (3) 円形水路取壊し
- (4) 仮舗装切斷・撤去(As)
- (5) 覆工切欠き・脚部掘削

STEP13・14・15・16・17 [昼夜連続車線規制]  
上り線 走行側  
覆工受台 打設



- (1) 給水管支持金具取付、既設支持金具撤去
- (2) 型枠設置
- (3) コンクリート打設・養生・脱型

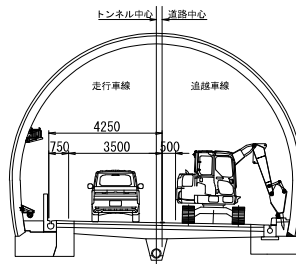
STEP18・19・20・21・22 [昼夜連続車線規制]  
上り線 走行側  
壁付水路 設置



- (1) 埋戻し(路床部)
- (2) 壁付水路設置
- (3) 底版コンクリート設置
- (4) 仮舗装(As)
- (5) 路面標示工(外側線)

トンネル内外：対面通行規制準備

STEP23 [昼夜連続車線規制]  
上り線 追越側  
監査廊 撤去



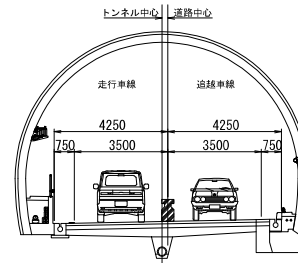
- (1) 交通安全施設取外し
- (2) 監査廊取壊し
- (3) 円形水路取壊し・縁石撤去
- (4) 仮舗装切斷・撤去(As)
- (5) 覆工切欠き・脚部掘削

長野自動車道 明科トンネル 補修工事			
図面の種類	施工手順書(4)		
縮 尺	1:200	図面番号	199 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

# 施工手順図(5) S=1:200 (参考図)

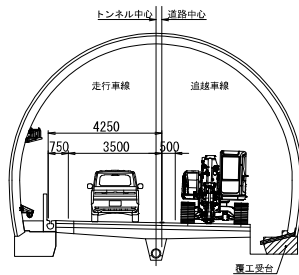
下り線

STEP15～22 [対面通行運用中]



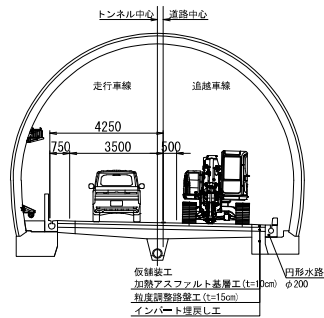
上り線

STEP24 [昼夜連続車線規制]  
上り線 追越側  
覆工受台 打設



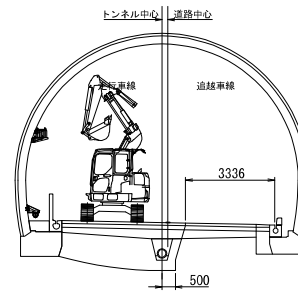
- (1) 型枠設置
- (2) コンクリート打設・養生・脱型

STEP25 [昼夜連続車線規制]  
上り線 追越側  
監査廊一部 復旧  
(一部未設置はSTEP18にて施工)



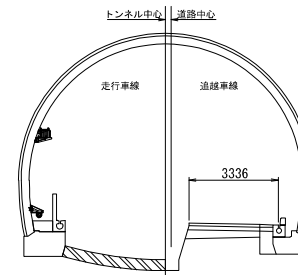
- (1) 埋戻し(路床部)
- (2) 円形水路、縁石設置
- (3) 仮舗装 (As)

STEP26・27-1 [全面通行止]  
上り線 走行側  
インバート 掘削



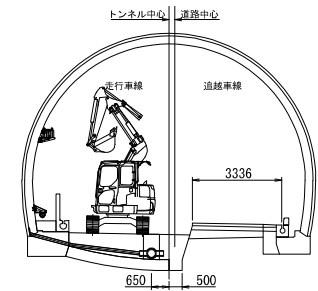
- (1) 仮排水 (中央排水部)
- (2) 仮舗装 (As舗装) 切断・撤去
- (3) 既設中央排水工撤去
- (4) インバート掘削

STEP27-2 [全面通行止]  
上り線 走行側  
インバート 設置



- (1) インバートコンクリート打設
- (2) コンクリート養生

STEP27-3 [全面通行止]  
上り線 走行側  
埋戻工



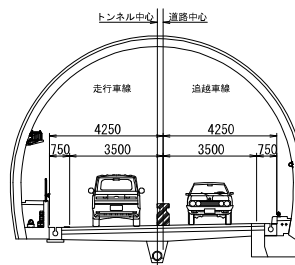
- (1) 埋戻し(路床部)
- (2) 中央排水工、横断排水工の設置

長野自動車道 明科トンネル 補強工事			
図面の種類	施工手順書(5)		
縮 尺	1:200	図面番号	200 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

施工手順図(6) S=1:200  
(参考図)

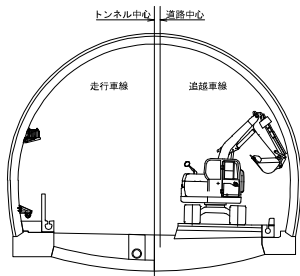
下り線

STEP28～29 [対面通行運用中]



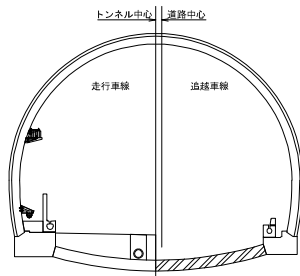
上り線

STEP28-1 [全面通行止]  
上り線 追越側  
インバート 掘削



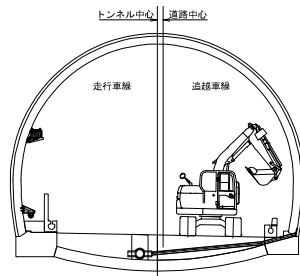
- (1) 仮舗装(As舗装) 切断・撤去
- (2) インバート掘削

STEP28-2 [全面通行止]  
上り線 追越側  
インバート 設置



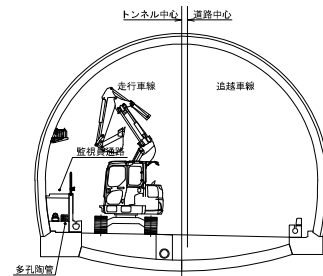
- (1) インバートコンクリート打設
- (2) コンクリート養生

STEP28-3 [全面通行止]  
上り線 追越側  
埋戻工



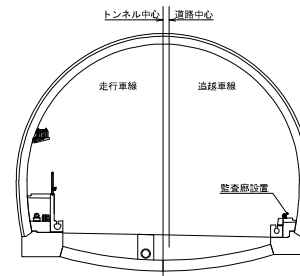
- (1) 埋戻し(路床部)
- (2) 横断排水工の設置

STEP29-1 [全面通行止]  
上り線 走行側  
監視員通路 復旧



- (1) ハンドホール・多孔陶管設置
- (2) 埋戻し・シールコンクリート打設・ハンドレール設置

STEP29-2 [全面通行止]  
上り線 追越側  
監査廊 復旧



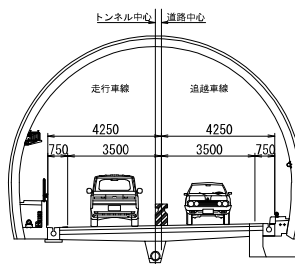
- (1) 埋戻し・シールコンクリート打設

長野自動車道 明科トンネル 補強工事			
図面の種類	施工手順書(6)		
縮 尺	1:200	図面番号	201 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

施工手順図(7) S=1:200  
(参考図)

下り線

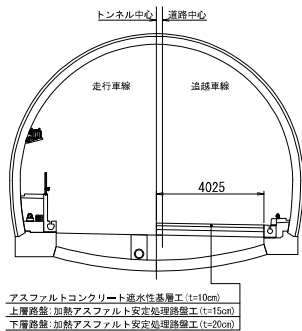
STEP30～32 [対面通行運用中]



下り線 STEP30後  
工事抑制期間のため  
トンネル内外：対面通行規制解除準備  
移動式防護柵の端寄せ・路面標示書換え

上り線

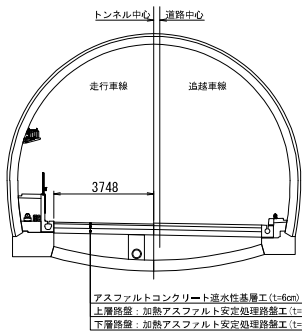
STEP30-1 [全面通行止]  
上り線 追越側  
アスファルト舗装改良工



アスファルトコンクリート透水性基層工 (t=10cm)  
上層路盤：加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=15cm)  
下層路盤：加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=20cm)

(1) 本舗装 (As舗装) の設置  
路盤工：本舗装復旧

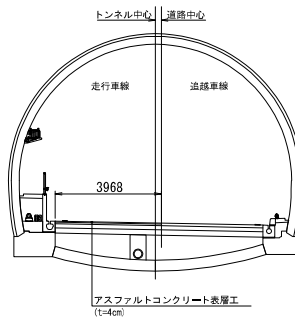
STEP30-2 [全面通行止]  
上り線 走行側  
アスファルト舗装改良工



アスファルトコンクリート透水性基層工 (t=6cm)  
上層路盤：加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=15cm)  
下層路盤：加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=20cm)

(1) 本舗装 (As舗装) の設置  
路盤工：本舗装復旧

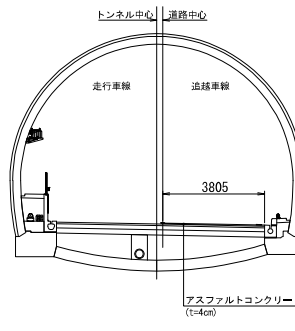
STEP30-3 [全面通行止]  
上り線 走行側  
切削オーバーレイ工



アスファルトコンクリート表層工  
(t=4cm)

(1) 切削オーバーレイ (t=4cm)

STEP30-4 [全面通行止]  
上り線 追越側  
切削オーバーレイ工



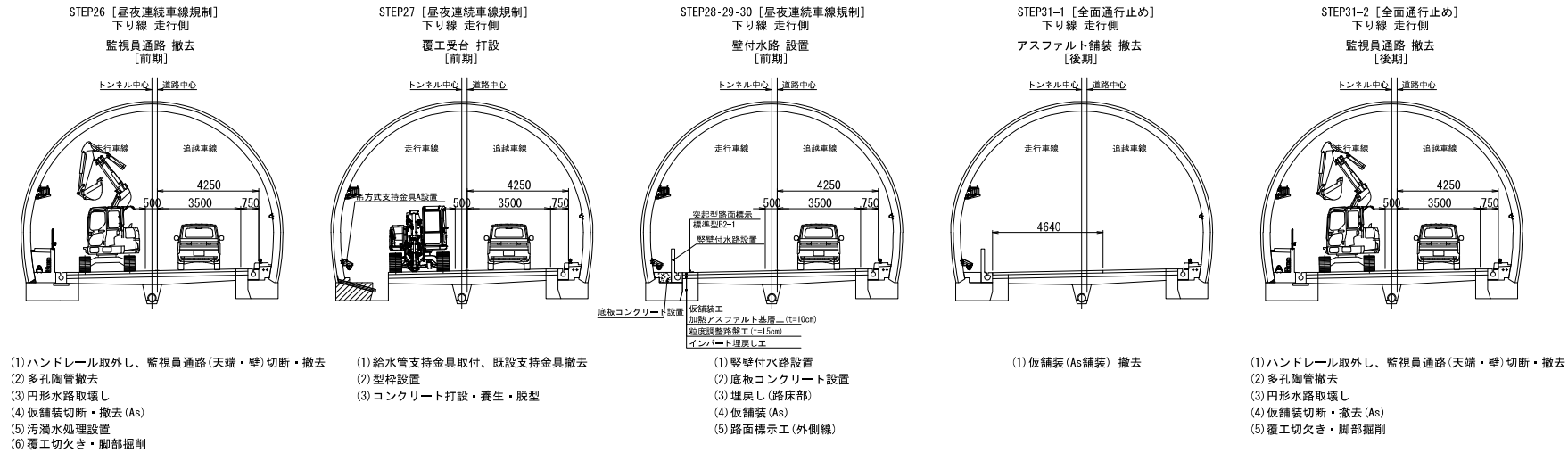
アスファルトコンクリート表層工  
(t=4cm)

(1) 切削オーバーレイ (t=4cm)  
上り線インバート補強工事完了

長野自動車道 明科トンネル 補強工事			
図面の種類	施工手順書(7)		
縮 尺	1:200	図面番号	202 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

施工手順図(8) S=1:200  
(参考図)

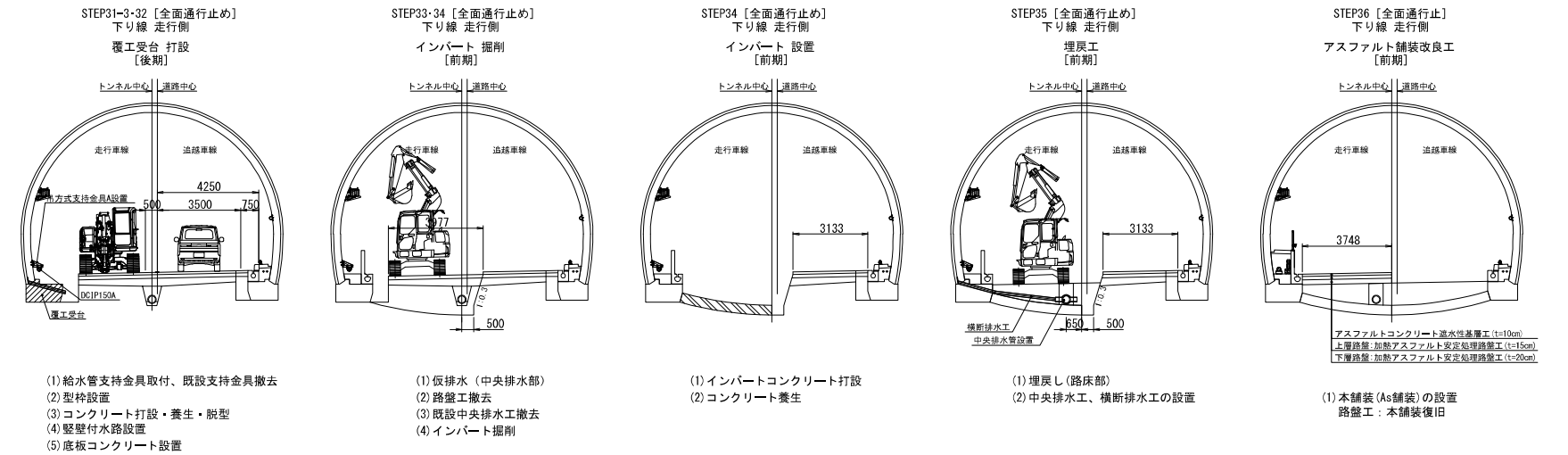
下り線



下り線 STEP23～24間、上り線：対面通行規制準備中(走行側規制中)

下り線 STEP23～3間、上り線：対面通行規制準備あり

下り線

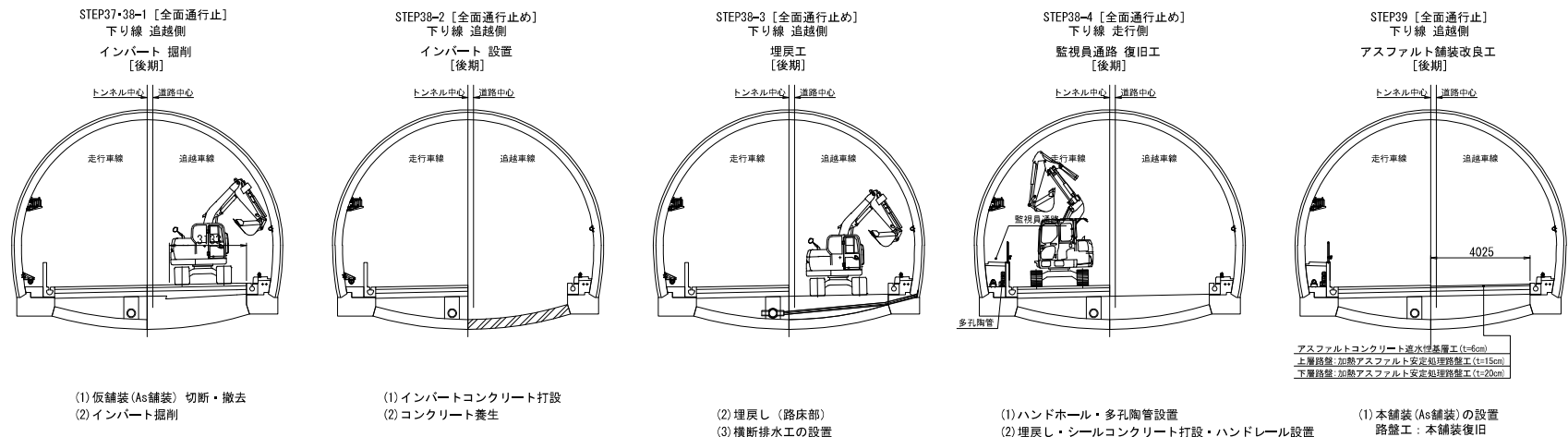


下り線 STEP27、上り線：対面通行規制解除準備中

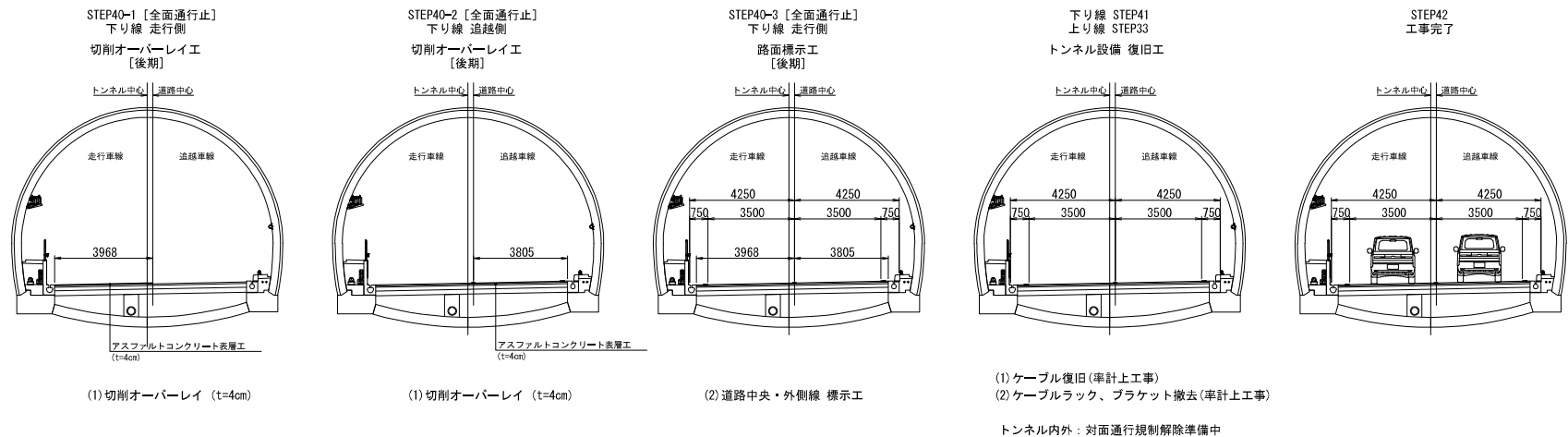
長野自動車道 明科トンネル 補修工事			
図面の種別	施工手順書(8)		
縮 尺	1:200	図面番号	203 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

施工手順図(9) S=1:200  
(参考図)

下り線



下り線



長野自動車道 明科トンネル 補強工事			
図面の種別	施工手順書(9)		
縮 尺	1:200	図面番号	204 / 204
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		